

令和元年度 飯田市公民館活動記録



文化祭
～みんなでつくった巨大新聞ドーム～（橋北公民館）



橋南公民館もちつき大会
～親子でおやす作りに挑戦～（橋南公民館）



地域づくりフォーラム
～これからの座光寺について語ろう～（座光寺公民館）



上郷小学校音楽鑑賞教室
（上郷公民館）



自磨の時間・遠山郷ESD塾
～子どもと大学生の学び合い～（南信濃公民館）



日本語教室
～薬について学ぶ～（飯田市公民館）

飯田市公民館

令和元年度 飯田市公民館活動記録

目 次

2019 年度 飯田市の公民館活動 基本方針	1
2019 年度 飯田市の公民館活動 事業計画	3
飯田市公民館のあゆみ・運営組織	5
飯田市公民館の活動・事業	6
飯田市公民館の運営組織図	7
地区公民館の専門委員会設置状況	8
飯田市の分館	9
公民館の予算及び施設の現状一覧表	10
飯田市各地区公民館利用状況	11
学級・講座実施状況一覧表	12
専門委員会等事業一覧表	16
各公民館事業報告	20

飯田市公民館	20	川路公民館	103
橋北公民館	29	三穂公民館	108
橋南公民館	35	山本公民館	112
羽場公民館	43	伊賀良公民館	119
丸山公民館	49	鼎公民館	125
東野公民館	56	上郷公民館	132
座光寺公民館	63	上村公民館	139
松尾公民館	70	南信濃公民館	144
下久堅公民館	76	Aブロック事業	150
上久堅公民館	82	Bブロック事業	151
千代公民館	88	Cブロック事業	151
龍江公民館	94	Dブロック事業	152
竜丘公民館	99		

飯田市の公民館略年表	153
飯田市公民館大会の経過	160

2019年度 飯田市の公民館活動 基本方針

1 「くらし豊かなまち」の実現に向けて公民館が果たすべきこと

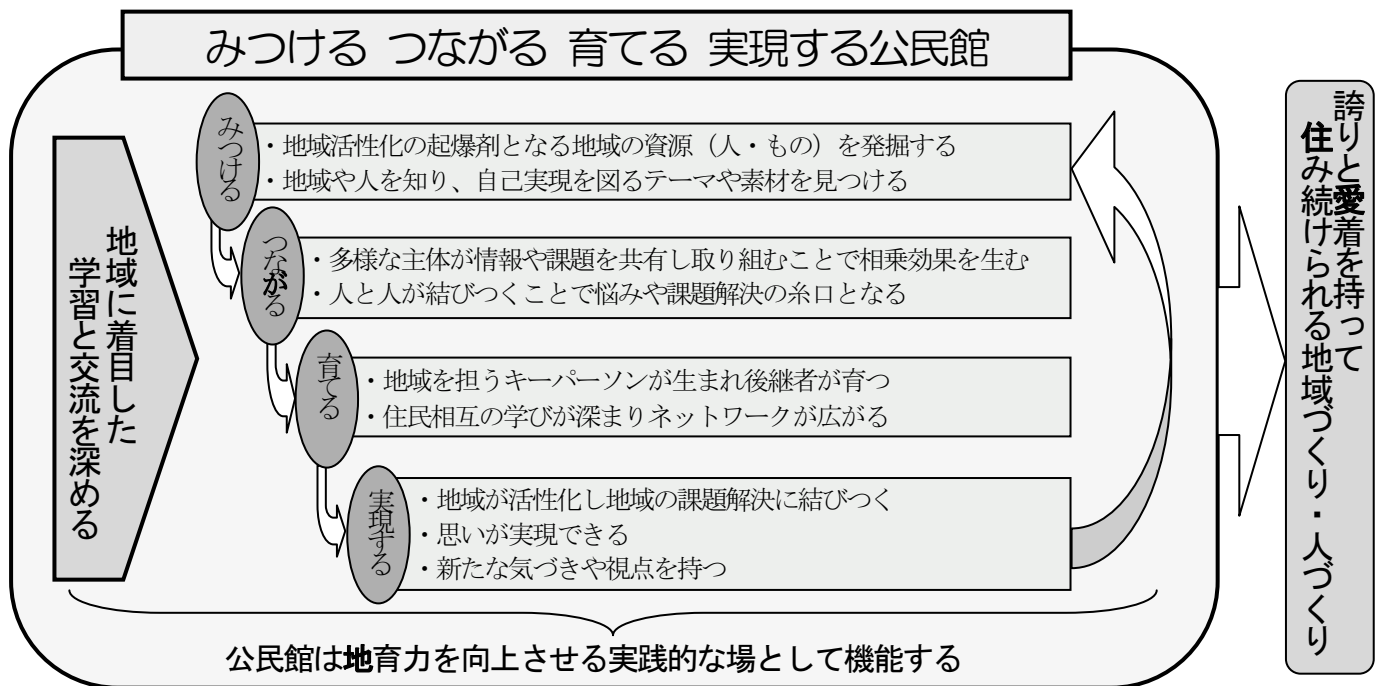
飯田市では、人口減少、少子・高齢化が進行し、地域活力の維持・向上が持続的な地域づくりにおける大きな課題となっています。また、近い将来には、リニア中央新幹線の開通や三遠南信自動車道の全通の時代を迎え、地域の大きな変貌が予想されます。こうした状況をとらえて、飯田市では、「いいだ未来デザイン 2028」を、教育委員会では「第2次飯田市教育振興基本計画」に基づき、各施策を展開しています。

戦後まもなく発足した公民館は、地域に密着して市民の自由で主体的な文化学習活動を支援し、地域づくりの基盤である人づくりに大きな役割を果たしてきました。

地域を取り巻く状況が大きく変容してきている今日、地域住民が学びあいを通して、地域の課題と向き合い、「私たちの地域は私たちの手でつくる」という住民自治の意識を高め合い、「結の心」でつながって、心豊かに暮らせる地域をつくっていくことがますます重要となっています。

飯田市の公民館は、社会教育法に基づく教育機関であるとともに、地域自治組織の構成団体であるという2面性を持ち、地域の諸団体と連携協力を図りつつ、住民の自由で主体的な学習活動の支援を通して、地域づくりを担う人材を育む地育力向上の拠点となっています。

そこで、公民館は、住民による自立した地域経営をめざして、今後も引き続き地域に着目した学習と交流を深める役割を担い、「みつける つながる 育てる 実現する場」として誇りと愛着を持って住み続けられる地域づくり、人づくりを担っていきます。



2 公民館の具体的な役割

公民館は、地育力向上と住民自治の意識と力を育む拠点として、地域の特色ある自然や文化を基底にした地域住民の学習と交流を図ります。少子高齢化や地域への帰属意識の希薄化など様々な地域の課題解決に向けた学習を支援することで、コミュニティ意識の醸成や地域の担い手づくりを目指します。公民館の具体的な役割は次のとおりです。

- (1) だれもが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を活かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切に今に活かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 住民の生涯にわたる学習や学習のグループ化を支援し様々な地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として尊ばれ差別なく暮らせる「人間尊重の精神を学びあう場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子どもたちが健やかに育つとともに故郷に誇りと愛着を持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域のさまざまな出来事を記録し情報や地域の課題を提供・発信する「情報収集と発信の場」

3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

昭和48年、飯田市は文部省の委嘱を受けて、「管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項」をまとめました。昭和46年から2年間かけて実施したこの公民館運営基準の研究の中で、次に掲げる「公民館運営の4原則」が確認されました。時代は変化してもこの理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

(1) 地域中心の原則

まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

(2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は20地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

(3) 住民参画の原則

公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

(4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主體的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

4 「4つの運営原則」に基づく主体的な公民館活動の展開に向けて

地域自治組織のまちづくり委員会や各地区の公民館は、引き続き学習と交流を起点に地域内の連携協力を図り、住民自治の充実に必要な地域の社会教育機関として地育力向上の拠点を担います。

- (1) 各地区の公民館が設置する専門委員会は、「住民参画の原則」に基づいて地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (2) 分館は、最も身近なコミュニティ形成の場であり日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど住民同士のふれあいを大切にしながら主体的な活動を展開します。

5 重点目標

以上を踏まえ、以下の事項を2019年度の重点目標として取り組みます。

- (1) リニア時代を迎え、今後、大きく変貌することが予想される地域にあって、地域の独自性や価値を見出し、魅力を再認識できる人を育むための学習活動を進めます。
- (2) 各地区の地域づくりの担い手を育むために、小・中・高校生・若者と地域やそれぞれの世代を結ぶ学びの場を提供します。
 - ① 地域と学校が協働して子どもを育てるしくみとしての飯田コミュニティスクールを地域から支えるとともに、地域での子どもたちの豊かな学びの機会を充実させ、大人の学びと子どもの育ちをつなげる地域学校協働活動を進めます。
 - ② 地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材を育てる「地域人教育」及び「高校生講座」に取り組むとともに、各地区における高校生との連携事業を、LG飯田教育の視点で展開します。^{※注1}
 - ③ 青壮年世代が地域の将来を考え、切り拓いていくための自治の意識と力を育む学習活動に取り組みます。
 - ④ 成人年齢の引き下げに伴う成人式のあり方について検討します。
- (3) いいだ人形劇フェスタを人とのつながりやふるさと意識の醸成、地域資源の保存継承など様々な可能性をもつ場としてとらえ、地域づくりを担う人づくりにつなげる機会として取り組みます。
- (4) 各地区では、地域の課題解決のために次の事業に取り組みます。
 - ① 親子を対象に仲間づくりを図るとともに、子どもが健やかに育ち、発達段階に応じた基本的な生活習慣の習得を支援する継続的な学習機会を提供します。
 - ② 高齢者が生き生きと暮らすことのできる地域をめざして、高齢者の経験や力を地域づくりや次世代育成に活かす取組を進めます。
 - ③ 国籍にかかわらず住民が相互に理解し合える関係をつくるために、多文化交流や日本語および外国語の学習の機会を提供します。また、一人ひとりの人権や平和について考える機会を提供します。
 - ④ 身近なところで様々な芸術文化に触れ、創造する機会を提供するとともに、地域独自の伝統文化の保存・継承活動に取り組みます。
 - ⑤ 住民が郷土への関心を高め、誇りと愛着を育む多彩な学習の機会を提供します。
 - ⑥ 誰もが気軽にできるウォーキングやスポーツ活動の機会を提供するなど、栄養と健康、生活習慣病予防、運動習慣の必要性など自身の健康についての学習を深めます。
 - ⑦ 身近な自然体験型活動から世界規模の地球温暖化防止まで多彩な環境学習の機会を提供します。
- (5) 地域で活動する地縁団体やNPO法人を始めとした志縁団体などへの支援を行うとともに、こうした団体と地域を結ぶ機能の構築を目指します。

※1 「LG(地域・地球)飯田教育」とは・・・Local(地域)とGlobal(地球)を一体的、系統的に学ぶ、飯田市独自の教育実践。

Think Global, Act Local. Think Local, Act Global「地球規模で考え地域で実践し、地域を想い、地球規模で活躍」できる人材を育む。

2019年度 飯田市の公民館活動 事業計画

2019年度飯田市の公民館活動基本方針に基づいて、飯田市公民館（連絡調整を担う飯田市公民館〈以下「市公民館」という。〉と20地区公民館）が展開する主な事業を次のとおり計画します。

1 20地区公民館と市公民館は合同して以下の事業を展開します。

(1) 第57回飯田市公民館大会

公民館関係者や広く市民を対象にして、1年間の公民館活動を総括して更なるステップアップを図る機会として、2020年2月16日（日）に開催します。

(2) いいだ人形劇フェスタ2019

今年度のいいだ人形劇フェスタは、7月31日（水）～8月5日（月）に開催します。地区実行委員会の充実を図って、さまざまな可能性を考えながら地区からフェスタを盛り上げます。

(3) 飯田市成人式

①飯田市成人式は、2020年1月12日（日）に新成人の一番身近な居住地域・出身地域を単位に全市一斉で開催します。各地区では、新成人を含めた成人式実行委員会を組織し、新成人が多様な活動を通じて地域を知り、地域との関わりを持てる学習を深めることで、地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。

②成人年齢引き下げに伴う成人式のあり方について、検討していきます。

(4) 地域学校協働活動と飯田コミュニティスクール

地域学校協働活動を推進するしくみとしての飯田コミュニティスクールを地域から支えるとともに、地域における子どもの活動を充実させ、地域と学校をつなぐ取り組みをします。

(5) 高校生と地域を結ぶ事業

①地域に愛着と誇りを持ち、自身の将来を切り拓くことのできる人材の育成を、飯田OIDE長姫高等学校、飯田女子高等学校ほか飯田下伊那の高校との連携により実施します。

②地域での高校生の豊かな学びを支えるためのコーディネートのある方について、飯田下伊那の高校との情報交換等をとおして研究します。

2 20地区公民館は、専門委員会が主体的に事業を企画して展開するほか、多様な分野で学びの機会を設けることで、地域で学習と交流を深めます。（カッコ内は例示）

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| (1) 乳幼児親子が学ぶ（乳幼児学級など） | …重点目標(4)-① |
| (2) 学齢期親子が学ぶ（家庭教育講座・講演会など） | …重点目標(4)-① |
| (3) 人権平和や多文化を学ぶ（人権講座、多文化共生事業など） | …重点目標(4)-③ |
| (4) 地域で芸術文化に触れる（人形劇地区公演、コンサートなど） | …重点目標(4)-④ |
| (5) 身近な地域を素材に学ぶ（ふるさと学習、歴史学習会など） | …重点目標(4)-⑤ |
| (6) 健康で生き生き暮せる学び（健康教室、料理教室など） | …重点目標(4)-⑥ |
| (7) 身近に環境を学ぶ（環境学習講座、生物観察会など） | …重点目標(4)-⑦ |
| (8) 多彩な学びと交流（女性学級、高齢者学級など） | …重点目標(4)-②ほか全て |

3 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

(1) 高校生講座

海外との比較の中でふるさと飯田の魅力を再認識することを通して、地域に誇りと愛着を持ち、グローバルな視点で地域の将来ビジョンをデザインし、自身の将来を切り拓くことのできる人材を育成します。

(2) 青年層と地域を結ぶ事業

高校卒業後の青年層にとって自身の生き方を考える機会を提供するとともに、仲間や地域とつながり、この地域の将来を考えることのできる人材を育成します。

(3) 飯田市民大学講座

「伊那谷の自然と文化」をテーマにして第43回飯田市民大学講座を開講します。講座の内容等は運営委員会で企画します。

(4) 飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により開催します。会場は上郷体育館と高陵中学校体育館で、11月17日（日）に開催します。

(5) 第44回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、自主運営方式で開催します。会場は飯田市公民館で、2020年2月23日（日）に開催します。

(6) 人権平和・多文化共生事業

地域の国際化に対応するために、平和学習を通じた人権・平和の意識向上を図るとともに、外国人住民への日本語教育を柱とした多文化共生事業を展開します。

(7) 子育てサークル支援事業

子育てネットワークの充実を図り、子育てリーダーグループ「トライアングル」の支援を軸とした活動を展開します。

4 その他

(1) 第67回天龍峡夏期大学講座

社会課題や地域課題を考える契機とするとともに、地域への誇りと愛着を醸成することを目的として、川路公民館が主管します。

(2) ブロック公民館事業

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

(3) 主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。

(4) 高等教育機関と連携した取組

東京大学大学院との共同調査など高等教育機関と連携して、課題解決に向けた取組の充実を図ります。

(5) 館長会・主事会

地域住民の学習活動を支える職員が、定期的な情報交換や研修会を開催して連携を深めるとともに、その力量の向上に努めます。

飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館（以下「地区公民館」）と職員を配置してきました。旧飯田地区（橋北・橋南・羽場・丸山・東野）は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館（以下「市公民館」）と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組織」を導入しました。これにより公民館は、社会教育法にも基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長（非常勤特別職）、市公民館長を補佐する副館長（課長職）、学習支援係（係長、主事、社会教育コーディネーター）、管理係（係長、管理係）が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。（詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照）

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館（休館を除く）があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携しながら事業を展開しています。

飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切にし、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

飯田市公民館の事業

市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

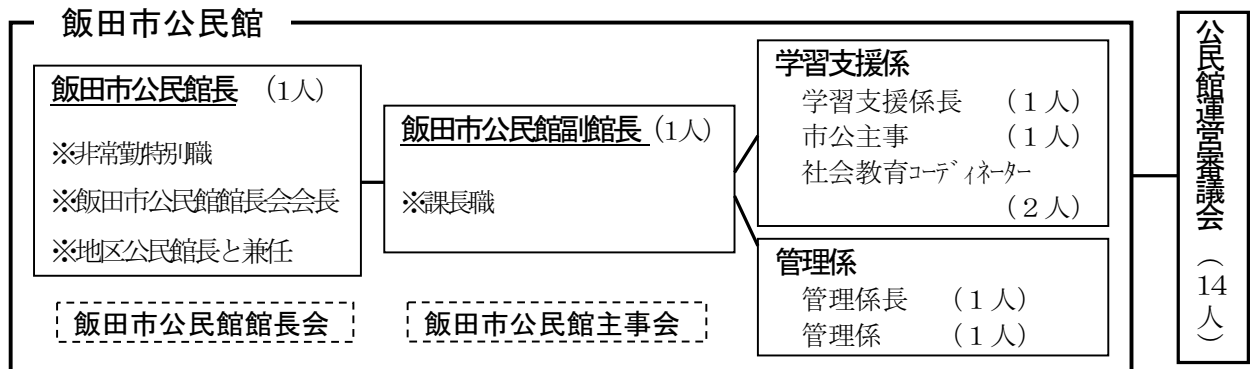
ブロック事業

- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供

飯田市民館の運営組織図



地区公民館 (人口は令和元年9月末現在)						
公民館名	ブロック体制	人口 (人)	職員体制 (人)			
			公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館	Aブロック	2,953	1	—	1	1
橋南公民館		2,665	1	—	1	1
羽場公民館		4,747	1	—	1	1
丸山公民館		3,405	1	—	1	1
東野公民館		2,892	1	—	1	1
座光寺公民館	Bブロック	4,385	1	1	1	—
山本公民館		4,797	1	1	1	—
伊賀良公民館		14,497	1	1	1	1
鼎公民館		13,203	1	1	1	2 ※4
上郷公民館		13,729	1	1	1	1
松尾公民館	Cブロック	13,018	1	1	1	1
下久堅公民館		2,830	1	1	1	—
竜丘公民館		6,844	1	1	1	1
上村公民館		402	1	1	1	—
南信濃公民館		1,331	1	1	1	1
上久堅公民館	Dブロック	1,265	1	1	1	—
千代公民館		1,649	1	1	1	—
龍江公民館		2,783	1	1	1	—
川路公民館		1,997	1	1	1	—
三穂公民館		1,399	1	1	1	—
計		100,791	20人	15人	20人	12人

専門委員会の設置

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。
～住民参加による主体的な企画・運営～ (20館共通)

※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)

※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連係調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)

※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。

※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

分館

現在、103の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

地区公民館の専門委員会設置状況

公 民 館 名	名 称	人数	任期 (年)
橋北公民館	文化部	10	2
	体育部	10	2
	広報部	10	2
	育成部	10	2
橋南公民館	文化委員会	8	2
	体育委員会	12	2
	館報委員会	5	2
羽場公民館	文化委員会	11	2
	体育委員会	13	2
	広報委員会	10	2
	育成委員会	12	2
丸山公民館	文化部会	11	2
	体育部会	13	2
	広報部会	5	2
	青少年健全育成部会	14	2
東野公民館	文化部	10	2
	体育部	15	2
	広報部	8	2
	育成部	15	2
座光寺公民館	文化部	18	2
	体育部	13	2
	広報部	11	2
	健全育成部	17	2
松尾公民館	文化委員会	20	2
	スポーツ委員会	20	2
	広報委員会	19	2
	総務企画委員会	10	2
下久堅公民館	文化部	15	2
	体育部	20	2
	広報部	8	2
	育成部	15	2
上久堅公民館	文化委員会	11	2
	体育委員会	12	2
	広報委員会	10	2
千代公民館	文化委員会	10	2
	体育委員会	11	2
	広報委員会	8	2
	青少年育成委員会	8	2

公 民 館 名	名 称	人数	任期 (年)
龍江公民館	文化部	7	2
	体育部	8	2
	青少年健全育成部	6	2
	新聞部	12	2
	龍江ホームページ運営委員会	4	2
竜丘公民館	文化委員会	15	2
	体育委員会	24	2
	広報委員会	10	2
	民俗資料保存委員会	10	2
竜丘公民館	育成委員会	9	2
川路公民館	文化部会	10	2
	体育部会	14	2
	広報部会	9	2
三穂公民館	文化委員会	14	2
	体育委員会	15	2
	女性委員会	14	2
	広報委員会	8	2
山本公民館	文化委員会	18	2
	体育委員会	20	2
伊賀良公民館	文化部	23	2
	体育部	27	2
	広報部	21	2
鼎公民館	文化委員会	13	2
	体育委員会	15	2
	広報委員会	12	2
上郷公民館	文化部会	12	2
	スポーツ部会	13	2
	広報部会	10	2
	青少年健全育成部会	12	2
上郷公民館	地域を育む委員会	11	2
上村公民館	企画委員会	8	2
	広報委員会	5	2
南信濃公民館	文化委員会	8	2
	体育委員会	11	2
	広報委員会	6	2
計		892	

飯 田 市 の 分 館

地 区 名	分 館 名	分館世帯数	地 区 名	分 館 名	分館世帯数	地 区 名	分 館 名	分館世帯数
橋 北	★江戸浜	122	千 代	法 山	77	鼎	★下 山	810
橋 南	な し			大 郡	56		★東 鼎	167
羽 場	な し			米 峰	28		★西 鼎	130
丸 山	な し			毛 呂 窪	66		★下茶屋	208
東 野	吾妻町南	48	龍 江	八ノ倉	21		★中 平	629
	東新町1	49		下 村	82		★上茶屋	153
	錦 町	休館		第 一	257		★切 石	881
	高羽町東	249		第 二	297		★上 山	1050
	宮 の 前	休館	竜 丘	第 三	312		★一 色	488
	宮 ノ 上	260		第 四	157		★名古熊	763
	諏訪町	58		駄 科	969	上 郷	★上黒田	664
座 光 寺	な し			長 野 原	490		★下黒田北	1026
松 尾	上 溝	330	川 路	★時 又	392		★下黒田南	807
	久 井	175		桐 林	593		★下黒田東	680
	★水 城	326		上 川 路	127		★丹 保	352
	★新 井	460		2	53		★北 条	392
	寺 所	231	三 穂	3	57	上 村	★飯沼南	349
	★明	539		4	108		★南 条	295
	★清 水	205		5	46		★別府上	380
	城	524		6	114		★別府下	585
	八幡町	380	山 本	7	115	南 信 濃	上 町	66
	代 田	731		8	186		中 郷	35
	毛 賀	659		な し			程 野	50
	常 盤 台	303		東 平	466		下 栗	42
下 久 堅	知 久 平	239	伊 賀 良	大 明 神	144	以下103分館（休館を除く）	和 田 橋 北	151
	★虎 岩	139		北 平	276		和 田 橋 南	333
	柿 野 沢	88		中 平	100		八 重 河 内	47
	稲 葉	休館		西 平	63		木 沢	88
	小 林	46	千 代	南 湯 川	151	※うち条例分館は27館 （★の印）	南 和 田	46
	南 原	156		竹 佐	187		※世帯数は、令和元年度分館 世帯数（令和元年9月末時点）	
上 久 堅	下 虎 岩	292		箱 川	83			
	1	104		久 米	111			
	2	72	伊 賀 良	二 ツ 山	休館			
	3	101		下 殿 岡	400			
	4	88		上 殿 岡	487			
	5	80		三 日 市 場	399			
千 代	6	47		北 方	2037			
	北 部	44	伊 賀 良	大 瀬 木	1393			
	野 池	93		中 村	660			
	※芋平区と野池区 の合区（2018.4）			三 尋 石	160			
	米 川	116						

公民館の予算及び施設の現状一覧表

公民館名	令和元年度当初予算 (単位:円)				施設の現状		
	公 費		地区費	総 計	面積 (㎡)	建設年月	構造
	管理費	事業費					
橋北公民館	84,000	246,000	2,050,000	2,380,000	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	206,000	236,000	1,940,000	2,382,000	550.9	S59. 3	鉄骨3
羽場公民館	404,000	298,000	2,652,100	3,354,100	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	282,000	258,000	1,813,000	2,353,000	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	132,000	239,000	1,957,000	2,328,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	370,000	288,000	4,939,300	5,597,300	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	546,000	538,000	7,487,000	8,571,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	81,000	272,000	2,840,000	3,193,000	993.1	H26.12	鉄骨2
上久堅公民館	111,000	194,000	2,303,000	2,608,000	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	47,000	206,000	2,360,000	2,613,000	797.1	H26.7	木造2
龍江公民館	164,000	239,000	5,422,000	5,825,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	185,000	372,000	10,064,000	10,621,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	215,000	2,853,000	3,212,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	184,000	198,000	2,543,000	2,925,000	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	261,000	298,000	3,547,000	4,106,000	1263.6	H 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	375,000	581,000	7,989,000	8,945,000	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	2,748,000	543,000	4,060,000	7,351,000	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	172,000	566,000	9,819,000	10,557,000	2217.8	H31. 3	鉄骨2
上村公民館	0	169,000	760,000	929,000	582.95	H1.12 H29.3改修	鉄筋2 鉄骨2
南信濃公民館	44,000	153,000	1,904,000	2,101,000	1,548.4	H19.11	鉄筋2
小計	6,540,000	6,109,000	79,302,400	91,951,400	24491.7		
飯田市公民館			—	0	3,059.80	S51.11	鉄筋4
合計	6,540,000	6,109,000	79,302,400	91,951,400	27551.5		

〈説明〉

- ・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
- ・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
- ・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる

飯田市各地区公民館利用状況

(平成30年度)

	有 料 団 体			減 免 団 体			無 料 団 体			合 計		
	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員
飯田市公民館	82	189	11,610	45	177	19,878	375	1,438	42,035	502	1,804	73,523
ホール	23	95	9,165	21	92	14,041	39	191	23,049	83	378	46,255
会議室	59	94	2,445	24	85	5,837	336	1,247	18,986	419	1,426	27,268
橋北公民館	174	205	2,320	245	254	4,338	1640	1,668	14,436	2,059	2,127	21,094
橋南公民館	39	42	262	119	127	1,966	630	726	6,597	788	895	8,825
羽場公民館	146	154	2,082	346	372	6,444	2148	2,336	29,679	2,640	2,862	38,205
丸山公民館	69	77	2,023	379	579	9,039	1173	1,187	14,010	1,621	1,843	25,072
東野公民館	55	83	1,054	105	222	3,504	808	1,766	22,041	968	2,071	26,599
座光寺公民館	33	36	830	655	1,356	14,768	488	752	8,824	1,176	2,144	24,422
松尾公民館	128	172	3,485	257	535	16,930	1085	2,765	48,056	1,470	3,472	68,471
下久堅公民館	51	49	912	672	698	12,091	182	368	6,532	905	1,115	19,535
上久堅公民館	4	4	90	145	240	3,247	282	289	3,865	431	533	7,202
千代公民館	8	8	121	135	135	2,687	390	395	4,988	533	538	7,796
龍江公民館	47	47	905	492	627	5,761	894	1,505	17,170	1,433	2,179	23,836
竜丘公民館	191	242	7,120	300	344	7,830	1890	2,302	34,592	2,381	2,888	49,542
川路公民館	11	26	346	427	472	6,289	348	373	3,679	786	871	10,314
三穂公民館	28	28	421	193	254	3,521	435	565	12,511	656	847	16,453
山本公民館	31	31	1,162	160	188	5,970	867	956	11,028	1,058	1,175	18,160
伊賀良公民館	188	211	4,780	415	518	9,053	1551	2,064	36,102	2,154	2,793	49,935
鼎公民館	144	270	9,659	124	275	21,843	1,343	2,965	57,821	1,611	3,510	89,323
ホール	14	22	5,435	49	147	17,495	44	202	12,232	107	371	35,162
会議室	130	248	4,224	75	128	4,348	1299	2,763	45,589	1,504	3,139	54,161
上郷公民館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上村公民館	0	0	0	18	132	1,199	3	32	443	21	164	1,642
南信濃公民館	10	10	396	151	151	2,345	229	229	5,980	390	390	8,721
南信濃学習 交流センター	0	0	0	89	89	1,282	119	119	3,899	208	208	5,181
地区館計	1,357	1,695	37,968	5,427	7,568	140,107	16,505	23,362	342,253	23,289	32,625	520,328
合計	1,439	1,884	49,578	5,472	7,745	159,985	16,880	24,800	384,288	23,791	34,429	593,851

令和元年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
飯田市公民館 (P20～28参照)	○子育てネットワークライアングルの活動支援 ー フリーマーケット ー 子育て情報誌編集、発行 ー 妊婦さん向け講座 ー 子育てサークル交流会		○日本語教室わいわいサロン ○わいわいサロン鼎教室 ○わいわいサロン松尾教室 ○サポーター/コーディネーター講習 ○「やさしい日本語」講演会 ○学習成果発表会 ○人権教育講座	
橋北公民館 (P29～34参照)	○2歳児学級「うさぎ」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○和菓子づくり体験講座 ○新春書き初め大会		○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○飯田人形劇フェスタ2019橋北地区公演 ○文化研修旅行 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト(橋北屋台囃子保存会支援事業)
橋南公民館 (P35～42参照)	○0歳児学級「うりぼう」 (橋北・橋南・東野地区合同) ○1歳児学級「ひよこ」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○親子パン作り講座 ○放課後子ども教室 ○夏休み子ども教室	○人権講演会	○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○飯田人形劇フェスタ2019橋南地区公演 ○第24回橋南文化祭 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○伝統文化教室 ー 天龍太鼓子ども教室ー ー 松一獅子舞教室ー
羽場公民館 (P43～48参照)	○0～1歳児学級 ○2～3歳児学級	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○中学生と乳幼児のふれあい学習会 (羽場・丸山地区合同)	○羽場日本語講座	
丸山公民館 (P49～55参照)	○0・1歳児学級(すくすく学級) ○2・3歳児学級(まるやまっこ学級)	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○中学生と乳幼児のふれあい学習会 (羽場・丸山地区合同)		○観月の夕べ
東野公民館 (P56～62参照)	○3歳児学級「ぞうグループ」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○春休み寺子屋ひがしの ○若草の里東野講座「子育ての話」		○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同)
座光寺公民館 (P63～69参照)	○びよびよ教室(0・1歳児) ○たんぼぼ学級(2・3歳児) ○アンパンマンの会	○子育て応援講座		
松尾公民館 (P70～75参照)	○0歳児学級 ○1歳児学級 ○2歳児学級 ○3歳児学級	○親子パン作り教室	○多文化交流会	○探勝会
下久堅公民館 (P76～81参照)	○乳幼児学級ぽっかぽかいちご ○乳幼児学級ぽっかぽかあひる	○親子体験学習 ○親子書き初め教室		○ふるさとコンサート
上久堅公民館 (P82～87参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」	○上久堅小学校・PTA・公民館共催講演会 ○冬のお楽しみ会(図書分館・公民館共催かるた会)		○人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」
千代公民館 (P88～93参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」	○親子料理教室	○満蒙開拓座談会	○新春書き初め教室 ○オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサートin竜東中学校

令和元年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul style="list-style-type: none"> ○第57回飯田市公民館大会 ○第43回飯田市民大学講座 ○第38回飯田市女性バレーボール大会 ○飯田市成人式 ○交流と学びの会 	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生講座カンボジア・スタディツアー ○地域人教育 ○青年層向け学習会 		
<ul style="list-style-type: none"> ○北斗のまち・さわやか講座 ○橋北地区文化祭 ○工作・実験体験教室 ○ほしぞら観測会 ○しめ飾り講習会・もちつき交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ○橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」 ○橋北まるごと博物館研究会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○マレットゴルフ教室 ○囲碁ボール交流会 ○ウォーキング講座 ○橋北市民運動会 ○ボウリング大会 	
<ul style="list-style-type: none"> ○伝統・文化継承講座「手の芸の会」 ○おひまち ○しめ縄づくり講習会 ○もちつき大会 ○飯ごう炊さん ○追手町小学校科学実験教室 ○防災講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○橋南史跡めぐり ○橋南史跡ウォーキング ○第34回橋南ウォークラリー大会 		<ul style="list-style-type: none"> ○環境講座「ラベンダースティック講座」 ○「ラベンダーソーブ親子講座」
<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み子ども寺子屋(羽場・丸山・東野地区合同) ○曙の里講座「そばを作ってみよう」 ○お正月のお花を生けましょう ○曙の里講座「年越しそば打ち体験」 ○曙の里講座「書初め大会」 ○冬のお楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ○裏山たんけんウォーキング 		<ul style="list-style-type: none"> ○探鳥会(羽場・丸山地区合同)
<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み子ども寺子屋(羽場・丸山・東野地区合同) 			<ul style="list-style-type: none"> ○探鳥会(羽場・丸山地区合同)
<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み子ども寺子屋(羽場・丸山・東野地区合同) ○独居高齢者学級「五福の会」 ○女性学級「めだかの学校」 ○若草の里東野講座「認知症の話」 ○書初め書道教室 ○明日の東野をつくる集い ○図書館お楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ○若草の里東野講座「紙すき体験」 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで歩かまい!めざせ1万歩 	
<ul style="list-style-type: none"> ○麻績いきいき大学 ○麻績の里体験学校 ○科学実験教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○座光寺探訪 		
<ul style="list-style-type: none"> ○松尾サイエンススクール ○男踊り教室 ○地域いきいきセミナー ○公民館役員研修会 ○分館役員研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○水引教室 		
<ul style="list-style-type: none"> ○ひさかた村塾 ○図書館お楽しみ会 ○クリスマスお楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひさかた和紙講座 ○下久堅地区新年の会 ○ひさかたウォーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ○からだケア教室 ○ヨガ・ストレッチ教室 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○上久堅を学ぶ会 ○ふるさと自然体験2019 ○南信州狼煙リレー ○小学生への方言人形劇指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○男性料理教室「男子厨房に入る」 ○十三の郷ウォーキング事業 	
<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと講演会 ○どんぐりの会読み聞かせ ○おたんじょうび本プレゼント事業 			<ul style="list-style-type: none"> ○ホテル観賞と星空観測

令和元年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
龍江公民館 (P94～98参照)	○乳幼児学級	○食育体験教室 ー季節の野菜づくりー ー大豆・豆腐づくり体験ー ○親子人形劇の会 ○図書館お楽しみ会 ○和紙作り ○地域クラブ ○小学校お助け隊		○人形劇フェスタ観劇バスツアー ○今田人形浄瑠璃の保存と継承
竜丘公民館 (P99～102参照)	○0歳児学校 ○1歳児学級 ○2歳・3歳児学級	○家庭教育講演会	○中国帰国者支援事業「好友会」 (日本語教室)	
川路公民館 (P103～107参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」		○人権教育講座	○川路かるた会
三穂公民館 (P108～111参照)	○乳幼児学級			○伊豆木人形の継承
山本公民館 (P112～118参照)	○乳幼児学級「おたまこ学級」	○親子deクッキング	○二ツ山国際サロン	
伊賀良公民館 (P119～124参照)	○乳幼児学級(0歳児、1歳児)			
鼎公民館 (P125～131参照)	○つくし学級(3歳児学級) ○たんぽぽ学級(2歳児学級) ○いちご学級・りんご学級(1歳児学級) ○さくらんぼ学級(0歳児学級)	○家庭教育講座(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」) ○かなえっこ どっきどきスクール ○保育園・幼稚園・小学校との連携による子育て支援事業 ○鼎の子どもを語る会		○鼎の景観写真コンテスト ○ふるさと鼎コマーシャル ○ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 ○いいだ人形劇フェスタ2019鼎地区公演
上郷公民館 (P132～138参照)	○乳幼児学級	○そば打ち教室 ○子ども料理教室		
上村公民館 (P139～143参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」	○小学校PTA共催講演会	○福祉講演会(健康講座)	○人形劇フェスタ・観劇バスツアー ○しゃくなげ祭(文化祭)
南信濃公民館 (P144～149参照)	○乳幼児学級「すこやか学級」	○小学校PTA共催講演会	○高齢者福祉学級	○ふるさとコンサート ○人形劇団育成事業 ○南信濃地区芸術祭

令和元年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
○ストレッチ体操教室(のびのび元気体操) ○シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)	○郷土を学ぶ学習会 ○龍江ふるさと探検 ○武田信玄狼煙リレー	○健康測定	○水辺の楽校活用・整備
○大人の学校	○竜丘市民大学講座 ○竜丘自由画保存顕彰委員会 ○竜丘古墳の会 ○民俗資料保存事業		
○川路通学合宿 ○第67回天龍峡夏期大学 ○第31回川路の明日を考える研究集会 ○川路若者交流会	○歴史文化セミナー ○世代間交流事業(正月飾りづくり)	○さわやか健康教室	
○高齢者学級 ○ほっとけない楽習会 ○文化セミナー ○ふるさとコンサートin三穂 ○ふれあい夏祭り ○三穂文化祭	○ふるさとめぐり三穂	○ワンバウンドふらば〜るバレー大会 ○お盆ソフトボール大会 ○女性交流スポーツ大会 ○三穂市民運動会 ○冬季ニュースポーツ大会	
○高齢者学級 ○メンズクッキング	○山本学講座 ○ふるさとクッキング		
○かさまつ大学 ○伊賀良みらいセミナー ○平和学習 ○伊賀良公民館特別講演会	○伊賀良を学ぼう〜歴史・文化・自然〜	○男性の料理教室	
○華甲大学(高齢者学級) ○鼎小中PTA公民館合同講演会	○地育力向上講座「ずんずんず〜ん隊」 ○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○古文書講座	○料理教室 ○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○鼎地区体育祭(ベタンク大会) ○鼎地区縦断駅伝大会 ○鼎地区女性バレーボール大会 ○冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば〜るバレーボール) ○ニュースポーツ講習会	○地育力向上講座「ずんずんず〜ん隊」 ○鼎打ち水大作戦
○高齢者学級	○ふるさと学習講座 久遠の会 ○飯田女子高校との料理交流会 ○地域を知る会		○農作業体験教室
○若い衆で地域を語らまいか ○世代間交流事業 ○かみっこお楽しみ会	○小学生霜月祭横笛教室 ○世代間交流事業	○マレットゴルフ大会 ○かみむら大運動会 ○第26回小学生、公民館卓球大会 ○春季スポーツ大会	○自然体験学習
○女性学級 ○図書分館との合同事業	○夏休み子ども見守り事業自磨の時間 ○春休み子ども見守り事業自磨の時間	○南信濃地区野球大会 ○健康増進事業 毎週月曜日はみなみしなの健康の日 ○南信濃ソフトボール大会 ○南信濃地区市民運動会 ○南信濃健康まつり	○ブッポウソウの保護活動 ○自然体験学習

令和元年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
橋北公民館 (P29～34参照)	<ul style="list-style-type: none"> 橋北地区文化祭 いいだ人形劇フェスタ2019 橋北地区公演 文化研修旅行 	<ul style="list-style-type: none"> 囲碁ボール交流会 ウォーキング講座 第42回橋北市民運動会(中止) ボウリング大会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報橋北発行 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭における工作コーナー 第5回橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」 ほしぞち観測会 和菓子づくり体験講座 しめ飾り講習会 もちつき交流会 新春書き初め大会 	<ul style="list-style-type: none"> 橋北・橋南・東野地区成人式 ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野3館合同) 三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野合同)
橋南公民館 (P35～42参照)	<ul style="list-style-type: none"> 飯田人形劇フェスタ2019 橋南地区公演 第24回橋南文化祭 橋南史跡めぐり 橋南史跡ウォーキング 	<ul style="list-style-type: none"> 第34回橋南ウォークラリー大会 橋南ソフトボール大会 第32回橋南連合大運動会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報橋南発行 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> 橋北・橋南・東野地区成人式 ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野3館合同) 三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同) 放課後子ども教室 夏休み子ども教室 しめ縄作り講習会 おひま もちつき大会 飯ごう炊さん 第16回橋南夏まつり 書き初め 天龍太鼓子ども教室 松一獅子舞教室
羽場公民館 (P43～48参照)	<ul style="list-style-type: none"> 夜の講座 かざこしふれあいコンサート(羽場・丸山地区合同) いいだ人形劇フェスタ2019羽場地区公演 羽場地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール大会 ふれあいスポーツ祭 フンバウンドふらば～るバレ－大会 囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> 広報「あけぼの」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> きのこ山保全活動 魚のつかみ取り おやすしめ縄作り交流会 新春お楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> 羽場丸山地区成人式(羽場・丸山地区合同) 丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)(羽場・丸山・東野地区合同) あいさつ標語、ポスターコンクール羽場・丸山・東野地区合同)
丸山公民館 (P49～55参照)	<ul style="list-style-type: none"> いいだ人形劇フェスタ丸山地区公演 かざこしふれあいコンサート(羽場・丸山地区合同) 丸山地区文化祭 おどなのサロン 丸山ぐらす 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール大会 フンバウンドふらば～るバレ－大会 会 丸山地区市民大運動会 囲碁ボール大会 健康講座 	<ul style="list-style-type: none"> 広報まるやまの編集 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ・文化教室指導者・保護者研修会 お正月飾り教室 正月遊び・もちつき体験 親子交流体験事業 丸山地区ウォーキング大会 	<ul style="list-style-type: none"> 羽場丸山地区成人式(羽場・丸山地区合同) まるやま石窯部 丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)(羽場・丸山・東野地区合同)
東野公民館 (P56～62参照)	<ul style="list-style-type: none"> 山菜採り勉強会 文化講座 いいだ人形劇フェスタ2019東野地区公演 第47回東野区民文化祭 東野文化の路探訪会 しめ縄作り お正月行事 	<ul style="list-style-type: none"> ラージソフトボール大会 ファミリーバレーボール大会 フンバウンドふらば～るバレ－大会 会 第30回東野区民運動会 ベタソク大会 囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり会報「ひがしの」の発行(第54～58号) ビデオ収録、編集 	<ul style="list-style-type: none"> 親と子のスポーツ交流会 キッズチャレンジ手作り体験 子どもお楽しみ会 小、中学校卒業記念品の贈呈 	<ul style="list-style-type: none"> 橋北、橋南、東野地区成人式 ふるさとコンサート(橋北、橋南、東野合同) 飯田OIDE長姫高校地域人教育 丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)(羽場・丸山・東野地区合同)

令和元年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
座光寺公民館 (P63～69参照)	<ul style="list-style-type: none"> 座光寺人形劇まつり 座光寺地域文化祭 麻績の里種まき大賞 座光寺地域成人式 大人の体験教室 	<ul style="list-style-type: none"> 春季スポーツ大会 高陵地区ニュースポーツ交流会 座光寺野球大会 座光寺地域市民運動会 地区スポーツ交流月間 健康測定会 冬季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> 広報座光寺発行 広報座光寺お知らせ版発行 	<ul style="list-style-type: none"> もちつき体験 子ども松ガイド お茶摘み体験学習 ホテルを見る会 水辺の広場で遊ぼう 星空観察会 ふるさと体験 子ども科学教室 体験学校まとめの会 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくりフォーラム 親子料理教室 座光寺の子どもを語る会 座光寺の子どもを語る会推進委員会
松尾公民館 (P70～75参照)	<ul style="list-style-type: none"> 親子映画鑑賞会 いいだ人形劇フェスタ2019松尾地区公演 第17回松尾踊ってみよう会 松尾地区文化祭 ゆっきーのマジック&トークショー 松尾地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> 松尾地区市民運動会 ニュースポーツ講習会 分館交流ニュースポーツ大会 分館交流ふらば～るバレー大会 	<ul style="list-style-type: none"> 「まつお新聞」の発行 		<ul style="list-style-type: none"> 松尾地区学習会 公民館役員研修会 分館役員研修会 松尾地区選挙の会
下久堅公民館 (P76～81参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとコンサート いいだ人形劇フェスタ2015 ひさかたウォーキング 下久堅地区成人式 ひさかた和紙の里づくり 下久堅地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ体験会、分館対抗クラブ大会 分館対抗ソフトボール大会 レディースバレーボール大会 常対抗盆野球大会 下久堅地区市民運動会 囲碁ボール大会 冬季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> 「ひさかた」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 魚つかみどり体験 囲碁ボール大会 書き初め教室 	<ul style="list-style-type: none"> 下久堅地区成人式 下久堅放課後子ども教室 ひさかた村塾 ひさかた和紙保存会
上久堅公民館 (P82～87参照)	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラと友に音楽祭2019コミュニティコンサートin竜東中 いいだ人形劇フェスタに向けた学習会 人形劇フェスタ2019上久堅地区公演 上久堅地区文化祭 上久堅を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 竜東中学校地区交流スポーツ大会 分館対抗女性スポーツ大会 分館対抗ソフトボール大会 上久堅地区運動会 冬季スポーツ大会 囲碁ボールリーグ戦 	<ul style="list-style-type: none"> 館報「かみひさかた」発行 館報編集学習会 館報発送サービス事業 第10回上久堅写真展 		<ul style="list-style-type: none"> 分館自主活動 世代交流しめ縄飾り講習会 第27回ひさかたの火まつり 上久堅地区成人式 小学校クラブ活動・総合学習の支援
千代公民館 (P88～93参照)	<ul style="list-style-type: none"> いいだ人形劇フェスタ2019千代地区公演 人形劇フェスタかんげきバスツアー 千代峠交流会 千代地区文化祭 千代地区成人式 ふるさと講演会 	<ul style="list-style-type: none"> 第10回ワリンふらバレー大会 千代地区市民運動会 第6回囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報千代の発行(6回) ふるさとの便り発送事業 	<ul style="list-style-type: none"> 竜東中学校地区交流スポーツ大会 万古溪谷橋の木ツアー ウォークラリー大会 創作教室 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動支援(どんぐりの会、千代の歴史を語る会、万古溪谷会) 社会教育関係団体支援(集いの開催、助成) 図書館事業(おたのしみ会) 公民館エントランス展示

令和元年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
龍江公民館 (P94～98参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いいだ人形劇フェスタ2019龍江地区公演 ・地区文化祭、芸能祭 ・ふるさと探訪 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区市民運動会 ・さくらまつりペタンク大会 ・龍江絆駅伝 	<ul style="list-style-type: none"> ・龍江新聞の発行(毎月) ・龍江新聞地区外発送 ・龍江ホームページ(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・龍江ふるさと探検 ・百人一首、龍江かるた大会 ・水辺の楽校魚釣り、魚つかみ大会 ・食育体験 ・アツグルキッズの森活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・武田信玄狼煙リレー ・龍江地区成人式 ・和紙作り ・地域クラブ活動 ・小学校お助け隊 ・郷土を学ぶ講演会
竜丘公民館 (P99～102参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとコンサート ・いいだ人形劇フェスタ2019竜丘地区公演 ・ニューイヤークンサート ・竜丘地区文化祭 ・竜丘市民大学講座 ・成人式 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季スポーツ大会 ・冬季スポーツフェスティバル ・竜丘市民運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報たつおか発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺の楽校整備作業 ・川で遊び ・竜丘あいさつ運動 ・古墳まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会 ・民俗資料保存委員会 ・特別委員会 ・竜丘古墳の会 ・竜丘児童自由画保存顕彰委員会
川路公民館 (P103～107参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いいだ人形劇フェスタ2019川路地区公演 ・第67回天龍峡夏期大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館対抗ソフトボール大会 ・分館対抗バレーボール大会 ・川路地区運動会 ・川路ファンら大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報かわじ発行 ・広報紙づくり研修会 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・川路地区成人式 ・川路の明日を考える研究会
三穂公民館 (P108～111参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとコンサートin三穂 ・ふれあい夏祭り ・三穂文化祭 ・文化セミナー ・ふるさとめぐり三穂 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンバウンドふらばへるバレー大会 ・お盆ソフトボール大会 ・三穂市民運動会 ・冬季ニューススポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報「みほ」の発行 ・新春放談会 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとけない楽習会 ・女性交流スポーツ大会 ・三穂地区成人式
山本公民館 (P112～118参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・山本地区ウォーキング ・人形劇フェスタ2019山本地区公演 ・ふるさとアート交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館対抗スポーツ大会 ・体力促進会 ・山本地区市民大運動会 ・軽スポーツフェスティバル 	<div></div>	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・山本地区夏祭り ・武田信玄狼煙リレー ・山本地区成人式
伊賀良公民館 (P119～124参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いいだ人形劇フェスタ2019伊賀良地区講演 ・ふるさとゲームウォーキング～中村の巻～ ・伊賀良地区文化祭 ・伊賀良地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀良地区交流ペタンク大会 ・分館対抗夏季スポーツ交流会 ・山本地区との交流会 ・伊賀良地区大運動会 ・分館対抗冬季スポーツ交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報いがら発行 ・米寿記念写真撮影、贈呈 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設運営委員会、調整会議 ・展示コーナー運営委員会

令和元年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
県公民館 (P125～131参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと再発見ワンデーマーチ ・いい大人形劇フェスタ2019 ・県打ち水大作戦 ・ふるさと県ふれあい広場・文化祭 ・県の景観写真コンテスト ・県地区成人式 ・ふるさと県コママシヤル 	<ul style="list-style-type: none"> ・県地区体育祭(ペタング大会) ・県地区縦断駅伝大会 ・県地区女性バレーボール大会 ・県公民館長杯冬季スポーツ大会 ・ニューススポーツ講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民館報かみなえ」の発行 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の学習活動支援 ・県の子どもを語る会
上郷公民館 (P132～138参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・上郷地区文化祭 ・上郷地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> ・高陵地区スポーツ交流会 ・春季スポーツ交流会 ・夏季スポーツ交流会 ・上郷地区大運動会 ・冬季スポーツ交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報かみなえ」と「発刊事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 ・野底山森林公園まつりへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習講座「久遠の会 ・いい大人形劇フェスタ上郷地区公演 ・高松の丘音楽会 ・小学校音楽鑑賞教室 ・地域づくりフォーラム ・分館役員研修会 ・地域を知る会 ・上郷歩こう会
上村公民館 (P139～143参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いい大人形劇フェスタ2019上村地区講演 ・しゃぐなげ祭(文化祭) ・遠山地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフ大会 ・かみむら大運動会 ・第26回小学生、公民館卓球大会 ・春季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「館報かみなえ」発行 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い衆で地域を語らまいかい ・地域の子育ての将来を考える会 ・乳幼児・保育園児保護者座談会(子育てクラブ チロル) ・自磨の時間ー遠山郷ESD塾
南信濃公民館 (P144～149参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いい大人形劇フェスタ2019南信濃地区公演 ・ふるさとコンサートinかぐらの湯 ・星空観祭会 ・映画試写会 ・遠山地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> ・南信濃地区野球大会(盆野球) ・南信濃ソフトボール大会(御射山ソフト) ・南信濃地区市民運動会 ・ニューススポーツ交流会 ・みなみしなの健康まつり ・毎週月曜日はみなみしなの健康の日(ウォーキングほか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報やまなみの発刊 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自磨の時間ー遠山郷ESD塾
Aブロック公民館 (P150参照)		<ul style="list-style-type: none"> ・旧市5地区野球大会 ・丘の上5地区囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aブロック広報・館報研修会 	<div></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・Aブロックシニア・レディーズソフトボール大会 ・Aブロック女性バレーボール大会 ・Bブロック館長・主事学習会
Bブロック公民館 (P151参照)					
Cブロック公民館 (P151参照)					<ul style="list-style-type: none"> ・Cブロック情報交換会
Dブロック公民館 (P152参照)		<ul style="list-style-type: none"> ・Dブロックバドミントン大会 ・Dブロック交流スポーツ大会 		<ul style="list-style-type: none"> ・Dブロック小学生交流会 	

飯田市公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	トライアングルフリーマーケット		市費	継続	2	805	400	2,927	5月29日・10月30日	飯田市運動公園
	目的	主に子育てに関するアイテム(衣料・靴・おもちゃ等)のリユース・リサイクルをはかる。	【総括と今後の方向付け】 出店は、春・秋ともに定数40店舗を上回る申し込みがあった。春は出店数46組99人、秋は47組106人、来場者約300人。出店者の多くは子育て中の母親で、使わなくなった子どもの衣類やおもちゃ等のリサイクルやリユースを促す一助となっている。参加者には仕事をしている人も多く、他の事業に参加をどう促すかが今後の課題							
		子育てネットワークトライアングルが毎年春・秋の2回行うフリーマーケット。子育て世代のリサイクル・リユースを推進するとともに、交流の場となることを目的としている。公民館では、出店申し込みの受付、当日の会場準備等をサポートしている。	評価							
学級・講座	トライアングル妊婦さん向け講座		市費	継続	6	39	13	2,927	【初夏】6月～7月【初冬】11月～12月	羽場公会堂
	目的	3回連続講座を夏1回・秋1回開催。どちらもママの為のストレッチ、ベビーズ製作、助産師さんや他の参加者と出産の相談や出産後の子育てなどについて話し合う機会とした。 【初夏】「赤ちゃん和我的時間」 ①6月17日「マタニティストレッチ」講師：宮澤恵子氏（助産師） ②6月24日「スタイ作り」講師：本村綾子氏 ③7月1日「おしゃべりしましょう」講師：松原千尋氏（助産師） 松村由美子氏（子育てアドバイザー） 【初冬】「赤ちゃん和我的時間」 ①11月11日「マタニティストレッチ」講師：宮澤恵子氏 ②11月25日「スタイ作り」講師：本村綾子氏 ③12月2日「おしゃべりしましょう」講師：松原千尋氏、松村由美子氏	【総括と今後の方向付け】 毎年変わらず人気の講座となっており、出産の度にリピーターで受講している方もいる。 初冬の会では参加3組となったが、受講したいがお産に重なったなどタイミングと開催期間が合わないこともある。飯田に引っ越してきて、知り合いもいなくなったり、知り合いになれて嬉しかった。といった声が寄せられた。 妊婦さんが抱える出産・育児への漠然とした不安を少しでも解消し、安心して出産・育児に向かえるよう、今後も継続して支援したい。							
		出産や育児等の不安を解消し、飯田で安心して出産・育児に向かっているような妊婦期を過ごしてもらおう。	評価							
学級・講座	トライアングル子育て講座		市費	継続	3	21	7	2,927	9月30日・10月7日・10月21日	伊賀良公民館
	目的	乳幼児を持つ親に向けて3回連続講座を開催。心からだをリフレッシュし、明日からの子育てをもっと楽しく、やりがいを感じてもらう機会とする。 ＜開催概要＞ 「子育てエッセンス」 ①9月30日「遊びの中で脳は育つ」 講師：杉山 愛さん（100均知育インストラクター） ②10月7日「おもちゃを作ろう！」 講師：子育てネットワークトライアングル ③10月21日「私と子どもとみんなのカンケイ」 講師：井坪 まゆみさん（『まなびと』代表）	【総括と今後の方向付け】 参加者それぞれが自分と子育てを見つめる機会となった。「いたずらにに対してやめさせることばかり考えていたが、そこに学びのチャンスがあるのだと知り、いたずらに対する見方が変わりそう。」「家になる身近な物がおもちゃになることがわかり、買わずに子供と一緒に探してみようと思った」「難しいと思ったが意外と簡単にできてよかった。」「皆さんと話せて安心できた」といった感想が寄せられた。 保育園・幼稚園にあがれば、そこからの支援が受けられるので、トライアングルでは今後もそれ以下の方を対象にした講座を担う予定で、市公としてもサポートしたい。							
		未就学児を持つ親を対象に、日々の子育ての中で、親子が生き生きと自分らしくいれる為に大切なことを学ぶ機会とする。	評価							
学級・講座	子育て情報誌「おひさま」の編集・発行		市費	継続	4	24	1100部発行	2,927	5月・9月・11月・3月	飯田市公民館
	目的	“子育て中だからこそできること”をキーワードに、子育てネットワークトライアングルのメンバーが2ヶ月に1回手書きで編集・発行している。今年度は109～112号を発行。市内公共施設や病院、つどいの広場などへ設置している。 109号特集「おでかけひと工夫」 110号特集「飯田・下伊那の魅力再発見！！」 111号特集「みんなの夢 あつまれ～」 112号特集「春です おでかけしましょ」	【総括と今後の方向付け】 平成9年の創刊から休むことなく発行している。毎号メンバーがしっかりと取材した情報を載せており、子育て中の方々が楽しみにしている。今後も引き続き支援したい。							
		子育てに関する情報を発信する。	評価							

飯田市公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育てサークル交流会	市費	継続	1	56	56	2,927	3月2日	松尾公民館
	実 施 内 容	<p>子育てサークルによる「親子運動」「かんたん工作」「サークル活動を活かして他のサークルの方にも体験してもらいます。トライアングルによる「手形アート」「お絵描きコーナー」「サークル活動の悩みを相談できる相談コーナー」も設ける。参加サークルの活動がわかる様に活動内容を模造紙などにまとめ展示する。コロナウィルス感染拡大防止のため中止。</p>							
学級・講座	目 的	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度はサークル参加者の交流会を実施。交流会には市内で活動する自主子育てサークル4団体50人の申し込みがあり、他の活動の体験や展示を通して情報交換をしてもらう。昨年度参加したサークルが、今までやっていなかった事へ挑戦したという事例もあった。 評価 自主活動を行う子育てサークルは減少傾向にあるが、自主的に活動するからこそ得られるもの、子どもに伝えられることがあるとして、今後も支援が必要だが、開催形式などは検討が必要</p>							
	実 施 内 容	<p>子育てサークルによる「親子運動」「かんたん工作」「サークル活動を活かして他のサークルの方にも体験してもらいます。トライアングルによる「手形アート」「お絵描きコーナー」「サークル活動の悩みを相談できる相談コーナー」も設ける。参加サークルの活動がわかる様に活動内容を模造紙などにまとめ展示する。コロナウィルス感染拡大防止のため中止。</p>							
学級・講座	日本語教室わいわいサロン	市費	継続	45	360	8	2,256	毎週木曜（通年）	飯田市公民館
	目 的	<p>飯田下伊那地域に暮らす外国人が日本語を学び、地域の人々の交流する場所として開催。いつでもだれでも気軽に参加でき、日本語の学習を柱としている。 外国人がこの地域で暮らすために必要な教育、就労、生活全般に欠かせない情報を日本語を日本語を学びながら提供している。</p>							
学級・講座	サポーター/コーディネーター講習(クレア助成事業)	他会計	継続	5	60	12	100,791	2月2日(日)	飯田市役所
	目 的	<p>地域日本語コーディネーターを講師に招き、この地域の外国人について、日本語教育の必要性、日本語教室の概要、支援に対する心構えについてガイダンスを行い、実際の講座の組み立て方、教案作成などを学び、チームに分かれての講習を実施。参加者同士のグループワークも行った。また地域にあるいくつかの日本語教室へ見学と体験を実施した。</p>							
学級・講座	日本語教室わいわいサロンⅡ県教室(クレア助成事業)	他会計	継続	8	172	20	2,256	毎週月曜(通年)	県公民館
	目 的	<p>日本語教育を柱に、この地域で暮らすために必要な情報を提供し、学び合う場としている。「健康なくらしと防災」をテーマに、病院や薬局でのやりとり、健康情報、防災・減災についての知識、健康な食事についての講座を展開した。</p>							
学級・講座	日本語教室わいわいサロンⅡ松尾教室(クレア助成事業)	他会計	継続	10	75	7	2,256	毎週水曜(通年)	松尾公民館
	目 的	<p>デジタルストーリーテリングの手法を使ったフォトムービーを作成する。テーマを「〇〇さんへの手紙」として、大切な人への手紙を書く形式で、日本語を学びながら原稿を作成し、内容にちなんだ写真を選び、ナレーションを学習者自身で行う。成果物は2月2日の学習成果発表会で上映した。</p>							
学級・講座	日本語を母語としない人が、日本語を学び、地域の人が交流する	<p>【総括と今後の方向付け】 日本語を学ぶだけでなく、暮らしに役立つ情報や知識が得られることで、外国人住民から支持されている。支援者にとっては日本語学習の支援という地域貢献とともに、異文化交流の場として、大切な居場所となっているため、来年度も継続して実施したい。</p>							
	目 的	<p>【総括と今後の方向付け】 日本語を学ぶだけでなく、暮らしに役立つ情報や知識が得られることで、外国人住民から支持されている。支援者にとっては日本語学習の支援という地域貢献とともに、異文化交流の場として、大切な居場所となっているため、来年度も継続して実施したい。</p>							

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	日本語講演会「やさしい日本語」ではなそう(クレア助成事業)		他会計	新規	1	17	17	100,791	8月17日(日)13:00～16:00	飯田市公民館
	目的	外国人や高齢者などに 関わる日本人を対象 に、「やさしい日本語」に ついての講演会とワー クショップを実施する。	【総括と今後の方向付け】 今年度は1回の開催となったが、来年度も「やさしい日本語」をキーワードに開催したい。 評価							
		実施内容	外部から講師を招き、「やさしい日本語」についての講演会とワークショップを実施。市の広報などでも幅広く周知した結果、日本語教室の支援者だけでなく、新規のボランティアの獲得につながった。 講師：伊那養護学校 教諭 関井朱美氏							
学級・講座	学習成果発表会(クレア助成事業)		他会計	継続	1	40	40	100,791	2月2日(日)13:00～15:45	飯田市役所
	目的	学習者が、日本語教室 で学習した内容につい て発表し、地域に住む 外国人、日本人が交流 する。	【総括と今後の方向付け】 例年開催しているが、単なる学習成果発表だけでなく、国際交流団体や日本語教室の関係者が交流し、地域における多文化共生を考える貴重な時間として、今後 も継続していきたい。 評価							
		実施内容	松尾教室で作成したフォトムービーの上映のほか、参加者同士のグループ トークやゲームを通じて、交流する。また地域の日本語教室や国際交流団体の 代表者による、活動報告や、情報交換をする。また初の試みとして様々な 国のハンドメイド作品を展示する。							
学級・講座	第43回飯田市民大学講座		市費	継続	8	632	120	100,791	9月～11月	飯田市公民館ほか
	目的	市民を対象に、郷土の 歴史や自然・風土を始 め幅広く学習すること で、教養を得るとも に、ふるさと飯田のすば らしさを再認識し、この 地域の将来展望につい て考える機会とする。	昭和52年に開講して以来43年目を迎えた。昭和60年度から「伊那谷の自然 と文化」シリーズが始まり、今年度も、伊那谷をエリアに自然・文化・歴史・人 物など幅広く取り上げ8講座を開設した。講座の企画・運営は12名で構成す る運営委員が担っている。 〈開催概要〉 テーマ：伊那谷の自然と文化Vol133 ～郷土の先人に学ぶ～ ①9/12 「私の地名調査」 ～伊那谷南部の災害地名調査を終えて 伊那谷地名研究会 会員 今村理則氏 ②9/20 二つの祖国に生きて ～満蒙開拓と地域コミュニティ～ 飯田市立旭ヶ丘中学校 教諭 大橋春美氏 ③9/27 食べて健康長寿・幸福長寿 旭松食品株式会社 研究開発統括部長兼研究所長 村澤久司氏 ④10/7 古代の役所「国史跡 恒川官衙遺跡」を掘る ～“2000年浪漫の郷”をめざした地域の保存継承活動～ 生涯学習・スポーツ課 文化財活用担当専門主査 坂井勇雄氏 座光寺地域自治会 歴史に学ぶ地域をたずねる会 小島稔氏 ⑤10/15 「環境と観光と地域づくり」～天竜川鷺流峡復活プロジェクトの取組 から～ 天竜川鷺流峡復活プロジェクト 代表 曽根原宗夫氏、長野原竹苗の会 ⑥10/21 飯田・下伊那の歴史と景観 ～文化的景観の考え方と実践～ 飯田市歴史研究所 研究員 福村任生氏、羽田真也氏 ⑦10/30 飯田市美術館特別展 「60年前の記憶 遙かなる遠山郷」 ～塚原琢哉写真と民俗～ 飯田市美術館 学芸員 櫻井弘人氏 ⑧11/7 島崎藤村著『夜明け前』で読み解くリニア時代 飯田市美術館 専門研究員 青木隆幸氏							
		実施内容	評価							

飯田市公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第57回飯田市公民館大会		市費	継続	1	550	100,791	2月16日	飯田市公民館
学級・講座	目的 公民館関係者、市民一般を対象に一年間の活動を総括するとともに、公民館が担う役割を確認する機会とする	実施内容 テーマ「"関わりつながら学びあう"心豊かな暮らし・地域をめざして～今、改めて自治を考える～」併催：第35回ムトス飯田学習会 1 開会行事 教育功労者表彰、第35回ムトス飯田賞表彰ほか 2 全体会 基調講演 岩本悠氏 (地域・教育魅力化プラットフォーム) 演題 「地域の未来を担う人づくり ～子供と大人の学びを考える～」 3 分科会 ・第1分科会 「子どもに関わる「私たち」について語ろう」 ・第2分科会 「高校生や若者に対して、私たち大人はどうありたいか」 ・第3分科会 「あなたにとっての人形劇フェスタって何ですか？」 ・第4分科会 「ありがとね」と「お互いさまなあ」 ・第5分科会 「地域住民が楽しく集う公民館(分館)活動」 ・第6分科会 「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう！」	評価 【総括と今後の方向付け】 令和の幕開けとなる本年度では、人口減少・少子高齢化が進み、さらにニアリ時代を迎え地域が大きく変貌しようとしている当該地域において、私たちがより良い暮らしや豊かな人生を実現し、未来を切り拓くための学びについて考えるとともに、この地域の地域が大事にしてきた自治の精神について、今一度考え合うことを目的に開催した。 基調講演では、高校と地域をつなぎ、互いの学び合いから次世代を担う人材を育む鳥根県の取組みから、地域の子どもに関わる大人の姿勢について考えあうことができた。 また、分科会では、当事者意識や自治意識を育む公民館の役割について6つのテーマで情報交換をした。企画にあたっては、館長と主事が常に目的を共有しながら進めることに努めた。参加者が、基調講演や分科会を通じて感じたことを、各地区の今後の活動の充実につなげていきたい。 今回の組立は、次世代の地域づくりを担う人づくりに欠かすことのできない重要な視点であることから、今後の大会もこの視点を取り入れていきたい。						
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	市費	継続	7	112	16	3,000	10月～6月	飯田市公民館他	
	高校生講座「カンボジア・スタディツアー」		市費	継続	7	112	16	3,000	10月～6月
学級・講座	目的 飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会やカンボジアでの学びを通じて、社会の観方について、視点を持つ、また、社会の一員としての自身のあり方を考える時間をつくる。	実施内容 平成25年度から海外への派遣研修を実施し今年で7年目の取組。 ■全体学習会 ①10/22 参加者及び保護者説明会(第1回) カンボジア調べ学習一発表 「カンボジア支援について」講師：伊澤宏爾さん ②11/4 「飯田市長から学ぶ」講師：牧野光朗 飯田市長 ④12/1 「国際社会・地域社会の見方、私たちと国際」講師：大濱裕 日本福祉大学准教授 ③12/22 「カンボジアの現状を知る」講師：中居美穂子さん(株式会社ピース・イン・ツアー職員) ⑤1/19 「伝統の森、森本喜久夫さんについて」講師：伊澤宏爾さん ⑥2/10 「持続可能な社会と教育についてディスカッション」講師：代田昭久 飯田市教育長 ■グループ学習(地区公民館主事がコーディネート) ・3グループに分かれ、地元飯田を学ぶための学習を行う。 【以下、新型コロナウイルス感染症対応により延期・中止】 全体学習会⑦3/1 事前学習(地域学習)成果発表 " ⑧3/8 「旅行の準備」(緑の基金の皆さんとの顔合わせ) ■現地研修 3/20～3/26 カンボジア スタディツアー	評価 【総括と今後の方向付け】 事前学習は、全員で共通の学習を進める全体学習会(月1回程度)と、全体学習での話を受け、3グループにわかれて地域の現場に出るグループ学習(月数回程度)を実施。 全体学習では、カンボジア現地を知る講師の皆さんや支援活動を行っている皆さんからの具体的な話と、日本やカンボジアも含めて、社会の観方についてのお話を聞き、感覚的なものから一歩踏み込んで、社会を観るということをより意識しながら学習を進めることができるような組立てにした。 グループ学習は、地域の物事の裏側にある「人」や活動の入口(＝まずは知るこ)として、地区公民館主事がコーディネート。現地に向くことで得られた多様な雑多な情報を整理し、なぜその地域ではそのような活動をしているのか、できるのか、どのような意味があるのか、その経験が自分たちにとってどのような意味があったのかを見出していくための支援を行った。(テーマ：驚流峡復活プロジェクト、遠山霜月祭、飯田の自然を生かした活動) 準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症への対応のため、やむを得ず現地研修を延期し、令和2年夏以降の実施を模索することとした。これまで高校生が一生懸命学習してきたことを生かせるような取組みとしたい。						
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	市費	継続	7	112	16	3,000	10月～6月	飯田市公民館他	

飯田市公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	第44回公民館コーラスグループ発表会		市費	継続	1	380	19グループ	2月23日	飯田市公民館	
	目的	【総括と今後の方向付け】 各地区公民館で活動しているコーラスグループが一堂に会し、日頃の練習の成果を発表する機会。参加グループで実行委員会を組織し、計画段階から当日の運営まで実行委員会の主体性を大切にしながら実施する。 第1回実行委員会…運営体制、役割、日程等について確認する。 第2回実行委員会…プログラム内容、練習日程等最終的な調整を行う。 第3回実行委員会…反省と総括をし、次年度の方向性を確認する。								
		実施内容								
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第38回飯田女子バレーボール大会		市費	継続	1	170	11チーム	11月17日	上郷体育館他	
	目的	飯伊ママさんバレーボール連盟に協力いただき、参加チームの主体性を大切にしなが実施する。 【方式】予選リーグ・決勝トーナメント 【結果】優勝：東野、準優勝：座光寺 第3位：龍江、伊賀良								
		実施内容								
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	交流と学びの会		他会計	継続	30	190	49	—	通年	飯田市公民館他
	目的	【交流と学びの会への支援】 ・総会、役員会 ・講演会の開催 「問われる 地域自治」～地域の自立 個の自律～ 講師 JICA PLSD研修コースリーダー 大濱 裕氏 ・JICA PLSD飯田研修受入れ ・文化祭への参加(竜丘・上久堅・駄科)、国際交流のタベ参加 ・JICAPLSD研修受入20周年記念誌の発行 編集作業(23回)を学習の機会と捉え、地域自治と国際交流について考える契機とした。元気づくり支援金を活用し、300部発行。								
		実施内容								
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯田市成人式		市・地	継続	1	880	—	1,318	1月12日	飯田市公民館他
	目的	居住地区、出身地区を基本単位に全市一斉に開催する。開催単位ごとに成人式実行委員会を組織し、地域を挙げて新成人を祝福するとともに、新成人自らが成人式の企画運営に関わることで、一生の思い出に残るような成人式となるように取り組む。新成人が実行委員会の活動を通じて地域を知り、地域とのかかわりを持つといった「学習の機会」と位置づけ、各公民館で様々な地域学習の機会をつくり、その内容を成人式記念誌「Wish」に「地域の魅力再発見」として掲載する。 ※合同開催：東中学校区、西中学校区、遠山中学校区								
		実施内容								

飯田市民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域人教育		市・地	継続	30	2,400	80	4月～3月	飯田市民館他
その他	高校生のふるさと意識や社会貢献意識の醸成を図る取り組みを研究する	【総括と今後の方向付け】 生徒たちの「自ら考え行動する力」を育むことを目的として実施しており、高校の授業に地域の力が加わる地域人教育は、学校教育として、商業教育として、また社会教育として全国的に見ても先進的な取組である。 学校教育で身に着けた知識を実社会で経験的に活用することを通して、高校生一人ひとりの育ちとそこに関わる地域の大人の意識醸成の双方が実現できるこの取組の意義は大きい。その効果は、いかに現場レベルでの実践において、その時々々の高校生・地域の状況に合わせた事業展開ができるかに大きく左右される。昨年度に引き続き今年度も担当地区公民館の主事でPJ体制をとり、社会教育としての強みや高校教育と連携することの意義など、高校生の学びを中心に据えて考え取り組んだ。 協定締結から8年経過。来年度は、公民館の関わり方(意義・体制)を改めて整理し、継続性が担保できるような仕組みを検討する必要がある。また、高校生が地域に学ぶことの、地域にとつての意味をより明らかにしていきたい。地域にとつては、高校生と関わることを契機として、自身や地域について見つめなおし、今後の活力になっていく可能性を持っている。							
	評価								
青年層向け学習会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		市費	新規	8	64	8	8	11月～3月	飯田コアカレッジ他
その他	飯田コアカレッジの学生を対象に、これから暮らす飯田下伊那についての理解を深める機会をつくる。	飯田コアカレッジの授業「マネジメント」の一環として、地域への理解や魅力発見の部分について公民館が協力することとなり実施した。公民館としては、関わりが薄い10代後半～20代の青年層に対して、どのようなことができるか研究するための試みでもあった。主事会プロジェクトと連携して実施。 ①11/5 顔合わせ、飯田の人や活動について紹介 ②11/26 ひさかた和紙体験、下久堅地域について知る 講師：ひさかた和紙保存会 原豊さん、青島智香子さん ③12/3 前回学習の振り返り、今後の取組みについて話し合い ひさかた和紙を使い、オリジナルのお守りをつくり、学生自身にとつて大切な人へ贈ることを決定。 ④12/10 今後の活動について原さんたちに相談。助言を頂く。 ⑤12/17、1/14、1/21 和紙づくり作業、お守り制作 ⑥1/28 これまでの学習会まとめ ⑦3/1 成果発表として、下久堅公民館にお守りや感想を展示。							
	評価								

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	定例館長会及び幹事会		市費	24	360	22	22	毎月1回	飯田市公民館他
	20地区公民館の館長が、飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を図る ＜定例館長会＞ ①公民館の役割、館長の職責について議論し整理する ②全市共同事業の組立てや情報共有を図る ③地区館事業の情報交換を行う ＜幹事会＞ ①定例館長会の議題を協議、整理し方向付けを行う	・8月、11月を除く1回、午前幹事会、午後館長会を開催。 ・飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を行うとともに、各地区事業の情報交換、情報共有を行った。 ・通年で行う館長会の協議テーマとして、「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる～学校との協働の取組を通して～」を掲げ、地区公民館からの話題提供を通じた研修、協議を実施した。 ＜研修内容＞ ○10・12・1月・2月 研究テーマに沿った各地区事例に基づく情報交換会 ○5月 公民館の基礎知識 改めて公民館の役割を考える。 ○6月 地域学校協働活動と飯田コミュニティスクール学習会 ○7月 館長・主事合同研修会 他団体（教頭会）との合同研修「地域学校協働活動について」 ○8月 8/27-28 研修視察 尼崎市長、派遣職員6人との懇談 ○9月 成人式のあり方について ○11月 南信地区公民館運営協議会研修兼郡市合同館長・主事会研修会・交流会（当番：飯田市） 飯田美術館見学、講演「天竜川流域に存在する民俗芸能」 ○3月 年間総括	【総括と今後の方向付け】 連絡調整や意思決定の機会として毎月半日開催を原則としている。 今年度も館長会における研修テーマを設定し、各地区の取組の話題提供による研修・協議や関係団体との懇談を通じて、改めて社会教育機関としての公民館の役割や館長の職責について認識を深めることができた。 特に、今年度は約半数近くの館長が新しく就かれたため、前半は公民館の役割や飯田コミュニティスクールや地域学校協働活動についての理解を深める研修に努めた。 今後も、社会教育機関としての公民館や館長の役割についての情報交換や研修を引き続き行い、各地区における公民館活動を充実させていきたい。	評価					
その他	幹事会及び主事会		市費	24	384	25	25	幹事会、定例主事会ともに毎月1回	飯田市公民館 他
	飯田市公民館事業の企画・運営・調整を図る ＜幹事会＞ ①定例主事会の議事の組み立てを行う ②定例主事会で決まらなかったことに関して検討を行う ③ブロック主事会やプロジェクトへの情報提供及び意見集約を行う ＜定例主事会＞ ①業務に必要な情報の共有を図る ②研修等を通じて主事としての専門性を高める ③各館の情報共有を行う	幹事会：主事会を活性化し、事前の組み立てを行う場 定例主事会：午前 事務連絡と全市的な事業の企画・運営・調整等 午後 研修（下記参照）と情報共有 5月…自分たちの仕事を関係法令から考えてみよう 担当：鈴木、熊谷健 6月…コミュニティスクールにおける公民館の役割とは（7月教頭会館長会主事会合同研修に向けた） 担当：三船・久保田・小池・宮田・片岡 7月…飯田コミュニティスクールについて学校と公民館が共通認識をもつ場を設ける、それぞれの役割を考えあう機会とする（教頭会館長会主事会合同） 8月…プロジェクト中間報告 9月…「人権」って何だろう？ 担当：Bブロック 10月…見直そう！広報委員会への関わり方を考える（館報） 担当：Aブロック 11月…公民館が子どもたちにもできること ～主事は何を願うのか～ 担当：熊谷祐、三船、熊谷健、亀井、宮田、片岡、講師：田中清一先生（学校教育課指導主事） 12月…公民館の目的と主事の役割 担当：Dブロック 1月…主事は何を信じてその職務に取り組んでいるか 担当：Cブロック 外部講師：青木参事 2月…主事同士の意見交換を通じて大切な視点を共有する 担当：三船、熊谷健、片岡、新井	【総括と今後の方向付け】 ＜幹事会と定例主事会＞ 定例主事会での協議が長引き、消化不良の協議事項が出てしまうことがあった。原因の一つが幹事会であったことは反省しなければならぬ。主事個人においても、報告連絡事項において全体で共有すべきことは何か、協議事項でポイントになる部分はどこなのかといったことをまず自分自身が常に考える姿勢を持ちたい。 ＜主事会研修＞ 各ブロックが担当したことにより、「研修を組み立てる」経験が全員できたことはよかったが、期限が迫りあわてて計画した研修もあった。それは結果的に、外部講師を招いて外の知見に触れるような研修があまりできなかったことにもつながっている。計画的に行うには、例えば年間の研修計画と担当について、5月主事会研修の枠を使ってみんなで考え担当に振るというやり方でもよい。 ＜今後の方向付け＞ 主事会という組織については、主事としての力量を高める場であるという認識がそれぞれ主事にあったと感じる。主事会は単なる事務連絡の場ではなく、主事同士が真剣に意見を交わす「相互学習」により、お互いの力量を高めてあげ「研鑽の場」である。主事会が「参加する（学ばせてもらう場）」ではなく「全員で作り上げる（学び合う場）」であるという意識を持ち続けたい。	評価					

飯田市民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人形劇プロジェクト	他会計	継続	24	192	8	8	通年	地区公民館
その他の	人形劇プロジェクト	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>○活動目標 (1) 「地区公演の円滑な運営の支援をする」に対して会場責任者会では事例発表者から、具体的実践だけでなく運営プロセスを通じて実行委員としての意識変化について発表してもらうことで、地区実行委員のスタートを後押しする機会とした。プレフェスタでは、乳幼児を対象とした公演やワークショップを実施するなど、目的ごと多様な公演を実施し、公演の可能性を地区実行委員に示すことができた。</p> <p>○活動目標 (2) 「関わる人の想いを具現化する取り組みを推進する」に対してオリジナル企画は新規企画の申請が半数以上を占め、地区が主体的に取り組む企画の支援ができた。一方、人形劇との関連性が見えにくい企画もあり、要項・様式の改訂を行うことで改善を図った。バス電車ツアーは新たな開催地区として山本が加わり、交通支援や子どもの成長などを意識した取り組みを支援した。</p> <p>○活動目標 (3) 「人形劇フェスタにおける「交流」の可能性を検証する」について交流を通じて目指す「フェスタに関わる人物像」を検証し、それに向けたPJとして活動を検討していくことが重要だと考え、取り掛かりとしてフェスタの現状分析を行い、そこからフェスタを通じて目指すことを整理した。</p> <p>今後の方向性として、既存の企画のほか、新たな主体を巻き込むような取り組み（学生が関わる機会づくり、劇人アンケート）を充実させ、主体的に関わる人を育むための土台づくりを推進することで、参加者が関わる人の想いに触れ成長できる機会の実現を目指していく。</p>							
	青年層プロジェクト	市・地	新規	16	128	8	8	通年	地区公民館
その他の	青年層プロジェクト	<p>【成果】</p> <p>ミニプロジェクトで2つに分かれて活動し、飯田コアカレッジでの取り組みから、青年層が地域を知ることでどのような学びがあるのか、そのためにどのような点に気をつけたかをまとめた。成人式の一連の取り組みの現状を整理し、課題や各館で行っている工夫を整理した。また、成人式を学習の機会であると改めて確認した。2つの取り組みから、次年度以降の成人式実行委員会活動に取り組みにあたっての参考となる資料を作成した。</p> <p>【総括と今後の方向性】</p> <p>青年層の学習の機会をどうしたらより良くなるかをまとめることができたが、関わり方については研究しきれなかった。</p> <p>今後は、成人式実行委員会などの青年層と関わる事業で、PJで作成した資料を参考にしなが、青年層により良い学習の機会を提供していきたい。</p>							
	青年層プロジェクト	<p>（1）地域のために動かれています青年層2人への聞き取りお2人の話から「みんなで作る経験」「人となることが良かったと感じる経験」が必要ではないかと仮説を立てた。</p> <p>（2）2つのミニプロジェクトに分かれ実践</p> <p>①飯田コアカレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITビジネス学科の1年生のマネジメント授業内で実施（11月～1月） ・学生の興味関心から、ひさかた和紙を入り口に下久堅を学ぶ ・ひさかた和紙保存会の原さんの相談しながら、ひさかた和紙を使ったお守り作り <p>②成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック主事会での聞き取り ・成人式実行委員会OB・OGへの聞き取り ・主事会での成人式の振り返り 							

[illegible]

橋北公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(2歳児)学級		市・地	17	109	17	53	実施内容参照	橋北公民館ほか
学級・講座	2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合いの場、親同士の交流の場を作り、子どもの健全な成長を図る	東中学校区3館合同中で、橋北が2歳児を担当。内容は学習と交流に重点を置き、参加保護者とも相談し決定。 【開催概要】 ①5/14開講式 ②6/4小麦粉粘土遊び、ゆいぎずずのお知らせ ③6/18飯田動物園へGO! ④7/2図書館へお出かけ・読み聞かせ ⑤7/16わらべうたでふれあおう ⑥9/4みんなであそぼう ⑦9/17リトミック、みんなであそぼう ⑧10/9リトミック、みんなであそぼう ⑨10/17消防署の見学 ⑩11/6秋のミニ運動会 ⑪11/13絵本の読み聞かせ ⑫12/3Xmas会の準備 ⑬12/18Xmasパーティー ⑭1/7お正月遊びをしよう ⑮2/5みんなであそぼう ⑯2/18記念品づくり ⑰3/3開講式【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】	市・地	17	109	17	53	【総括と今後の方向付け】 保育士、保健師、公民館の運営側3者で講座の目的や意義を共有し、開講式では受講者親子とも一緒に約束事などを確認してスタートできたことは良かった。また、3地区での合同開催であることを意識し、異年齢の乳幼児学級との合同開催を多く盛り込み、参加者親子の交流を図った。少子化が進む中で、3地区での合同開催にもかわらず、年々対象者、参加者とも減少している課題はあるものの、今後子ども、子どもの成長段階に応じた内容を提供できるように、保育士、保健師、公民館とが連携しながら実施したい。	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き「地域を知ること」を大切に、地区に密着したテーマや関係する方々に講師となってもらった講座を多く設けた。また、まちづくり委員会の健康推進部と共催した健康をテーマとする3回の講座は、高齢化が進む受講者から好評であり、引き続き地区住民のニーズに合った講座が開催できるよう、連携を続けていきたい。加えて、受講者の高齢化が進むなかで、今後は新たな受講者が増えるような工夫した講座内容の検討も必要である。
	評価	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	北斗のまち・さわやか講座		市・地	10	182	36	2,953	実施内容参照	橋北公民館ほか
学級・講座	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場づくりを目指す	月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習した。 ①4/26 和太鼓で橋北とスウェーデンを結ぶ／Maiko Pietsch 氏・塩原良氏(吟遊打人代表) ②5/24 エス・バード、喬木村ポピー園・九十九谷公園の見学 ③6/28 令和の始まりにきくお宮の話／市原日貴 宮司(富士山稲荷神社) ④7/26 音楽にのってノリノリ体操！／斉藤たせ子 氏 ⑤8/23 祭りを彩る法被を染める／石黒純治 氏(スミツネ染物) ⑥9/27 消費税10%直前！ここがポイント!軽減税率／佐藤元則 氏(飯田税務署) ⑦10/25 大庭村山塩館の塩精製、市場神社歌舞伎舞台の見学 ⑧11/22 ゆっくり ゆらゆら ゆるやか 運動／健康運動指導士 中塚裕佳理 氏 ⑨12/26 OIDEよ！みんなの丘／飯田OIDE長姫高校商業科3年生橋北グループ ⑩1/24 声に出したらもっと楽しい！日本語を味わおう！ ⑪2/28 イスに座ってらくらく運動！身体動かし元気はつらつ！／健康運動指導士 赤羽美恵子 氏【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】 ⑫3/27 和心(わごころ)と箸のしぐさ／平城真 氏【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】	市・地	10	182	36	2,953	【総括と今後の方向付け】 毎月の定例会、大会はもちろんであるが、運営委員が中心となって自主的に懇親会を開催するなど、会員同士が交流を深める場も積極的に設けられている。また、新規会員に対して、開講前に運営委員が講師となって講習を実施するなど、教室を自主運営していく雰囲気が高まっているため、そうした意識を大事にして継続したい。	【総括と今後の方向付け】 毎月の定例会、大会はもちろんであるが、運営委員が中心となって自主的に懇親会を開催するなど、会員同士が交流を深める場も積極的に設けられている。また、新規会員に対して、開講前に運営委員が講師となって講習を実施するなど、教室を自主運営していく雰囲気が高まっているため、そうした意識を大事にして継続したい。
	評価	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	マレットゴルフ教室		他会計	9	268	43	2,953	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	主に高齢者を対象に、交流と健康増進を目指す。	開講式:4/18 定例会:5/8、6/12、8/7、10/9 大会:7/10(懇親会も開催)、9/11、11/13 開講式・懇親会:12/4 運営委員会:4/4、6/5、11/5 会場:下久堅親水公園マレットゴルフ場、座光寺マレットゴルフ場、松尾マレットゴルフ場、豊丘村アカシアマレットゴルフ場、松川町清流苑マレットゴルフ場	他会計	9	268	43	2,953	【総括と今後の方向付け】 毎月の定例会、大会はもちろんであるが、運営委員が中心となって自主的に懇親会を開催するなど、会員同士が交流を深める場も積極的に設けられている。また、新規会員に対して、開講前に運営委員が講師となって講習を実施するなど、教室を自主運営していく雰囲気が高まっているため、そうした意識を大事にして継続したい。	【総括と今後の方向付け】 毎月の定例会、大会はもちろんであるが、運営委員が中心となって自主的に懇親会を開催するなど、会員同士が交流を深める場も積極的に設けられている。また、新規会員に対して、開講前に運営委員が講師となって講習を実施するなど、教室を自主運営していく雰囲気が高まっているため、そうした意識を大事にして継続したい。
	評価	評価							

橋北公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北地区文化祭	市・地	継続	1	600	600	2,953	6月22日、23日	浜井場小学校
文化事業	目的	【総括と今後の方向付け】 地区住民による地区住民のための文化祭として、テーマを「橋北人」として実施した。公民館の教室・グループを中心に、地元保育園・幼稚園、小・中学校、まちづくり委員会や地区の団体などによる展示や芸能発表に加え、地区内の公共施設の紹介展示や地区内で動く「橋北人」による芸能発表や子ども向けの紙しばいなどが行われた。また、ニュースポーツの体験コーナー、姿勢計測器等を使った測定コーナー、子ども向けの工作コーナーなどが設けられ、日赤奉仕団による炊出しの実演、飯田OIDE長姫高校卒業生による高校生スパーパーなどの屋台も出店された。							
	実施内容	地区住民による地区住民のための文化祭として、テーマを「橋北人」として実施した。公民館の教室・グループを中心に、地元保育園・幼稚園、小・中学校、まちづくり委員会や地区の団体などによる展示や芸能発表に加え、地区内の公共施設の紹介展示や地区内で動く「橋北人」による芸能発表や子ども向けの紙しばいなどが行われた。また、ニュースポーツの体験コーナー、姿勢計測器等を使った測定コーナー、子ども向けの工作コーナーなどが設けられ、日赤奉仕団による炊出しの実演、飯田OIDE長姫高校卒業生による高校生スパーパーなどの屋台も出店された。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019橋北地区公演	他会計	継続	5	724	724	2,953	実施内容参照	橋北公民館ほか
	目的	【総括と今後の方向付け】 橋北地区内5会場にて、以下のとおり公演を実施。 7/31 会場：慈光幼稚園 スタッフ：当該園職員及び中学生ボランティア 7/31 会場：橋北公民館3階大会議室 スタッフ：橋北公民館文化部 8/1 会場：橋北公民館1階会議室 スタッフ：橋北男塾 8/4 会場：信毎販売棚飯田支店 スタッフ：江戸浜分館 8/5 会場：飯田ルーテル幼稚園 スタッフ：当該園職員及び中学生ボランティア							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	文化研修旅行	地区費	継続	1	24	24	2,953	11月7日、9日	江ノ島・鎌倉
	目的	文化部員が企画運営し、参加者が事前学習会を行い、単なる旅行ではなく、研修旅行として実施した。 ①事前学習会：11月7日 参加者：19名 講師：田中悦雄氏（旅ねっと） ②秋の江ノ島・鎌倉をめぐる旅：11月9日 参加者：24名							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲基ボール交流会	地区費	継続	1	52	52	197	6月2日	浜井場小学校体育館
	目的	【総括と今後の方向付け】 公民館を含むまちづくり委員会の役員改選にあたり、まちづくり委員会全体での囲基ボール交流会を公民館から提案し、まちづくり委員会の各委員会ごとの対抗戦で交流会を実施した。							

橋北公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ウォーキング講座		市・地	継続	1	35	2,953	10月6日	浜井場小学校体育館
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き、姿勢計測を取り入れたウォーキング講座を実施した。姿勢計測は文化祭でも行っており、継続して行うことで、参加者が自身の姿勢の変化を実感できる場となった。また、ウォーキングという日常生活に取り入れやすい運動は、参加者が事業後も続けられるものであり、地区住民の日々の運動のきっかけづくりとしてもよい内容であった。しかし、その後に開催する橋北再発見ウォーキング「すたてくささ」に参加者をつなげることができず、今後の課題である。							
	目的	地域住民を対象に、運動不足の解消とウォーキングのモデルコースの創設を目指す							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋北市民運動会		地区費	継続	1	—	2,953	10月13日	浜井場小学校校庭
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 運動会は中止となったが、各町内ごとに慰労会が行われ、町内の交流の場づくりの機会にはなった。地域住民の総参加・総運営を合言葉として、様々な年齢層が参加し、交流する事業であるため、来年度以降もさらに内容を充実させ、運営側への若い世代の参加も呼びかけて実施できるようにしたい。							
	目的	地域住民を対象に、住民の総参加、総運営で地域の連帯意識の向上、住民相互の交流を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ボウリング大会		地区費	継続	1	37	2,953	1月19日	アストロポウル
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学生・中学生・高校生親子や家族での参加が多く、スポーツを通じた世代間交流の場となった。また、レーンが同じになった参加者同士の交流もできていることから、今後もちラジ配布や公民館委員の声かけを積極的に行い、地区内に事業をより周知させながら実施したい。							
	目的	地域住民を対象に、冬の運動不足と住民間の親睦交流を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報橋北		地区費	継続	年5回発行	—	2,953	実施内容参照	—
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 公民館事業にかかわらず、地区の様々な事業・会議などに広報部員が積極的に参加して情報を収集し、館報橋北を通じてその発信を行っている。1号発行につき、広報部会を原則3回開催。 253号(6/11)、254号(9/10)、255号(12/10)、256号(2/10)、257号(3/31)							
	目的	地域住民を対象に、地域の情報を伝えることを通じて、地域を考えるきっかけ作りを目指す							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	和菓子づくり体験講座		市・地	継続	1	37	2,953	11月17日	浜井場小学校調理室
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度も地区内和菓子店の方を講師に招き、恒例となった和菓子づくり体験講座を実施した。浜井場小学校でも和菓子を教えている講師のため、今年度習った3年生は親しみもあり、講師の話を真剣に聞いて、和菓子づくりの手元を見て実践していた。また、1～6年生までの参加があり、異年齢の子どもたちが協力して作業する様子も見られた。今後も地場産業である和菓子に、子どもたちが興味・関心を持てる機会として続けていきたい。							
	目的	小学生とその保護者を対象に、和菓子を作ることで、親子の触れ合いの場を提供し、地場産業への学習の機会とする							

橋北公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	工作・実験体験教室	市・地	継続	1	40	40	2,953	6月22日	浜井場小学校
	目 的	【総括と今後の方向付け】 橋北地区文化祭の中で実施。育成部員が作成した通常の新聞ドームと、公民館部員全体で作成した巨大新聞ドームを膨らませて、子どもたちが中に入り楽しんだ。また、同時にくうき砲で遊ぶコーナーを実施した。							
	実 施 内 容	地域住民の親子(子どもと大人)を対象に、親子や世代間の触れ合いの機会創出を図る							
育 成 事 業	橋北再発見ウォーキング「すたてくささ」	市・地	継続	1	51	51	2,953	10月27日	橋北地区内
	目 的	寺社や歴史的建造物に加えて、公園も多くある橋北地区の魅力を改めて知る機会として、ウォーキングをしながら地区内を巡る企画として実施した。 今年度のコース：橋北地区の公園めぐり 浜井町児童公園→東中央児童公園→城東1号公園→東栄公園→菱田春草生誕地公園→江戸町公園							
	実 施 内 容	地域住民を対象に、地域資源の再発見とウォーキングのモデルコースの創設を目指す							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	ほしぞら観測会	地区費	継続	1	65	65	2,953	11月2日	旧飯田測候所
	目 的	飯田高校天文班と公民館育成部とのコラボ事業として実施。飯田高校天文班1、2年生を講師として招き、旧飯田測候所室内で「はやぶさ2」・フラックホルンの説明を聞き、プラネタリウムを鑑賞した。その後、屋外で天体望遠鏡を使った天体観測を、美術博物館学芸員の協力も得て行った。							
	実 施 内 容	地域住民の親子(子どもと大人)を対象に、星空観測を通して、自然に親れしむとともに親子の触れ合いの機会創出を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	しめ飾り講習会、もちつき交流会	市・地	継続	1	70	70	2,953	12月1日	浜井場小学校
	目 的	地元住民を講師に招き、伝統文化の体験・継承、多世代交流を図る。 しめ飾り講習会は地区在住の方を講師に招き開催。 もちつき交流会では、各家庭で行うことが珍しくなった杵と臼を使った餅つきを体験した。 講師：宮崎 栄治氏、上原 伸彦氏							
	実 施 内 容	地域住民を対象に、3世代交流の場づくり、伝統行事継承を目指す							

橋北公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春書初め大会・正月遊びの会		市・地	継続	1	33	2,953	1月4日	橋北公民館
	実施内容 小学生から一般を対象に、書初めを通じて世代間交流をし、正月行事の大切さに触れることを目指す		市・地	継続	1	33	2,953	1月4日	橋北公民館
合同事業	実施内容 地区住民を講師に招き、書初め指導や筆の使い方などを習い、小学校に提出する作品、公民館へ展示する作品を書いた。書初め終了後には、福笑い、けん玉、折り紙等の伝統的な遊びも体験した。 講師：田中美智子氏(南信書道会会員)、三浦満弓氏(浜井場小学校指導ボランティア)、勝野芳美氏(正月遊び指導者)		市・地	継続	1	33	2,953	1月4日	橋北公民館
	実施内容 地区住民を講師に招き、書初め指導や筆の使い方などを習い、小学校に提出する作品、公民館へ展示する作品を書いた。書初め終了後には、福笑い、けん玉、折り紙等の伝統的な遊びも体験した。 講師：田中美智子氏(南信書道会会員)、三浦満弓氏(浜井場小学校指導ボランティア)、勝野芳美氏(正月遊び指導者)		市・地	継続	1	33	2,953	1月4日	橋北公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)		市・地	継続	1	150	8,510	7月14日	りんご庁舎2階オープンスペース
	実施内容 地域住民を対象に、身近な場所でプロの演奏家による音楽を楽しめる機会の創出を図る。		市・地	継続	1	150	8,510	7月14日	りんご庁舎2階オープンスペース
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式		他会計	継続	1	73	117	1月12日	飯田市公民館
	実施内容 新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする。		他会計	継続	1	73	117	1月12日	飯田市公民館
合同事業	実施内容 成人有志、公民館委員、職員から組織する実行委員会体制で次の内容を実施。 ・成人式実行委員会を開催し、当日の企画、準備 ・成人実行委員会による地域学習の実施(学習テーマ「丘の上の飲食店」) ・式典の実施 ・祝賀会の実施		他会計	継続	1	73	117	1月12日	飯田市公民館
	実施内容 成人有志、公民館委員、職員から組織する実行委員会体制で次の内容を実施。 ・成人式実行委員会を開催し、当日の企画、準備 ・成人実行委員会による地域学習の実施(学習テーマ「丘の上の飲食店」) ・式典の実施 ・祝賀会の実施		他会計	継続	1	73	117	1月12日	飯田市公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会		地区費	継続	1	35	8,510	2月22日	飯田市美術館
	実施内容 地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。		地区費	継続	1	35	8,510	2月22日	飯田市美術館

橋北公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト	0円	継続	30	900	60	2,953	実施内容参照	飯田市公民館ほか
	地域住民を対象に、横笛等を練習し、お練り祭りでの囃子復活を目指す。	【総括と今後の方向付け】 平成28年3月のお練りまつりへの参加後は、橋北屋台囃子が地区内で文化として根付き、地区住民にとって誇れるものとなるよう、継続して活動を行っていくことを重視している。文化祭への出演時には、浜井場小学校5年生が昨年度の「生活・総合的な学習の時間」で練習したお囃子を、一緒に発表した。今後は、地区住民がよりお囃子に親しみ、参加できるような働きかけを検討する必要がある。							
	実施内容	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト（橋北屋台囃子保存会）、橋北まちづくり委員会が主体となって運営している。公民館はプロジェクトへの側面的支援という形で関わっている。 橋北地区文化祭出演：6月23日 各種イベントの出演等：随時							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	橋北まるごと博物館研究会事業	0円	継続	10	250	23	2,953	実施内容参照	橋北公民館ほか
	地域住民を対象に、知ること、残すこと、賑わうことを目的に地域資源の活用を目指す。	【総括と今後の方向付け】 今年度は、「春草通り」と名付けた仲ノ町・二本松～旧飯田測候所までの通りを紹介するパネルを橋北地区文化祭で展示し、その後、そのパネルを「春草通り」の紹介パンフレットとして配布した。春草公園を愛する会と連携し、研究会会員がガイド役となって、そのパンフレットを活用したまち歩きも実施しており、地区の魅力発信にも力を入れた自主的活動が進んでいる。公民館側は側面的なサポートが主となるが、来年度も「地域資源」を「地域資産」とする活動や、地域の方による地域の学びを進めていくなかで、連携・協働していきたい。							
	実施内容	5月26日：春草通りを歩いてみよう 6月22、23日：文化祭にて「春草通りを歩いてみよう」のパネル展示 10月19日：春草公園2019イベント（春草公園を愛する会主催）でのまち歩きガイド 1月30日：「橋北にみる飯田城時代の名残」講演会 講師：桜井弘人氏（飯田美術博物館専門研究員）							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	地域人教育	他会計	継続	30	500	8	2,953	実施内容参照	橋北地区内
	地域住民（飯田OIDE長姫高校生を含む）を対象に、事業を通じて地域を知り、地域への愛着を深めることを目指す	【総括と今後の方向付け】 今年度の活動は、卒業生が高校生スパーを継続していること、地区内からの「スパー」を続けてほしい」との声等から、自分たちがどの課題にどう独自性を持って取り組んでいくかに悩みながら、進めていったものであった。高校生スパーに関わる中で、物を売ることではなく「交流」に主眼をおくことを決め、自分たちで交流の場を開催した。当日の参加者は少なかつたが、後日設けた取組内容を発表する講座で、参加者とのしつかりとした交流ができた。来年度以降は、地区内の「卒業生の活動を引き継いでほしい」という声と、高校生自身の興味・関心から取組を進めることのバランスを図りながら、高校生が地域と向き合える環境づくりに努めたい。							
	実施内容	今年度は地区住民への聞き取り調査やアンケートから、「高齢者と若者と交流」をテーマに、「OIDEよ！みんなの丘」ということで、交流の場づくり、若者を呼ぶためのタピオカドリンク配布等の活動に取り組んだ。 4～8月：橋北地区内散策、夏祭りでのブース出店、市政懇談会への参加 9～11月：高校生スパーでの交流の場設置、タピオカドリンクの配布 12月8日：「OIDEよ！みんなの丘」開催（交流の場づくり） 12月26日：北斗のまち・さわやか講座にて発表 1月：総括							

橋南公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	O歳児学級「うりぼう」(橋南・橋北・東野地区区合同)		市・地	継続	12	86	16	原則第2、第4月曜日	保健センター、各公民館
学級・講座	O歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合いの場、親同士の交流の場を作り、子どもたちの健全な成長を図る		【開催概要】 ①9/10開講式 ②9/25プラネタリウム鑑賞 ③10/7産後ママのヨガ講座 ④10/21離乳食について、みんなでお話しましょう ⑤11/5わらべ歌をみんなで歌おう ⑥11/18産後ママの身体ケア ⑦12/9Xmasの準備 ⑧12/18Xmasパーティー ⑨1/21親子で絵本を楽しもう ⑩2/3おふいひもの使い方 ⑪2/17記念品づくり ⑫3/9開講式(コロナウイルスの影響で中止)						
			【総括と今後の方向付け】 東中学校区3館合同で、橋南がO歳児を担当。内容は学習と交流に重点を置き参加保護者と相談し決定。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	1歳児学級「ひよこ」(橋南・橋北・東野地区区合同)		市・地	継続	18	160	16	原則第2、第4火曜日	保健センター
学級・講座	1歳児とその親を対象として行い、子どもたちの健全な成長をはかるための遊び、活動を行うほか、親の知識習得、親同士の交流の場とする		【総括と今後の方向付け】 東中学校区3館合同で、橋南地区は1歳児を担当。内容については、お母さん方の学習と交流を重点に保育士、保健師、主事で話し合いを行い決定。 ＜開催概要＞①5/28開講式 仲良しゲーム②6/11親子で楽しく遊ぼう、足形をとろう③6/25布・紙で遊ぼう④7/9わらべうたで触れ合おう⑤7/30助産師さんに聞いてみよう⑥8/27子どもの言葉育てよう⑦9/13離乳食についてお話ししよう⑧9/24いざという時に備えよう⑨10/8動物に会いに行こう⑩10/15ミニ運動会⑪11/19親子で一緒にリトミック、みんなでお話をしよう⑫11/26みんなで身体を動かそう⑬12/10クリスマス準備(簡単なおもちゃ作り)⑭12/18クリスマス会⑮1/21絵本で子どもの心を育てよう⑯2/4親子でリトミック、みんなでお話をしよう⑰2/25記念品作り(1年の成長記録を残そう)、足形をとろう⑱3/10開講式(コロナウイルスの影響で中止)						
			【総括と今後の方向付け】 保育士、保健師、主事で1歳児学級の目的や学んでほしい事などの思いを共有しながら学級の組み立てを行った。成長段階に応じた知識を学ぶ機会や、親同士の交流や情報交換をする機会を設けるように心がけた。今後この3者の連携は密にとっていく必要がある。また、子育て世代が関係するサービスや情報を積極的に提供し、より良い環境で子育てできるよう配慮していかなければならない。 今後も、参加者の意見を聞きながら乳幼児学級のニーズと在り方を常に検討し、より良い機会となるようにしていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伝統・文化継承講座「手の芸の会」		地区費	継続	24	480	20	原則毎月第1、第3木曜日	橋南公民館
学級・講座	地区住民を対象に地域の伝統、文化の継承と、それらを通じた仲間づくりの場を設ける		【総括と今後の方向付け】 受講者の口コミから、参加者が少しずつ増加しており、作成する作品も完成度の高い、創作性のあるものになってきている。途中からの参加者には、長くやっている人が丁寧に教える姿も数多く見られ、参加者同士で教え合うことにより、参加者同士の連帯感もでき、仲間作りの場にもなっている。また、人形劇フェスタ地区公演で配布するブローチや、小学校の入学式と卒業式で該当児童とその両親に贈られるブローチの作成を担うことで、やりがいを感じているだけでなく、地区行事への参加意識も高くなっていると感じることができる。また、今年度も夏休み子ども教室や小学校のクラブ活動の講師として、地域と学校をつなぐ役割も担っており、次年度以降も、継続して活動を行っていきたい。						
			【総括と今後の方向付け】 受講者の口コミから、参加者が少しずつ増加しており、作成する作品も完成度の高い、創作性のあるものになってきている。途中からの参加者には、長くやっている人が丁寧に教える姿も数多く見られ、参加者同士で教え合うことにより、参加者同士の連帯感もでき、仲間作りの場にもなっている。また、人形劇フェスタ地区公演で配布するブローチや、小学校の入学式と卒業式で該当児童とその両親に贈られるブローチの作成を担うことで、やりがいを感じているだけでなく、地区行事への参加意識も高くなっていると感じることができる。また、今年度も夏休み子ども教室や小学校のクラブ活動の講師として、地域と学校をつなぐ役割も担っており、次年度以降も、継続して活動を行っていきたい。						

橋南公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ラベンダー関連講座		市費	継続	2	40	20	6月12日、6月15日	橋南公民館
	実施内容	<p>橋南地区で取り組んでいるラベンダーを使った講座を開催。</p> <p>①「ラベンダーステイックを作ろう」 講師 松下 啓子氏</p> <p>②「ラベンダーソーブを作ろう」(親子向け講座) 講師 松下 啓子氏</p> <p>地区の植物から環境を考えてもらおうきっかけづくりとして、ラベンダーの花を利用したラベンダーステイックを作る講座と石鹸えお作る講座を実施した。</p>							
	目的	<p>市民を対象に、環境に 関する意識の向上、知 識の習得を図る</p>							
学級・講座	親子体験教室		市費	継続	1	24	24	12月8日	エンゼルパン
学級・講座	実施内容	<p>地域の製パン店に協力を依頼し、親子で作るパン教室を開催。</p> <p>成形、発酵、焼き上げまでを行った。</p>							
	目的	<p>親子を対象に共同作業 を行うことで、親子間の コミュニケーションを図る 機会とする</p>							
	評価	<p>【総括と今後の方向付け】 昨年度の会場が使用できなかったため、地区内の製パン店に協力していただき、親子で協力し合って楽しくパン作りができた。出来上がったパンはきれいに焼き上がり、参加者とても満足していた。親子でゆっくりと話し合いながらの共同作業を行える良い機会になったと思う。加えて、親同士、子供同士、親子間の交流の場にもなった。来年度も継続していきたい。来年度も地元企業の協力を頂きながら、実施していきたい。</p>							
学級・講座	人権講演会		市費	継続	1	200	200	7月16日	追手町小学校
学級・講座	実施内容	<p>追手町小学校と追手町小学校PTA共催で、スマートフォンやインターネットに潜む危険性と親(大人)の関わり方についての講演会を開催した。<PTA講習会に併せて開催></p> <p>・「インターネットを安全に使うために」 講師：樋口 博美 先生</p> <p>スマホやインターネットに潜む危険性と親(大人)の関わり方について講演</p>							
	目的	<p>小学校児童、PTAと地域住民を対象に、インターネットやSNSを通じて、人権侵害について考える機会とする。</p>							
	評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今回は、スマートフォンの不適切な利用による青少年の犯罪被害やいじめ、プライバシーの侵害、巧妙な詐欺など、実際に起きた内容を元に親御さんに真剣になって考えて頂けるようなものにした。子どもはゲーム機器などで当たり前に使っている機能も、親御さんの中にはその能力や内容を知らない方も多かった。やはりこのような講演会で「知る」、その後家庭で「話し合っ」てもらうことが非常に重要だと感じた。そのようなきっかけになる講演会(学習の場)でありたい。声かけをしたことにより、保護者だけでなく地域住民の参加も昨年度より増加した。今後地道ではあるが、地域住民も地域の子供に関心をもてるような仕掛けをしていく必要があると感じる。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋南史跡めぐり		市・地	継続	1	62	27	6月16日	富岡市、軽井沢町
	実施内容	<p>・6月16日「世界遺産「富岡製糸場」と旧軽井沢散策」 飯田の生糸産業にとは縁の深い場所で、軽井沢の街並みなども巡った 講師：今村光利氏</p>							
	目的	<p>飯田とつながりのある史跡、街並みを見学し、その文化や歴史について学ぶ</p>							
文化事業	評価	<p>【総括と今後の方向付け】 橋南地区外での現地学習の機会として実施した。講師の分かりやすい解説と現地研修が好評で、リピーターを含む多くの参加者を得られた。委員会や講師との打ち合わせにて訪問地を決定する際は、飯田下伊那との繋がりを重要視し、単に観光するだけではなく自分たちが住んでいる地域の歴史と併せて説明してもらうことで、参加者がイメージしやすい学習機会となるように心がけている。来年度も現地で学んだものを自分の地域に生かせるような学習題材を提案しつつ、継続して実施していきたい。</p>							

橋南公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田人形劇フェスタ2019 橋南地区公演		市・地	継続	2	539	2,665	8月3日、8月5日	追手町小、仏教保育園
文化事業	地区実行委員会で実施。国内のプロ劇団と地元小学生劇団とのジョイント公演を行い、公演終了後には交流会を行った。また、橋南地区のPRと来場者へのおもてなしを目的に、橋南地区で育てたラベンダーを使った水引ブローチを公民館の学級講座で作配布した。地区オリジナル企画として、「ぶらり橋南(橋南地区スタンプラリー)」を実施した。公演だけでなく、地区の施設に行く機会を創出できた。		市・地	継続	2	539	2,665	8月3日、8月5日	追手町小、仏教保育園
	市民を対象に、人形劇に親しむ、参加する、支える機会とする		市・地	継続	2	539	2,665	8月3日、8月5日	追手町小、仏教保育園
文化事業	地区実行委員会 追手町小学校 追手町小学校3年生おかの上劇団 「おおかみと7ひきの子やぎ」 ふたご座 「伝統芸能 狂言より『ぶす』」 ＜仏教保育園 上演作品＞ 劇団にんぎょう畑 「3歳からのらくご人形劇『じゅげむ・てんしき』」		市・地	継続	2	539	2,665	8月3日、8月5日	追手町小、仏教保育園
	地区実行委員会 追手町小学校 追手町小学校3年生おかの上劇団 「おおかみと7ひきの子やぎ」 ふたご座 「伝統芸能 狂言より『ぶす』」 ＜仏教保育園 上演作品＞ 劇団にんぎょう畑 「3歳からのらくご人形劇『じゅげむ・てんしき』」		市・地	継続	2	539	2,665	8月3日、8月5日	追手町小、仏教保育園
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第24回橋南文化祭		地区費	継続	1	700	2,665	11月9日、10日	追手町小学校講堂
文化事業	地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする		地区費	継続	1	700	2,665	11月9日、10日	追手町小学校講堂
	地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする		地区費	継続	1	700	2,665	11月9日、10日	追手町小学校講堂
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋南史跡ウォーキング		市費	継続	1	20	2,665	4月7日	橋南地区区内
文化事業	地区住民を対象に、飯田街の街の作りや史跡を実際に歩いて見学し、先人達がまちづくりに込めた考え方や知恵を学ぶ		市費	継続	1	20	2,665	4月7日	橋南地区区内
	地区住民を対象に、飯田街の街の作りや史跡を実際に歩いて見学し、先人達がまちづくりに込めた考え方や知恵を学ぶ		市費	継続	1	20	2,665	4月7日	橋南地区区内

橋南公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第34回橋南ウォークラリー大会		地区費	継続	1	65	2,665	5月26日	橋南地区区内
	地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進および、橋南地区の街並み・歴史・文化を再発見する機会とする								
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 設定されたコースを、交差点の略図のみが書かれた地図を頼りに、コース上の各所に地域の歴史や文化に困った問題を設定し、解きながら歩くようにしている。 またスタート・ゴール地点の追手町小学校講堂では、橋南まちづくり委員会育成部、日赤奉仕団、商店などの協力も得て、お楽しみ企画を行った。	【総括と今後の方向付け】 普段の生活の中では見落としがちなものが、問題を解きながら歩くことで見えてきて、地域を再発見できる行事となっている。ゲーム性のおもしろさと共に、問題の中には防火・防災関連の施設や歴史的な建造物も出題されており、たのしみながら学べる機会となっている。参加者の中心は小学生とその親が中心となっているが、子ども達が地域の歴史を学ぶ貴重な機会となっているため、継続して実施していきたい。コース作りや問題作りを行う際に、公民館委員で下見や打ち合わせなどを重ねて制作することで、委員さんの学習の機会にもなっていると感じているので、今後も大切にしていきたい。
体育事業	橋南ソフトボール大会		地区費	継続	1	50	2,665	11月2日	飯田東中学校
	地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る								
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 地区内回覧にて募集したチームによるソフトボール大会。今年度は4チームが参加し開催した。シニアソフトボールチーム、近隣地区チーム、地元企業チームに加え、公民館も体育委員や消防団を中心にチームを組み、大会に参加した。	【総括と今後の方向付け】 企業や地元消防団など多くのチームが参加してくれたこともあり、賑やかに大会を開催することができた。日頃あまり公民館と関りが無い若い世代も声かけによって参加してくれ、公民館委員との良い交流の機会になったと感じる。今年度は、心配されていただけの人が出なかったことがよかった。日常的に運動していない人も多く参加するため、来年度も事前の準備体操を入念に行うなどの注意喚起を続けていく必要を感じる。
体育事業	第32回橋南連合大運動会		地区費	継続	-	-	2,665	10月13日	追手町小学校校庭
	地区住民を対象に、各町総参加で健康の増進と住民相互の交流を図り、もって当地区の活性化を推進することを目的とする								
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 当日は台風の影響で中止になってしまっしたが、内容の決定から事前の準備まで、公民館委員が中心になって行ってきたことは地域の繋がりが強いという点で無駄はなかったと思う。 一昨年度末の会議にて、「地区のみんなが集まる唯一の行事を無くしたくない」との意見から、引き続き実施している。この気持ちを大切に、今後もチーム編成や競技内容など、住民の方が楽しく参加できる運動会の在り方を考えていく必要がある。	【総括と今後の方向付け】 当日は台風の影響で中止になってしまっしたが、内容の決定から事前の準備まで、公民館委員が中心になって行ってきたことは地域の繋がりが強いという点で無駄はなかったと思う。 一昨年度末の会議にて、「地区のみんなが集まる唯一の行事を無くしたくない」との意見から、引き続き実施している。この気持ちを大切に、今後もチーム編成や競技内容など、住民の方が楽しく参加できる運動会の在り方を考えていく必要がある。
広報事業	館報橋南の編集		地区費	継続	年4回発行	3	45	実施内容参照	橋南公民館 ほか
	地区住民を対象に、地域を知り、考えるきっかけ作りを目指す								
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 今年度から館報委員が設置され、地域住民が中心となって1号につき3回の編集会議を実施し、発行した。「地域課題に目を向ける」「住民の方に課題を問いかける」ことを主眼においた館報の編集を心掛けた。次年度も引き続き、地域課題を掘り起こすような館報にしていきたい。	【総括と今後の方向付け】 現在の公民館の体制では広報委員が不在なため、館長と企画委員を中心に企画や編集作業を行った。単なる広報でなく、地域の課題に目を向けた紙面作り心掛けた。 13号(6/21)、14号(9/10)、15号(12/19)、16号(2/28)

橋南公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	夏休み子ども教室		市・地	8	203	30	148	夏休み期間の月曜、水曜、金曜（お盆は除く）	橋南公民館 他
	夏休み中の子どもたちを対象に安全・安心な活動拠点をつくとともに、異世代との活動の中で社会性、協調性を育む	【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の放課後子ども教室として実施し、連日多くの児童の参加が得られた。子ども達の「居場所」づくりの一環を担っていることがわかる。上級生が下級生の面倒を見ている姿も見受けられて来ていることがわかる。子供たちの縦のつながりができてきている。今年度についても、公民館で活動しているの社会教育関係団体の方に講師を、まちづくり委員会からスタッフをお願いし、地域の子ども達の様子を感じてもらったことができたので、次年度以降も継続して行っていきたい。来年度以降も、学校やスタッフの方との打ち合わせを綿密に行いながら、実施していく。							
その他	伝統文化教室「天龍太鼓子ども教室」		地区費	11	110	10	148	原則第3金曜日	追手町小学校講堂 ほか
	青少年を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すとともに、郷土への愛情を育み、健全育成を図る	【総括と今後の方向付け】 今年度も、月1～2回の稽古を積み、各種行事にて発表をしてきた。子ども達は楽しそうに行っているの、この気持ちをいかに保って継続していくかを考えていく必要がある。伝統文化の継承という点からみると、中学生になると卒業してしまう子が多くなるので、長い目で見ていく必要がある。天龍太鼓の打ち手会の方も高齢化や人数の減少という課題を持っており、話し合いを重ねてどのようなやり方が良いのか考えていきたい。							
その他	伝統文化教室「松一獅子舞教室」		地区費	25	275	11	2,665	原則第2金曜、第4金曜日	橋南公民館 ほか
	地区住民を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すと共に、郷土への愛情を育む機会とする	【総括と今後の方向付け】 今年度から、舞いの練習とお囃子の練習をそれぞれ別の日に開催した。練習量が増加している。年々部員も少しずつ加入し、各種行事に積極的に参加して発表をしてきた。これまでの取り組みが地区内外で知られるようになり、声がかかってくるが多くなっている。様々な行事への参加は、子ども達にも大きな自信になっており、その後の練習にも一層力が入っている。子ども達の中では小学校や中学校を卒業しても続けてくれる子があり、伝統文化継承に向けて少しずつ進んでいると思う。高齢化などにより伝統を伝える側の体制の不安定さは変わっており、今後長く活動を継続していくための方法を引き続き考えていく必要がある。							
その他	おひまち		地区費	1	70	70	2,665	4月21日	橋南地区区内
	地区住民を対象に、飯田の大火を忘れず、日々の生活の中でも防火の意識を高める	【総括と今後の方向付け】 例年、飯田大火が発生したこの時期に地区内の各種団体が協力して、防火啓発活動を実施している。また、小学校を通じて防火標語も募集しており、小学生が地域の歴史について考える機会にもなっている。大火発生から長い年月が経過し、経験を伝えられる方が少なくなっている中で、この事業が橋南地区の歴史を学習をするひとつの機会となればと考えている。							

橋南公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯ごう炊さん		地区費	継続	1	70	2,665	8月17日	追手町小学校
	実施内容	ボーイスカウトの方に講師を依頼し、現在では小学校で行われなくなった飯ごう炊さんを行った。 講師：福澤勝氏（ボーイスカウト飯田第一団の皆様） 公民館委員だけでなく、放課後子ども教室のスタッフやまちづくり委員会の役員も運営に携わった。ボーイスカウトに所属する中学生や高校生も各班のリーダーとして入ってもらい、小学生の指導をお願いした。							
	目的	【総括と今後の方向付け】 夏休み中の体験活動として開催。火を扱ったり、マッチを擦れない子供たちが多くいる中で、学校・家庭ではなかなかできない「体験」をさせてあげることが非常に重要だと感じている。今年では、公民館委員が作っていたカレーについても子供たちにも作ってもらい、自分でごはんを作ることの大変さを知ってもらえるようにした。それらの役割の中で主体的に動いていく姿が多く見受けられた。中学生がリーダーとしてグループに入って指導したことで、上級生から下級生へ教えてあげる姿が見られ、お互いの学びに繋がっていると感じた。スタッフにもこの事業の持つ意味・目的をさらに共有していく必要がある。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	追手町小学校科学実験教室		地区費	継続	2	78	78	7月11日、11月26日	追手町小学校
	実施内容	小学6年生 「モデルロケット制作と打上げ」 小学5年生 「ホバークラフト制作」 小学4年生 「リニア実験と超低温の不思議な世界」 共催：追手町小学校、おもしろ科学工房 講師：おもしろ科学工房							
	目的	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人々たちとの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	第16回橋南夏まつり		地区費	継続	1	4,000	2,665	7月14日	りんご並木周辺
	実施内容	地区住民を対象に、地域に暮らす、全ての住民が幅広く参加し、夏の一夜を楽しみ、ふれあい、交流する機会とする。併せて橋南地域の活性化の一助とする。							
	目的	【総括と今後の方向付け】 数年前から実行委員会形式での実施を行っているが、各担当のブースで自主的に進めている姿が見られた。数年前から「ふるさとコンサート」とコラボレーションを行い、参加者増加のシナジー効果を狙った。当日は、参加者が夏祭りと共に楽しむことができた。今後、地区内で活躍している団体とも積極的に連携・協働して事業を盛り上げていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	地域人教育		他会計	継続	40	320	2,665	4月～1月	飯田OIDE長姫高校 ほか
	実施内容	4月～6月 橋南地区を実際に歩いて、橋南地区を調べる。体験する。 7月～9月 橋南のホームページ作りのための仲間づくり、下調べ 10月～12月 橋南地区についての調べ学習、ホームページ作成 1月 まちづくり委員会にて発表 この活動には、橋南まちづくり委員会、コアカレッジ、地区内飲食店などの協力を得て行った。							
	目的	【総括と今後の方向付け】 「橋南地区」を地区内外を問わず発信していきたいという想いを基に、様々な方の協力を得ながら1年間活動を行った。高校生が地域の大人と関わりながら活動していく中で、楽しみながら学校では学べない様々な経験をしていく姿を見ることができた。 次年度も、「まずは楽しく」「地域の方との繋がりを多く持ちながら進める」「振り返り」を大切に、事業を実施していきたい。							

橋南公民館の事業報告

No.8

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	しめ縄づくり講習会		地区費	継続	1	18	18	2,665	12月8日	橋南公民館
	その他の	実施内容	【総括と今後の方向付け】 地元の住民の方を講師に迎え、伝統的な正月行事の一つであるしめ縄づくりを行う。参加対象を幼児から高齢者までとすることで、地域の中での生活の技の伝承と、世代間交流の場とした。 講師 林 清 實 さん							
		目的	地区住民を対象に、伝統文化の継承と世代間の交流を図る							
その他	もちつき大会		地区費	継続	1	80	80	2,665	12月15日	橋南公民館
	その他の	実施内容	家庭では行わなくなった臼と杵を使ってのもちつきを実施した。 もち米も釜とセイロを使い薪の火で蒸すことで、昔ながらのもちつきを体験。 つきあげたものは保護者の協力も得ながら成形し、その場で食べるほか、自らの手で正月ののお供えもちを作り各家庭へ持ち帰った。							
		目的	地域住民、特に青少年を対象に、伝統的な行事であるもちつきを体験し異年齢間の交流、健全育成を図る							
その他	書き初め		地区費	継続	1	30	30	2,665	1月4日	橋南公民館
	その他の	実施内容	小学生から高齢者を対象に、正月行事である書き初めを行った。社会教育団体の書道グループの方に講師として参加してもらい、書き初めが終わった後はゲームをし、おしるこやお雑煮を食べて交流した。完成した書き初めは、1枚を公民館に展示し、地域の人に見て頂いた。							
		目的	地区住民を対象に、伝統文化の継承と世代間の交流を図る							
その他	将来構想推進事業		地区費	継続	8	80	10	2,665	年6回	橋南公民館
	その他の	実施内容	昨年度、「中心市街地活性化計画」が改訂されるのと同じくして橋南地区の将来構想が策定された。 今年度は、3つの推進部会に分かれ、橋南の将来を話し合いながら実際の活動を行った。							
		目的	地区の子どもたち、親、住民が10年後を考えることで、今後の橋南を学習する機会とする							

羽場公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	0-1歳児学級	市・地	継続	19	190	10	35	月2回程度	羽場公民館、中央公会堂
学級・講座	<div> <div> 0-1歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る </div> <div> 常任講師：松村由美子先生 (実施内容)①5/15開講式、羽場図書分館の紹介②6/12親子でふれあい遊び③6/26絵本を楽しむ(講師：下沢洋子さん)④7/12栄養士の話⑤7/17西中生徒との交流⑥7/31人形劇フェスタ⑦8/28防災のこと⑧9/11プラネタリウム⑨9/25小児科医の話(講師：和田先生)⑩10/10ミニ運動会⑪10/23お散歩⑫11/10ファミリーデー⑬11/27おしゃべりタイム⑭12/11クリスマス会⑮12/26作品づくり(講師：森つこ)⑯1/8おしゃべりタイム⑰1/22栄養士の話⑱2/12親子ヨガ⑲2/26手型・足型⑳3/11開講式(中止) </div> </div>	市・地	継続	17	70	4	71	月2回程度	羽場公民館、中央公会堂
学級・講座	<div> <div> 2-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る </div> <div> 常任講師：上沼和子先生 (実施内容)①5/15開講式、羽場図書分館の紹介②5/29野菜を植えよう③6/5丸山保育園訪問④6/26絵本を楽しむ(講師：下沢洋子さん)⑤7/10体操⑥7/31人形劇フェスタ⑦8/21栄養士の話⑧9/11プラネタリウム⑨9/25小児科医の話(講師：和田先生)⑩10/23つまみもの収穫⑪10/16お散歩・消防署見学⑫11/10ファミリーデー⑬11/27おしゃべりタイム⑭12/11クリスマス会⑮1/17わたちゃんの獅子舞⑯2/26手型・足型(講師：森つこ)⑰2/12親子ヨガ⑱3/11開講式(中止) </div> </div>	市・地	継続	10	80	8	4,747	5月21日～8月6日	羽場公民館
学級・講座	<div> <div> 地区内の住民と外国籍住民を対象に日本語学習を通して、交流を図る機会とする </div> <div> (実施内容) 日程：5月21日～8月6日 全10回 毎週火曜日 講師：善本勝さん(日本語教師)、ボランティアサポーター ①5/21自己紹介、アイズブレーク②6/4私の一日、アイズブレーク③6/11私の町の情報、アイズブレーク④6/18旅行へいこう⑤6/25ふるさとについて⑥7/9茶話会⑦7/16〇〇があったら/夢⑧7/23すぎなこと・もの⑨7/30家族について、プチパーティーの計画⑩8/6まとめ、プチパーティー </div> </div>	市・地	新規	4	80	20	4,747	通年	羽場公民館、そば畑
学級・講座	<div> <div> 地区住民を対象に遊休農地を利用して育てる楽しさ、食の大切さを感じ、また共同作業を通して人とのつながりを図る </div> <div> (実施内容) 地区内の遊休農地を利用して実施した体験型連続講座。 第1回 種まき(6/30)第2回 草取り(7/27)第3回刈り取り・脱穀(10/5)第4回 そば打ち(12/28) 協力：羽場蕎麦の会 </div> </div>	市・地	継続	2	26	11	4,747	12月28日	羽場公民館
学級・講座	<div> <div> 地区住民を対象に、交流する機会を設けることにより新たな人とのつながりや文化継承を図る </div> <div> 地域の「お正月の花を生きよう」実施。 (実施内容) 講師：花のわん生け花教室の皆さん(社会教育関係団体) 内容：子供の部、大人の部 </div> </div>	市・地	継続	2	26	11	4,747	12月28日	羽場公民館

羽場公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	曙の里講座「年越しそば打ち体験」	市・地	継続	1	6	6	4,747	12月28日	羽場公民館
	地域の中のふれあい学習活動「曙の里講座」の中で、学習交流の事業として実施。 (実施内容) そば打ち体験 協力：羽場蕎麦の会(社会教育関係団体)								
	地区住民を対象に、交流する機会を設けることにより新たな人とのつながりや文化継承を図る								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	曙の里講座「新春書初め大会」	市・地	継続	1	25	25	4,747	1月5日	羽場公民館
	地域の中のふれあい学習活動「曙の里講座」の学習交流事業として実施。 (実施内容) 書初め大会 講師：吉澤之榮さん、大霜睦男さん、河合美恵子さん								
	小学生、一般を対象に、お正月の行事を大切に、地域の方、親子のふれあいの機会とする								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	裏山たんけんウォーキング「乙女の滝に行ってみよう」	市・地	新規	1	0	0	4,747	3月14日	猿庫の泉周辺
	育成事業「魚のつかみ取り」を行っている円悟沢川の上流へ行くウォーキング事業。 (実施内容) 目的地：乙女(於留)の滝(猿庫の泉 奥) 講師：四方圭一郎さん(飯田市美術館学芸員)、地域住民有志								
	地区住民、主に親子を対象に身近な自然に触れ地域資源に目を向ける機会とする								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	夜の講座	市・地	継続	1	25	25	4,747	1月24日	羽場公民館
	文化委員会で内容を協議。文化委員の関心ごとをやってみてみたいことから地域の課題に対してアプローチする企画をと考え、実施した。 (実施内容) 内容：日本酒あれこれ～水、米、歴史など～ 講師：喜久水酒造株式会社								
	地域課題にアプローチする講座を通して地区住民の交流を図り、地域への関心を高める								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019羽場地区公演	地区費	継続	5	863	150	4,747	7月31日～8月4日	羽場地区内
	文化委員を中心とした実行委員会体制で実施。公民館、介護施設等で開催。 7/31 羽場中央公会堂 人形劇団わにこ(012歳対象公演) 8/1 羽場赤坂デイ 紙芝居 野に咲く花 8/2 羽場公民館 よろず劇場 とんがらし 8/3 羽場公民館 人形劇団あんもち、飯田西中学校the world 8/4 飯田病院 パネルあそび場ぼんた、人形劇団わたぐも、人形劇団ひつまぶし								
	地区民を対象に、人形劇のすばらしさを体験してもらい、演じる側、支える側としても楽しめるフェスタとする								

羽場公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	羽場地区文化祭	地区費	継続	1	1,001	500	4,747	11月2日、3日	羽場公民館・中央公会堂
	地区住民を対象に文化、芸術を通して、日ごろの成果の発表と多様な人との交流を図る	【総括と今後の方向付け】 様々な芸能分野で活躍する地域の方の発表の場、様々な団体・個人が活躍できる展示の場の他、中学生とまちづくり委員会が意見交換するまちづくり座談会、日赤による炊き出し訓練など多岐にわたるイベントを開催。2日目は駅伝大会も実施。 （実施内容） 主催：羽場地区実行委員会（まちづくり委員会、公民館、連合青壮年会、各種サークル） 後援：猿倉の泉呈茶席、出店（連合青壮年会）、健康測定、ポップコーン無料配布							
	目的	評価 地域の方たちだけでなく羽場公民館で活動する社会教育関係団体の発表になっており、毎年多くの来場がある。一方で、準備から合わせると実行委員は4日間従事し負担の声も少なくない、幅広い年代層、多様な人たちが交流できる機会であるので、改善できることは改善し、大変だけれど最後は楽しかったと思える場として今後も開催していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ソフトボール大会	地区費	継続	1	190	190	4,747	6月9日	押洞運動場
	地区住民を対象にスポーツ活動推進と親睦を図る	夜間ソフトボール運営委員会と羽場連合青壮年会と協力して、新しい層の開拓と地域が一丸となれる行事の促進のため実施。 （実施内容） 参加チーム：10チーム Aリーグ優勝：白山通り Bリーグ優勝：宮本町							
	目的	評価 昨年度から新規で実施計画したが、猛暑のため中止。今年度は時期を早めて開催することができた。まちづくり委員会にもお願いをし、13町内中10町内参加いただいた。男性を中心とした地域のつながりとなったという反面、経路でないと出づらい、女性の参加は難しいなどの声も多い。地域が一丸となれるように実施しているのが検討し良い方向を見出していききたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ふれあいスポーツ祭	地区費	継続	1	0	0	4,747	10月13日	飯田西中学校校庭
	地区住民が一堂に集い、健康的に交流することを図る	実行委員会を立ち上げ、スポーツ祭を実施。 中学生にも実行委員会として種目の検討から前日の準備まで地域の大人と関わり、参画してもらっている。							
	目的	【総括と今後の方向付け】 雨天により中止。 スポーツ祭は文化祭と同様に地域全体がまとまれる事業であるので、企画の段階からしっかりと協議を進めていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会	地区費	継続	1	65	65	4,747	11月24日	丸山小学校体育館
	ワンバウンドふらば～るバレーを使ったリーグ戦を実施。 （実施内容） 参加チーム：9チーム 1位リーグ優勝：白山通りB 2位リーグ優勝：大休 3位リーグ優勝：正永町2丁目	【総括と今後の方向付け】 運動が苦手な人でも気軽に参加できるスポーツ事業ということで地区内では好評であるが、今年は他事業のソフトボール大会との兼ね合いで11月に変更し、駅伝大会と同月になり選手集めに苦労したという声が多かった。地区の役員の負担も考慮し、全体を通して事業数の見直しを計り、ワンバウンドふらば～る大会は次年度は実施しないことを決めた。その中で住民のつながりを改めて検討していきたい。							
	地区住民を対象に、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツを通して健康増進と交流を図る	評価 地区住民を対象に、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツを通して健康増進と交流を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲碁ボール大会	地区費	継続	1	80	80	4,747	1月26日	羽場公民館
	町内対抗による囲碁ボール大会を実施。本年度は文化スポーツクラブと共催。 （実施内容） 参加：16チーム Aコート優勝：文化スポーツクラブ、Bコート優勝：羽場町3丁目、Cコート優勝：白山通りB、Dコート優勝：宮本町	【総括と今後の方向付け】 ソフトバレーボール大会から、囲碁ボール大会に変更して3年が経過した。多くの方が気軽に参加できる競技であり、参加者からも好評であった。今年は文化スポーツクラブの囲碁ボール大会も合同で行った。開催に関して、囲碁ボールは数名で参加でき、高齢者から子どもまで楽しめるものであるもので、町内対抗とせざるを志で参加できる大会としての位置づけを検討してほしいとの声があり、来年度は大会の在り方について検討していきたい。							
	地区住民を対象に、運動不足解消と住民同士の親睦を図る	評価 地区住民を対象に、運動不足解消と住民同士の親睦を図る							

羽場公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報「あけぼの」の発行			地区費	継続	6	240	10	通年	-
	目的	地域住民を対象に、身近な情報や課題を掲載することで地区への興味や課題解決に向けた意識の高揚を図る		【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会広報部と公民館広報委員会が掲載について検討し、年6回発行している。発行1回について、企画会議等4回実施。 評価						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	きのこ山保全活動			地区費	継続	2	84	40	5月19日・10月20日	風越山麓、妙琴公園ほか
	目的	親子を対象に地域の山の保全の大切さを学び、自然を考える機会とする		【総括と今後の方向付け】 羽場曙友会の皆さんにご協力いただき、きのこの菌打ちから収穫までを体験し、山の保全活動について体験学習した。 （実施内容） ・きのこの菌打ち体験（5月19日 32名参加） ・原木にドリルで穴を開け、くり茸の菌打ちを体験した。 ・きのこ狩りと芋煮会（10月20日 52名参加） 評価						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	魚のつかみ取り			地区費	継続	1	127	127	7月14日	円悟沢川、羽場公民館
	目的	中学生以下を対象に、自然に触れ合いの大切さや自然への関心を持つてもらうきっかけとする		【総括と今後の方向付け】 円悟沢川に魚を放流し、つかみ取りをし、地域の川に親しむ機会として実施計画。 （実施要項） 魚のつかみ取り 台風のため中止 評価						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	おやす、しめ縄作り交流会			地区費	継続	1	40	40	12月15日	羽場公民館
	目的	正月の伝統行事を次世代に伝えるとともに、世代間交流の場とする		【総括と今後の方向付け】 地元の方を講師にしめ縄とおやすを作成。育成委員は、前日から事前準備として、わらの下処理、講師に作り方を学び、子ども達に指導した。 （実施内容） 講師：栗林一彦さん、羽場の昔を学ぶ会の皆さん 評価						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春お楽しみ会			市・地	継続	1	105	105	1月13日	羽場公民館
	目的	正月の伝統行事を次世代に伝え、併せて世代間交流の場とする		【総括と今後の方向付け】 正月の伝統行事であるお餅つきを体験するために実施。同時に伝統的な遊びを、体育委員、交流事体験として囲碁ボールを文化スポーツクラブが担当し開催してゐる。 （実施内容） 餅つき、伝統的な遊び(カルタ取り、けん玉、福笑い)、囲碁ボール体験 カルタ講師：羽場の昔を学ぶ会 共催：羽場文化・スポーツクラブ 評価						

羽場公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	あいさつ標語・ポスターコンクール	地区費	継続	1	169	169	227	8～10月	羽場公民館
	その 他 目 的	【総括と今後の方向付け】 丸山地区まちづくり委員会、東野まちづくり会議と合同実施 (実施内容) あいさつ標語 小学校：4年生、中学校：1年生 あいさつポスター 小学校：2年生、中学校：全校 各地区ごと選考し、文化祭で表彰式を実施した。 評価 羽場地区未来構想の重点テーマに「あいさつと交流で笑顔あふれる羽場」として据えており、安心安全暮らせるように地域を挙げて取り組んでいる。また、丸山小飯田西中コミュニティスクールとしてもあいさつを重点的に取り組んでいることもあり、協力がながら今後も継続実施していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	冬のお楽しみ会	市・地	継続	1	30	30	4,747	11月30日	羽場公民館
	その 他 目 的	共催：図書館羽場分館 (実施内容) 地区住民を対象に、地域の交流と図書館の利便性の向上を図る ゲスト：リジイスクエア 評価 【総括と今後の方向付け】 参加いただいた方からはコスベルで出演者も参加者も一緒に歌い会場が一体となれたと感想があった。時期が早かったか参加者は少なかったが、参加された方からは好意的な意見を頂いた。図書館が地域の身近な交流の場として多世代が集える機会となるように今後も一緒に計画していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	他会計	継続	37	2,331	63	516	5月～3月	丸山小学校
	合同 事 業 目 的	放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。 評価 【総括と今後の方向付け】 放課後の子ども達の安全安心な居場所づくりのために、地域の大人がスタッフとして登録し実施している。また、地域スタッフのものといろいろな体験をし、異学年の児童同士の交流により自主性や協調性を高めることも大切に行っている。スタッフは研修会へも積極的に参加し、研修の内容を活動に取り入れている。一方で、スタッフの高齢化による新規スタッフの開拓が喫緊の課題である。 「飯田型コミュニティスクール」を代表する事業であるので、学校・PTA・地域で話し合い、地域全体で考えていく必要がある。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	探鳥会	市費	継続	2	170	80	8,152	5月19日、11月30日	風越山麓周辺
	合 同 事 業 目 的	中学生・地区住民を対象に、探鳥会を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る 【春】飯田西中学校～石灯籠周辺まで 【冬】かざこし子どもの森公園周辺 評価 【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥会を実施。講師から鳥の観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。 評価 【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある事業であり、主に中学生が地元の山に登り、自然や野鳥に親しみをもち、主権に飯田西中学校の愛鳥愛自然委員会の方々がサポートし、中学生の主体的な活動になるように、さらなる検討をしていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	かざこしふれあいコンサート	地区費	継続	1	350	350	8,152	8月31日	丸山小学校
	合 同 事 業 目 的	羽場公民館・丸山公民館共催。企画段階から小中学校の先生に入ってもらい、子どもたちにとってどんな機会になればいいか考えながら企画している。 出演団体 ・丸山小学校金管バンド ・丸山小学校合唱クラブ、羽場懐かしい歌を歌う会 ・飯田西中学校吹奏楽部 ・丘の上吹奏楽団ゆかいな仲間たち ・飯田高校合唱班【ゲスト】 評価 【総括と今後の方向付け】 小中学校の演奏だけでなく、地元音楽家もゲストとして出演してもらっている。今年度も昨年度に引き続き、丸山小合唱クラブのお手本になればとの思いから飯田高校合唱班の皆さんをゲストとしてお招きした。 毎年恒例の合同演奏・合唱は「ふるさと」、全員合唱は「信濃の国」を歌った。小学生・中学生・高校生・地域の大人が全員で歌うことで、地域の一体感を感じる機会になったのではないかと。 回を重ねるごとに出演団体が増え、コンサートの時間が長くなっていくことから、時期、目的も含め早い段階から小中学校と相談しながら進めていきたい。							

羽場公民館の事業報告

No.6

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	中学生と乳幼児のふれあい学習会		市費	継続	1	120	120	120	7月17日	飯田西中学校
	目的	実施内容	【総括と今後の方向付け】 下平さんは妊娠時・出産後は子ども最優先で生活していたこと、松村さんは命の大切さについて話をしてくれた。中学生の感想の中には「私は赤ちゃんを産むことができるけど、辛いことに耐えられる気持ちや責任感を持っていない」と出産できないと思った「男は出産について分らないことが多く、迷惑をかけてしまうと思うので、もっと関心を持ちたい」「みんな簡単に死にたいと言うので、話を聞いて、止められるように頑張ろうと思った」などがあり、自分たちがいかに大切にされてきたのか、命の大切さについて感じることができたのではないかと。お母さんたちも楽しみに中学生と交流していた。来年度も実施できるように学校と調整していきたい。							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 3日間の活動を通して、子供の成長が見え、子どもに関心をもつ大人も増えた。3地区がそれぞれ地域の特徴を活かした計画を実施し、子ども達に地域を感じてもらったことができたし、地域の子どもの顔も分かってきた。各地区30名程度の参加があったが、人数の規模も丁度よく、猛暑への対応もしやすいこと、地区の子どもと大人のつながりが深まりやすいことなどから、次年度は日程を合わせて3地区3日間それぞれのプログラムで実施したい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	夏休み子ども寺子屋		市・地	継続	3	270	90	508	8月8日～10日	公民館ほか
	目的	実施内容	【総括と今後の方向付け】 羽場・丸山・東野公民館の合同事業。 丸山小学校の子どもを対象に、子ども達の規則正しい生活習慣と、地域の方々や異年齢の児童との交流を通し顔の見える関係づくりを目指した。 8/8、8/9は午前中は学習を行い、各公民館それぞれのプログラムを実施し、8/10は丸山小学校で3館合同で飯盒炊爨を行った。 羽場公民館：8/8おやつ作り、囲碁ボール、8/9企業見学ほか							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 3日間の活動を通して、子供の成長が見え、子どもに関心をもつ大人も増えた。3地区がそれぞれ地域の特徴を活かした計画を実施し、子ども達に地域を感じてもらったことができたし、地域の子どもの顔も分かってきた。各地区30名程度の参加があったが、人数の規模も丁度よく、猛暑への対応もしやすいこと、地区の子どもと大人のつながりが深まりやすいことなどから、次年度は日程を合わせて3地区3日間それぞれのプログラムで実施したい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小PTA・公民館共催講演会		市費	継続	1	350	350	11,044	11月27日	丸山小学校
	目的	実施内容	【総括と今後の方向付け】 丸山小PTA・羽場公民館・丸山公民館・東野公民館共催。 テーマ：LGBT啓発授業～性同一性障害の当事者が語る現状と課題～ 講師：長岡春奈（松本市職員、長野県教育委員会人権教育講師） 内容：LGBTを取り巻く環境、自身の経験などのお話 参加者：丸山小5・6年生、丸山小PTA（全学年）、教職員、一般							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 LGBTの子が過去に丸山小学校に在籍しており、また保護者や子どもたちにも思いやり的心を持ってほしいという思いからLGBTをテーマに設定。講師の方から「LGBTの人は世の中には多くいること」「自分の価値観を当たり前だと思わないでほしい」「人は一人ではなければ生きていける」といったメッセージをいただいた。難しいテーマではあったが、親子で話を聞くことで、小学生も人権について考える機会になったと思われる。来年度も学校・PTAと相談しながら、PTA、地域にとっても必要な情報を聞き、考える機会にしていきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	羽場・丸山地区区成人式		市・地	継続	1	71	71	110	1月12日	羽場公民館
	目的	実施内容	【総括と今後の方向付け】 羽場・丸山地区区合同で各種団体の代表と新成人有志により実行委員会を組織し、毎年2地区で担当館を持ち回り開催。 (成人式までに新成人が行った取り組み) ①プチ同窓会 内容：ワンバウンドふらば～るバレー、焼き肉 参加者：新成人10名、両地区役員10名 ②地域学習「大平宿でディカンプとお話を聞く」 ③式典、祝賀会における新成人の役割分担と依頼（合唱伴奏、指揮、新成人代表あいさつなど） ④新成人企画の企画・準備 スライドショー、ビンゴ、恩師にインタビュー ⑤祝賀会の司会進行（リハーサルを含む） ※3月に西中3年生を対象に5年後の自分や地域を考える機会を設け、新成人にも話をしてもらっている。							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 プチ同窓会から成人式までの5ヶ月間、仲間と一つのものを作り上げる大変さと達成感、また作り上げる過程で両地区の文化正副委員長を始めとした地域の大人の皆さんとの関わりを通して、自分自身を振り返り、これからの人生の糧にしてもいいなと思う関わりが通ってきた。成人式終了後、新成人実行委員からは、当日の司会など慣れないことへ挑戦できたこと、仲間への感謝、支えてくれた地域の方への感謝の声があり、非常に有意義な機会になったことを実感した。 両地区の館長、正副委員長は一連の関わりの中で、新成人が成長していく姿を見て、一緒に作っていく効果を感じており、今後も一緒に作っていく成人式を望んでいる。一方で、実行委員の中には新成人とは成人式当日と2回の会議しか顔を合わせない方もいる。成人の顔が見えづらく、一事業としての関わりという認識を持っている方もいる。そのような中でも、少しでも地域でお祝いをする成人式という意識を持てるよう引き続き両地区で協議をして実施していきたい。							

丸山公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	0・1歳児学級「すくすく学級」		市・地	継続	15	150	10	60	5月～3月(実施内容参照)	丸山公民館 ほか
学級・講座	目的 0・1歳児とその親を対象にした交流の場、育児学習を図る。	保健課との共催。 講師：松村由美子さん(保育士) ボランティアスタッフ：伊坪和代さん	【総括と今後の方向付け】 母親の悩みに講師が答えるだけでなく、他の母親がどうしているかをお互いに話し合いながら進めることで、子育ての不安や悩みの解消の場となるだけでなく、母親同士の良い交流の場にもなっている。 おしゃべりをする機会では、子育ての不安だけでなく、丸山地区の最近の動きや、公民館で何をやっているかを紹介、保育園の情報交換など、地区公民館で実施しているからこそその情報交換もできている。避難場所や災害時の対応についても確認することができた。 ただ、出生数の減少や集いの広場、保育環境の充実については松村先生、保健師さんと一緒に検討していきたい。							
		5/8はじまりの会・図書分館紹介(2・3歳児と合同)、6/5ふれあい遊び、7/3離乳食のお話、8/21おしゃべりタイム、9/4こどもの安全と防災について考えよう、9/12プラネタリウム(2・3歳児と合同)、10/2おっぱいの話と骨盤ケア(宮澤助産師)、10/16ハロウィンを楽しもう・工作(もりっこ)、11/6文化祭展示作品の制作、11/20ミニ運動会、12/4おやつと食事についてのお話、12/18クリスマス会(2・3歳児と合同)、1/15おしゃべりタイム、2/5手形足型をしよう・ふれあい遊び、3/4終わりの会【コロナで中止】	評価 子ども同士の交流がでる程度の人数を確保するため、来年度は羽場地区2・3歳児学級と合同で学級を開講する予定。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	2・3歳児学級「まるやまっこ学級」		市・地	継続	10	40	4	60	5月～3月(実施内容参照)	丸山公民館ほか
学級・講座	目的 2・3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊び・学びと交流の場、育児学習を図る	保健課との共催。 講師：塩沢敏子さん(保育士)	【総括と今後の方向付け】 左記の活動に加え、丸山保育園「ひよこの会」と合同で15回活動している。2歳になると保育園に預ける家庭が多く、参加者が非常に少なくなっている。保護者からは「同世代の子どもたちと交流させたい」と思っているのに・・・という意見もいただいている。子ども同士の交流ができる程度の人数を確保するため、来年度は羽場地区2・3歳児学級と合同で学級を開講する予定。							
		5/8はじまりの会・図書分館紹介(0・1歳児と合同)、6/12お散歩とサツマイモの苗を植えよう、7/10手形足型をしよう・文化祭展示用作品を作ろう、9/11お店屋さんごっこ、9/12プラネタリウム(0・1歳児と合同)、10/9サツマイモ堀り・サツマイモを食べよう、11/13子どもの森公園で遊ぼう、12/8クリスマス会(0・1歳児と合同)、2/12手形足型をしよう・思い出カードづくり、3/18終わりの会・カレーパーティー【コロナで中止】	評価 子ども同士の交流がでる程度の人数を確保するため、来年度は羽場地区2・3歳児学級と合同で学級を開講する予定。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	観月のタベ		市・地	継続	1	-	-	3,405	10月12日	かざこし子どもの森公園
	目的 市民を対象に、月を眺めながらお茶や音楽などの芸術文化に親しむ	主催：観月のタベ実行委員会(風越山を愛する会・公民館・子どもの森公園) 内容：茶席、演奏会 参加団体・個人：裏千家郷津先生、飯田下伊那吟友会中田岳蒼先生、飯田女子高校邦楽クラブ、オカリナすみれ会、たんぽぽの会、Men's Jazz、にこにこフレンズ 【今年は台風により中止】	【総括と今後の方向付け】 通常の演奏会とは異なり、月の観賞を最も大切にしているため、電気を極力使用せず、月明かりのみで実施している。屋外で奏でられる和楽を聞きながら見る月は何とも趣があり、芸術文化に触れる機会となっている。 多くの人に催しを知ってもらい、参加者を増やしたいという思いがあるため、来年度は早めに準備を進め、広報活動に力を入れ行きたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山くらす		市・地	継続	1	32	32	3,405	6月2日	丸山公民館
文化事業	目的 地域住民を対象に、自分たちの住む地域を体験を通して知り学ぼう	林業の現状・鳥獣被害について県林務課の職員より話を聞いたのち、参加者全員で鹿肉ハンバーグを調理した。	【総括と今後の方向付け】 3年前、昨年も「ジビエ」をテーマに実施しようとしたが、いずれも講師のアクシデントにより実施できていなかったため、数年越しの開催であった。 参加者からは「ただ調理して食べるだけでなく、その歴史や背景を知ったうえで体験できたので、より学びが深まった」という感想もいただいた。 来年度も「暮らし」に沿った学習内容を計画していく。							
		テーマ：ジビエ料理を楽しみ学ぼう～森林・林業の現状を知り暮らしに結んで～ 講師：秦峰男さん(シルクホテル料理長、丸山地区在住) 松本さん(南信州地域振興局林務課職員)	評価 参加者から「ただ調理して食べるだけでなく、その歴史や背景を知ったうえで体験できたので、より学びが深まった」という感想もいただいた。 来年度も「暮らし」に沿った学習内容を計画していく。							

丸山公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場			
	いいだ人形劇フェスタ丸山地区公演			他会計	4	342	85	3,405	7月27日、8月2日、3日、4日	丸山公民館ほか			
文化事業	目的 市民を対象に、身近なところで人形劇に親しむ機会をつくる	実施内容 運営：公民館文化部、図書分館 講師：古澤亜由美さん 【8/2 丸山保育園公演】 運営：保育園職員、保育園保護者会、中学生ボランティア5名 劇団：劇団むう「てんぐちゃん」 【8/3 丸山公民館公演】 運営：公民館部員全員（主管：文化部） 劇団：①丸山小学校人形劇クラブつばさ「ゆうかいオオカミと8ひきの子ヤギ」 ②人形芝居えびす座「えびす舞」「寿式三番叟」 【8/4 学生交流公演】 運営：公民館部員全員（主管：文化部）、伊藤一恵さん 劇団：創価大学☆エビカルド「ありがとうの花」「リトルアドベンチャー」 ※公演とは別に丸山公民館宿泊者を対象に以下のことを行った ・りんごん踊り講習会（8/1） ・丸山連の一員としてりんごん参加（8/3）	評価 【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き丸山保育園での公演を実施。昨年は保育園職員と主事で実施したが、今年は保護者会と一緒に計画することができた。また、中学生ボランティアを募集したところ、3名の応募があり、駐車場係として手伝ってもらった。社協サマーチャレンジで来ていた高陵中3年生2名も一緒に手伝ってもらった。スタッフとして関わった保護者から「フェスタすごい」という感想もいただいた。 オリジナル企画としてお面づくりを実施したが、広報不足により参加者が少なくなってしまうので、来年度は工夫していきたい。 学生交流公演では、学生OBの参加が多数あり、交流会がとて盛り上がった。学生を指導しているむすび座さんから「やとと学生交流公演に最適な場所ができた」と言うお言葉もいただいた。地域の受け入れ体制も整ってきたように感じる。この取り組みを続け、丸山公民館が学生人形劇人の「聖地」になれるように努力していきたい。 人形劇PJの成果から、1から中学生と一緒に公演を企画することが中学生の成長につながる事が分かっている。来年度は西中学校区として、西中生と一緒に公演を組み立てる機会ができるように羽場公民館・学校と調整していきたい。				開催期日		開催会場				
			評価 【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き風越山をテーマに実施。信仰の山としての風越山についてお話しただいた。普段考えることのない内容であったため、新しい視点を得られる良い機会であったと思う。 来年度は青壮年会の意見も踏まえた企画をしていきたい。				開催期日		開催会場				
			市・地				継続	1	60	60	3,405	2月24日	丸山公民館
文化事業	目的 地区住民を対象に、1つ目のことをじっくりと考える機会とする	実施内容 丸山連合青壮年会と共催。 テーマ：風越山と生命のよみがえり～重陽の節供とオクンチ～ 講師：櫻井弘人さん（飯田市美術博物館専門研究員）	評価 【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き風越山をテーマに実施。信仰の山としての風越山についてお話しただいた。普段考えることのない内容であったため、新しい視点を得られる良い機会であったと思う。 来年度は青壮年会の意見も踏まえた企画をしていきたい。				開催期日		開催会場				
			評価 【総括と今後の方向付け】 参加団体の減少により展示・出店が少なくなっている。丸山公民館利用団体に限らず、地区外を拠点に活躍している丸山の方の参加を促していきたい。 昨年度末に新石窯が完成したため、恒例のピザ焼き体験が2基で稼働することができた。ただ、人手不足により効率よく実施できなかったのも、来年度は工夫が必要。 芸能発表で高校生の飛び入り参加があり、会場がとて盛り上がった。公民館利用団体の皆さんの活動発表の場を大事にしつつも、若者や子どもが発表できる場としても積極的に活用できるようにしていきたい。 1日目夜の芸能発表（第2部）ではお酒とおでんの提供をしている。町内を超えた様々な人が一堂に会し、公民館大会議室で酒・おでんを食しながら芸能発表を観賞する様子は、壮観であった。このような機会を大切にしながら来年度も内容を検討していく。				開催期日		開催会場				
			地区費				継続	1	1,200	600	3,405	11月9日、10日	丸山公民館
文化事業	目的 地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る	実施内容 【展示】 社教団体活動報告・作品展示、個人作品展示、小中学校作品展示（絵画・書など）、まちづくり委員会各委員会活動報告展示など 【催事】 ピザ焼き体験、パン焼き体験、屋台販売、ごみ分別クイズ、茶席、体組成測定、婦人会喫茶など 【芸能発表】 金管バンド、合唱クラブ、新体操、剣道、ハンドベル、オカリナ、コーラス、民謡、フラダンス、詩吟、太鼓、マジック、ジャグリング、人形劇など	地区内の団体や教室・サークル活動の発表の場、住民の文化交流の場。 主催：文化祭実行委員会（実行委員長：小澤まちづくり会長） 主管：公民館文化部				開催期日		開催会場				
			地区費				継続	1	1,200	600	3,405	11月9日、10日	丸山公民館
			地区費				継続	1	1,200	600	3,405	11月9日、10日	丸山公民館

丸山公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	町内対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	-	-	3,405	6月16日	押洞グラウンド
	実施内容	町内対抗形式で開催。各町体育部員を中心にチームを編成。参加チーム：6チーム(今2、今4、丸1、丸3、丸4、滝の沢)							
	目的	地区住民を対象に、町内の親睦と交流を図る 【雨天により中止】							
体育事業	丸山地区市民大運動会	地区費	継続	1	450	450	3,405	10月20日	丸山小学校
	実施内容	主催：運動会実行委員会(実行委員長：小澤まちづくり会長) 主管：まちづくり委員会厚生委員会 優勝：丸山町4丁目 2位：今宮町3丁目 3位：今宮町1丁目 今年度の特徴 ・かりもの競走のお題を変更。 ・玉入れの復活 ・パラエティリレーの内容変更 ・中学生実行委員の選出方法変更							
	目的	地区住民を対象に、地区住民と交流を地区の結びつきや活性化を図る							
体育事業	ワンバウンドふらばーるバレー大会	地区費	継続	1	80	80	3,405	11月23日	丸山小学校
	実施内容	ワンバウンドふらばーるバレーを6チームで実施 優勝：マルヨン排球部 2位：丸山町4丁目 3位：混合チーム(今宮町2丁目B)							
	目的	地区住民を対象に、ニュースポーツの普及と広い年代層での親睦と交流を図る							
体育事業	健康講座	市・地	継続	1	-	-	3,405	3月14日	丸山公民館
	実施内容	体育部・青少年健全育成部共催事業。 テーマ：スポーツ食育講座 講師：友竹浩之(飯田女子短期大学教授) 岩瀬彩香(飯田女子短期大学助教) 【コロナで中止】							
	目的	地区住民を対象に、運動の効果と心身の健康について考える機会とする。							

丸山公民館の事業報告

No.4

区分	事業名					開催期日	開催会場
	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数		
体育事業	囲基ボール大会					2月23日	丸山公民館
	地区住民を対象に、運動不足の解消、ニュースポーツの普及と健康増進を図る	地区費	継続	1	40	2月23日	丸山公民館
	実施内容	参加18チームを6つに分けて、予選リーグと決勝リーグを開催。 1位リーグ優勝：広報部チーム、今宮町2丁目B 五目賞：今2A、チーム館長、今2B、今3、丸1B					【総括と今後の方向付け】 2人でチームができてしまうので、役員ばかりの参加になっている。老若男女で楽しめるスポーツなので、幅広い年代の人が参加できるように工夫が必要。
広報事業	事業名					開催期日	開催会場
	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催会場
	広報まるやまの編集	地区費	継続	4	-	3,405	丸山公民館
広報事業	実施内容	36号(6月)、37号(9月)、38号(12月)、39号(3月)。 まちづくり委員会と合同で発行。それぞれの広報部門で内容の検討を行いながら、合同の企画会議や編集会議も開催し紙面の充実を図っている。					【総括と今後の方向付け】 公民館事業を中心に、「人」にフォーカスした紙面づくりができています。地域の紹介も行い、「人」にフォーカスした紙面づくりができています。地域で課題となっていること公民館で検討していることなど、結果報告だけでなく、地域の人が地域のことについて考える材料になるような広報紙づくりを目指していきたい。
	実施内容	36号(6月)、37号(9月)、38号(12月)、39号(3月)。 まちづくり委員会と合同で発行。それぞれの広報部門で内容の検討を行いながら、合同の企画会議や編集会議も開催し紙面の充実を図っている。					【総括と今後の方向付け】 公民館事業を中心に、「人」にフォーカスした紙面づくりができています。地域の紹介も行い、「人」にフォーカスした紙面づくりができています。地域で課題となっていること公民館で検討していることなど、結果報告だけでなく、地域の人が地域のことについて考える材料になるような広報紙づくりを目指していきたい。
	実施内容	36号(6月)、37号(9月)、38号(12月)、39号(3月)。 まちづくり委員会と合同で発行。それぞれの広報部門で内容の検討を行いながら、合同の企画会議や編集会議も開催し紙面の充実を図っている。					【総括と今後の方向付け】 公民館事業を中心に、「人」にフォーカスした紙面づくりができています。地域の紹介も行い、「人」にフォーカスした紙面づくりができています。地域で課題となっていること公民館で検討していることなど、結果報告だけでなく、地域の人が地域のことについて考える材料になるような広報紙づくりを目指していきたい。
育成事業	事業名					開催期日	開催会場
	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催会場
	スポーツ・文化教室支援事業	地区費	継続	1	50	3,405	丸山公民館
育成事業	実施内容	丸山公民館に登録のある小学生向けスポーツ教室の支援。 今年度は「飯田ファイブスタース」「丸山JFC」「丸山剣道教室」の3団体が登録している。 4/7開講式(各教室の指導者紹介、各教室に分かれて保護者懇談会) 3/8開講式(各教室活動発表、修了証の授与)【コロナで中止】 3/13指導者・保護者研修会「スポーツをする子どもの食育」【コロナで中止】 ※上記以外に代表者を年2回開催					【総括と今後の方向付け】 少子化に伴い、各教室とも参加児童の減少が問題となっている。特にサッカー・野球はチームを維持するためにはある程度の人数が必要となってくるので、公民館として適宜相談にのり、地元でのスポーツ環境を維持できるように協力していく。また、昨年度まであった将棋教室が「スポーツ文化教室」の枠から独立してしま、子どもが参加できる文化系教室がなくなってしまう。子どもたちのニーズも確認しながら、子どもたちがスポーツや文化に触れられる機会をどうすればいいかを考えていきたい。
	実施内容	丸山公民館に登録のある小学生向けスポーツ教室の支援。 今年度は「飯田ファイブスタース」「丸山JFC」「丸山剣道教室」の3団体が登録している。 4/7開講式(各教室の指導者紹介、各教室に分かれて保護者懇談会) 3/8開講式(各教室活動発表、修了証の授与)【コロナで中止】 3/13指導者・保護者研修会「スポーツをする子どもの食育」【コロナで中止】 ※上記以外に代表者を年2回開催					【総括と今後の方向付け】 少子化に伴い、各教室とも参加児童の減少が問題となっている。特にサッカー・野球はチームを維持するためにはある程度の人数が必要となってくるので、公民館として適宜相談にのり、地元でのスポーツ環境を維持できるように協力していく。また、昨年度まであった将棋教室が「スポーツ文化教室」の枠から独立してしま、子どもが参加できる文化系教室がなくなってしまう。子どもたちのニーズも確認しながら、子どもたちがスポーツや文化に触れられる機会をどうすればいいかを考えていきたい。
	実施内容	丸山公民館に登録のある小学生向けスポーツ教室の支援。 今年度は「飯田ファイブスタース」「丸山JFC」「丸山剣道教室」の3団体が登録している。 4/7開講式(各教室の指導者紹介、各教室に分かれて保護者懇談会) 3/8開講式(各教室活動発表、修了証の授与)【コロナで中止】 3/13指導者・保護者研修会「スポーツをする子どもの食育」【コロナで中止】 ※上記以外に代表者を年2回開催					【総括と今後の方向付け】 少子化に伴い、各教室とも参加児童の減少が問題となっている。特にサッカー・野球はチームを維持するためにはある程度の人数が必要となってくるので、公民館として適宜相談にのり、地元でのスポーツ環境を維持できるように協力していく。また、昨年度まであった将棋教室が「スポーツ文化教室」の枠から独立してしま、子どもが参加できる文化系教室がなくなってしまう。子どもたちのニーズも確認しながら、子どもたちがスポーツや文化に触れられる機会をどうすればいいかを考えていきたい。
育成事業	事業名					開催期日	開催会場
	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催会場
	お正月飾り教室	市・地	継続	1	30	3,405	丸山公民館
育成事業	実施内容	お正月飾り、しめ縄づくりを講師の人から教えてもらい、自分で作成する。 講師：久保田浩史さん(丸山町3丁目、農家)					【総括と今後の方向付け】 伝統文化であるお正月飾りを体験してもらうとともに、親子の参加を呼びかけることで親子のふれあいの場となっている。講師が高齢であるため、継続実施するために技術の継承者が必要。
	実施内容	お正月飾り、しめ縄づくりを講師の人から教えてもらい、自分で作成する。 講師：久保田浩史さん(丸山町3丁目、農家)					【総括と今後の方向付け】 伝統文化であるお正月飾りを体験してもらうとともに、親子の参加を呼びかけることで親子のふれあいの場となっている。講師が高齢であるため、継続実施するために技術の継承者が必要。
	実施内容	お正月飾り、しめ縄づくりを講師の人から教えてもらい、自分で作成する。 講師：久保田浩史さん(丸山町3丁目、農家)					【総括と今後の方向付け】 伝統文化であるお正月飾りを体験してもらうとともに、親子の参加を呼びかけることで親子のふれあいの場となっている。講師が高齢であるため、継続実施するために技術の継承者が必要。
育成事業	事業名					開催期日	開催会場
	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催会場
	丸山地区ウォーキング大会	市・地	継続	1	-	3,406	丸山公民館 ほか
育成事業	実施内容	健康福祉委員会と共催。2つのコースで実施。ゴール後は豚汁の無料サービス。 コース①「みちくさコース」(公民館担当) 公民館→白山社→石灯籠→子どもの森公園→公民館 コース②「ボールウォーキングコース」(健康福祉担当) 公民館→白山社→阿弥陀寺→公民館 【コロナで中止】					【総括と今後の方向付け】 昨年、一昨年は雨天中止をしており、3年連続での中止となってしまった。年々参加者が減少しているため、実施有無も含め、やり方の検討が必要。
	実施内容	健康福祉委員会と共催。2つのコースで実施。ゴール後は豚汁の無料サービス。 コース①「みちくさコース」(公民館担当) 公民館→白山社→石灯籠→子どもの森公園→公民館 コース②「ボールウォーキングコース」(健康福祉担当) 公民館→白山社→阿弥陀寺→公民館 【コロナで中止】					【総括と今後の方向付け】 昨年、一昨年は雨天中止をしており、3年連続での中止となってしまった。年々参加者が減少しているため、実施有無も含め、やり方の検討が必要。
	実施内容	健康福祉委員会と共催。2つのコースで実施。ゴール後は豚汁の無料サービス。 コース①「みちくさコース」(公民館担当) 公民館→白山社→石灯籠→子どもの森公園→公民館 コース②「ボールウォーキングコース」(健康福祉担当) 公民館→白山社→阿弥陀寺→公民館 【コロナで中止】					【総括と今後の方向付け】 昨年、一昨年は雨天中止をしており、3年連続での中止となってしまった。年々参加者が減少しているため、実施有無も含め、やり方の検討が必要。

丸山公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	正月あそび・もちつき体験		市・地	継続	1	140	140	3,405	1月19日	丸山公民館
	地区住民を対象に、伝統行事の継承と地域の交流と親子のふれあいを図る	実施内容	お正月の遊びやもちつきなどの伝統文化を地元の方を講師に実施。飯田西中学校の生徒が風作りを地域の講師から教えてもらい、当日参加した小学生や親子に教えた。 【実施内容】 風作り(講師：佐藤文哉さん・西中生徒) 百人一首(講師：中島美美子さん・西中生徒) おしなご(講師：篠田啓子さん・西中生徒) もち加工(講師：豊口拓也さん・西中生徒) 花札・コマ回し・羽根つき・もちつき(講師：公民館部員) 風あげ(片付け終了後、希望者で実施)							
		目的	【総括と今後の方向付け】 地域講師から、家庭では行うことが少なくなかった正月遊びともちつきを教える機会もあり、親子で体験することで多世代の交流ができていた。今年度は丸山地区外の人にも参加を呼びかけ、多くの方に来ていただくことができた。 また、中学生が積極的に小学生に風の作り方を教える姿が見られた。もちの加工も楽しみながら地域の役員さんや講師の先生と一緒に作る姿も見られた。来年度は参加者が楽しいだけでなく、中学生スタッフにとっても「学び」になるような工夫をしていきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子交流体験事業「子どもの森公園探検隊」		地区費	継続	1	45	45	3,405	7月21日	かざこし子どもの森公園
	親子を対象に、体験を通じて家庭内での親子のつながりを深めることを図る	実施内容	かざこし子どもの森公園と共催。 親子で同じ体験をし、会話しながら学ぶことで家庭内でのコミュニケーションをとってもらうために何ができるかを検討し、以下のことを実施。 ・火起こし ・飯ごう炊さん ・川魚について学習 ・魚つかみ ・魚をさばいて焼く							
		目的	【総括と今後の方向付け】 事業自体は4年目だが、昨年大きく内容を変更している。昨年はつかみ取りの前に多くの魚が死んでしまうというハプニングがあったが、今年は反省を生かし、大丈夫であった。 お父さんの参加が多くあり、親子で楽しんでいる姿もあった。 参加者からは「親子で相談しながら作ることができた」「魚つかみは減多に経験できないので良かった」との感想が聞かれた。 来年度も子どもにどんな経験をさせてあげたいか考える中で、内容を検討していきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	かざこしふれあいコンサート		市・地	継続	1	350	350	8,152	8月31日	丸山小学校
	小中学生、市民を対象に、地元で活躍している音楽家による生の演奏を楽しむ機会を提供し、芸術文化の向上を図る	実施内容	羽場公民館・丸山公民館共催。企画段階から小中学校の先生に入ってもらい、子どもたちにとってどんな機会になればいいか考えながら企画している。 出演団体 ・丸山小学校金管バンド ・丸山小学校合唱クラブ、羽場懐かしい歌を歌う会 ・飯田西中学校吹奏楽部 ・丘の上吹奏楽団ゆかいな仲間たち ・飯田高校合唱班【ゲスト】							
		目的	【総括と今後の方向付け】 小中学校の演奏だけでなく、地元音楽家もゲストとして出演してもらっている。今年度も昨年度に引き続き、丸山小合唱クラブのお手本になればとの思いから飯田高校合唱班の皆さんをゲストとしてお招きした。 毎年恒例の合同演奏・合唱は「ふるさと」、全員合唱は「信濃の国」を歌った。小学生・中学生・高校生・地域の大人が全員で歌うことで、地域の一体感を感じる機会になったのではないかと。 回を重ねるごとに出演団体が増え、コンサートの時間が長くなっていることから、時期、目的も含め早い段階から小中学校と相談しながら進めていきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	探鳥会		市費	継続	2	170	80	8,152	5月19日、11月30日	風越山麓周辺
	中学生・地区住民を対象に、探鳥会を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る	実施内容	羽場公民館・丸山公民館・飯田西中学校共催事業 西中学校の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥会を実施。講師から鳥の観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。 【春】飯田西中学校～石灯籠周辺まで 【冬】かざこし子どもの森公園周辺							
		目的	【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある事業であり、主に中学生が地元の山に登り、自然や野鳥に親しみを持ってもらう機会である。主催に飯田西中学校の愛鳥園芸委員会の皆さんが関わっていることで、中学生の主体的な活動になるように、さらなる検討をしていきたい。							

丸山公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	他会計	継続	37	2,331	63	516	5月～3月	丸山小学校
	地域ボランティアスタッフの指導と見守り 放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小PTA・公民館共催講演会	市・地	継続	1	350	350	11,044	11月27日	丸山小学校
	丸山小PTA・羽場公民館・丸山公民館・東野公民館共催。 テーマ：LGBT啓発授業～性同一性障害の当事者が語る現状と課題～ 講師：長岡春奈(松本市職員、長野県教育委員会人権教育講師) 内容：LGBTを取り巻く環境、自身の経験などのお話 参加者：丸山小5・6年生、丸山小PTA(全学年)、教職員、一般図る								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	風越山を愛する会事務局 ・風のたより発行 ・イラストマップの販売 ・各種登山の計画 ・運営委員会の開催 ・各種イベントへの協力(わくわくPJ、登山マラソン、文化祭、丸山小登山など)	他会計	継続	-	-	-	3,405	通年	丸山公民館、風越山等
	飯田市のシンボル「風越山」の自然・歴史・文化にふれる機会を通して、山の魅力を伝える自然保護を高める活動を展開している。運営委員会を中心に企画運営を行っている。登山の実施前実施後はホームページを通じて情報発信している。今後も地域内外の住民に風越山の魅力を感ぜてもらうための事業を検討していきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	まるやま石窯部 組織を立ち上げて3年目。この組織は、石窯を活用しながら、「誰でも気軽に集まり、一緒に楽しく活動しながら、親睦を深められる場づくり」を目指している。公民館としては、石窯部の活動や関わる人の想いを広げられるように事業を援助していく。 ・石窯の修理 ・文化祭への参加、協力 ・Tシャツ、旗の作成	他会計	継続	2	60	30	3,405	通年	丸山公民館
	誰もが気軽に集えるスペース作りを通して、住民相互の学習・交流を深める								

東野公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	三館合同乳幼児学級(橋北・橋南・東野)		市・地	継続	16	136	17組	【総括と今後の方向付け】 保護者にとっては、子育ての悩みをスタッフに相談できる場、子育ての知識を学ぶ場、親同士の繋がりができる場になった。子どもにとっては、家以外で大人と関わる場、集団活動する体験ができる場、様々な社会体験ができる場となった。家事や他の兄弟と離れて、ゆとりと親子が向き合い、触れ合える時間にもなった。今後も成長段階に応じて必要な内容を提供できるよう、保健師、保育士とともに計画していきたい。	東野公民館ほか
	乳幼児とその保護者を対象に、子ども同士や親子のふれあいの場、親同士の交流の場をつくり、子どもの健全な成長を図る。	実施内容	橋北・橋南・東野地区の三館合同事業で、東野は3歳児を担当した。内容については、前年度の様子を踏まえ、保育士と保健師、主事が協議し決定した。 ①5/22開講式、②6/12親子で遊ぼう、③6/26動物園へ行こう、④7/10ピザ作り、⑤7/24楽しい人形劇、⑥9/4ぶどう狩り、⑦9/18運動遊び、⑧10/9リトミック、⑨10/17消防署見学、⑩11/6ミニ運動会、⑪11/13絵本の読み聞かせ、⑫12/11クリスマスパーティー準備、⑬12/18クリスマスパーティー、⑭1/22お正月遊び・豆まき、⑮2/5いちご狩り、⑯2/26記念文集作り、⑰3/11閉講式※コロナウィルス感染症予防のため中止	評価	【総括と今後の方向付け】 保護者にとっては、子育ての悩みをスタッフに相談できる場、子育ての知識を学ぶ場、親同士の繋がりができる場になった。子どもにとっては、家以外で大人と関わる場、集団活動する体験ができる場、様々な社会体験ができる場となった。家事や他の兄弟と離れて、ゆとりと親子が向き合い、触れ合える時間にもなった。今後も成長段階に応じて必要な内容を提供できるよう、保健師、保育士とともに計画していきたい。	東野公民館ほか			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	独居高齢者学級「五福の会」		市・地	継続	15	104	10	【総括と今後の方向付け】 15回の学級をおとし、楽しみややりがいにつながった。特に保育園との交流では、子ども達から元気をもらう姿があった。昼食会では普段テレビと向き合って食べているので、みんなと食べられ嬉しいとの感想が聞かれた。寒い時期のお風呂が心配、夜寝つきが悪い、服をどこで買うか等、同じ独居高齢者という境遇だからこそその悩みを相談しあえる時間にもなった。今後も独居高齢者が繋がる学級として継続していきたい。	東野公民館ほか
	70歳以上の独居高齢者を対象に、健康づくりと交流の場づくりを図る	実施内容	毎月第1・3月曜日に実施した。講師を招くなど主事が企画したり、参加者が考えて自主活動したりした。 ①5/20開講式、②6/3ボードゲーム、③6/17囲碁ボール、④7/1食事会・保健師の話、⑤8/19南信州新聞社見学、⑥9/2手芸、⑦10/7手芸、⑧10/21手芸、⑨11/18慈光保育園と交流、⑩12/8歌と楽器、⑪12/16ペタンク・ボッチャ、⑫1/20健康運動、⑬2/3健康運動、⑭2/17丸山保育園と交流、⑮3/2食事会・閉講式	評価	【総括と今後の方向付け】 15回の学級をおとし、楽しみややりがいにつながった。特に保育園との交流では、子ども達から元気をもらう姿があった。昼食会では普段テレビと向き合って食べているので、みんなと食べられ嬉しいとの感想が聞かれた。寒い時期のお風呂が心配、夜寝つきが悪い、服をどこで買うか等、同じ独居高齢者という境遇だからこそその悩みを相談しあえる時間にもなった。今後も独居高齢者が繋がる学級として継続していきたい。	東野公民館ほか			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	女性学級「めだかの学校」		市・地	継続	10	89	13	【総括と今後の方向付け】 参加者同士で話し合って内容を決めることで、主体的に参加してもらうことができた。この学級でできた仲間を誘って、寺子屋スタッフとして参加してくれる等、広がりを見せている。今後も女性同士の繋がりを深められ、また、女性のパワフルさを活かせるような内容を参加者と一緒に考えていきたい。	東野公民館ほか
	地区内女性を対象に、学習・交流を図る	実施内容	毎月第2火曜日に実施した。受講生の中から選出した正副学級長を中心に、参加者、館長、主事で話し合い内容を決めた。 ①5/14開校式、②6/4研修旅行(信州花フェスタ)、③7/9災害の話、④9/10健康運動、⑤10/8タイラアート、⑥11/12囲碁ボール、⑦12/8和紙づくり、⑧1/14ニューススポーツ、⑨2/18音楽教室、⑩3/17閉校式	評価	【総括と今後の方向付け】 参加者同士で話し合って内容を決めることで、主体的に参加してもらうことができた。この学級でできた仲間を誘って、寺子屋スタッフとして参加してくれる等、広がりを見せている。今後も女性同士の繋がりを深められ、また、女性のパワフルさを活かせるような内容を参加者と一緒に考えていきたい。	東野公民館ほか			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	若草の里東野講座		市・地	継続	3	109	109	【総括と今後の方向付け】 地域住民からの要望や時勢にあったもの、地域発見に繋がるものが企画でき、参加者は身近な話題として学習できた。①は慈光保育園、②はまちづくり会議健康福祉委員会と連携し開催し、共通する課題に対し一緒に取り組むことができた。今後も関係団体と連携しながら、地域の課題や再認識すべきことをテーマに企画していきたい。	東野公民館ほか
	住民を対象に、地域の歴史や文化、健康福祉、環境等の生活に身近な課題をテーマにして共に学び共に成長を図る	実施内容	①6/15「子供の将来のために becoming a parent」講師：飯田市地域リハビリテーション専門技査塚原茂樹氏 ②11/3「身近な人が認知症になったときの心構え」講師：飯田病院高木医師、飯田包括支援センター ③12/8「ひさかた和紙を学ぼう 紙すき体験講座」講師：ひさかた和紙保存会	評価	【総括と今後の方向付け】 地域住民からの要望や時勢にあったもの、地域発見に繋がるものが企画でき、参加者は身近な話題として学習できた。①は慈光保育園、②はまちづくり会議健康福祉委員会と連携し開催し、共通する課題に対し一緒に取り組むことができた。今後も関係団体と連携しながら、地域の課題や再認識すべきことをテーマに企画していきたい。	東野公民館ほか			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	書初め書道教室		市・地	継続	1	14	14	1月6日	東野公民館
	小学生高学年以上を対象に、書道の上達を図る機会を設ける	実施内容	小学生を対象に、新年の書初め教室を実施。講師による指導の下、それぞれ学校の課題に取り組んだ。学校提出用を仕上げ、それ以外の作品は、地区のどんど焼きで燃やすことにした。 講師：志水順子氏	評価	【総括と今後の方向付け】 始まるまでは騒いでいた子ども達が、教室が始まると、静かに真剣に、書と自分と向き合っていた。 小2～小6までがひとつの部屋で行ったが、低学年の生徒が集中する姿を見て、高学年も刺激を受けながら最後まで集中して取り組んでいた。	東野公民館			

東野公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	山菜採り勉強会			市・地	継続	1	19	2,892	5月6日	高森研修センター森の家
	目的	住民を対象に、山菜について学習し、自然の恵り変わりを感じながら交流を図る						【総括と今後の方向付け】 本来ならば地元での勉強会が望ましいが、山菜が採れる場所ではないと講師や部員で判断し、地区外で開催した。部員や参加者で、採れたての山菜を調理し、試食しながら交流することができ、山菜について一同で理解を深めることができた。今後は、若い世代も参加しやすいよう内容を見直し、世代間交流をしながら学習できる機会としたい。	評価	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019東野地区公演			他会計	継続	5	544	2,892	実施内容参照	実施内容参照
	目的	地域住民を対象に、身近なところで人形劇を親しむ環境づくりと、住民の主体的文化活動の推進を図る						【総括と今後の方向付け】 運営には、専門委員や自治会が主体的に取り組んでおり、身近な場所でも人形劇を見られる環境を、地元の人々が作り上げるという雰囲気ができている。今後も地域の文化としてより根付くよう、住民の関心を高められる取り組みをしたい。あわせて、小中高生が運営に携われる可能性を模索していきたい。	評価	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第47回東野区民文化祭			地区費	継続	1	500	2,892	実施内容参照	東野公民館
	目的	地域住民を対象に、活動の成果発表の機会と住民の主体的文化活動の推進を図る						【総括と今後の方向付け】 芸能発表会は、飯田東中学校の有志合唱団の歌声や出演者の篠笛の演奏に合わせ、お客さんが歌い出す等一体感のある発表会であった。 展示発表会は、出演者にとつての楽しみであり、来場者にとつては地元の人の意外な才能を発見する機会になった。 どちらも年々来場者、出演者、出展者が減ってはいるが、地域住民のつながりの場として、今後も継続したい。そのために、文化祭の実施方法を検討していく必要がある。	評価	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	東野文化の路探訪会			0円	継続	1	11	2,892	11月17日	橋南～東野
	目的	地域住民を対象に、地域を知り地域を見つめ直す機会を図る						【総括と今後の方向付け】 普段歩いている道でも、ゆっくりと時間をかけてみんなど歩くと、新しい発見があったよう。動物園に数年ぶりにいった参加者もいた。丘の上にある番人の存在を知るとともに、色んな世代が一緒に歩くことで、昔話を聞きながら、町の様子の変わりを知る機会にもなった。今後も幅広い年齢層が参加でき、地域を知る機会となるよう工夫して開催していきたい。	評価	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	しめ縄作り			市・地	継続	1	26	2,892	12月15日	東野公民館
	目的	住民を対象に、高齢者の持つ知恵や技術を次代に繋げる交流の機会を図る						【総括と今後の方向付け】 季節の恒例行事として参加される方が多く、「毎年参加しているおかげで、作り方が分かる」と、講師からではなく、参加者同士でも教え合う姿が見られた。公民館ができた時から毎年しめ縄を作っているという95歳の女性も。おやすは何に使うのか等、正月飾りの意味も教えてくださった。毎年継続することで、四季を感じたり、自分の技術になっていく良さがあると感じた。これからも継続していきたい。	評価	

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	お正月行事		地区費	継続	1	70	70	2,892	1月19日	東野公民館
	目的	子どもを対象に、昔の遊び・餅つきなどを体験を通して多世代交流と文化継承を図る		町内の子ども、親子を対象に、公民館全館を使い、お餅つきや羽子板、百人一首等の昔の遊びを体験する機会として開催した。最後はみんなでお餅を食べ、大人も子どももお正月らしい過ごし方を楽しんだ。				【総括と今後の方向付け】 高齢者が昔ながらの遊びを子どもに教えながら、自らも子どもと同じくくい夢中になって楽しむ姿があった。大人と子どもが昔の遊びを通じて、世代を超えて楽しめる良い時間になった。中学生の参加もあり、賑やかに行うことができた。今後も多世代交流と文化継承をねらい、継続していきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ラージソフトボール大会		地区費	継続	1	-	-	2,892	5月13日～14日	飯田東中学校
	目的	一般男性を対象に、町内外の親睦・交流を図る		女性も参加できるよう、ラージボールという通常より大きいボールを使用したソフトボール大会を計画していたが雨天中止となった。				【総括と今後の方向付け】 女性の参加も可能だが、実際には女性の参加はなく、男性も参加者が集まらず、チームが作れない町内がある。みんなが参加しやすいよう、競技の内容も含め、検討の必要がある。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ファミリ－バレーボール大会		地区費	継続	1	130	11チーム	2,892	7月8日～9日	飯田東中学校
	目的	地域住民を対象に、スポーツを通じて幅広い世代の交流を図る		子どもから大人まで楽しめるソフトバレーボール大会として、男女比率自由の6人編成のチームによる町内対抗のトーナメントで開催した。 優勝：吾妻町南 準優勝：宮ノ上A				【総括と今後の方向付け】 幅広い世代の住民が参加し、大人から子供まで楽しめる大会となった。親子で参加する姿も見られた。人数が足りない町内は、他町内との合同チームで参加可能なため、地区を越えて交流を深めることができた。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会		地区費	継続	1	140	12チーム	2,892	9月9日～10日	飯田東中学校
	目的	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る		子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として開催した。男女比率自由の5人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行った。 ルールは飯田市推奨のものを準用した。 優勝：吾妻町南 準優勝：諏訪町				【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに、地区内での交流ができた。中高生の参加もあった。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第30回東野区民大運動会		他会計	継続	1	650	650	2,892	9月29日	飯田東中学校
	目的	地域住民を対象に、運動を通じて親睦を深め交流し、地域の連帯意識を高める		地区内20自治会を4チームに編成し、17種目の競技で実施した。各町内から人員を選出してもらい、実行委員会を組織し、各係が主体的に運営した。東中生徒に放送係、アトラクションとして吹奏楽の演奏を依頼した。				【総括と今後の方向付け】 年に一度の大勢が集まる大切な機会で、「元気だったか」と久しぶりの再会を喜ぶ参加者の姿があった。町内、チームごとのまとまりも生まれた。実行委員会が主体的に携わり、スムーズに準備を進めることができた。今後も実行委員を選出する自治会やまづくり会議と協力して内容を充実していきたい。大玉送りだけが人が出てしまったため、安全面を考慮し、種目の検討が必要。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ベタンク大会		地区費	継続	1	150	30チーム	2,892	10月15日～16日	飯田東中学校
	目的	一般男女を対象に、町内外の親睦・交流を図る		子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として昨年度から始め、今回2回目。 男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行った。多くの人が参加しやすいように東野ルールを作成し、適用している。 優勝：高羽町東B 準優勝：宮の前C				【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに地区内での交流ができた。町内によっては、大会に向けて事前に集まり練習しているところもあり、よりまとまりを強めることができた。チーム数も昨年度より増え、ベタンクという競技が定着しはじめてきているように思える。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。		

東野公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	囲基ボール大会		地区費 継続	1	110	30チーム	2,892	2月2日	飯田東中学校
体育事業	目的	子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として、町内対抗で実施した。							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 囲基ボールという誰でも参加できるスポーツであることから、3歳から80代まで幅広い世代の参加があった。3名からエントリーできるため、参加のしやすいかやった。体育事業の中で唯一の休日屋開催であるため、子ども、高齢者も参加しやすかったように思える。特に、子どもが熱中しており、ルール説明できるほどになっていた。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。							
広報事業	まちづくり会報「ひがしの」発行		地区費 継続	-	-	-	2,892	実施内容参照	東野地区内
	目的	【総括と今後の方向付け】 記事の取材や編集作業をとおして、広報部員が地区のことを知る機会となった。全頁フルカラーで、文字のポイントも大きくなったため、読み手からも好評であった。今後も地域課題を発信・共有できるような誌面になるよう、広報部で話し合い、発行していきたい。							
広報事業	ビデオ収録・編集		地区費 継続	-	-	-	2,892	実施内容参照	東野地区内
	目的	【総括と今後の方向付け】 運動会や文化祭に來れなかつた方々に当日の様子を共有できた。また、当日参加した方も自分たちの発表はどうだったか等、ビデオを見ながら話をすることができた。							
育成事業	親と子のスポーツ交流会		地区費 継続	1	67	67	2,892	6月9日	開催会場 浜井場小学校
	目的	【総括と今後の方向付け】 日頃は小学校単位で集まることが多い中、地区全体で親子の交流が図れた。町内のPTA事業として位置付けている町内もあり、大勢の参加があった。今後も地区内の親子が気軽に参加し交流できる事業になるよう、育成部と体育部が連携しながら企画していく。							
育成事業	キッズチャレンジ手作り体験		市・地 継続	1	19	19	2,892	11月17日	開催会場 東野公民館
	目的	【総括と今後の方向付け】 小学生を対象に、木片を使い工作をした。こう作らなければいけないという決まりは無く、子どもの自由な発想で制作してもらった。 大宮神社フリーマーケットや連合青壮年会の焼き芋と同日の開催とし、事業終了後、大宮神社に立ち寄るようにした。 講師：清水晴美氏(DIYSHOPハミングバード)							

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
育成事業	子どもお楽しみ会			市・地	継続	1	35	1	2,892	2月9日	東野公民館
	目的	子どもを対象に、職人さんから和菓子作りを学び、子ども同士交流しながら、食に関心をもってもらう機会を設ける	【総括と今後の方向付け】 職人の技を見た後、自分たちで実際にやってみると、見た目以上に難しく、職人さんのすごさを肌で感じる機会となった。4歳の子も生地焼きにチャレンジした。他の子が焼いている姿も一生懸命ながら、全行程1時間半、全員集中してやりきった。子どもが目を輝かせている姿に、大人もほっこりした。今後も、楽しみながら子ども同士が交流できる機会としていきたい。								
	実施内容										
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
育成事業	小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈			地区費	継続	1	35	35	3月		東野地区内
	目的	小学生・中学生卒業生へは、りんご並木清掃や東中学校の伝統である清掃に関連してほろろを、中学校卒業生へは、責任がある行動が出来るようにと印鑑をそれぞれ贈呈する。	【総括と今後の方向付け】 地域として、卒業を祝い、卒業後の活躍を願って記念品贈呈をした。記念品贈呈の趣旨等を記載したのし紙を付け、育成部の思いを伝えることができた。保護者経由で贈呈をしているが、より子供に思いが伝わる渡し方を検討したい。								
	実施内容										
その他	ウォーキング事業「みんなで歩かまい目指せ1万歩」			地区費	継続	1	24	24	11月17日		元善光寺→大宮神社
	目的	地域住民を対象に、健康について考える機会を図る	【総括と今後の方向付け】 歩く前は、完歩できるか不安だったが、実際歩いてみたらまだまだ歩けることが分かり、自信になったという高齢者や、みんなで歩くと楽しい、今度は〇〇へ行ってみたいという声があり、今回の事業が、また歩いてみようという意欲につながったよう。歩くだけではなく、地元の方に説明してもらったことで、同じ飯田市について、地区を超えて学習を深めることができた。今後も楽しく歩くことに加えて、参加者にとって学びのあるような内容を考え実施していきたい。								
	実施内容										
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
その他	明日の東野をつくる集い			他会計	継続	11	120	20	2,892	5月以降毎月第4木曜日	東野公民館
	目的	住民を対象に、地域の現状と課題について住民同士で話し合い、共に学び合う姿勢を育む	【総括と今後の方向付け】 自分たちの地域のことは自分を含め地域の皆で考えて善くしていこう、と住民が主導となって活動できるようになった。楽しく自由に、自分たちの地域についてじっくり話をする時間になっている。これからも、“楽しく”活動が続いて、繋がっていきけるように支援していきたい。								
	実施内容										
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
その他	図書館お楽しみ会			市・地	継続	5	210	210	2,892	実施内容参照	東野公民館
	目的	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図るとともに、参加者同士の交流の場とする	【総括と今後の方向付け】 東野分館職員が工夫を凝らした取り組みを行っており、図書館の利用促進と同時に地域の子どもたちの交流の機会となっている。今後は子どもだけでなく、大人世代向けの企画も考えていければよい。								
	実施内容										

東野公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯田OIDE長姫高校地域人教育	他会計	継続	35	1,000	8	2,892	通年	東野地区内
	【総括と今後の方向付け】 継続し地域人教育に関わってきたことにより、地域内の認知度が高まっており、受け入れ態勢も整ってきている。高校生にとっては、地域の中で、年齢、職業、考え方が異なる方たちから学んだり、大人と同じように期待されてなにかを実践する機会となり、地域住民にとっては高校生と関わることで、自身の取り組みを振り返ったり、活力をもらったり、自分の地区の若者へ目が向く機会となった。今後も地域と高校が連携し、相互に高め合っていくような取り組みにしたい。								
	地域住民や高校生を対象に、多様な人との交流を通して地域を知り愛着を深めることを目指す。			地域人教育の授業時間(毎週4、5、6時間目)に活動について先生、生徒と話し合い、今年度は「柏原産野菜を広める」というテーマのもと活動した。 通年：柏原野菜の学習、広めるための方法の検討、地区行事への参加 9月29日：東野地区運動会でももち販売 11月17日：フリーマーケットでももち販売 12月14日：イルミネーション点灯式にいてももち提供 12月26日：地区の関わった方と活動のふりかえり会	評価				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	春休み子ども寺子屋ひがしの	市・地	継続	1	219	73	2,892	3月23日～25日	東野公民館ほか
	【総括と今後の方向付け】 東野地区として単独で開催する寺子屋は、今回で2回目。検温してから参加してもらう等、コロナウイルス感染症に細心の注意を払う中での開催となった。 毎日勉強の時間を取り、地区の大人が子ども達の春休みの宿題を見守ったが、地区内の教員OBたちが活躍した。保護者とは、連絡帳を通じて子どもたちの様子を共有した。 3日間の活動を通して、子ども達は学校・学年を越えて仲良くなり、大人と子どもは名前呼び合える関係ができた。企画にあたり、子どもに対してこんなことができそう等、多くの住民と話をした。今後も寺子屋事業を通じて、子ども同士の繋がりを強めるとともに、地域に関わる大人を増やしていきたい。								
	東野地区児童を対象に、春休み期間の居場所に、春休み学習支援をし、所作りと学習支援をし、地域を学ぶ事で誇りと愛着の醸成を図る			東野地区にいながら、遠う小学校に通う子どもたちの交流や、子どもと大人が顔見知りになることを狙い、グループを作り3日間活動する。 3/23 正しい手洗い講座 講師：橋爪保健師 アフリカンドラムとダンス 講師：サブニュマ 3/24 飯田線の話 講師：飯田駅職員 東京五輪・パラリンピック公式文化プログラム 巨大人形「モッコ」見学 3/25 電車に乗って天竜峡大橋へ行こう	評価				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	他会計	継続	37	2,331	63	516	5月～3月	丸山小学校
	【総括と今後の方向付け】 放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。								
	地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す			放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。	評価				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	150	150	8,510	7月14日	りんご庁舎2階オーブンスペース
	【総括と今後の方向付け】 今年も橋南夏祭りとコラボして開催した。実施前から当日の天候が心配されたため、会場をりんご庁舎2階のオーブンスペースに移しての実施であったが、各公民館の専門委員等の協力により、演奏会を目的に来た方はもちろん、夏祭りに来た方も演奏会場にスムーズに誘導することができた。「まちかどコンサート」のように開催するあり方が定着してきており、多くの方に身近な場所で高レベルの生演奏の音楽を楽しむ機会を提供できた。								
	地域住民を対象に、身近な場所でのプロの演奏家による音楽を楽しむ機会を創出を図る。			橋北・橋南・東野地区の3公民館が共催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力して実施した。 演奏者：新日フィルメンバ―(中館杜志・田村安紗美・松崎千鶴・濱本実加・弘田徹)によるクラリネット5重奏	評価				

東野公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	夏休み子ども寺子屋		市・地	継続	1	270	90	8月8日～10日	公民館ほか
合同事業	目的	【総括と今後の方向付け】 3日間の活動を通して、子供の成長が見え、子どもに関心をもつ大人も増えた。3地区がそれぞれ地域の特徴を活かした計画を実施し、子ども達に地域を感じてもらったことができたし、地域の子ども達の顔も分かってきた。 各地区30名程度の参加があったが、人数の規模も丁度よく、猛暑への対応もしやすいこと、地区の子どもと大人のつながりが深まりやすいことなどから、次年度は3日間とも3地区それぞれでそのプログラムで実施したい。ただし、開催期日は3地区で合わせる。							
	実施内容	羽場・丸山・東野公民館の合同事業。 丸山小学校の子どもを対象に、子ども達の規則正しい生活習慣と、地域の方々や異年齢の児童との交流を通し顔の見える関係づくりを目指した。 8/8、8/9は各公民館それぞれのプログラムを実施し、8/10は丸山小学校で3館合同で飯盒炊爨を行った。 羽場公民館:8/8おやつ作りほか、8/9企業見学ほか 丸山公民館:8/8地域探検ほか、8/9ホットドッグ作りほか 東野公民館:8/8消防団と放水体験、8/9東野人形劇あかねと人形作り							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小PTA・公民館共催講演会		地区費	1	350	350	11,044	11月27日	丸山小学校
	目的	【総括と今後の方向付け】 LGBTの子が過去に丸山小学校に在籍していた、また、保護者や子どもたち思いやりの心を持ってほしいという思いからLGBTをテーマに設定。講師の方から「LGBTの人が世の中には多くいること」「自分の価値観を当たり前だと思わないでほしい」「人は一人では生きていけない」といったメッセージをいただいた。難しいテーマではあったが、親子で話を聞くことで、小学生も人権について考える機会になったと思われる。 来年度も学校・PTAと相談しながら、PTA、地域にとつて必要な情報を聞き、考える機会にしていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式		他会計	1	73	73	117	1月12日	飯田市公民館
	目的	【総括と今後の方向付け】 成人有志、公民館委員、職員から組織する実行委員会体制で次の内容を実施。 ・成人式実行委員会を開催し、当日の企画、準備 ・成人実行委員による地域学習の実施 (学習テーマ「丘の上の飲食店」) ・式典の実施 ・祝賀会の実施							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会		地区費	1	35	1	8,510	2月2日	飯田市美術館
	目的	【総括と今後の方向付け】 東中学校区三館合同事業として実施予定。今年度、大規模リニューアルをおこなった飯田市美術館を舞台に、丘の上を学べる機会とした。また、講演会後にはプラネタリウムの鑑賞会も実施した。 演題:「飯田市美術館で丘の上を学ぼう!」 講師:飯田市美術館学芸員3名(横村氏、四方氏、織田氏)							

座光寺公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	びよびよ学級		市・地	継続	14	306	27	39	実施内容参照
	0～1歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するため」の学習「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。		・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 ・開催日 5/22、6/7、6/21、7/26、8/30、9/6、9/27、10/4、10/18、11/15、12/6、12/17、2/3、2/21				【総括と今後の方向付け】 幼児の発達段階に合わせ、からだを使った遊びなど、親子のふれあいを深めることや母親同士の交流を深める内容を多く企画でき積極的な参加に繋がった。「悩める育児」へのアプローチをしていくために、楽しむだけでなく、学習的な要素についても検討する必要がある。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	たんぽぽ学級		市・地	継続	11	182	20	72	実施内容参照
	2～3歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するため」の学習「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。		・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 ・開催日 5/23、6/25、7/23、8/20、9/6、9/24、10/17、11/12、12/24、1/28、2/14			【総括と今後の方向付け】 お出かけなどの内容と、子ども成長に合わせた歯やおやつに関することなど、バランスを考えて組み立てたことで、子どもの成長について考える機会をつくることができた。また、2・3歳児の合同学級により、2歳児の母親にとって子どもの成長を想像できる機会となった。			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	アンパンマンの会		市・地	継続	10	67	8	72	実施内容参照
	3歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。		・地元保育園長・保育士・保健師が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 ・開催日 5/21、6/11、7/12、7/31、9/28、10/10、11/14、11/19、12/10、1/15			【総括と今後の方向付け】 園生活が円滑にスタートできるよう、保育園の開放日に合わせて保育園で行った。活動は親子で楽しむものが多いが、楽しむ中にも学習の要素を取り込み行うことで母親の意識啓発を促せていると感じる。			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	麻績いきいき大学		市・地	継続	2	58	40	4,385	実施内容参照
	高齢者の生涯学習推進を目的に「ともに学び、ともに成長する」場とする。		・陶芸部、合唱部、ハーモニカ部、水墨画部、詩吟部、キーボード・アンソングルに入部し、各部で自主的な運営企画を随時行う。全体活動として一般教養講座を開催。 第1回 5/15 「史跡 恒川官衙遺跡を知る」会場：麻績の館、恒川官衙遺跡発掘現場 第2回 12/18 「美博を訪ね、伊那谷の自然と文化を学ぶ」会場：飯田市美術博物館			【総括と今後の方向付け】 各学部の活動は、参加者による自主運営により随時開催されその活動が高齢者のやりがいとなっている。教養講座については、参加者の中から選出された運営委員が主体となって内容を検討している。 今年度は、「地域を知る」ことに焦点を当て、座光寺の歴史や現状について学ぶ機会を持った。			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育て応援講座		市・地	継続	2	62	47	111	実施内容参照
	子育て世代の保護者を対象に学習会を開催し、子育ての悩みを解消するだけでなく子育て支援グループの発足を図る		現在母親が抱えている悩みや課題を解決するための講座を2回開催した。0歳～3歳の子を持つ母親全員を対象に乳幼児学級等で周知を図り実施。 第1弾 7/12 考えてみよう！子どもの安全と防災のこと 講師：飯田市危機管理室 会場：座光寺公民館 参加者：21組 第2弾 1/17 親子で豚汁とおにぎりをつくろう 会場：座光寺公民館 参加者：10組			【総括と今後の方向付け】 保健師とも相談しながら、親子で一緒に時間を大切にするここと、母親同士と交流をもつてもらうため企画した。日本特有の各行事がなぜ行われているかについてなど、講師の方から知識も入れてもらったことで、家庭内はもちろん、母親同士も会話が弾んでいた。来年度以降も、体験と交流のみに留まらないよう、母親同士のつながりから、子育ての悩みを解消できるような雰囲気を作れると良い。			

座光寺公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいいだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演		市・地	継続	1	125	125	4,385	7月31日	座光寺保育園
	目的	子どもたちを対象に人形劇を通して芸術文化振興を図る。								
文化事業	座光寺人形劇まつり		市・地	継続	1	278	278	4,385	8月3日	座光寺公民館
	目的	座光寺地域住民を対象に人形劇を通じて芸術文化振興を図る。								
文化事業	座光寺地域文化祭		市・地	継続	1	900	900	4,385	2月1日、2月2日	座光寺公民館及び周辺施設
	目的	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る場とする。								
文化事業	麻績の里地域づくり種まき大賞		地区費	継続	1	66	66	4,385	2月1日	座光寺公民館
	目的	地域に良い種を蒔いてくれた方を表彰することで新たな芽吹きへと繋げる。								
文化事業	大人の体験教室		市・地	継続	―	―	―	4,385	実施内容参照	座光寺公民館
	目的	大人を対象に体験学習を行い学習意欲の向上を図る。								

【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き、保育園で公演を行い、友達と一緒に観る楽しさがあり、園児や保護者から好評だった。運営体制について、保護者が担い、劇人との交流にもつながった。次年度以降は企画から連携してできる体制をつくってきたい。	評 価
--	--------

【総括と今後の方向付け】 今年もロケーションを組み3劇団のリー公演を実施することができた。また、全劇団の人形劇を見て欲しい、この会場で1日楽しんで欲しいという思いから、各劇団の公演後に「人形劇のお絵かきタイム」や「ふれあいコーナー」を実施した。そのほか、誰でも利用可能な交流スペースを設け、ホットドッグや果物等を無料提供し公民館前での屋台設置などを行った。	評 価
---	--------

【総括と今後の方向付け】 地域で活動している個人や団体が減少していると言われているが、個人や団体の成果発表の場として、展示や発表が充実していた。また、今年は小・中・高校生の参加により、企画や音楽の集い、芸能発表会等で会場を盛り上げてくれた。さらに、テーマに沿って、「人文字写真」の記念撮影を行った。想定よりも非常に多くの人が参加し、令和記念として記録に残る企画となった。	評 価
--	--------

【総括と今後の方向付け】 各地区から寄せられた推薦者を選考委員会において表彰するか検討し決定し、文化祭の中央祭前に授賞式を実施。あまり表に出ない地域貢献活動を、大勢の人が集まる文化祭に併せて行うことで、受賞者だけでなく参加者も地域活動に対する意識が高まるのではないかと感じる。今回蒔かれた種が今後大きく成長して欲しいと願っている。	評 価
--	--------

【総括と今後の方向付け】 大人が体験を通して、住民同士の交流が深まる目的で企画。今年は「大人のテイスティング」を企画したが、流行の感染症予防のため中止とした。	評 価
--	--------

座光寺公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	座光寺地域成人式		市・地	継続	37	37	53	1月12日	座光寺公民館
	目的	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員が、自分たちにとって想い出に残る成人式となるよう、文化部員と共に企画・準備を行った。新成人からは、「一生に一度の成人式を、実行委員として経験できたことが良かった。」と感想があった。また、式典前にフリーマーケット企画を行ったことで、その後の式典と祝賀会も和やかな雰囲気が進められた。フリーマーケットでは、新成人や来賓がそれぞれの立場で想いや考えを出し合い、お互いの世代がどんなことを考えているかを知る機会となった。 地域で新成人を祝う成人式であることだけでなく、新成人が自分たちの成人式を自分たちで計画すること、地域で学んだことを発表することを大切にしていきたい。							
	実施内容	地域の新成人を地域で祝いたいという声から、座光寺地域単独開催となつて5回目。式典前に新成人及び来賓、保護者を対象にフリーマーケット企画を実施した。式典では「座光寺の歌」斉唱、地域学習報告、保護者からの一言など、地域独自の企画を実施。また、今年度も式典の司会進行を新成人実行委員の2人が担い、新成人が自ら創る成人式とした。							
体育事業	春季スポーツ大会		地区費	継続	1	500	4,385	6月2日	座光寺小学校他
	目的	【総括と今後の方向付け】 地区住民みんなが楽しい、汗をかきながらも楽しみ交流を深めることができていた。また、住民の皆さんも交流を目的に参加する方が多くなってきた。種目によっては、年齢層が限られてしまっていることや、6月上旬も暑さが厳しいこともあるなど、反省点もあげられているため、幅広い年代が参加できる種目を考えながら、今以上に地区内の親交を深められるように検討していきたい。							
	実施内容	ソフトボール、ワンバウンドふらば〜るバレー、ペタンの3種目を地区対抗で行った。各競技を通じて、日頃の運動不足を解消し基礎体力の増加及び地区内の交流を図る。また幅広い年代で行えるニュースポーツの振興を図る。 場所：座光寺小学校体育館、校庭、座光寺保育園園庭 ・ソフトボール 優勝：高岡、準優勝：大堤、3位：原、宮崎 ・ふらば〜るバレー 優勝：恒川清水、準優勝：上野、3位：大堤 ・ペタンク 優勝：恒川清水、準優勝：中・中・欠、3位：宮の前、大堤							
体育事業	座光寺・上郷ニュースポーツ交流会		地区費	継続	1	24	4,385	6月23日	小学校体育館
	目的	【総括と今後の方向付け】 座光寺と上郷の両地区でニュースポーツを通じて交流できた。主に体育部員を対象にニュースポーツを体験し、各地区で普及していくようにしたい。特に、誰でも参加できる種目を取り入れながら、地区で交流を図りたい。 次年度以降は、幅広く声を掛け合って参加してもらえようように計画したい。開催時期は両地区の状況を見定めて検討する必要がある。							
	実施内容	高陵地区スポーツ推進委員及び上郷・座光寺公民館が共催で行った。委員自身もニュースポーツについて知り、地区へ普及していくために実施。 ＜種目＞ ・ワンバウンドふらば〜るバレー ・ポッチャ							
体育事業	座光寺地域市民運動会		地区費	継続	—	—	4,385	10月13日	小学校校庭
	目的	【総括と今後の方向付け】 今年度は、中学生が4名スタッフとして参加し、各係での役割と種目の企画に活躍してくれたが、雨天中止となった。座光寺で地区単位で集まる事業は体育事業以外では少ないため、誰もが参加でき、また地区内の親交が深められるよう、種目・内容等を検討していきたい。							
	実施内容	「地域の親睦を深め活力を高める」をスローガンに地区対抗で実施。各地区の取りまとめについては公民館委員ではない地区長及び地区体育係に依頼。全体の取りまとめは実行委員会体制を組織し運営する。 台風接近により中止							
体育事業	地区交流月間		地区費	継続	1	450	4,385	実施内容参照	開催会場 各地区
	目的	【総括と今後の方向付け】 座光寺は分館がないため事業は地域全体で取り組むことが多く、地区毎の取り組みは少ない。そのような状況から、健康増進という目的だけでなく地区の絆づくりという目的も含んだ事業となっている。本事業の目的を地域内で共有し、本事業を通じて地区内の交流をさらに深めていきたい。							
	実施内容	「高齢者から子どもまで地区内大勢の皆さんで楽しく交流」をテーマに、スポーツ及び懇親会を通じて地区内の交流を図る場として、各地区に実施を依頼。期間は7月～11月に各地区で開催日を決め企画運営を行う。							

座光寺公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季スポーツ大会		地区費	継続	—	—	—	4,385	3月1日	小学校体育館
	実 施 内 容	幅広い年齢の方が楽しめるニュースポーツの振興を図るとともに、地区内の交流を深める。ソフトバレーボール、囲碁ボール、スローインボットの3種目を地区対抗で企画したが、流行の感染症予防のため中止とした。	【総括と今後の方向付け】 誰でも参加できる冬季スポーツ大会を目指し、子どもから大人まで楽しめるスポーツ3種目で楽しく交流を深めることを願い、企画したが、流行の感染症予防のため中止とした。 来年度以降は時期の選定、新たなニュースポーツの普及を含めた種目のアレンジ等を検討する。		評価					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報座光寺		地区費	継続	13	125	15	4,385	実施内容参照	地区内
	実 施 内 容	公民館事業に限らず自治会や地域全体の事業や取り組みの紹介、座光寺に残っている遺跡や資源の説明を主に掲載。全戸配付 1700部発行 ◇年4発行(6月、9月、12月、3月)	【総括と今後の方向付け】 地域活動の記録という側面もあるが、今後自分たちの地域はどうあるべきかなど の投げかけや、依頼記事ばかりでなく編集側の気持ちの入った取材記事を積極的に組込み、発信していくことが必要である。次年度も読みやすく興味をひく広報編集に力を入れ、大勢の人に見てもらえるようにしていきたい。		評価					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報座光寺お知らせ版		地区費	継続	12	120	15	4,385	実施内容参照	地区内
	実 施 内 容	座光寺の次月の予定をお知らせ版として集約し配布することで、情報の一本化だけでなく資源削減を図る。	【総括と今後の方向付け】 複校の組合回覧を1本化し全戸配付しているため、情報が集約され見やすく、環境的にも紙の無駄を省けるというメリットがある。また、回覧情報を全戸配付することで手元に残り、毎月発行のため旬な情報をいち早く届けられるというメリットがある。作成主体と企画会議(取り上げたい情報を出し合う)について検討の必要がある。(現在は全て主事)		評価					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 子ども桜ガイド		市・地	継続	6	207	50	450	実施内容参照	実施内容参照
	実 施 内 容	座光寺が誇る「舞台桜」「舞台校舎」の学習を子ども達が行い、桜の観光者にガイドすること で、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。 座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを行う。地域学習だけでなく、コミュニケーションの向上や地域貢献に対する意識化につなげる。また、小学校だけでなく中学生にも参加してもらうことで、参加者内で先生・生徒の関係を築きお互いの学習意欲を高める事業とする。 学習会 3/17 会場:公民館 内容:「舞台桜及び座光寺の自然・史跡・施設」について 講師:小林正明 手作り案内看板作製 3/24 会場:座光寺公民館 ガイド期間 3/30、3/31、4/6、4/7 会場:舞台桜前	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学生が42名、中学生が8名参加した。小学生が中心となって観桜客にガイドを行い、中学生は小学生の補助やアドバイス役を主に行った。経験年数が多い子どもたちも多かったためか、年々、積極的にガイドをする姿がみられる。今年も多くの方にガイドができ、観光客からの感謝の言葉や笑顔で、子どもたちにとって良い経験ができたと感じる。 海外からの観光客も考え、英語でガイドできるように準備をしていきたい。		評価					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 お茶摘み体験学習		市費	継続	1	32	32	4,385	5月12日	実施内容参照
	実 施 内 容	地域の農産物の1つであるお茶の摘み方と加工方法を学びお茶摘み作業を継承するとともに、農業の素晴らしさを知り農業への関心を持たせる。 麻績の館周辺の茶葉を材料にしてのお茶づくり体験を、昨年度に引き続き、麻績の里体験学校として地区内全体を対象にして開催した。お茶を摘みホットプレートで焙り、お茶を飲んだ。 講師:増澤武雄(NPO法人日本茶の会副理事長) 会場:麻績の館及び周辺 参加者:子ども19名、大人13名	【総括と今後の方向付け】 普段何気なく目にしていたお茶の葉を摘んで、そこからお茶を作り飲むという経験は、子どもたちにとってとても新鮮で興味深い体験だったように感じる。また、座光寺小学校5年生からの要望により、5年生授業でお茶摘み事業を実施された。健全育成部からも数名が講師として参加した。各々がつくったお茶が、それぞれ香りや味が違うことに気付きを得た子どもたちが多く、非常に良い体験となった。		評価					

座光寺公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 ホタルを見る会	市・地	継続	1	45	45	4,385	6月22日	中河原会所及び周辺
	子どもたちを対象にほたるを観察を行い、地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	市・地	継続	1	45	45	4,385	6月22日	中河原会所及び周辺
育成事業	麻績の里体験学校 水辺の広場で遊ぼう	地区費	継続	1	—	—	4,385	7月14日	水辺の広場
	子どもたちを対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人たちの交流、を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	地区費	継続	1	—	—	4,385	7月14日	水辺の広場
育成事業	麻績の里体験学校 星空観察会	地区費	継続	2	33	33	4,385	実施内容参照	座光寺小学校体育館・校庭
	星空観察を通じて、科学に親しむ心を育てる。また、宇宙に興味を持ち、将来の夢を与える。また、星空が見える自然環境の素晴らしさを実感し、自然を守る心を育てる。	地区費	継続	2	33	33	4,385	実施内容参照	座光寺小学校体育館・校庭
育成事業	麻績の里体験学校 子ども科学教室	市・地	継続	1	33	33	4,385	10月19日	座光寺公民館
	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらい、地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	市・地	継続	1	33	33	4,385	10月19日	座光寺公民館
育成事業	麻績の里体験学校 ふるさと体験	市・地	継続	1	48	48	4,385	11月3日	麻績学校校舎校庭
	子どもを対象に座光寺の歴史や文化や自然を学習し地域の愛着心を育む。	市・地	継続	1	48	48	4,385	11月3日	麻績学校校舎校庭

【総括と今後の方向付け】 座光寺のほたる分布状況、環境による繁殖状況の違いやほたるの生態を学習し、その後、現地でホタル観察を行った。 学習会 講師：小林正明 会場：河原会所 ホタル観察 会場：白山下 参加者：子ども30名、大人15名	【総括と今後の方向付け】 ホタルの繁殖変化や生態を学習することで、環境に対する意識を高めることができた。今年度は公民館のみで開催となったため、地域活動としてホタルの保護を行っていたことの紹介ができなかった。今後、リニア関連事業によりホタルの保護活動の継続が困難になるため、学習会のあり方について考えていく必要がある。
【総括と今後の方向付け】 水辺の広場委員会との合同会議を事前に重ねることで、お互いの開催目的や企水辺の広場委員会との合同会議を事前に重ねることで、お互いの開催目的や企画内容を協議したうえで企画したが、雨天のため中止となった。 評 価 来年度も、子どもに「何のため」「どのような体験」を提供するのか検討していきたい。	【総括と今後の方向付け】 水辺の広場委員会との合同会議を事前に重ねることで、お互いの開催目的や企画内容を協議したうえで企画したが、雨天のため中止となった。 評 価 来年度も、子どもに「何のため」「どのような体験」を提供するのか検討していきたい。
【総括と今後の方向付け】 天候の影響を直接受けしう企画であるが、夏と冬の両日とも天候に恵まれ、夏は小学校校庭で、冬は公民館で星空観察ができた。また、美術博物館の協力により、プラネタリウムを鑑賞し、その後に実際に星を見ることができ、子どもたちにとってよりよい体験となった。子どもには非常に人気の高い企画となってきたため、今後も工夫しながら実施していきたい。	【総括と今後の方向付け】 天候の影響を直接受けしう企画であるが、夏と冬の両日とも天候に恵まれ、夏は小学校校庭で、冬は公民館で星空観察ができた。また、美術博物館の協力により、プラネタリウムを鑑賞し、その後に実際に星を見ることができ、子どもたちにとってよりよい体験となった。子どもには非常に人気の高い企画となってきたため、今後も工夫しながら実施していきたい。
【総括と今後の方向付け】 今年度も、湯澤先生を講師にお招きし、小学生と保育園児の親子を対象に実験を行った。多くの参加を得られたとともに、牛乳パックという身近にあるもので紙漕ぎを体験し、ラングシェードを作ることができた。紙漕ぎの体験はなかなかできるものではないため、親子で体験できたのが良かった。	【総括と今後の方向付け】 今年度も、湯澤先生を講師にお招きし、小学生と保育園児の親子を対象に実験を行った。多くの参加を得られたとともに、牛乳パックという身近にあるもので紙漕ぎを体験し、ラングシェードを作ることができた。紙漕ぎの体験はなかなかできるものではないため、親子で体験できたのが良かった。
【総括と今後の方向付け】 火を使うようになった人々の歴史に関するお話を聞き、昔の生活をイメージするとともに、火おこし器づくりと火おこし体験により、現在の生活を大切にしようということを目指して行った。一連の体験により、現在の生活の豊かさを感じることができた。また、火おこし器の作製により、道具の使い方などについても学ぶことができた。	【総括と今後の方向付け】 火を使うようになった人々の歴史に関するお話を聞き、昔の生活をイメージするとともに、火おこし器づくりと火おこし体験により、現在の生活を大切にしようということを目指して行った。一連の体験により、現在の生活の豊かさを感じることができた。また、火おこし器の作製により、道具の使い方などについても学ぶことができた。

座光寺公民館の事業報告

No.6

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春書初め会		地区費	新規	1	16	16	4,385	1月4日	座光寺公民館
	目的	小中学生と一般を対象に、書初めを通して世代間交流とお正月行事の大切さに触れる。	【総括と今後の方向付け】 子どもたちが集中して書初めをすることができた。中には、大人も一緒に書く姿がみられた。来年度以降は、大人も一緒に書ける環境を作ることや、講師をお願いするなど、検討が必要である。							
	実施内容	健全育成部が中心となって、子どもたちの書初めを見守り、一緒に書く。 参加：子ども9名 大人2名 スタッフ5名	評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 まどめの会		地区費	継続	1	10	10	450	1月18日	座光寺公民館
	目的	体験学校参加者に対象に一年間の体験の振り返りと感想をまとめ、次年度への展開につなげる。	【総括と今後の方向付け】 体験学校の振り返りをスライドショーで行うだけでなく、体験時の写真を模造紙に張り感想発表を行った。併せて豚汁とおにぎりを作り、昼食会を行った。							
	実施内容	体験学校参加者からみて座光寺の魅力について、親子に向けて紹介し、地域資源の一つである「りんご」を使って親子の料理教室を実施した。企画から準備運営を高校生自らが引き、共催した地域はアドバイザーしながら、参加者と共に楽しく美味しい教室を実施することができた。	評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	親子料理教室		地区費	継続	1	46	46	4,385	実施内容参照	座光寺公民館
	目的	親子を対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人々たちとの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	【総括と今後の方向付け】 「地域人教育」による飯田ODE長姫高校の生徒と、地元グループ及び公民館の共催により、高校生の1年間の活動のまとめとして、親子料理教室を企画し実施。 会場：エスバード 内容：りんごを使った料理教室、レクレーション、座光寺の魅力紹介 参加：子ども11名 大人8名							
	実施内容	「地域人教育」による飯田ODE長姫高校の生徒と、地元グループ及び公民館の共催により、高校生の1年間の活動のまとめとして、親子料理教室を企画し実施。 会場：エスバード 内容：りんごを使った料理教室、レクレーション、座光寺の魅力紹介 参加：子ども11名 大人8名	評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	座光寺地域づくりフォーラム		地区費	継続	1	50	50	4,385	実施内容参照	座光寺公民館
	目的	地区住民を対象に、地域の現状と課題を出し合い、より良くするにはどのようにすべきか意見交換する。	【総括と今後の方向付け】 若者に参加してもらうこと、現在の地域の状況や課題について話し合い、語り合いの中から「自分ができること」を考え行動することを願い、3回の打ち合わせを重ねて、文化祭に合わせ開催した。 テーマが広がってしまったが、「若者が抱える課題」と「地域福祉に関すること」のどちらも大切なことを話題にして、話し合うことができた。 今回のフォーラムをきっかけに、出された意見等をもとに、地域課題について目を向け、解決に向けて取り組んでいく仕掛けや支援を行う必要がある。							
	実施内容	地域課題に対して地域全体で取組めるよう「知る」「考える」「実行する」につなげる事業展開を検討して開催。 2/1(文化祭1日目) 「これからの座光寺について語ろう～暮らしやすい座光寺にするために～」 話題提供：壮年団、消防団、自治会健康福祉委員会 参加者：50名	評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	座光寺小学校科学実験教室		地区費	継続	1	116	116	116	11月29日	座光寺小学校
	目的	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	【総括と今後の方向付け】 昨年度好評だったため、今年度も小学校からの地域と連携した授業をしたいという要望から、小学校の授業のなかで実験教室を行なった。小学校の主催で、公民館では実験費用の補助や当日の子どものサポートを健全育成部の有志で担当した。 講師と学校との打合せにおいて、各学年の学習段階に合わせ、身近な科学に気が生まれるような内容を充実することができた。							
	実施内容	小学校6年生を対象に「モデルロケット制作と打上げ」、3年生を対象に「超低温の不思議な世界」、2年生を対象に「空気の実験」を行った。それぞれの実験に公民館健全育成部の部員がスタッフとして補助に入り、教室を行った。 主催：座光寺小学校 共催：座光寺公民館 講師：おもしろ科学工房	評価							

座光寺公民館の事業報告

No.7

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	麻績っ子クラブ(小学校クラブ活動)支援		地区費	新規	1	123	123	123	6月1日	座光寺小学校
	目的	小学生と地域で活動するグループや団体との交流を通じて、ふるさとの愛着や文化芸術やスポーツの振興を図る。	【総括と今後の方向付け】 麻績っ子クラブ(1年に1回の小学校クラブ活動)に地域のグループや団体、個人の方が講師となり、支援する。 公民館が窓口となり、学校と講師とがねらいを共有する。クラブ活動の時間は先生と講師が協力して企画運営する。							
		実施内容	【種目】 バスケットボール、卓球、フンバウンドふらば～るバレー、囲碁ボール、ペタング、地域探訪、陶芸、大正琴、生け花、押し花、手芸							
その他	座光寺の子どもを語る会推進委員会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	座光寺の子ども、健全育成について小学校・PTA・地域の三者が連携し、現状の把握と課題に対する取り組み及び報告を行う。	地区費	継続	2	40	23	23	6月25日、9月9日	座光寺公民館
		実施内容	・学校・家庭・地域3者の代表者が集い健全育成に関する活動の報告と現状・課題について情報共有を行うために年4回開催。 ・座光寺の子どもたちに関する課題解決を図るため、各種団体の連携や活動内容の見直し等の調整を行う。 ・公民館育成部事業「麻績の里体験学校」の運営に対する協議及び研究 ・コミュニティスクール充実に向けた研究検討							
その他	座光寺の子どもを語る会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	座光寺の子ども、健全育成について小学校・PTA・地域の三者が集い、事例発表と意見交換を行う。	地区費	継続	1	50	50	4,385	10月2日	座光寺小学校
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 「今、改めて「座光寺の良さ」について考える」と題し、小学校・中学校・保育園の保護者と、地域で様々な活動をされている方など、座光寺の多くの方が一堂に会し、座光寺の子どもを中心にすえて想いを語り合うことを目的に開催。 話題提供：座光寺小 大藪教頭先生 話題提供後、「子どもたちの良いところ・このまま伸ばしたいところ」や「座光寺地域の良さ・強み」について、意見交換を行った。 保育園・小中学校職員、保護者、地域住民等 計50名が参加。							

No. 1

— 70 —

松尾公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	多文化交流会	市・地	継続	1	90	90	13,018	2月23日	常盤台集会所
	目的	内容： ①講演 講師：大橋春美さん(中国帰国者二世) 演題：お互いを知ろう！日本はおもしろい！ ②参加者同士の意見交換 ③食文化による交流 主催：松尾公民館および常盤台分館 協力：男女共同参画課および飯田市公民館							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き開催した。交流の要素が強く学習の要素が弱いという昨年度までの反省点を改善すべく、今年度は例年実施している食文化による交流に加えて、講演会を実施した。中国籍住民と日本人住民のお互いの誤解から生ずるトラブルを解決するために、まずはお互いを知るところから始めたいという願いの下、中国帰国者二世の大橋春美さんよりご自身の体験を踏まえながら講演していただいた。今回の交流会をきっかけに、定期的に中国籍住民と日本人住民が集い、交流し意見を交わらせるような事業を組み立てたい。							
学級・講座	探勝会	地区費	継続	1	16	16	13,018	10月31日	滋賀県
	目的	内容：近江八幡のまちづくりの取り組みを知り、彦根城の歴史に触れる							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 地区の方の意向を聞きながら、内容を検討した。この事業の実施によって、地域住民の文化度の向上につながり、文化祭などの出展にもつながっている。今年度は参加者が少なかったが、内容を引き続き協議しながら、地域住民に芸術に触れる機会を提供していきたい。							
学級・講座	松尾サイエンススクール	市・地	継続	15	948	130	13,018	4月16日～3月15日	松尾ミニ体育館他
	目的	内容：サイエンスショー(風船・空気のサイエンスショー、静電気で遊ぶ)製作(浮沈子、貯金箱、わっかとりペン、風船クラゲ、エレキテル、風船ロケット、マンボウ風船、リニアの実験、バルーンスライム、モデルロケットほか)運営：松尾サイエンス スタッフ(22名)場所：松尾公民館敷地内ミニ体育館他協力：おもしろ科学工房(生涯学習・スポーツ課)、育成会							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度も分館への出張スクールも行われ、活動が地区内全域に広がっている。スタッフも前向きに取り組む一方、積極的に若い方をスタッフに勧誘し、継続的な活動を可能にしている。また、松尾サイエンスにとどまらず、地域活動の担い手育成にもつながっている。来年度についてもスタッフ主体で計画し、公民館がサポートするような体制で活動していきたい。							
学級・講座	男踊り教室	市・地	継続	24	176	11	13,018	4月11日～3月28日	松尾公民館他
	目的	内容：男踊り(佐渡おけさ、武田節)踊ってみよう会、文化祭芸能発表会に出演講師：地田悠貴鳳氏							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 新たな参加者も加入し、年間を通じて踊りの技術を高めるとともに参加者の交流を深めることができた。文化祭や踊ってみよう会の参加により、地区内への周知が図られ参加者が増加するよう考えていきたい。来年度も初心者が踊りを始めるきっかけとして教室を開催していきたい。							
学級・講座	地域いきいきセミナー	市・地	継続	2	100	50	13,018	実施内容参照	上溝集会所他
	目的	内容：おもしろ科学教室(上溝・7/14) 講師：塩澤一友氏 ワイン講座(寺所・1/19) 講師：麦島康彦氏(ソムリエ)							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 松尾公民館と分館の共催で行われ、分館活動の活性化に繋がっている。来年度も分館活動の活性化に繋がるような形態で実施していきたい。							

松尾公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	水引教室		市・地	継続	1	0	112	112	2月28日	松尾公民館
	実施内容	内容：松尾小学校4年生による水引細工の作成(淡路結びのしおり) 講師：飯田水引協同組合 ※新型コロナウイルスの感染および拡大防止のため中止						評価	【総括と今後の方向付け】 今年度も小学校の地元産業を学ぶ授業のきっかけとして計画したが諸般の事情により中止となった。小学生、担任の先生からは非常に好評であり、地元産業を知ってもらおうきっかけにもなっており、来年以降も引き続き開催していきたい。	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	親子映画鑑賞会		地区費	継続	1	208	208	13,018	7月6日	松尾公民館
	実施内容	作品：ボス・パイパー 内容：感動アニメ映画 運営：文化委員会						評価	数量的成果 (項目名と数値) 大変満足：75%、満足：18%、普通：7%、やや物足りない：0%、物足りない0% 【総括と今後の方向付け】 今年度も文化委員と内容をつかり検討し、作品を選定した。当日は、多くの親子連れが来場し、初夏の文化事業として定着してきた。来年度も内容を吟味して実施していきたい。	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019		他会計	継続	7	1,097	240	13,018	8月2日～4日	松尾公民館他
	実施内容	会場：松尾公民館、新井コミュニティ消防センター、清水コミュニティ消防センター、毛賀区民会館、上溝集会所、慈光松尾保育園 運営：文化委員会、新井分館、清水分館、毛賀分館、上溝分館、慈光松尾保育園職員・保護者 上演劇団：Bタイプ5劇団、Cタイプ5劇団						評価	数量的成果 (項目名と数値) 大変満足：75%、満足：23%、普通：5%、やや物足りない：1%、物足りない0% 【総括と今後の方向付け】 今年度は保育園会場も増え、例年より一層地区住民の方が関わる機会となった。また、各会場では主体的に運営がなされ、地区住民、劇人との交流も行われている。今回を機会に増えた会場も大事にしなが、引き続き地区住民の方が多く関わる機会をしたい。	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ゆっきーのマジック&トークショー		地区費	新規	1	100	100	13,018	11月16日	松尾公民館
	実施内容	内容：マジシャン「ゆっきー」によるマジックとトークショー 運営：文化委員会						評価	【総括と今後の方向付け】 当日は子どもから高齢者まで多くの年代が来場され、プロのマジックに触れる機会となった。来年度の実施は検討中であるが、多くの方に興味関心を持っていたーけるものとしていきたい。	
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第17回松尾踊ってみよう会		地区費	継続	1	90	90	13,018	12月1日	松尾公民館
	実施内容	内容：舞踊、ダンス等様々な踊りに関する団体の発表会 運営：出演団体による実行委員会、当日運営には文化委員会が協力参加：合計11の個人と団体						評価	【総括と今後の方向付け】 参加団体の当番制でプログラム編成等を行っている。当日は文化委員会の協力を得て開催している。参加される団体・個人が減少している現状にあり、地区外へ参加を呼び掛けたところ1団体の参加があった。しかし依然として減少傾向に変わりはなく、今一度多くの方が参加できる手段・方法を考えていきたい。	

松尾公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	松尾地区文化祭		市・地	継続	1	1,300	13,018	2月1日～2日	松尾公民館
	目的 住民を対象に、芸能発表や文化展を通じて、住民相互の交流を図る		市・地	継続	1	1,300	13,018	2月1日～2日	松尾公民館
内容：文化展、芸能発表会、ふれあい子ども広場、おもしろ科学教室、チャイルドシート無償提供、歩行環境シミュレーター体験、サポーターカー（自動ブレーキ）体験、飯田OIDE長姫高校定時制「ティーンズ」ショー、松尾の食文化を訪ねる等 運営：文化祭実行委員会（主管：文化委員会）									
体育事業	ニューススポーツ講習会		市・地	継続	1	94	150	5月12日	松尾小学校体育館
	目的 公民館役員を対象に、ニューススポーツ普及と分館相互の情報交換を図る		市・地	継続	1	94	150	5月12日	松尾小学校体育館
内容：ニューススポーツの体験会（ガラッキー、ラダーゲッター、キンボール） 講師：スポーツ推進委員、ニューススポーツ普及員 場所：松尾小学校体育館									
体育事業	分館交流ニューススポーツ大会		地区費	継続	1	300	13,018	6月16日	松尾小、松尾公民館
	目的 住民を対象に、運動機会の提供とニューススポーツ振興を図る		地区費	継続	1	300	13,018	6月16日	松尾小、松尾公民館
内容：分館交流によるニューススポーツ大会（ベタンク、囲碁ボール、キンボール） 運営：スポーツ委員会 結果：総合優勝 明分館 準優勝 城分館 第3位 上溝分館、新井分館、寺所分館									
体育事業	松尾地区市民運動会		地区費	継続	0	0	3,000	10月13日	松尾小学校校庭
	目的 住民を対象に、軽スポーツを通じて、交流と親睦、分館内の連帯意識向上を図る		地区費	継続	0	0	3,000	10月13日	松尾小学校校庭
内容：分館対抗による軽スポーツ、レクリエーションスポーツ他 運営：スポーツ委員会（主管：松尾地区まちづくり委員会） 協力：松尾地区文化体育振興会 ※台風のため中止									

松尾公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流ふらば～るバレー大会	地区費	継続	1	150	150	13,018	1月26日	飯田勤労者体育センター
	目的	内容：分館交流によるふらば～るバレー大会 運営：スポーツ委員会 結果： 分館交流ブロック 優勝 水城分館、毛賀分館 準優勝 城分館、新井分館 ふれあいブロック 優勝 上溝ふらば～る同好会、まちづくり委員会 準優勝 レジェンド、丸尾少年空手クラブB							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 数量的成果 良かった：100%、改善点あり：0% (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 分館交流ニュースポーツ大会から独立して実施している。今年度は会場を変更し、新たにコートを増やすこととした。ブロックを分館交流、ふれあいと分けたことで、多くの方に参加いただけた。初参加の方も含めて、分館だけでなく盛り上がりつつ実施できた。冬の事業がなかったことから開催を1月としたが、分館事業との兼ね合いを検討しながら実施日を決定する必要がある。							
広報事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	「まつお新聞」の発行	地区費	継続	4			13,018	7月1日、10月1日、1月11日、3月31日	松尾公民館
	目的	内容：まつお新聞を発行する(1回発行に付き4回会議実施) 発行部数：4,700部 印刷会社：龍共印刷 住民を対象に、館報発行を通じて、地域課題等の掘り起こし、意識の醸成を図る							
企画事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館役員研修会	地区費	継続	1	0	30	46	2月26日	松尾公民館
	目的	内容：意見交換会(4グループに分けてのグループワーク) ・各分館より ①各分館の悩みや問題点 ②本館や専門委員会への提案 ③その他、各分館に聞きたいこと 分館同士の意見交換や本館への提案を聞く機会を設けることで、本館・分館それぞれ の公民館事業を考える機会とし、分館活動を発展させる一助とするともに各 委員会の事業を振り返ることを目的に実施した。公民館事業の実施上の課題や、 公民館委員・分館委員としての在り方などに関する意見交換ができた。							
企画事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	公民館役員研修会	地区費	継続	0	0	33	33	3月25日	松尾公民館
	目的	内容： ※新型コロナウイルスの感染および拡大防止のため中止 【総括と今後の方向付け】 諸般の事情により中止となってしまったが、来年度以降も様々な内容で地域における公民館の担う役割について研修を開催し、活発な分館活動に繋がるようにしていきたい。							
企画事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	松尾地区学習会	市・地	継続	1	40	40	13,018	8月7日	松尾公民館
	目的	内容：松尾地区の気象を学ぼう 講師：南信州広域連合気象アドバイザー 土井雅彦氏(明区) 住民を対象に、子どもたち に地域の素晴らしさを 知ってもらうために、大 人が地域を学び、地域 への愛着心の向上を図 る							

松尾公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	松尾還暦の会		地区費	1	122	122	163	6月2日	鳩ヶ嶺八幡宮他
	地区内の還暦になる方々を対象に、節目となる機会の式典実施等を通じて、同年同士の交流を図る		継続						
	実施内容								
その他	松尾地区成人式		市・地	1	120	120	191	1月12日	松尾公民館他
	新成人を対象に、式の企画・郷土の学習を通じて地元への愛着心の向上を図る		継続						
	実施内容								
その他	3地区合同女性バレーボール大会		地区費	1	100	100	13,018	9月30日	勤労者体育館
	女性を対象に、健康維持、体力増進、チームを越えた交流を図る		継続						
	実施内容								

【総括と今後の方向付け】
今年度は実行委員会で協議を重ね、還暦の結びつきを強める還暦の会を実施する事ができた。また、終了後には自発的に集まり、地区の行事などの盛り上げに尽力していただいている。還暦を機に同年代が集まり、再び繋がる良い機会であるので引き続き実行委員会体制で行っていききたい。

【総括と今後の方向付け】
新成人が主体的に計画し、当日は文化委員会の協力を得て運営されている。今年度は実行委員が8名集まり、会議を重ね、新成人の思い出に残る成人式になったのではと考えている。来年度も引き続き文化委員に加わってもらい、松尾ならではの地域学習、成人式が行えるようにしていきたい。

【総括と今後の方向付け】
参加者からは気楽に参加できる大会として継続を望む声があがっている。これらを実践するため、来年度以降参加チームの増加、時期を検討しながら、開催していききたい。

下久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級ぽっかぽか(いちごグループ0・1歳)	市・地	継続	10	84	12	14	実施内容参照	下久堅公民館他
	目的 0・1歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る	乳幼児学級ぽっかぽか(いちごグループ 0・1歳)は、0・1歳の乳幼児とその保護者を対象に、子育てに対する学習、体験、交流を通じて子育てに関する知識を習得するとともに、子育てに対する悩みを軽減し安心して子育てができることを目的に開催する。下久堅保育園長、地元スタッフ、保健師、公民館主事が連携し、実施する。 【開催概要】 ①5/14 エプロンシアター・ふれあい遊び ②6/3 乳幼児期に大切なこと ③7/10 ベビー・マッサー・ジ体験 ④8/6 セタかざりをつくろう ⑤9/19 LIFE・いのち(ブナネタリウム) ⑥10/8 動物園におでかけ ⑦11/22 手づくりおもちゃをつくろう ⑧12/12 クリスマス会 もみの木飾りをつくろう ⑨1/22 親子ふれあい遊び(布遊びなど) ⑩2/20 新聞紙で遊ぼう！							
	評価	【総括と今後の方向付け】 参加者同士の情報交換の場や育児の息抜きの場となれるように計画を行った。少しでも参加者の意見を取り入れて、主体的な学級となるように、話をする時間を設けた。今後も地区内の託児指導者、保育士、保健師、公民館が連携して活動していきたい。 年々参加者が減っており、今年度も状況を踏まえて合同開催を検討したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級ぽっかぽか(あひるグループ2・3歳)	市費	継続	10	65	20	46	実施内容参照	下久堅公民館他
	目的 2・3歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る	乳幼児学級ぽっかぽか(あひるグループ 2・3歳)は、2・3歳の乳幼児とその保護者を対象に、子育てに対する学習、体験、交流を通じて育児に関する知識を習得するとともに、子育てに対する悩みを軽減し安心して子育てができることを目的に開催する。下久堅保育園長、地元スタッフ、保健師、公民館主事が連携し、実施する。 【開催概要】 ①5/21 はじまりの会・エプロンシアター ②6/20 手作りおもちゃをつくろう ③7/5 砂水遊び ④8/6 セタかざりをつくろう ⑤9/19 LIFE・いのち(ブナネタリウム) ⑥10/8 動物園へおでかけ ⑦11/6 やきいも大会 ⑧12/12 クリスマス会 もみの木飾りをつくろう ⑨1/22 親子ふれあい遊び(布遊びなど) ⑩2/20 新聞あそび							
	評価	【総括と今後の方向付け】 参加者同士の情報交換の場や育児の息抜きの場となれるように計画を行った。少しでも参加者の意見を取り入れて、主体的な学級となるように、話をする時間を設けた。今後も保育士、保健師、公民館が連携して活動していきたい。 年々参加者が減っており、今年度より0・1歳の乳幼児学級との合同開催を数回実施したが、来年度も状況を踏まえて合同開催を検討したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子体験学習	市費	継続	1	318	318	318	6月1日	下久堅小学校
	目的 子どもとその親を対象に、地域の人材や素材の大切さと地域を見つめ直す機会作りを図る	小学校との連携による事業。参観日の放課後の時間を利用し、地域の方々を講師とする親子体験講座を開催する。 主な内容は、地域の歴史散策、ニューススポーツ、料理教室、昔のおもちゃづくり、科学実験教室、フラワーアレンジメントなど。							
	評価	【総括と今後の方向付け】 各講座に分かれて、それぞれ興味のある講座に親子で参加する。どの講座も特徴的なもので、熱中する親子の姿が見受けられた。今後地域で子どもを育てるという視点を大切に継続していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書館クリスマスお楽しみ会	地区費	継続	1	40	40	2,830	12月24日	下久堅公民館
	目的 地区内住民を対象に、地区住民で構成する団体を知らせ共に世代間の交流を図る	図書分館との共催で企画実施。 紙芝居・人形劇・音楽など地区内の個人・団体の発表を通じて交流を図る。 【実施概要】 おはなしサークル「紙芝居」「パネルシアター」、図書館大好き隊「大型絵本」、「マジック」、図書館協力隊「人形劇」							
	評価	【総括と今後の方向付け】 全ての演目を地域住民と図書館分館職員が協力し行った。台本も一から図書館分館員を中心に作成し、子どもたちと一緒に劇を演じた。大人から子どもまで一緒に becoming 楽しむ機会となった。今後も継続して行っていきたい。							

下久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ひさかた村塾		地区費	継続	1	63	63	2,830	10月27日	下久堅公民館
	目的	地区民を対象に、地区文化の発掘・保存及び地区民の文化水準の向上を図る	【総括と今後の方向付け】 地区内の成人を対象に地域の課題、地域づくり、歴史文化といったその時々 の課題をテーマにした学習会や講演会を開催する。 具体的な内容は、公民館と地区内有識者からなる運営委員会が中心となっ て企画、運営する。 【実施概要】 今年度は「地域の宝である子どもをどう育てるか」というテーマで緑ヶ丘中学 校名子校長先生にご講演をいただいた。							
		実施内容	評価							
学級・講座	地区住民を対象に、ひさかた和紙の認知や担い手の発掘を図る		地区費	継続	25	320	20	2,830	実施概要参照	下久堅ふれあい交流館他
学級・講座	この地の特色である「ひさかた和紙」を再認識し、保存会の活動を支援しながら、紙漉き技術の継承や、和紙の域内消費の拡大などにつながる講座等を実施し、新たな担い手の育成を図る。 【実施概要】 4/21、5/19、6/23、7/21、8/18、9/22 楳畑草刈り作業 11/23 楳収穫 11/24 楳蒸し・皮むき 12/4、12/11、12/18、12/25、1/8、1/15、1/22、1/29、2/5、2/12、2/19、2/26 たくり作業 ○小学校連携事業 5/24 トロアオイの種まき指導(下久堅小学校1年生) 7/1 トロアオイの間引き(下久堅小学校1年生) 10/21 トロアオイの収穫(下久堅小学校1年生) 11/25 楳の収穫、皮むき体験指導(下久堅小学校1・3・5年生) 1/16 紙漉き体験指導(下久堅小学校1・3) 1/17 卒業証書作成(下久堅小学校5・6年生)		地区費	継続	24	304	19	2,830	毎月2回 第1・第3金曜日の午前中	下久堅公民館
	目的	高齢者でも無理なく実施できるストレッチ体操を基本とする健康づくり教室。 月2回のペースで開催。 講師：村沢由美子先生	【総括と今後の方向付け】 下久堅は坂道が多いため、膝の痛みに悩んでいる方が多いという問題に対応 するために開設し、数年が経過する。当番制で毎回の運営を行う。参加者同士の交流の場にもなっている。次年度以降も事業を継続していきたい。							
		実施内容	評価							
学級・講座	地区住民を対象に、ヨガ・ストレッチを通じて自分の心や体を見つめ、健康づくりを図る		地区費	継続	24	235	15	2,830	毎月2回第2・4水曜日の夜間	下久堅公民館
学級・講座	自分の体力や柔軟性に合わせて誰でも無理なく参加できるように形で開講。 ヨガ・ストレッチを通じて自分の心や体を見つめ、呼吸法により全身に気をめぐらすことにより、体の中から元気になっていく効果がある。 講師：中塚裕佳里先生		地区費	継続	24	235	15	2,830	毎月2回第2・4水曜日の夜間	下久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、ヨガ・ストレッチを通じ自分の心や体を見つめ、健康づくりを図る	【総括と今後の方向付け】 女性を中心として幅広い年代の参加があり、日常的な健康づくりだけでなく、仲間づくりの場としても効果的であり、参加者からの評価も高い。今後、参加者の意向を確認しながら継続していきたいと考えている。							
		実施内容	評価							

下久堅公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ひさかた未来塾		地区費	23	157	10	2,830	毎月1回	下久堅公民館
	目的	「下久堅の子どもが自慢できる地域に」を目標に、地域巡り活動をしなが、下久堅の現状を学び、子どもたちが自慢できる地域にむけて自分たちにできることに挑戦している。現在は未来塾のメンバー自らが地域を学び、地域課題を見つけて発信するための学習活動を行っている。	実施内容	【総括と今後の方向付け】 地域巡り活動から見えてきた、下久堅の魅力について文化祭で発表する予定であったが、文化祭が中止となったため、他の機会を検討中。また、下久堅に対する子どもたちの意見を聞く「ミライツリー」をつくり、小学生の思いを探るなど下久堅の将来を考えるうえでの現状を知る活動が増してきている。次年度今の学習活動を継続しながら周りの住民に発信する活動も検討していきたい					
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサート		市・地	1	162	162	2,830	7月13日	下久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、すばらしい音楽を身近に感じることを図る	実施内容	【総括と今後の方向付け】 公民館委員会文化部が中心となり、地区住民がすばらしい音楽を身近に感じる機会として実施。演奏者は、aru企画を通じて依頼する。下久堅小学校金管バンドとの合同演奏も行う。なおコンサート終了後に、演奏者との交流の機会をつくる。					
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019		市・地	1	500	500	2,830	8月1日～8月5日	下久堅公民館他
	目的	地区住民を対象に、人形劇人と交流しながら、共にフェスタをつくり、地域の文化の高まりを図る	実施内容	【総括と今後の方向付け】 下久堅地区では、以下の6会場で公演する。 ①下久堅公民館 ②下虎岩コミュニティ消防センター ③虎岩交流センター ④知久平研修センター ⑤南原交流センター ⑥柿野沢区民センター 各会場の運営は、保育園保護会、保育士や分館役員が担っており、会場運営なども会場関係者が主体的に関わっている。また、フェスタに併せて開催する催しや劇人を交えた交流会、会場の受付など各会場の特色がでていた。 今年度は暑さの影響により、冷房設備の無い会場では氷柱の設置などの工夫がされていたが、来年度からもこの問題は予想されるため、検討が必要					
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ひさかたウォーキング		市費	1	32	32	2,830	9月15日	下久堅地区内
	目的	地区住民を対象に、地区内の史跡、自然、文化を知る機会として開催	実施内容	【総括と今後の方向付け】 文化部主催の毎年恒例の事業。昨年度のアングレードを参考にコースを決めている。本年は南原・稲葉・小林地区を回るコースとし、文化財や施設を見てまわった。 緑ヶ丘中学校の生徒に昼食の豚汁づくりをお手伝いいただいた。					
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	下久堅地区文化祭		地区費	1	-	-	2,830	3月1日	下久堅公民館 他
	目的	地区住民を対象に、地区文化祭開催を通して、地域の文化の高まりを図る	実施内容	【総括と今後の方向付け】 住民が地域の文化や歴史に触れるとともに、地区内団体・グループ・個人が日頃の活動の成果を発表する機会として地区文化祭を開催し、文化祭を通じて地区民の交流や親睦を図る。 早期より公民館委員会文化部と参加団体などが連携し、会場のレイアウトも含めた企画、運営にあたる。 展示や芸能発表をはじめ、ふれあいバザー、農産物販売、企画展示などを実施する。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の為に中止。					
	評価								

下久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗クッブ大会	地区費	継続	1	-	-	2,830	6月30日	下久堅小学校校庭
	実施内容	高年齢者から子どもまで、気軽に楽しめるスポーツの普及をし、健康増進及び異世代交流を図る。 今年度は雨のため中止							
	目的	【総括と今後の方向付け】 時期を改めて検討し、継続事業として実施したい							
体育事業	常会対抗益野球大会	地区費	継続	1	100	100	2,830	8月15日	下久堅運動場
	実施内容	地域の親睦と交流を目的に、常会対抗で野球大会を実施する。 今年度が61回目となる歴史ある行事となっている。							
	目的	【総括と今後の方向付け】 既に60回以上続く歴史ある地区恒例の行事となっている。若い男性を中心に盛り上がりはある。公民館事業として続けるか、実行委員会形式が良いのかの検討もしている。また、野球経験者が多く参加者に偏りがある。種目の検討も必要							
体育事業	分館対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	134	134	2,830	9月8日	下久堅運動場
	実施内容	分館対抗方式でのソフトボール大会。ルールに女性・60代の参加を決めているため、性別世代問わず交流を行う。							
	目的	女性2名及び50歳以上の2名の出場枠を設けているため幅広い年齢層からの参加がある。また、複数のチームを出場する分館もあり、開催の意義は大きい。一方で誰もが楽しめる競技ではないため、参加する人が決まっているという意見もあり、分館対抗にこだわりすぎないやり方も模索していく必要があると思われる。							
体育事業	下久堅地区レディースバレーボール大会	地区費	継続	1	50	50	2,830	9月29日	下久堅小学校体育館
	実施内容	地域の女性の親睦交流と健康増進を目的に開催する。(3チームが参加)							
	目的	【総括と今後の方向付け】 下久堅地区全体として、バレーボール人口が減少している。昨年から1チームが減少し、今年度は3チームで大会を実施した。 親睦交流や健康増進の機会が女性バレーでないといけないのか検討が必要。また、自主運営化も検討している。							
体育事業	下久堅地区市民運動会	地区費	継続	1	600	600	2,830	10月20日	下久堅小学校校庭
	実施内容	地区の住民が、楽しく気軽に参加することにより、今まで以上に多くの人とつながり、交流できる機会として、また健康増進の機会として地区運動会を実施する。							
	目的	【総括と今後の方向付け】 昨年度の反省から種目を変更して実施、当日までは各分館で練習を重ね、みんなで参加、みんなが楽しむが実践され地域のまとまりを作ることが出来た。今年度も実行委員会として中学生が大半参加してくれ、数回にわたり会議を重ね、競技内容の検討を行った。 来年度実施に向けては、人口の少ない地区の参加に向けた競技内容の検討が必要。							

下久堅公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季スポーツ大会		地区費	1	173	173	2,830	2月2日	下久堅小学校体育館
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る		継続					【総括と今後の方向付け】 冬季の貴重なスポーツ大会になっている。ニュースポーツを楽しむと共に競技性もでてきた。今後も継続して事業を実施するが、ニュースポーツを楽しむサークルを作る動きの支援を行って行きたい。	
	実施内容							評価	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「ひさかた」の発行		地区費	4	1,000	1,000	2,830	実施内容参照	下久堅公民館
	地区住民へ、地域課題や生活課題を提起するとともに、身近な話題をタイムリーに伝えることにより、地域に対する関心を高めるべく発行する。		継続					【総括と今後の方向付け】 地区の時事広報として歴史を後世に残すとともに、地域住民の情報交換と文化意識の高揚の役割を果たすべく発刊に努めてきた。公民館報の果たすべき役割を常に認識しながら、地域課題・生活課題の提起できる館報として発刊を継続していきたい。	
	地区住民を対象に、地域課題や生活課題の提起をし、地域への関心の向上を図る							評価	
171号 6月28日発刊 172号 9月30日発刊 173号 12月27日発刊 174号 3月31日発刊									
実施内容									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	魚のつかみどり体験		市・地	1	-	-	2,830	7月15日	塩沢川(下虎岩)
	親子が体験活動を通じて、ふれあう事を目的に開催する。 雨天増水により中止		継続					【総括と今後の方向付け】 継続実施したい	
	地区の親子を対象に自然体験を通して、親子の触れ合いを図る							評価	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	公民館長杯囲碁ボール大会		地区費	1	50	50	2,830	11月17日	下久堅小学校体育館
	誰でも身近に感じ楽しむことができるニュースポーツの普及と、住民の世代を越えた交流の機会を目的に開催する。		継続					【総括と今後の方向付け】 体力差や技術に関係なく、誰でも気楽に親しめる種目であり、大変良い機会になったと認識している。また、高齢者や子どもたちの参加も多く、異世代による交流も図れた。	
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る							評価	
今年度はサバイベントとしてポッチャの体験会も行い、盛況だった。 今後も目的や意図をしっかりと持ち、健康増進とスポーツに親しめる機会をつくっていききたい。									

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子書き初め教室			地区費	継続	1	36	36	1月5日	下久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、伝統行事を通じて親子の触れ合いを図る		【総括と今後の方向付け】 毎年実施している正月の恒例の行事。 新年を迎えるなか、昔からの伝統行事を親子で興じる機会になっている。 地区の方が講師となり、子どもたちに書道を教えてくれる。今年度は中学生の参加が多く、実施後の片付けを積極的に手伝ってくれ、年齢が異なる子どもたちが互いに教え合い、気遣いながら書き初めを行っていた。						
その他	下久堅地区新年の会（ひさかた村塾）			市・地	継続	1	90	90	1月19日	下久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、地域文化や歴史に触れる機会として開催		【総括と今後の方向付け】 地区内の成人を対象に地域の課題、地域づくり、歴史文化といったその時々 の課題をテーマにした学習会や講演会を開催する。 具体的な内容は、公民館と地区内有識者からなる運営委員会が中心となっ て企画、運営する。下久堅地区まちづくり委員会と共催で開催している恒例 行事。 講師：南信州観光公社 竹前雅夫 講演：「下久堅の魅力を観光に活かす！」						
その他	下久堅地区成人式			市・地	継続	1	28	28	1月12日	下久堅公民館
	目的	新成人を対象に、成人を祝うと共に地域を感じる機会とする		成人式が開催に向け新成人の実行委員会を11月より6回開催し、祝賀会の 内容や記念品について検討した。当日の受付を新成人が行なうことで「私た ちの成人式」という意識が強いものとなった。 記念品については、「これから先使えるもの」をテーマにボールペンを設定し た。						
その他	下久堅放課後子ども教室			市・地	継続	週4回	987	30	毎週月・火・木・金（週4回）	下久堅小学校
	目的	小学生を対象に、地域の子育て環境改善と体制の充実を図る		【総括と今後の方向付け】 心豊かでたくましい子どもを地域全体で育むため、地域ボランティアスタッフ の指導と見守りにより、安全な子ども達の居場所づくりをする。また、地域の 人材を活かし、月に1～2回程度、読み聞かせやお菓子作りなどの活動を行 う。						

上久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「わくわくキッズ」		市・地	継続	15	75	5	20	実施内容参照	上久堅公民館ほか
	目的	保育園・幼稚園の幼児とその親を対象に、様々な体験等を通じた子育てについての学習、親子育で不安の解消、子どもの健全な育成を図る。	【総括と今後の方向付け】 保育園と連携することで、入園前から保育園の環境に慣れるためのよい機会となり、保育園、乳幼児学級の母親ともよい感想をいただいている。参加されるお母さん方と内容を相談しながら、文化展でのパネル展示など多様な活動を行えた。季節ごとの行事も大切に、クリスマス、焼きいも大会等楽しく行えた。出生数減少と、産休明けから仕事復帰する方の参加者減少予想され、次年度公民館での開催は行わず、保育園が行う未就園交流として継続する予定である。親同士の親睦を深める機会に加え、親たちの憩いの時間になるため今後も支援を行っていく。							
		実施内容 ①5/14年計画、茶話会 ②6/4保育園児と交流、どろんこ遊び ③6/6人形劇をみよう ④7/9水遊び ⑤保育園夏まつり ⑥8/20水遊び ⑦9/10リズム体操、器具あそび ⑧9/11プラネタリウム鑑賞 ⑨9/28保育園の運動会にご招待 ⑩10/15みんなで文化展の飾り ⑪焼きいも大会 ⑫12/17クリスマス会 ⑬1/14お楽しみ会 ⑭2/14園児と交流お楽しみ会 ⑮まとめの会、茶話会	評価 保育園・幼稚園の幼児とその親を対象に、様々な体験等を通じた子育てについての学習、親子育で不安の解消、子どもの健全な育成を図る。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	男性料理教室「男子厨房に入る」		市・地	継続	3	45	15	1,265	実施内容参照	上久堅公民館
	目的	高齢者男性を対象に、料理の基本や栄養について学び、食生活の改善を図る。	【総括と今後の方向付け】 季節の野菜や健康日本食の基本的レシピを中心にを行っている。参加者同士で教え合ったり工夫し合ったりする姿もあり、地域に定着している事業なので今後も継続していきたい。							
		実施内容 ①6/26簡単！おかずレシピ ②10/29秋の味覚たっぷり健康レシピ ③2/132020年！新年会	評価 高齢者男性を対象に、料理の基本や栄養について学び、食生活の改善を図る。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	上久堅小学校PTA・公民館共催講演会		市・地	継続	1	90	90	1,265	10月26日	上久堅小学校
	目的	小学生とその親・一般を対象に、小学生の基本的な生活習慣の取得を図る。	【総括と今後の方向付け】 今年度は小学校体育館を使い、広い会場ならではの科学実験を間近で体験でき、好評であった。実験をとおして地域の大人、保護者、子どもが一緒に作業したり発見したりすることができた。講演会後はPTA、先生、地域の語る会を実施し、地域における子どもたちの成長をどう担っていくかなど、意見交換を行った。							
		実施内容 講師：おもしろ科学工房 内容：液体窒素を使った超低温の世界を体験しよう	評価 小学生とその親・一般を対象に、小学生の基本的な生活習慣の取得を図る。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	冬のお楽しみ会(図書分館・公民館共催かるた会)		市・地	継続	1	19	19	1,265	1月26日	上久堅公民館
	目的	地区の子ども、保護者を対象に、親子の触れ合いや世代間の交流を図る。	【総括と今後の方向付け】 毎年図書分館の方々とどんな交流会にしたいか話し合い進めている。広く地域に参加を呼びかけたが、例年より親子以外の大人の参加が少なかった。親子に限らないお楽しみ会を引き続き考えていく必要がある。							
		実施内容 絵本読み聞かせ、かるた会	評価 地区の子ども、保護者を対象に、親子の触れ合いや世代間の交流を図る。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	いいだ人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」		市・地	継続	1	16	16	1,265	8月4日	鼎文化センターほか
	目的	保育園・小学生の親子を対象に、有料の大型人形劇を観劇する機会を提供する。	【総括と今後の方向付け】 本部で開かれる有料公演を鑑賞した。上久堅児童クラブとの共催で実施し、保護者も数名参加があり、大人数で実施できた。小学生は縦割りの班を編成し、高学年が低学年の世話をしたり、子ども同士で声を掛け合ったりしている姿が見られた。今後も大人も子どもとも楽しめる事業として続けていきたい。							
		実施内容 内容：飯田市美術館見学、プラネタリウム鑑賞、人形劇団むすび座観劇	評価 保育園・小学生の親子を対象に、有料の大型人形劇を観劇する機会を提供する。							

上久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	十三の郷ウォーキング事業		市・地	継続	1	22	1,265	実施内容参照	地区内
	地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴らしさの再認識・再発見を図る。	実施内容	桜を愛する会、上久堅保健推進委員会と連携して実施。地区内の桜の名所を始め、上久堅にある自然地形を活かし、各所にある郷土学習資料を学び、地区を再発見したり、地区をPRしたりする機会とした。(実施内容) ・4月6日 お花見ウォーキング(共催：桜を愛する会)					【総括と今後の方向付け】 公民館と保健推進委員と連携して6年目。4月の桜をめぐるウォーキングが雨天中止のため、3年ぶりに開催となった。三遠南信道の工事が進む中変わりゆく故郷の景色を記憶にとどめる目的で始めたが、工事も一段落した部分もあるので、地区の他の魅力を知ることとして行っていくたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ふるさと自然体験2019		地区費	継続	1	72	1,265	7月13日、14日	上久堅公民館ほか
	地区住民を対象に、地域で育てる子ども像を模索し、次世代を担う人材育成を図る。	実施内容	「学ぶ・遊ぶ・作る・小学生PTA合同企画」の4本柱で企画。小学生を対象とする1泊2日の宿泊事業。日ごろ接する機会が少ない地域の大人と子どもと一緒に活動することで、子ども達にふるさとの良さを感じてもらおう機会とした。(実施内容) 学ぶ…水生生物、川の水質、川遊びルール確認について 遊ぶ…川遊び 作る…カレーライス、バーbecueーヘン作り 小学生企画…夜の散歩と謎解き宝探し					【総括と今後の方向付け】 本年度で6回目の開催となり、関わる役員が子供にどんな体験をさせてあげたいか、関わる自分たちが楽しいと思うことについて真剣に話し合ってきた。当日は雨天であったが、地区内の川での水生生物の採取を行い、専門の先生の説明に子どもたちは真剣に聞いていた。今後も大人も子どもも上久堅の豊かな自然を通じて楽しみながら学習でき、ふるさとへの愛着を深められるような内容を企画・検討していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学生への方言人形劇指導		市・地	継続	3	30	10	8月～12月	上久堅小学校
	小学生を対象に、郷土のことを学習することにより、ことばからふるさと上久堅の素晴らしさを再認識することを図る。	実施内容	小学校3年生を対象に、人形劇フェスタで上演した演目を上久堅の方言版にして、地区のお年寄りの方にも親しみのある言葉で演じた。(実施内容) 演目：金のがちョウ 方言指導講師：上久堅を学ぶ会方言部会					【総括と今後の方向付け】 方言部会の皆さんが人形劇の台本を上久堅の方言版に直し、地区文化祭で小学生が披露した。今年も上久堅を学ぶ会の方が積極的に関わり郷土学習の一端になった。世代を超えて人形劇を楽しむ機会として取り組みが地域の定番になりつつある。これから子どもたちの地域に関わる思い出やコミュニケーションの機会として継続していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	南信州狼煙リレー		地区費	継続	1	34	1,265	8月31日	神之峰
	地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴らしさの再認識を図る。	実施内容	この地域に数多く残る狼煙台を見直し戦国時代の歴史を考えることにより、ふるさとの再発見・再認識を目指すとともに、南信州各地の連携を深めたい実施。飯田下伊那の各地区公民館へも呼びかけ武田信玄狼煙会として狼煙上げを行なった。(実施内容) 神之峰にて小学6年生が武将姿で狼煙に点火。					【総括と今後の方向付け】 小学生の代表による点火も恒例となり、今年は小学生が点火をした。小学生の家族も参加してくれ、賑やかな開催であった。元公民館役員の皆さんが中心となって始めて、元役員同士の交流の場になっている。狼煙会全体のポスターで全体に周知しながらも地区としては参加する人たちが細く長く交流の場として継続していくたいと考えている。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	上久堅を学ぶ会		市・地	継続	4	660	589	実施内容参照	上久堅公民館ほか
	地区住民を対象に、「上久堅村誌」を紐解きながら郷土の歴史や文化を学習し、郷土への愛着と誇りの醸成を図る。	実施内容	隔月1回「上久堅村誌」を中心とした郷土を学ぶ会を開催。座学と現地を歩く見学会を行った。今年度も上久堅だけでなくとどまらず、他の地域へ出向き、人権学習の要素を取り入れた学習会も行った。(実施内容) ①4/29上久堅と遠山郷の歴史は秋葉街道から三遠南信道へ ②6/30信玄史跡めぐり・山梨の旅 ③10/24引き揚げ後のくらしに想いを寄せてみよう ④1/7～12絵図で迎える知久氏の歴史					【総括と今後の方向付け】 運営委員を担っている会員が当番制で自分自身が学び広めたい内容を計画し、実施している。自主的に学び活動を展開しているこの会は、上久堅にとって先進的団体であるため、公民館としても裾野を広げていくための支援と協力を展開していく。	

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上久堅地区成人式		市・地	継続	1	9	9	11	1月12日	上久堅公民館
文化事業	目的	新成人を対象に、自分の生まれ育った地域について考える機会とする。また、地区全体で新成人をお祝いし交流を図る。	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員会が中心になり地域学習、アトラクションの準備を進めてきた。地域学習では文化委員会の役員に地域について話を聞いたり、地域行事を教わったりで、地域を知る機会になった。また、祝う側も新成人一人ひとりの個性表れる抱負発表に、彼らの想いに触れ、アットホームな式で今後も地域でお祝いしたいとの声があった。この地区らしい地域の方との関わりを大切にしたい地域学習、式典を支援していきたい。							
		実施内容	新成人代表と文化委員を中心に実行委員を組織し、地域の方の協力をいたいただきながら成人式を開催した。式典は厳かにを行い、祝賀会は新成人が楽しめるように、また地域学習の発表として新成人代表がアトラクションを企画運営した。 式典：式辞、新成人の抱負、恩師のお言葉 ほか 記念撮影：新成人・恩師、新成人・恩師・保護者 祝賀会：記念品案内、地域学習の発表							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上久堅を知る		市・地	継続	1	15	15	1,265	7月30日	上久堅公民館
文化事業	目的	地域住民を対象に、地域の財産、継承したいものについて関心を高めることを図る。	【総括と今後の方向付け】 上久堅地区は、全国でも一番多く満蒙開拓団として送り出した地区である。その満蒙開拓団のその後を追った、戦後史のDVDを上映したことで、上久堅から開拓に行ったことを初めて知る機会になったや、今の生活の大事さを振り返る機会となったとの意見が多かった。今回の内容について、地域全体で継承と保存していかなければならない。引き続き様々な側面で学習をサポートしていきたい。							
		実施内容	上久堅地区を知るうえで重要な歴史である満蒙開拓団について、DVD上映による学習を行った。 実施（実施内容） 題名：彼らは再び村を追われた 知られざる満蒙開拓団の戦後史							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上久堅地区文化祭		地区費	継続	1	400	400	1,265	11月17日	上久堅小学校ほか
文化事業	目的	地区住民を対象に、日頃の活動の成果発表の機会を提供し、地域住民同士の親睦・交流を図る。	【総括と今後の方向付け】 2年に一度の開催であるが、当日の来場者も多く、地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会となった。今年度は、花綱、チェリー吉武をお招きして芸能発表により一層花を添えていただいた。また、上村からも例年参加いただき、特売品販売して会場を盛り上げていただいている。両地区の交流の場として今後も続けていきたい。幅広い年代層が一堂に会し集える機会であるので、今後も地区民が楽しみにする場として展開していきたい。							
		実施内容	隔年で開催している。様々な芸能分野で活躍する地域の方々の発表の場であり、様々な団体・個人が活躍できる展示の場を提供、また、地域の特産品などを提供する場を設け、地域の文化度をより一層高めた。併せて、上村下栗地区の皆さんとの交流の機会ともしている。 （実施内容） 共催：健康福祉委員会、各種グループ団体 催し：上村特産品販売、わいわい広場（10店） ほか 芸能発表：13団体（花綱、チェリー吉武） 展示：一般作品、上久堅保育園、上久堅小学校、竜東中学校作品 ほか							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いい！人形劇フェスタ2019上久堅地区公演		市・地	継続	5	470	135	1,265	実施内容参照	上久堅公民館ほか
文化事業	目的	地区住民を対象に、身近な場所で公演を行なうことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る。	【総括と今後の方向付け】 地区内5会場で実施。実行委員会を、保育園保護者会・分館で組織し、各場所まで工夫をこらしていい！人形劇フェスタを地区から盛り上げた。日、場所、劇団、スタッフ（団体名）、観劇者数は以下のとおり。 （開催概要） ①8/2 小野子大昭館 人形劇団わたぐも 5、6分館、小中学生ボランティア 49人 ②8/3 上久堅公民館 劇団むう 3、4分館、小学生ボランティア 97人 ③8/4 原平集落センター しんくんシアター 1、2分館、小中学生ボランティア 56人 ④8/4 越久保センター ましゅ&Kei、オラ・ムチン 公民館文化委員、小中学生ボランティア 135人 ⑤8/5 上久堅公民館 上久堅小10チャレンジ、お坊さんの人形芝居山添真寛 保護者会 133人							
		実施内容	評価							

上久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	いいだ人形劇フェスタ学習会		市・地	継続	1	25	25	1,265	7月9日	上久堅公民館
	地区住民を対象に、身近な場所で開催を行うことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る。	実施内容	文化委員を中心に公民館委員全員を対象として、毎年地区で行う人形劇フェスタにどう臨むのか、フェスタのおもしろさ、意義など伝えることを目的に開催。 (実施内容) 内容：劇人からみた人形劇フェスタと地区公演の魅力、スタッフとしての心構えなど 講師：岩井田浩江 氏（人形劇団むすび座観劇）							
区分	体育事業	分館対抗女性スポーツ大会	地区費	継続	1	133	133	1,265	6月2日	上久堅小学校
	目的	地区内女性一般を対象に、女性のスポーツ活動促進と女性同士の親睦を図る。	実施内容	女性のスポーツ活動促進と女性同士の交流・親睦を深めることを目指しソフトバレーボール大会を実施した。各分館1チームずつ出し合った。 (大会結果) 優勝6分館、準優勝4分館						
区分	体育事業	分館対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	215	215	1,265	8月25日	農村広場
	目的	地区住民を対象に、スポーツ活動促進と親睦を図る。	実施内容	各分館で1～2チーム出し、2ブロックでソフトボール大会を行った。 (大会結果) Aブロック 優勝4分館、準優勝2分館 Bブロック 優勝5分館、準優勝1分館						
区分	体育事業	上久堅地区運動会	地区費	継続				1,265	10月13日	農村広場
	目的	地区住民を対象に、住民同士の交流と親睦を図る。	実施内容	上久堅公民館事業の中で最も参加者が多く、住民同士の交流と親睦という目的においてとても有意義な事業である。総合優勝を廃止しているが分館対抗種目は残り、それぞれで順位付けを行い表彰している。 ※今年度は台風により中止						
区分	体育事業	冬季スポーツ大会	地区費	継続	1	189	189	1,265	2月2日	上久堅小学校
	目的	地区住民を対象に、住民同士の交流と親睦を図る。	実施内容	誰もが気軽に参加できるようワンバウンドふらば～るバレー大会を分館対抗で行った。 (大会結果) Aブロック 優勝3分館、準優勝4分館 Bブロック 優勝6分館、準優勝3分館 Cブロック 優勝6分館、準優勝2分館						

上久堅公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみひさかた」発行		地区費	継続	4	48	12	1,265	実施内容参照	上久堅公民館
	目的	広報委員会を中心に、地域の情報発信、課題提起、将来への記録等を図る。	公民館活動はもちろんのこと、日頃の地域の情報を分かりやすく読みやすく発信できるように心がけた。 (実施内容) ・紙面発行 発行数:4回(6月、10月、12月、2月)、発行部数:650部(10月のみ700部)							
			【総括と今後の方向付け】 広報委員会が分担し取材など全員で関わり、読みやすい紙面、読んで楽しい紙面づくりを心がけた。今年度は、200号の記念号もあり様々な企画を行い、読者からも好評であった。今後も館報の意味を大切にして、上久堅の人の顔・存在が感じられるような紙面づくりも取り組んでいきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報発送サービス事業		地区費	継続	4	140	35	35	実施内容参照	上久堅公民館
	目的	全国各地の上久堅出身者を対象に館報を郵送し、生まれ育った地域の情報を知ってもらう。	東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今どのようになっているか知っていただく機会として行っている。上久堅をPRすることを目指し、様々な地区内チラシを同封してきた。 発送:年4回(館報「かみひさかた」に準じる) 登録者:35名(令和元年現在)							
			【総括と今後の方向付け】 毎回発送されてくるのを楽しみされる方も多く生まれ育った地域の情報を発信する良い機会となっている。東京神峰会を対象に始まった事業であるが、地区外へ出ている出身者の登録も増えてきた。最近は購読者の高齢化もあり、毎年減少傾向にある。新規購読者を増やすための取り組みも行っており、今後も継続していきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	第10回 上久堅写真展		地区費	継続	1	200	200	1,265	11月10日～11月17日	上久堅公民館
	目的	地区住民を対象に、地域の魅力再発見・再認識によるふるさと意識向上を目指す。	文化展に合わせて実施した。写真で公民館活動の一年を振り返る展示も行った。 テーマ:上久堅 出展数:44作品							
			【総括と今後の方向付け】 今年度も応募者の現像の手間の軽減の為にパソコンでデータ受付も行った。それにより、多くの方の参加があった。在り方を考えるとともに写真展が上久堅をPRできる機会として来年は実施するかどうかも含めて検討していきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報編集学習会		市・地	継続	1	12	12	12	3月24日	上久堅公民館
	目的	広報委員を対象に、基本的な文章の書き方を軸に、写真撮影、取材方法、割付方法などの基本的な技術の向上を図る。	広報委員の館報作成技術向上のために、新聞を作る上での基本的な部分を中心に学習し、館報づくりを活かす学習会を行った。 内容:館報かみひさかたを編集するにあたって館報かみひさかたの編集の流れ							
			【総括と今後の方向付け】 今年度は新旧広報委員が集い紙面づくりの基礎について学習を行った。今後も地域に根差す館報づくりの為に委員相互の研修の機会として学習会を行っていきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	分館自主活動		市・地	継続	6	166	39	1,265	実施内容参照	各区集会所等
	目的	地区住民を対象に、身近な問題について身近な場所を取り組むことにより、あらゆる分野の知識・意識向上や地域住民の交流を図る。	最も身近な分館を利用して、生活課題を解決するためのセミナー等を各分館1回以上行う。企画から運営までを各分館が主体的に担い、分館活動活性化に努めた。 (実施内容) 1分館…けん玉講習会 2分館…マレットゴルフ 3分館…囲碁ボール 4分館…囲碁ボール 5分館…ボウリング大会 6分館…マレットゴルフ							
			【総括と今後の方向付け】 スポーツや伝統的な遊びなどそれぞれの集落の特徴や住民の興味関心に沿った分館活動が展開された。地域にとって必要な内容を身近な分館単位で企画・実施するからこの事業には参加するという声もある。今後も興味関心から生活課題へ迫り、地域のさらなる活性化となるよう推進していきたい。							

上久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	世代交流しめ縄飾り講習会		市・地	6	93	21	1,265	12月8日、15日、21日	各区集会所等
	目的 地区住民(特に子どもと高齢者)を対象に、大切な伝統文化の子どもたちへの継承と世代間交流を図る。		市・地	継続	93	21	1,265	12月8日、15日、21日	各区集会所等
その他	第27回 ひさかたの火まつり		他会計	1	700	700	1,265	8月17日	北田遺跡公園ほか
	目的 地区住民を対象に、手作りのお祭りを作り上げながら交流を深めるとともに、地域の宝である北田遺跡の活用を図る。		市・地	継続	700	700	1,265	8月17日	北田遺跡公園ほか
その他	小学校クラブ活動、総合学習の支援		市・地	12	132	11	1,265	実施内容参照	上久堅小学校
	目的 小学生を対象に、地域の人とつながり様々な文化を学習することで、郷土への愛着と誇りを持ちこれからの生活へ活かす取り組みとする。		市・地	継続	132	11	1,265	実施内容参照	上久堅小学校
合同事業	オーケストラと友に音楽祭2019コミュニティコンサートin竜東中		市・地	新規	300	300	5,697	5月3日	竜東中学校
	目的 一般を対象に身近な場所で、一流の音楽を楽しむ機会を提供する。		市・地	新規	300	300	5,697	5月3日	竜東中学校
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会		地区費	1	93	93	93	5月18日	竜東中学校
	目的 小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小学生との交流を図る。		市・地	継続	93	93	93	5月18日	竜東中学校

千代公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ちよっ子クラブ(0～3歳児学級)		市・地	継続	21	256	25	毎月第2、第4火曜	千代公民館ほか
学級・講座		【総括と今後の方向付け】 参加者同士の話し合いの中から講座内容を決める回を持つなど、参加者が組み立てに関われるように工夫し実施した。また、日曜日にファミリーデーとして家族全員で参加できる日を作ったことで、普段は未滿で保育園に通っている家族の参加もあり、また母親だけでなく家族の関わりを観ることができた。 次年度についても、未滿で保育園に入園する方も多く、対象となる人数が少ない中で他機関との調整を図りながら学級運営をしていく。							
	実施内容	共催：公民館・保健課・保育園 常任講師：小木曽嘉子保育士 ①開講式、②ふれあい遊び、③保育園で遊ぼう、④動物園へ行こう、⑤七夕飾りを作ろう、⑥保育園でプール遊び、⑦ヨガ講座、⑧うんどう遊び、⑨よこね田んぼへ行こう、⑩プラネタリウムに行こう、⑪絵本の読み聞かせ(下沢先生)、⑫動物とのふれあい体験(林牧場)、⑬やきいも大会、⑭おやつ作り、⑮【ファミリーデー】お菓子作りとヨガ講座、⑯クリスマス会(ましゅ&ケイ)、⑰大きな布で遊ぼう、⑱うんどう遊び、⑲しんぶんし遊び、⑳ハーバリウム講座、㉑閉講式・成長の記録を残そう							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	満蒙開拓座談会		他会計	新規	1	66	66	7月7日	千代公民館
学級・講座		共催：社会を明るくする運動飯田市推進委員会、千代の歴史を語る会、千代まちづくり委員会 講義：林 隆秀氏 座談会司会：松嶋孝明氏、西尾潤氏 座談会証言者：長沼康人氏(長野原)、増田信義氏(駄科)、近藤丑男氏(山中) 満蒙開拓の千代地区での概要と出国時の国の状況など学ぶ講義の後、座談会で実際に開拓団として渡満し帰国した体験者3名の話を聞いた。							
	実施内容	一般を対象に地域の歴史と平和の大切さを学び、人権感覚の醸成を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ホテル観賞と星空観測		地区費	新規	1	50	50	7月26日	よこね田んぼ
学級・講座		講師：飯田市美術博物館学芸員 共催：NPO法人里山べーす、市教委生涯学習・スポーツ課 よこね田んぼにてホテル観賞と星空観測を実施。							
	実施内容	一般を対象に自然に親しみ、地域の魅力の再発見と愛着を深める							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさと講演会		市・地	新規	1	23	23	9月6日	千代公民館
学級・講座		講師：木下巨一(県生涯学習センター所長) ハネリスト：北澤繁氏(企画委員長・野池分館長)、林浩昭氏(体育委員・飯田市スポーツ推進委員) テーマ：「今、改めて考える。私にとっての公民館、地域にとっての公民館」 講演①「公民館の始まりと、飯田の公民館の特徴」 パネルディスカッション「私にとっての公民館、地域にとっての公民館」 グループ討議「パネルディスカッションを聞いて、『スッキリ』と『モヤモヤ』」 講演②「地域づくりと公民館の役割」							
	実施内容	一般を対象に、公民館の役割を考え、個人の負担感の軽減を図る							

千代公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子料理教室	市・地	継続	1	11	11	156	12月7日	千代公民館
	実施内容								
講師：食生活改善推進協議会 ハンバーグをメインにクリスマスに向けて、減塩を意識した料理を親子で作る。家庭のみそ汁を持参いただき、塩分測定もおこなった。 【総括と今後の方向付け】 昨年度の反省から、保護者にも参加しやすいよう実施した。料理作りを通して、世代間交流をすることができた。食改千代支部も高齢化により活動が困難になっている状況もあることから、活動の場を作っていくとともに、活動を広められるよう支援をしながら、今後も実施していく。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	新春書き初め教室	市・地	継続	1	11	11	1,649	1月3日	千代公民館
	実施内容								
講師：林 凌永氏(2017年度新成人) 参加：小学生9人、中学生2人 書初めを子どもと大人が一緒に、地域の講師から教わった。 【総括と今後の方向付け】 講師と日程調整をして正月の3が日に実施した。地域の若者が講師として関わることができた。次年度も講師と日程を調整しながら、継続する。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019千代地区公演	市・地	継続	4	447	447	1,649	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容								
地域の方と劇人が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、人形劇に親しむ機会として実施。 8/2 PM7:00 千栄小学校体育館 8/4 AM10:00 千代公民館 8/4 PM7:00 法山地域振興センター 8/5 AM10:00 千代公民館 【総括と今後の方向付け】 各会場で観劇者のために行燈やかき氷、麦茶のふるまい、会場装飾など工夫を凝らした企画を検討し、実施できた。交流会は劇人への感謝の気持ちと実行委員の慰労を兼ねたアットホームな雰囲気で開催された。文化委員の人数が減って初めての公演を何とか実施できたものの、今後は地区内のボランティアを募集することも前向きに検討していきたい。引き続き文化委員会が中心となり、観劇者が喜び、地区が盛り上がる公演を企画していく。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代地区文化祭	地区費	継続	1	224	224	1,649	11月17日	千代小学校
	実施内容								
各種団体による成果物の展示、体育委員会によるニュースポーツ体験(ボッチャ)、健和会病院による骨密度・体脂肪測定、文化委員会による千代ギネスに挑戦・千代検定、広報委員会によるカフェコーナー、青少年育成委員会による創作教室、販売コーナーほか 【総括と今後の方向付け】 委員数の縮小により準備・運営・片付けが心配であったが、各専門委員会に協力いただき、スムーズに行うことができた。各専門委員会による催しや各種団体による販売コーナーが充実しており文化祭は盛り上がった。一方で会員数の減少により維持できない団体も出てきており、各種団体の展示が減少傾向にある。積極的な支援が必要である。引き続き、いろんな方の活動や想いが交わる文化祭となるよう工夫したい。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代地区成人式	市・地	継続	1	15	15	17	1月13日	千代公民館
	実施内容								
新成人の希望を反映して実施。 ・地域学習「よこね田んぼ収穫祭」への参加 ・記念写真撮影・芋平獅子舞保存会による祝いの舞披露・開式の辞・主催者挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露・乾杯・新成人自己紹介、近況報告・恩師よりメッセージ・飯田市消防団第13分団より・・・思い出のアルバム・家族地域からのメッセージビデオ・万歳三唱・閉式の辞 【総括と今後の方向付け】 事前の地域学習では新成人の思い出の深い「よこね田んぼ」をテーマに収穫体験を行った。成人式当日は地域の大人から新成人へ、地域を守る大人の仲間として認め、迎える旨の言葉を送り、新成人の大人としての自覚を促せた。また、文化委員会の企画として家族と地域の方からのメッセージムービーを作成し、地域からのプレゼントとして上映することができた。次年度も新成人が20歳の節目にこれまでの人生を振り返り、これからの生き方を考える機会として成人式を実施する。									

千代公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと講演会（文化委員会主催）	0円	継続	1	0	0	1,649	1月26日	千代公民館
	【講師との調整ができず中止】 一般を対象に、千代に 関係する講演会を開催 し、千代を知る機会とす る。								
文化事業	千代峠交流会	市・地	継続	1	23	23	2,980	11月2日	南信濃地区
	南信濃地区和田区を会場に地域歩きと旧木沢小学校にて懇親会を実施。 平成28年度までは大正～昭和の初期に馬道として栄えた、千代と南信濃木 沢を結ぶ「旧千遠線」を歩く事業として実施していたが、道が寸断され整備で きていない個所などもあり、平成29年度より隔年で互いの地区へ出向き、そ の地域を学ぶ会として実施している。								
文化事業	実施内容								
	一般を対象に、古の道 をテーマとした交流を通 じ、自然と歴史に触れる								
文化事業	実施内容								
	参加者が減少してきており、千代峠をきっかけにした交流もさみしくなってきた。次年度以降も継続して いきたい。地区の中でもこの交流が財産であることを広めていきたい。 進行中である千代峠の整備については、文化委員と万古溪谷会を中心に令和2年 度には県の元気づくり支援金を申請し専門業者に入ってもらい整備することを進 めていきたい。								
体育事業	第10回 ワンふらバレー大会	地区費	継続	1	180	180	1,518	5月26日	千代小学校
	参加チーム：6分館連合から12チーム 優勝：野池A 準優勝：米川A 3位：下八A 若者向けの住民スポーツ交流大会として位置付け、健康増進、交流事業とし てワンバンドふらば～るバレー大会を開催。								
体育事業	実施内容								
	若者から高齢者を対象 に、健康増進、交流の 促進を図る								
体育事業	千代地区市民運動会	地区費	継続	1	0	0	1,649	10月13日	千代山村広場
	台風19号の影響により中止								
体育事業	実施内容								
	全地区住民を対象に、 健康増進、交流の促進 を図る								
体育事業	第5回囲碁ボール大会	地区費	継続	1	160	160	1,202	2月2日	千代小学校
	参加チーム：6分館連合から12チーム 優勝：下八B 準優勝：千栄東A 3位：野池B 高齢者向けの住民スポーツ交流大会として位置付け、激しいスポーツが難し い方の健康増進、交流事業として囲碁ボール大会を開催。								
体育事業	実施内容								
	40歳以上の中高年層及 び女性を対象に、健康 増進、交流の促進を図 る								
体育事業	実施内容								
	【総括と今後の方向付け】 他のスポーツ大会には参加しにくい中高齢者向けのスポーツ大会として定着し、 高齢者が分館代表選手として地区スポーツ行事に参加する重要な機会となってい る。今後も高齢者が主役の体育行事として継続していきたい。								

千代公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	第21回千代地区ウォークラリー大会		地区費	継続	1	38	38	1,649	9月14日	米川区
	目的	小学生を中心とした一般を対象に、地域の地理や歴史、自然に関心を持つ	【総括と今後の方向付け】 特別講師：川手重光「米川の石観音について」 千代地区米川区の地理や歴史、自然をテーマにチームで問題を解きながら地図を頼りに協力してゴールを目指す。コースを毎年変更して実施している。							
		実施内容	評価 準備、下見の中で、青少年育成委員にとって意外と知らない地域の財産を発見する機会となった。また、当日は参加した親子には普段歩かない道を家族で歩くことを十分に楽しんでもらい、地域の魅力を改めて学ぶ機会となった。次年度は下村・八ノ倉区を会場に、子育て世代親子が地域を知る機会としたい。							
育成事業	創作教室		市・地	継続	1	27	27	219	11月17日	千栄小学校
	目的	児童とその親を対象に、世代間交流を通して、的地育力の向上を図る	講師：(風作り)関口兼善氏、野田充夫氏、北村勝志氏 (水引体験)林収一氏 風作りと水引体験とともに事前に役員が作り方を確認し、当日、講師とともに指導した。水引体験は飯田の地場産業に触れる機会として、木下水引に勤務されている地区の方を講師にお招き実施したところ、特に女の子と大人に人気だった。							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 簡単に作れる風作りと水引体験は子ども達にとっても好評だった。風作りは後日、千栄小学校の授業として取り扱われ、地域講師として授業を行うなど、広がりがあった。次年度も子どもの様子を共有しながら企画運営したい。							
育成事業	万古渓谷析の木ツア—		市・地	継続	1	0	0	219	6月29日	万古渓谷
	目的	子どもとその親を対象に、自然に親しみ、地域の魅力の再発見と愛着を深める	【雨天中止】 講師：万古渓谷会 今年度は雨天により中止となったが、子供はもちろん保護者も、自然に親しむとともに、千代にしかない「万古渓谷の自然」を体験する貴重な機会となっていた。また万古渓谷会の活躍の機会にもなっている。安全に配慮しながら継続実施していく。							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度は雨天により中止となったが、子供はもちろん保護者も、自然に親しむとともに、千代にしかない「万古渓谷の自然」を体験する貴重な機会となっていた。また万古渓谷会の活躍の機会にもなっている。安全に配慮しながら継続実施していく。							
広報事業	館報千代の発行		地区費	継続	発行6回	—	—	—	実施内容参照	千代公民館
	目的	一般を対象に、地域の館報を発行する	まちづくり委員会の広報紙を兼ねて、館報として発行している。 年間発行数：2ヶ月に1回の発行 計6回							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 地区内の記録と地区の現状を投げかける媒体として館報千代を発行した。特に取材活動を大切に、委員が様々な活動を自分の目で見て記事にした。また、新たに「キラリ千代人」のコーナーを設け、地区内で様々な活動をしている人の想いを取材し発信した。引き続き、委員が主体的に地域を学び、地域へ投げかける機会として企画発行していく。							
広報事業	ふるさとの便り発送事業		地区費	継続	年6回	—	—	28	館報発行時(2ヶ月に1回)	—
	目的	地区外の千代地区出身者を対象に、故郷の情報を伝えるために実施	千代地区の出身者に、故郷の情報を館報千代を通じて伝える。 ふるさと千代会を通じて購読者の申し込みを受け付けている。							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 地元への関心が高い方もおり、反響もある。継続していく。							

千代公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	どんぐりの会	0円	継続	132	132	24	1,649	実施内容参照	千代小・千栄小ほか
	実施内容	●千代小学校…毎週金曜8:15～8:30 ●千栄小学校…毎週水曜8:15～8:30 ●しゃくなげの郷…毎月第3週14:00～15:00 ●小学校の朝読書の時間に本の読み聞かせを行う。かねてよりあった千代小と婦人学級の結びつき、「地域の子どもと自然と挨拶の出来る関係になりたい」想いと千代小からの提案が結びつき、H20に発足・活動を開始した。							
	目的	一般を対象に、本の読み聞かせを通して、小学校と地域とを結び、地育力の向上を図る							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人形劇フェスタかんげきバスツアー	地区費	継続	1	45	45	78	8月1日	実施内容参照
	実施内容	9:00 千代公民館 発(千栄小経由) 10:00 セントラルパーク散策 11:00 ホーボーズ・パペットシアター「へっこきあねざ」観劇(飯田市民館) 12:00 昼食、展示観賞(飯田市美術館) 13:00 プラネタリウム観賞 15:00 千代公民館 着(千栄小経由) 【総括と今後の方向付け】 フェスタ期間内の全体スケジュールを分館長とよく相談したうえでスケジュールを組みこむことができた。1名熱中症と思われる症状を訴え、途中で迎えを呼び帰宅させた子どもがいた。学童保育の先生が中心となり、現場での対応は問題なかったが、関係者で緊急時の対応について良く検討し、共有したい。参加した小学生は毎年楽しみにしており、フェスタをしっかりと味わえる1日となった。次年度も実施したい。							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	おたんじょうび本プレゼント事業	地区費	継続	24	78	78	78	毎月1回	千代小・千栄小
	実施内容	児童は、誕生日の前の月末までに図書館へいき、おたんじょうび本のリストの中から好きな本を選び、ほしい本を図書館係へ提出する。本に、どんぐりの会、図書館、公民館からのメッセージスタンプを押印し、ラッピングして、誕生日に小学校にてプレゼントする。地域の子どものためのメディア漬けの状況、図書館利用率の低下、どんぐりの会の活動の各家庭への認知度向上、子ども達が集まれる場がないという課題を解決するための事業。 【総括と今後の方向付け】 今年で5年目の事業となり、定着してきた。図書館が子ども達の居場所としても機能している。お誕生日本を通じた家庭内での会話も多く、活動が地域に広がっているという声も聞える。今後も本に親しめる環境整備の一環として継続する。							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	公民館エントランス展示	0円	新規	2	-	-	1,649	7～8月、12月	千代公民館
	実施内容	公民館エントランスへの多様な資料の展示 ●7～8月「いいだ人形劇フェスタ展示」 ①千代地区公演の案内 ②千代小学校4年生が前年度に作成した人形を展示 機運の盛り上げを図る ●12月「平和資料展示」 ①飯田市平和資料室保管の資料の展示 ②西尾潤氏提供史料 ③竜東中3学年平和学習のまとめ資料 【総括と今後の方向付け】 来館者が足を止めて展示を見ている姿があった。また、地区内で学習している方の成果発表の場となった。今後も様々なテーマで展示をし、住民の興味関心を広げていく。							

千代公民館の事業報告

No.6

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサートin竜東中		市・地	新規	1	300	300	5,697	5月3日	竜東中学校
	目的 一般を対象に 身近な場所で、一流の 音楽を楽しむ機会を提 供する	実施内容 出演：名古屋フィルハーモニー交響楽団による弦楽五重奏 上久堅・千代・龍江公民館合同事業として文化委員・有志・竜東中吹奏楽部 OBOG・中学生・館長・主事を中心に実行員会を組織し。オーケストラと友に 音楽祭の地域版として実施した。	【総括と今後の方向付け】 身近な場所でも一流の演奏に触れる機会となった。3地区で実行委員会を組織し、 会場の装飾や特別企画、交流会、駐車場などを検討し、工夫を凝らした手作りの コンサートを実施できた。3地区のつながりが強まったと感じる。また、中高生と一 緒に活動することができ、地域の大人と中高生の双方にとって良い経験になった。 竜東中学校の吹奏楽部にも協力してもらうことで、学校の困っていることや中学生 のおかれている状況が実行委員にとって身近になった。 この事業をきっかけとして無理のない範囲で3地区と中学校の連携事業を実施し ていく。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会		地区費	継続	1	93	93	93	5月18日	竜東中学校
	目的 小・中学生を対象に、中 学校区の交流球技大会 を実施。次年度入学予 定の小学生との交流を 図る	実施内容 竜東中学校、竜東中学校区小学校、上久堅・千代・龍江公民館が主催となっ て開催。地域の縦のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校 の様子を知る機会としている。種目は当番地区と中学校が協議し決める。 (実施内容) 種目：囲基ボール 対象：小学6年生(19名)、中学生(56名)、中学生(18名)	【総括と今後の方向付け】 生徒児童が16チームに分かれ囲基ボールを行った。各チームに各地区の大人も 入り、ルールや打ち方を教わりながら競技を進めた。中学生が小学生にやり方を 教える場面もあり、学年を越えた交流ができた交流が深まる機会になっているため、次年度も継続して行いたい。 間の繋がり							

龍江公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級		市・地	継続	19	189	19	41	年間	龍江公民館 他
	目的	子供が心身共に健康でたくましく育つために必要な情報の提供や実践の機会とする。また、親子遊びや集団遊びなどを通して、子どもの社会性や親子の繋がりを育てると共に、親同士の相互交流の場とする。	講師：小木曾嘉子さん(指導者)、西脇保健師(保健指導)		【総括と今後の方向付け】 今年も多くの親子に参加していただき、活動を行った。子どもの数が少なくなる中、地区内に住む同世代の親子の繋がりを作り深めていくことを大切にしていきたい。 来年度は保育園の未就園児交流と共催しながら継続して活動していく。					
		実施内容	評価		評価					
学級・講座	食育体験教室(季節の野菜づくり)		市・地	継続	7	329	47	47	実施内容に記載	龍江保育園畑
	目的	保育園児を対象に、食育の一環として食農体験を行う。食育の一環として季節の野菜を育て食農体験を行い、農作業だけでなく収穫物を実際に食する事で食の生産から消費までを体験する機会とする。	講師：前澤 隆志さん、鳴海 和彦さん		【総括と今後の方向付け】 保育園の協力により多くの園児の参加を得られた。参加した園児たちも笑顔が溢れ楽しみながら野菜の栽培、収穫、消費ができたと感じる。幼児期・児童期の食農体験は、子どもの心身の発達に良い影響を与え、また、地域の協力者とも世代を越えた交流になっている。今後も保育園と協力しながら子供たちにとって良い経験になるよう組み立てをしていきたい。					
		実施内容	評価		評価					
学級・講座	家庭教育講座(大豆栽培体験)		市・地	継続	5	76	19	19	実施内容に記載	龍江小学校
	目的	小学生を対象に畑で採れた大豆を使いきな粉や豆腐づくり体験を行う	講師：前澤 隆志さん 協力：JA女性部、鳴海 和彦さん		【総括と今後の方向付け】 豆腐づくりでは、下準備を除く全ての工程を除くことができる「おかから」も余すことなく食べることができることを知る機会となった。学校とも地域の方との情報交換もしつかり行え、楽しく事業を行うことができた。					
		実施内容	評価		評価					
学級・講座	親子人形劇の会		市費	継続	1	62	62	62	12月3日	龍江保育園
	目的	保育園児、乳幼児の親子を対象に人形劇を観賞し親子の絆、人形劇の暖かさに触れる機会とする	飯田文化会館、龍江保育園との連携の中で実施。保育園児及び公民館乳幼児学級のみなさんが参加。親子で人形劇に触れあう機会を提供。		【総括と今後の方向付け】 親子での人形劇観賞を行い、親子のふれ合いの場所を設定している。また、次年度保育園に入園する方や保育園の未就園児交流に参加している方にも参加いただき、保育園の雰囲気を感じていただくきっかけの場にもなった。					
		実施内容	評価		評価					
学級・講座	図書館お楽しみ会		地区費	継続	2	30	15	2,783	6/29,12/7,3/7	龍江公民館
	目的	子ども達を中心に本に親しんでもらう為に実施。各種イベントを設け図書館利用を促進	6月29日：作るお楽しみ会 12月7日：クリスマス会 3月7日：春のお楽しみ会(中止)		【総括と今後の方向付け】 イベントの中で読み聞かせや紙芝居等の本に関わるもののほか、工作やプレゼンとも実施した。今後も図書館と協力して様々な催しを開催し、図書館利用の促進を図りたい。					
		実施内容	評価		評価					

龍江公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	和紙作り			市・地	継続	9	180	20	1/27～2/2、2/6、2/15	龍江小学校
	目的	龍江でも以前行われていた紙漉を復興し、伝統文化として継承していく		講師：前澤 隆志さん 龍江で紙漉が行われなくなってきた40年程が経過する。農家にとって冬の紙漉は大事な収入源であったが、時代の変化と共に昭和48年をもって龍江で紙漉を行う家は無くなってしまった。今一度、「和紙の里龍江」を継承するために子供達に紙漉体験を行う。						
学級・講座	小学校クラブ活動			地区費	継続	5	390	65	6/20、7/11、9/5、10/3、11/1、11/29	龍江小学校
	目的	龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることで、龍江を愛する心を育む		講師 ○伝統と文化・・・前澤隆志さん、鳴海和彦さん、小林完さん ○お茶・お花・・・大原 喜代子さん、塩澤紀代美さん ○陶芸・・・三輪俊子さん ○郷土料理・・・小林むつゑさん、JA女性部の皆さん ○今田人形・・・澤柳太門さん、吉澤健さん						
学級・講座	小学校お助け隊			地区費	継続	-	-	-	年間	龍江小学校
	目的	龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることで、龍江を愛する心を育む		授業内容 ○家庭科（ミシン・手縫い） ○読書（読み聞かせ） ○総合（おやす作り）						
学級・講座	ストレッツチ体操教室（のびのび元気体操）			市費	継続	1	20	20	3月26日	龍江公民館
	目的	一般を対象にストレッツチ体操を通して交流を図る		講師：村沢由美子氏（健康運動指導士） 一般を対象にストレッツチ体操を実施。昼間の時間帯で設定をし中高年の方をターゲットに実施。						
学級・講座	シェイプアップ体操（しなやかシェイプアップ体操）			市費	継続	2	40	20	3/24、3/26	龍江公民館
	目的	一般を対象にエアロビクス体操を通して交流を図る		講師：片桐みどり氏（健康運動指導士） 一般を対象にエアロビクス体操を実施。夜間の時間帯で設定をしより参加しやすい環境で実施。						
学級・講座	郷土を学ぶ講演会			市費	継続	1	36	36	11月15日	龍江公民館
	目的	一般を対象に、龍江の歴史について学習・研究し郷土の歴史を後世に伝えていく		講師：大原千和喜氏 演題：「伊那谷への鉄道開設に力を尽くした恩人の中から」 生まれ育った郷土の歴史を学ぶため実施。近隣地区からも参加者があり関心の高さも伺えた。						

龍江公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019 龍江地区公演	他会計	継続	6	420	70	2,783	実施内容に記載	同左
	地区内の様々な場所で行うことで、より多くの地区民が人形劇に触れフェスタを盛り上げることが目的として実施する。本館公演以外の運営は分館と保育園保護者会が行い、フェスタへ参加、劇人との交流等、取組みを行う。 ◇上演会場: 龍江公民館(8/2)、龍江保育園(8/3)、龍江3区公民館(8/4) 龍江4区公民館(8/4) 今田人形の館(8/4)							【総括と今後の方向付け】 今年度も劇人の受入段階から各会場(分館役員)で主体的に運営し、フェスタに積極的に取り組むことができた。地区内小中学生のボランティアを募集し行い、当日の受付や司会進行等運営に携わってもらった。小学生が自ら劇団と一緒に打ち合わせをする姿もあり、子どもにとっても良い機会だと感じた。来年度以降もボランティアスタッフの募集は継続したい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	龍江地区文化祭・芸能祭		市・地	1	300	300	2,783	11月3日	龍江公民館
	各種団体の活動成果発表の機会、将来における地区への愛着を養う機会とする							【総括と今後の方向付け】 シャルヴィル・ジュエル市訪問報告や世界の蝶標本など新たな展示があり、足を止めてみていく方も多かった。果樹の多忙期での開催のため来場者が少ない事が課題。日程の調整を視野に今後検討を行っていききたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ観劇バスツアー	他会計	継続	1	47	47	124	8月1日	飯田市公民館 他
	児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする							【総括と今後の方向付け】 毎年の取り組みとして定着しているため、多くの児童の参加があった。本部有料公演の観劇をはじめ、セントラルパーク等も見学し、地区内とは違った人形劇フェスタの雰囲気を感じることができた。来年度以降は引率者ボランティアを募るなど、工夫しながら組み立てを行いたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ベタンク大会	地区費	継続	1	46	46	2,783	4月21日	今田平農村広場
	年齢や性別に関係なく誰でも楽しむことのできるベタンクの普及と分館・常会内の結びつきを強めることを図る							【総括と今後の方向付け】 参加チーム毎協力しながらか楽しく競技を行っており、チーム内の結びつきだけでなく他のチームとも絆を強めることができた。常会からチームを募った事により地域全体で取り組めた。さくら祭りと同時間開催で行ってきたが、規模が年々拡大してきており参加者も減少傾向にあるため、今後は別日開催等も視野に入れ事業の見直しを検討していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	龍江地区市民運動会		地区費	1	-	-	2,783	10月13日	龍江小学校
	住民の体力増進と住民のコミュニケーションの場とし、地域の繋がりを確認する場とする。また、運動会への運営・参加により地区の結びつきを深め、地区の活性化を目的とする。地区民全員参加(選手・観客・運営)による運動会を指す。							【総括と今後の方向付け】 今年度の運動会は残念ながら台風の影響で中止となった。しかし、地域総出で準備に取り組むことが出来た。中学生も積極的に参加し準備や種目検討等地域の一人として取り組めた。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	龍江絆駅伝		地区費	1	273	273	2,783	12月1日	今田平農村広場
	体力増進とコミュニケーションの場として実施。また、地域の交流と団結による地区の活性化を図る							【総括と今後の方向付け】 参加者だけでなく応援にも地域の方が集まり大変賑やかになった。今年も地区内より集まった野菜を使った豚汁を提供し来場者に振る舞った。地域を越えた中学生や小学生そして一般の交流の場となっている。体育協会主催の南信州ロードレースと日程が重なったため、開催時期については体育協会とも情報共有しながら互いに検討していきたい。	

龍江公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	龍江新聞			地区費	継続	-	-	2,783	年間	龍江公民館
広報事業	目的	公民館事業に限らず地域の抱える問題を図考するきっかけづくりを目的として実施	公民館事業に限らず地域の抱える問題を図考するきっかけづくりを目的として実施		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
		公民館事業に限らず地域の抱える問題を図考するきっかけづくりを目的として実施	公民館事業に限らず地域の抱える問題を図考するきっかけづくりを目的として実施		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	龍江ホームページ運営		地区費	継続	24	96	4	2,783	年間	龍江公民館
広報事業	目的	公民館事業に限らず住民が地域を考慮するきっかけづくりを目的として実施	公民館事業に限らず住民が地域を考慮するきっかけづくりを目的として実施		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
		公民館事業に限らず住民が地域を考慮するきっかけづくりを目的として実施	公民館事業に限らず住民が地域を考慮するきっかけづくりを目的として実施		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさと探検		市・地	継続	1	62	62	2,783	7月6日	龍江(2区)
育成事業	目的	保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つため地域について学習し理解を深める機会とする	保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つため地域について学習し理解を深める機会とする		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
		保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つため地域について学習し理解を深める機会とする	保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つため地域について学習し理解を深める機会とする		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	百人一首大会・龍江かるた会		市・地	継続	1	34	21	2,783	1月25日	龍江公民館
育成事業	目的	保育園、小学生、地区住民を対象に、百人一首大会、龍江かるた会を実施し、日本文化を学ぶ機会とする	百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍江かるた会は地区の文化・歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区を学ぶ機会とする。また、両大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学年に分けて行うことで異年齢の児童がふれあう場とする。		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
		百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍江かるた会は地区の文化・歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区を学ぶ機会とする。また、両大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学年に分けて行うことで異年齢の児童がふれあう場とする。	百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍江かるた会は地区の文化・歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区を学ぶ機会とする。また、両大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学年に分けて行うことで異年齢の児童がふれあう場とする。		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	水辺の楽校魚釣りがみ取り大会		地区費	継続	1	83	83	2,783	9月7日	龍江水辺の楽校
育成事業	目的	保育園児や小学生と親、地区住民を対象に、親子団らんの場の提供、児童が川に親しみ、自然を大切にすることを育む機会として実施	小学校PTAと下伊那漁業共同組合、総合学習館がわらんべと合同で実施。第一部として魚釣り大会、第二部として魚つかみ取り大会を行った。魚は二ジマスとアマゴを放流した。		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館
		保育園児や小学生と親、地区住民を対象に、親子団らんの場の提供、児童が川に親しみ、自然を大切にすることを育む機会として実施	小学校PTAと下伊那漁業共同組合、総合学習館がわらんべと合同で実施。第一部として魚釣り大会、第二部として魚つかみ取り大会を行った。魚は二ジマスとアマゴを放流した。		地区費	継続	-	-	年間	龍江公民館

龍江公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場				
育成事業	アップルキッズの森		市・地	継続	372	124	124	124	年間	学校りんご園				
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 小学校の環境委員会を中心に活動が行われている。サポートとして公民館と地域のりんご農家を中心に組織した学校りんご園後援会が管理を行っている。小学生のうちから地域の特産物に触れる良い機会になっていると感じる。子供たちも自分のりんごをとても大切に育てており、収穫時にはたくさん笑顔が溢れていた。今後も学校と地域で協力しながら、継続して取り組んでいきたい。												
	目的	小学校児童を対象に、りんごの生産を通じ、食育や地域の産業を知れる機会とする												
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場				
合同事業	オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサートin竜東中		市・地	新規	1	300	300	5,697	5月3日	竜東中学校				
	実施内容	出演：名古屋フィルハーモニー交響楽団による弦楽五重奏 上久堅・千代・龍江公民館合同事業として文化委員・有志・竜東中吹奏楽部OBOG・中学生・館長・主事を中心に実行員会を組織し。オーケストラと友に音楽祭の地域版として実施した。												
	目的	一般を対象に、身近な場所でも、一流の音楽を楽しむ機会を提供する												
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場				
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会		地区費	継続	1	93	93	93	5月18日	竜東中学校				
	実施内容	竜東中学校、竜東中学校地区小学校、上久堅・千代・龍江公民館が主催となつて開催。地域の縦のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校の様子を知る機会としている。種目は当番地区と中学校が協議し決める。 (実施内容) 種目：囲基ボール 対象：小学6年生（19名）、中学生（56名）、地域役員（18名）												
	目的	小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小・中学生との交流を図る												
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場				
その他	龍江地区成人式		他会計	継続	1	37	37	43	1月12日	龍江公民館				
	実施内容	新成人に自分が生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ、地域全体で新成人をお祝いすることを目的として実施。開催にあたっては、新成人が自ら作り上げる成人式を目指して、龍江在住の新成人該当者3名が主体となって企画・立案し当日の運営も行った。 地域学習：天龍峡大橋												
	目的	龍江地区在住の新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ実施												
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場				
その他	武田信玄狼煙リレー		地区費	継続	1	18	18	2,783	8月31日	龍江 兎城跡				
	実施内容	講師：沢柳 徳次さん、吉澤 健さん 飯田下伊那から諏訪までつながる武田信玄の遺紙リレーに参加し先人の文化を感じる。兎城跡にて狼煙や武田信玄、兎城跡についての概要説明を行ってもらう。												
	目的	かつて情報伝達として用いられた狼煙を通じ、先人の文化を学ぶと共に地域を考える機会とする												

竜丘公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	大人の学校			市・地 継続	10	975	110	2,380	通年	竜丘公民館
	60歳以上の住民を対象に、高齢者層のまともな生活に困らない程度に、生きがい、地域参画を図る	運営委員中心にして、月1回の定例講座を開催する。テーマについては、生活を取り巻く様々な課題を取り上げる。クラブ活動など必要な生涯学習の支援を行う。 運営委員会・班長会・定例会(講座)・クラブ長会などを随時開催している。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	中国帰国者支援事業「好友会」(日本語教室)		市・地	継続	47	254	17	312	通年(週1回)	竜丘公民館
学級・講座	中国帰国者を中心に、生活に困らない程度の日本語、習慣、文化の理解、情報交換、交流の場とする。			市・地 継続	47	254	17	312	通年(週1回)	竜丘公民館
	目的	講師を中心に、週1回のペースで日本語教室を開き、地域で暮らす仲間として互いの生活習慣や考え方を学びあう。 講師：西川和憲、善本勝、片町國臣、金子杏弓								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	0歳児学級		市・地	継続	6	90	24	46	10/20～3/21	竜丘公民館他
学級・講座	0歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場とする。			市・地 継続	6	90	24	46	10/20～3/21	竜丘公民館他
	目的	乳児の成長発達や育児法、離乳食などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。 栄養士に離乳食相談をお願いする。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	1歳児学級		市・地	継続	12	364	46	102	5/10～3/7	竜丘公民館他
学級・講座	1歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場とする。			市・地 継続	12	364	46	102	5/10～3/7	竜丘公民館他
	目的	乳児の成長発達や育児法などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	2歳3歳児学級		市・地	継続	12	110	14	110	5/9～3/13	竜丘公民館他
学級・講座	2歳3歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場とする。			市・地 継続	12	110	14	110	5/9～3/13	竜丘公民館他
	目的	乳児の成長発達や育児法などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	家庭教育講演会		市費	継続	1	34	34	260	11月21日	竜丘公民館
学級・講座	保育園保護者を対象に、家庭教育の大切さを伝え、意識向上を図る			市費 継続	1	34	34	260	11月21日	竜丘公民館
	目的	竜丘保育園との共催で、保育園児、乳幼児の親子を対象に行う。 親子での人形劇の観劇を通し、親子のふれあいを図るとともに、その後の保護者を対象に家庭教育について講演会を行う。 劇団：とんと 講演：園長先生からのお話								
学級・講座	【総括と今後の方向付け】 60才以上の方が自主的・自立的に企画。地域の力の向上に対して大変寄与しているが、なかなか入っていたり、高年齢化や会費減少が進んでおり、声掛けに尽力しているが、なかなか入っていない課題があり、今年度はオーブンカレンダーとして新規の方に積極的に呼びかけ、何人かの方にお越しいただいた。来年度も実施していきたい。			市・地 継続	10	975	110	2,380	通年	竜丘公民館
	目的	【総括と今後の方向付け】 60才以上の方が自主的・自立的に企画。地域の力の向上に対して大変寄与しているが、なかなか入っていない課題があり、今年度はオーブンカレンダーとして新規の方に積極的に呼びかけ、何人かの方にお越しいただいた。来年度も実施していきたい。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	中国帰国者支援事業「好友会」(日本語教室)		市・地	継続	47	254	17	312	通年(週1回)	竜丘公民館
学級・講座	中国帰国者を中心に、生活に困らない程度の日本語、習慣、文化の理解、情報交換、交流の場とする。			市・地 継続	47	254	17	312	通年(週1回)	竜丘公民館
	目的	講師を中心に、週1回のペースで日本語教室を開き、地域で暮らす仲間として互いの生活習慣や考え方を学びあう。 講師：西川和憲、善本勝、片町國臣、金子杏弓								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	0歳児学級		市・地	継続	6	90	24	46	10/20～3/21	竜丘公民館他
学級・講座	0歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場とする。			市・地 継続	6	90	24	46	10/20～3/21	竜丘公民館他
	目的	乳児の成長発達や育児法、離乳食などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。 栄養士に離乳食相談をお願いする。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	1歳児学級		市・地	継続	12	364	46	102	5/10～3/7	竜丘公民館他
学級・講座	1歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場とする。			市・地 継続	12	364	46	102	5/10～3/7	竜丘公民館他
	目的	乳児の成長発達や育児法などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	2歳3歳児学級		市・地	継続	12	110	14	110	5/9～3/13	竜丘公民館他
学級・講座	2歳3歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場とする。			市・地 継続	12	110	14	110	5/9～3/13	竜丘公民館他
	目的	乳児の成長発達や育児法などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。								
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	家庭教育講演会		市費	継続	1	34	34	260	11月21日	竜丘公民館
学級・講座	保育園保護者を対象に、家庭教育の大切さを伝え、意識向上を図る			市費 継続	1	34	34	260	11月21日	竜丘公民館
	目的	竜丘保育園との共催で、保育園児、乳幼児の親子を対象に行う。 親子での人形劇の観劇を通し、親子のふれあいを図るとともに、その後の保護者を対象に家庭教育について講演会を行う。 劇団：とんと 講演：園長先生からのお話								

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	竜丘市民大講堂		市・地	2	57	57	6,844	10/6、2/1	竜丘公民館
	竜丘住民を対象に、学習意欲の向上を図り地域づくりの実践につなげていく。	第1講 講師：北原更一、宮嶋聰子	市・地	2	57	57	6,844	10/6、2/1	竜丘公民館
	竜丘住民を対象に、学習意欲の向上を図り地域づくりの実践につなげていく。	第2講 講師：横村洋介、前沢知子	市・地	2	57	57	6,844	10/6、2/1	竜丘公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサート		市・地	1	150	150	6,844	7月15日	竜丘公民館
	竜丘住民を対象に、音楽を身近なものとして親しみ、音楽文化の向上を図る。		市・地	1	150	150	6,844	7月15日	竜丘公民館
	竜丘住民を対象に、音楽を身近なものとして親しみ、音楽文化の向上を図る。		市・地	1	150	150	6,844	7月15日	竜丘公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019竜丘地区公演		市・地	8	1,265	1,265	6,844	8/1～8/4	竜丘公民館他
	一般を対象に、人形劇を通じて文化活動の活性化を図るとともに住民の交流を図る。		市・地	8	1,265	1,265	6,844	8/1～8/4	竜丘公民館他
	一般を対象に、人形劇を通じて文化活動の活性化を図るとともに住民の交流を図る。		市・地	8	1,265	1,265	6,844	8/1～8/4	竜丘公民館他
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	竜丘地区文化祭		市・地	1	900	900	6,844	11/9～10	竜丘公民館他
	竜丘住民を対象に、日頃の活動の成果を発表し、文化活動のさらなる活性化を図る。		市・地	1	900	900	6,844	11/9～10	竜丘公民館他
	竜丘住民を対象に、日頃の活動の成果を発表し、文化活動のさらなる活性化を図る。		市・地	1	900	900	6,844	11/9～10	竜丘公民館他
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ニューイヤークンサート		市・地	1	450	450	6,844	1月19日	竜丘公民館
	竜丘住民を対象に、大人から子どもまでが、音楽をベースにした交流の場とし、芸術振興をはかる。		市・地	1	450	450	6,844	1月19日	竜丘公民館
	竜丘住民を対象に、大人から子どもまでが、音楽をベースにした交流の場とし、芸術振興をはかる。		市・地	1	450	450	6,844	1月19日	竜丘公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	夏季スポーツ大会		市・地	1	150	150	6,844	5月19日	竜丘小学校校庭
	竜丘住民を対象に、スポーツを通して健康維持と住民の交流を図る。		市・地	1	150	150	6,844	5月19日	竜丘小学校校庭
	竜丘住民を対象に、スポーツを通して健康維持と住民の交流を図る。		市・地	1	150	150	6,844	5月19日	竜丘小学校校庭

竜丘公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	竜丘市民運動会【雨天中止】		地区費	継続			6,844	10月6日	
	実施内容 竜丘住民を対象に、運動会を通して住民同士、世代間の交流を図る		地区費	継続			6,844	10月6日	
体育事業	冬季スポーツフェスティバル		地区費	継続	180	180	6,844	12月1日	竜丘小、竜丘公民館
	実施内容 竜丘住民を対象に、スポーツを通して健康維持と住民の交流を図る		地区費	継続	180	180	6,844	12月1日	竜丘小、竜丘公民館
広報事業	館報たつおか発行		地区費	継続	5	11,000	2,200	通年	竜丘公民館
	実施内容 竜丘住民を対象に、情報の提供と記録を目的とする。		地区費	継続	5	11,000	2,200	通年	竜丘公民館
民俗資料保存	民俗資料保存事業		地区費	継続	2	25	25	通年	竜丘公民館他
	実施内容 竜丘地区を対象に、民俗資料の保存活動の推進を図る		地区費	継続	2	25	25	通年	竜丘公民館他
育成事業	川で遊ぶ		地区費	継続	1	110	110	8月26日	久米川
	実施内容 自然体験をしながら、子どもたちのたくましさを育む		地区費	継続	1	110	110	8月26日	久米川
育成事業	竜丘あいさつ運動		地区費	継続	6	200	200	8月26日ほか	竜丘地区
	実施内容 竜丘住民を対象に、地域と学校が連携し、あいさつ運動を通して住民の交流を図る		地区費	継続	6	200	200	8月26日ほか	竜丘地区

【総括と今後の方向付け】
大会、練習で多くの地区住民が集い、親睦、交流を図る機会とする。
(1) 大会、練習で多くの地区住民が集い、親睦、交流を図る機会とする。
(2) 誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。
(3) 大会運営をスムーズに行い、時間どおりの進行に努める。
(4) 分館対抗の競技性も大事だが、親睦交流の場であることを意識して企画運営を行う。

【総括と今後の方向付け】
普及、各分館で採用しているルールに違いがあり、説明しても、なかなか理解していただくことが難しかったため、来年度はルールを掲示するなど工夫したい。ワンふらは子供も来ていたため怪我のないようスタッフみんななどで注意したい。

【総括と今後の方向付け】
紙面を通じて、地域の現況を伝達するとともに、記録としての役割を果たす。
また、地域課題・生活課題について問題提起を行う。
・読みやすく親しまれる館報づくり
・館報「たつおか」J349号～353号の発行
・竜丘地域自治会のHPを活用した広報活動を推進

【総括と今後の方向付け】
委員は自由画保存顕彰委員会にも参画しており、今年度はそちらに力を入れたため、あまり活動はできなかった。建物の老朽化、委員の高齢化という課題はあるが、小学生と実際に道具を使う機会をつくるなど有効に活用していきたい。

【総括と今後の方向付け】
600匹のマスコットと目玉となる信州サーモン2匹を放流しつかみ取りを行った。昨年より、多くの子どもが参加し楽しんでくれた。また役員の負担も軽減された。水辺の楽校の活用という課題は残っている。

【総括と今後の方向付け】
8月26日を統一行動日としてPTAの協力のもと地域全体であいさつ運動を展開した。これに合わせ小学校の全校朝会でもあいさつについての話をいただいた。小学校と連携してあいさつの大切さについて深める機会とした。地域内では不審者情報が出たこともあることから、取り組みを通じて、安心安全、見守りの気運を高めていきたい。

竜丘公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	古墳まつり(埴輪の野焼き)		地区費	継続	1	60	60	6,844	6月22日	塚原二子塚古墳他
	目的	竜丘地区を対象に、古墳についての知識の習得と保存活動の機運を高める	【総括と今後の方向付け】 竜丘古墳の会をはじめ各種団体の協力で古代の生活の一部やその魅力について伝えられた。当初予定していた6/16は雨天のため、野焼きのみ6/22に実施した。集中して行えたため破損してしまう埴輪はたったの67個中2個と上出来であった。野焼きには経験が必要なため永く取り組んでいただくスタッフが必要。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	竜丘古墳の会		地区費	継続	20	250	250	6,844	実施内容参照	竜丘地区他
	目的	竜丘地区を対象に、古墳についての知識の習得と保存活動の機運を高める	【学習部会】5/8丘のみちしるべ探索、5/5古墳めぐり 【古墳公園推進部会】花法師の会、カタバミの会活動、埴輪づくり指導、文化祭トンボ玉づくり、除草作業 【調査広報部会】出土品の展示、やまびこマーチせっかくウォーク案内							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	竜丘児童自由画保存顕彰委員会		地区費	継続	3	75	75	6,844	実施内容参照	竜丘公民館他
	目的	竜丘住民を対象に、自由画についての理解を深め、地域に誇りをいえるよう意識の向上を図る	小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めてもらうための活動を行う。併せて自由画の背景にある自由教育の研究について検討する。 ・上田市サントムニエーゼで開催される農民美術児童自由画100年展の鑑賞							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	放課後子ども教室		市・地	継続	33	1,400	53	385	毎週水曜日	竜丘小学校他
	目的	小学生を対象に、放課後の居場所作りと、体験活動の充実を図る	地域の人材、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性や社会性、創造性を育む。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	地域人教育		市・地	継続	33	264	8	6,844	実施内容参照	竜丘地区他
	目的	高校生及び地域住民を対象に、より豊かな生活、より良い地域に向けて、共に学び育つ機会とする。	飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」実施(高校・松本大学・市のパートナーシップ協定による) 活動時間:毎週金曜日13:30～15:20 ・駄科の夏祭りで屋台、上川路公民館にて高齢者の交流の場づくり							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	ふらきよる隊		地区費	継続	200	500	55	6,844	通年	竜丘地区
	目的	竜丘住民を対象に、地域の子どもは地域で育てる機運の醸成を図る	無理の無い範囲で小学生の登下校の見守り活動をしようという呼びかけを行う。また有事の際は学校からの一斉メールにより集団下校に同行する。 【総括と今後の方向付け】 緩い活動のため、機能していないとの指摘もあるが、地域で子供を見守る機運を高める活動として継続していきたい。							

川路公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	乳幼児学級「すくすく学級」		市・地	継続	12	350	20	100	実施内容参照	川路公民館ほか
		講師：塩澤敏子先生(保育士) 主任児童委員にも協力いただいている。 4/25(木)「はじまりの会・図書館探検」、5/9(木)「みんなであそぼう・手形足型をとろう」、6/13(木)「おやつ作り(豆腐白玉のフルーツポンチ)」、7/11(木)「お話の会」、8/8(木)「保育園へ行こう！水遊び」、9/12(木)「プラネタリウム鑑賞」、9/19(木)「消防署見学へ行こう！」、10/10(木)「君崎公園(三穂)へお出かけしよう(三穂と合同)」、11/14(木)「親子あそび」、12/12(木)「クリスマス会」、1/8(木)「保育園へ遊びに行こう！(保育園と合同)」、2/13(木)「みんなであそぼう・手形足型をとろう」、3/12(木)「文集作り・おわりの会」【新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止】								
学級・講座	未就園児のいる家庭を対象に、子どもの社会的参加促進と、親の育児不安を和らげる	実施内容	評価							
学級・講座	地区外から転入してきた参加者も増え、乳幼児の数が増えている。地域とつながりを作っていく場にもなっている。親同士の繋がりをさらに深められるような組み立てを継続して考えていきたい。	評価	【総括と今後の方向付け】 同世代の子どもと親が集い交流する場となっている。親同士が子育てに関する情報を交換したり、主任児童委員から地域に関する情報を得る機会となっている。また、今年度は保育園、三穂公民館との交流の機会を増やした。 地区外から転入してきた参加者も増え、乳幼児の数が増えている。地域とつながりを作っていく場にもなっている。親同士の繋がりをさらに深められるような組み立てを継続して考えていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	さわやか健康教室		市・地	継続	9	180	20	1,997	毎月1回(実施内容参照)	川路公民館ほか
	地区内の中高年を対象に、ウォーキングをはじめとする各種活動を通じて健康づくりについて学習する	実施内容	評価							
学級・講座	地区内の中高年を対象に、ウォーキングをはじめとする各種活動を通じて健康づくりについて学習する	実施内容	【総括と今後の方向付け】 ウォーキングを主活動としているが、会員が楽しく参加できるように、内容は会員の意見を尊重して体操、ニュースポーツ体験等を取り入れている。近年、会員の高齢化により長距離のウォーキングが難しくなり、室内での活動が多くなってきた。今後も運動と交流のバランスを考えながら内容を検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	第67回天龍峡夏期大学		市・地	継続	3	203	70	1,997	4日間(実施内容参照)	川路公民館
		数量的成果 (項目名と数値) 講座に参加し「身になった」と答えた人の割合：98% 【総括と今後の方向付け】 昭和28年から始まり、今年で67回目を迎える歴史ある講座。公民館文化部を中心に、地域の課題に即したテーマ及び講師を選定している。 他団体と共催したこともあり、多くの方に来場いただけた。今後も、公民館単独で開催するのではなく、まちづくり委員会や各種団体と連携できるところは連携していきたい。 講師の選定について、任期2年の公民館文化部だけで検討するのが難しくなっている。夏期大学の継続実施に向けて、有識者を交えた実行委員会体制への移行を視野に入れながら、運営体制について検討していきたい。								
学級・講座	地区民を中心とする参加者を対象に、教養を高めるきっかけ作り及び川路地区住民の地域への誇りを高める	実施内容	評価							
学級・講座	地区民を中心とする参加者を対象に、教養を高めるきっかけ作り及び川路地区住民の地域への誇りを高める	実施内容	講師の選定について、任期2年の公民館文化部だけで検討するのが難しくなっている。夏期大学の継続実施に向けて、有識者を交えた実行委員会体制への移行を視野に入れながら、運営体制について検討していきたい。							

川路公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	歴史文化セミナー		市・地	継続	11	120	10	毎月1回(実施内容参照)	川路公民館ほか
学級・講座	各種開発事業で地域が変貌する中、後世に残していくべきものを調査・記録・保存する	実施内容	【総括と今後の方向付け】 平成30年度に発行した「川路の伝説、言い伝え」本を活用した学習があまりできなかったため、本の活用方法について引き続き検討していく。また、メンバーの高齢化及び減少が進んでいるため、新規メンバーをどう増やしていくか、今までの研究結果をどう活用・保存していくかが課題となっている。また、これまでの成果報告の場を設けられるよう検討していく。						
			評価						
区分	川路通学合宿		市・地	継続	1	120	120	6/5(水)～6/8(土)の3泊4日	川路公民館ほか
学級・講座	川路地区内の住民・保護者・教師らが一堂に会し、地域で子どもを育てる環境づくりに向け協働で取り組む	実施内容	【総括と今後の方向付け】 親と子の自立」「多様な人との交流、つながりづくり」「生活リズム、生活習慣の立て直し」の3つのねらいの達成を目指し、今回で6回目の実施。子どもの参加者数は例年増え、対象者のほぼ全員が参加する事業となってきた。実行委員メンバー、スタッフメンバーが変わっていく中で、関係者同士、特に保護者との連携が難しくなっている。次年度は思いを共有する機会を大切に、地域・家庭・学校が連携できるように工夫していきたい。 今年も通学合宿を経験してきた中学生スタッフが8名参加してくれた。中学校生活(部活や勉強等)について小学生と情報交換をしたり、料理の作り方や布団の敷き方を教えてくれた。小学生にとって良いお手本になっているのではないかと思う。 事業実施にあたっては、座長の負担が非常に大きいので、継続するためにも一部の人の負担が偏らないようなシステム・役割分担の検討が必要。						
			評価						
区分	第31回川路の明日を考える研究集会		市・地	継続	1	90	90	2/2(日)	川路公民館
学級・講座	川路地区住民を対象に、今地域で課題となっていることについて意見を交換し、課題の共有化を図る	実施内容	【総括と今後の方向付け】 主 管：川路公民館 ①川路地区スポーツ文化功労者表彰(1名表彰) スポーツ分野、あるいは芸術・文化活動で顕著な成績をおさめた方、地域へ大きな貢献をされた方を表彰している。 ②川路小学校6年生ふさと学習の成果発表 (天龍峡、水害の歴史、文化など) ③講演「信州大学准教授 茅野恒秀 先生 「地域資源を活かした自立と連携のまちづくり」 ④懇親会						
			評価						

川路公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	川路若者交流会		地区費	継続	1	23	1,997	8/11(日)	川路公民館ほか
	川路在住、出身の若者を対象に、地域内でのつながりづくり	有志による実行委員会が主催。若者自らが企画実施するのではなく、地区の50代の4名が若者たちのために企画し実施。 日時：8/11(日)16時から 場所：川路公民館 内容：席決めレクリエーション、グループディスカッション(川路地区のいいところ、悪いところ、改善すべきところについて)、懇親会 参加者：20代の若者15名、実行委員4名、まちづくり委員会会長 ほか				23	1,997	8/11(日)	川路公民館ほか
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019川路地区公演		他会計	継続	3	380	130	実施内容参照	川路公民館ほか
	より多くの参加者が楽しみながら芸術に親しむことができるようにする	公民館、小学校PTA、保育園保護者会、教育育成委員会、天龍峡温泉観光協会、川路地区実行委員会を組織し、3会場(川路公民館・川路小学校・かわらんべ)での公演を実施した。また、図書分館と連携した電車ツアーを実施した。 8/1(木)川路公民館公演：人形劇団燕屋 8/3(土)川路小学校公演：川路小学校3年生、人形劇団とんかつ 8/4(日)かわらんべ公演：情熱の福祉師やないあつ子、人形劇団青空共和国 8/5(月)電車ツアー：人形劇団くりきんとん(市公、有料公演) 参加児童12名、引率4名				380	130	実施内容参照	川路公民館ほか
体育事業	分館対抗ソフトボール大会		地区費	継続	0	0	0	6/30(日)	竜峡中学校グラウンド
	体を動かす機会を設けるとともに地区内の親睦を深める	男性中心の体育事業という位置づけで毎年開催しているが、雨天中止。				0	0	6/30(日)	竜峡中学校グラウンド
体育事業	分館対抗バレーボール大会		地区費	継続	1	160	160	9/8(日)	竜峡中学校体育館
	体を動かす機会を設けるとともに、地区内の親睦を深める	女性中心の体育事業という位置づけで実施。女性に限定してしまうとメンバーが集まらない分館もあるため、男性の参加も可としている。 優勝：6分館、準優勝：8分館、3位：7分館				160	160	9/8(日)	竜峡中学校体育館

川路公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路ワンふら大会		地区費	継続	1	120	120	1,997	1/26(日)	竜峡中学校体育館
体育事業	目的	川路地区住民を対象に、ニュースポーツに親しんでもらい、交流を図る	老若男女年齢問わず楽しめるスポーツとしてワンバウンドふらばーるバレーを実施。分館対抗ではなく、オープン参加でチームを募集。空きスペースにはニュースポーツ(ポッチャ)体験コーナーを設置。					【総括と今後の方向付け】 今年は12チームの参加があり、分館や世代の枠を超えた交流の場となった。また、ニュースポーツ(今年度はポッチャ)体験コーナーを設けたことで、子どもを中心にニュースポーツに触れる機会となった。 ワンふらについては年々競技性が高まり、誰でも手軽に楽しめる大会ではなくなってきたので、ワンふらの大会としては継続しつつも、チーム編成や組み合わせの決定方法等を工夫していく必要がある。		
		実施内容	評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路地区運動会		地区費	継続	1	450	450	1,997	11/3(日)	川路小学校グラウンド
体育事業	目的	川路地区住民を対象に、住民が一堂に会し、交流・親睦を深める機会の場、区民総出の運動の場とし、愛着心を育む	主催：川路地区運動会実行委員会(公民館体育部が中心) 文化祭と隔年での実施。 雨天中止となった前回の内容をベースに、地区民全員が楽しめるよう工夫した事業の組み立てを行った。 初の試みとして、川路小学校の有志を募り運営側として手伝いをしてもらった。参加した小学生からは地域の役に立ててよかった等の感想があり、地域の大人も、子どもたちの活躍する姿を見ることができた 優勝：4分館、準優勝：8分館、3位：6分館					【総括と今後の方向付け】 雨天中止となった前回の計画をベースとして引き継ぐ形で、分館役員の負担を軽減するための競技数の削減、分館テント飾り付けの廃止、中学生応援団の参加自由化等の工夫を行った。また、中学生に1つの種目の企画運営を任せたり、前年度の体育部員にもスタッフとして入ってもらうなど、本部役員の負担軽減も行った。 競技についても分館対抗種目だけでなく、全員で参加できる種目や、7つの分館を紅白分けた紅白対抗戦を取り入れ、参加者が増えるよう工夫した。 また、最品は川路地区内の企業の皆さまから協賛を募ったことで、例年よりも豪華な賞品を用意することができた。 今回はとくに子ども参加者の増加が著しく、とても活気ある運動会となった。来年度は、まちづくり委員会と公民館の連携による毎年開催の復活を目指し、運動会のあり方、実行委員の選定方法等の検討を進めている。		
		実施内容	評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路かるた会		市・地	継続	1	36	36	1,997	1/12(月祝)	川路公民館
その他	目的	川路地区の子どもを対象に、伝統的な遊びであるカルタを通じ、異年齢の子どもと交流を図る	図書館川路分館・教育育成委員会との共催。 ・紙芝居の読み聞かせ ・かるたと百人一首					【総括と今後の方向付け】 競技かるたと普通のカルタを実施。保育園児、小学生、中学生、大人までの幅広い年代の参加があった。小学生対中学生や、中学生対大人など、年代を超えてみんなでかるたを楽しむ姿が見られた。来年度も幅広い年代の人が楽しめる内容を検討していきたい。		
その他	世代間交流事業		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的		地区費	継続	6	170	40	1,997	11月～12月	2,3,4,5,7,8区公民館
	目的	川路地区民を対象に、多世代の交流と伝統文化の継承を図る	各分館で実施する「しめ縄 おやす作り講習会」を支援している。 各分館の高齢者クラブや子ども会と共催で行っており、今年は2・3・4・5・7・8分館で実施した。(2分館での実施ははじめて)					【総括と今後の方向付け】 分館単位で実施することで、多くのの方の参加がある。今年度は新たに本事業を実施した分館もあり、高齢者の方が持つ経験や技術を次世代に伝える良い機会になっている。ただ、子どもの参加が少なくなってきたおり、区によっては指導できる高齢者や材料のわらが減少しているため、今後も継続的に実施できるよう支援していく。		
		実施内容	評価							

川路公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かわじ」発行		地区費	継続	4	900部	1,997	年4回発行	川路地区内配布
	公民館事業報告や地域のイベント紹介だけでなく、地域課題を取り上げ、親しみやすく、読みやすい「川路の今」を伝える館報作りを目指す。 シリーズ企画「川路のコレ知った？」(各区の歴史、異名の由来等)								
	目的 のイベント紹介だけでなく、地域課題を取り上げ、住民が自分たちの地域について知り、考える機会の提供	実施内容							
その他	川路地区成人式	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を知りその良さを発信・再認識する機会となることを目的とし、地域をあげてお祝いする	他会計	継続	1	80	80	110	1/12(日)	川路公民館
	主催：まちづくり委員会 企画運営は公民館企画会議が行う。 「地区をあげてお祝いする成人式」という考えのもと、地区内各団体の長の方にも参列いただき、新成人たちに「地域の一員」であることを実感してもらえるようにしている。								

三穂公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級		市・地	継続	11	138	12	56	実施内容参照	三穂公民館ほか
	目的	0～3歳児とその親を対象に、子育てや生活習慣についての学習、遊びの機会を提供するほか、参加者同士の交流の場とする	【総括と今後の方向付け】 塩沢敏子保育士・井上延子主任児童委員 ①5/23開講式、仲良しゲーム②6/20からだを使って遊ぼう③7/16絵の具、水遊び④9/12プラネタリアムに行こう⑤9/19消防署へ行こう⑥10/10君崎公園で遊ぼう、ホットドックを食べよう⑦11/7焼き芋大会(ピヨピヨくらぶと合同)⑧12/16クリスマス会⑨1/23新聞紙で遊ぼう、豆まき⑩2/18かわらんべにおかけしよう⑪3/91年間のまとめ							
学級・講座	高齢者学級		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	高齢者と保育園児、小学生、若者を対象に、学習と交流の機会の提供、生きがいづくりや知恵、技術を地域の中で活かしていく場とする	地区費	継続	2	13	6	50	実施内容参照	三穂公民館ほか
学級・講座		12/21正月飾りを作ろう(子ども育成委員会) 12/23おやすみ(三穂保育園)	【総括と今後の方向付け】 高齢者にとって園児や小学生に自分たちの技術や知識を伝えるのは楽しいという感想があった。また、終了後のお茶会では参加してくれた子どもたちがこの子どもかを聞くなど、小さな地域であるからこそそのつながりを感じられた。							
	目的	高年齢者に対する地域交流の場とする	評価							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ 三穂地区公演		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	3会場3公演を文化委員会を中心とした地区実行委員会で行い、地区住民が人形劇に触れる機会として実施。 ①旧小笠原家書院 7/31(水) 19:00～ ②稲葉住宅 8/2(金) 16:30～ ③三穂公民館8/4(日) 10:00～	市・地	継続	3	300	100	1,399	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	ふるさとコンサートin三穂		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	子どもから大人までだれでも気軽に鑑賞できるコンサートを開催し、本物の音楽にふれ、文化芸術に対する興味や関心を高める機会とする。 観客席と舞台を同じ高さにする事で、プロの音楽をより身近に感じてもらうようにして実施。また、コンサート後は文化委員と女性委員と演奏家の交流会を実施。	市・地	継続	1	113	113	1,399	7月14日	三穂公民館
文化事業		子どもから大人までだれでも気軽に鑑賞できるコンサートを開催し、本物の音楽にふれ、文化芸術に対する興味や関心を高める機会とする。 観客席と舞台を同じ高さにする事で、プロの音楽をより身近に感じてもらうようにして実施。また、コンサート後は文化委員と女性委員と演奏家の交流会を実施。	【総括と今後の方向付け】 今年度はチラシを各戸配布とし、文化委員のよる声かけの成果もあり、多くの方の来場があった。園児や小学生もいたが、席を急きよ一番前に座布団で作ったが、騒ぎもせず音楽に集中して聴いている様子が演奏家や委員にも印象に残った。子どもと演奏家との交流も考えながら、来年度も継続して行いたい。							
	目的	地区住民を対象に本物の音楽にふれることで、音楽を身近に感じ、芸術文化に対する興味関心を高める機会とする	評価							
文化事業	ふれあい夏祭り		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	地区住民を対象に、地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る	地区費	継続	1	150	150	1,399	8月4日	三穂公民館周辺
文化事業		公民館をはじめ、まちづくり委員会、図書館三穂分館、小学校、中学生、PTA、社会教育関係団体など多様な主体が参画し、各種団体による屋台や出し物などを実施。	【総括と今後の方向付け】 例年同じような内容となり、また、参画団体の減少も懸念される。文化委員会も選等で運営側を経験しておらず、準備などで知識の蓄積の難しさを感じた。							
	目的	地区住民を対象に、地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る	評価							

三穂公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	三穂文化祭			地区費	継続	1	300	300	2月2日	三穂公民館・三穂保育園
	目的	地区住民を対象に、地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る	【総括と今後の方向付け】 今年度は運動会が雨天で中止ということもあり、地区民が集まる数少ない機会となった。例年とは異なるような内容や最後の歌や踊りで地区民が一つにまとまったような雰囲気になった。							
		実施内容	作品展示や芸能発表、屋台村等を実施。また、真陽地区の皆さんの参加などもあった。文化委員会の取り組みとしてミニSL、来場者への風船プレゼント、芸能発表団体から観客へのプレゼントを行った。今年度は保育園年長組によるせっけんやさんや芸能発表の最後を多くの発表団体や園児、小学生と一緒に同じ曲を歌い、踊った。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	文化セミナー			市・地	継続	1	-	1,399	-	-
	目的	地区住民を対象に、地域に関連した話題を学び、知り、関心を高めよう機会とする。	文化委員会の中で協議し、飯田市美術館に行く予定であったが新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 下伊那地域の文化や自然を学ぶために飯田市美術館へ行く予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。 来年度も引き続き、文化委員会で協議し、地域に関連した文化を学ぶ機会としたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとめぐり三穂			市・地	継続	1	90	1,399	10月19日	三穂小学校
	目的	住民、小学生を対象に、三穂の歴史や文化、自然を学ぶことで地域を知り、愛する心を醸成するとともに、ウォーキングによる健康増進の機会とする	小学生を対象とした。今年度は雨天により、小学校の教室で行った。伊豆木・立石・下瀬の3コースに分かれ、それぞれの地区にある自然や歴史、文化について地区民を講師としてお話をしてもらった。お話の内容に関するクイズを文化委員から出題し、楽しみながら地域を学んだ。							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 あいにくの天候で実際に地域を歩く事はできなかったが、小学生にとっては地域を知る良い機会となった。また、いつもはそれぞれの説明を講師がお互いに聞くことができたため、説明の仕方の参考になったという声もあった。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会			地区費	継続	1	80	1,399	6月9日	三穂小体育館
	目的	地区住民を対象に、ワンバウンドふらば～るバレーを通じて、運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	組合だけでなく、各種団体や小中学生の友達同士での参加も可能とし、多くの地区住民の交流が図れるように実施した。当日は社会教育団体や地区内の高齢者クラブからも参加があり、例年より多い22チームの参加があった。審判は体育委員が行い、競技前に事前にルール講習をスポーツ推進委員から受けることで円滑に大会運営を図れた。 優勝：第13組合B 準優勝：第7組合F 第3位：ソフトバレーA							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 組合に限らず、多くの参加を可能とすることで多くの住民同士の交流が図る事ができた。高齢者クラブも事前に囲基ボールを行っており、参加しやすい競技であると好評であった。高齢者クラブと子どもたちが競技を通して交流したりと組合だけの参加では起こりにくい交流も生まれた。来年度も参加しやすいニュースポーツを通して、多くの地区住民同士の交流が行えるようにしていきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	お盆ソフトボール大会			地区費	継続	1	150	1,399	8月15日	三日市場運動公園
	目的	地区住民や帰省者を対象に、ソフトボールを通して運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の交流を図る	各組合からの選出チームと三穂クラブ(シルバーストボール)、合計10チームの参加。 リーグ形式ではなく、ブロックごとの得失点差で勝敗を決めていく形で行った。 優勝：第12組合 準優勝：第6組合 第3位：第7組合							
		実施内容	【総括と今後の方向付け】 お盆の帰省に合わせた、開催し、久しぶりに顔を合わせた参加者同士で話が盛り上がった。今年度は終了時間が分かりやすいように得失点差で順位をつけた。 終わりの時間が分かっていいという意見もある一方で、順位のつけ方が分かりにくいという意見もあったため、協議と周知をしつつかりと行っておく必要がある。							

三穂公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	三穂市民運動会	地区費	継続	1	-	-	1,399	10月13日(雨天により中止)	-
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 全地区民が集い、交流し、地域の絆を確かめ合う機会として、実行委員130名、進行、出発、決勝、決勝、賞品、準備記録、放送、接待、救護、交通整理、庶務からなる運動会実行委員会を組織し準備を進めた。							
	目的	地区住民を対象に地域の連帯意識を養うと共に健康への関心を高め、住民相互の親睦を図る							
体育事業	冬季ニュースポーツ大会	地区費	継続	1	50	50	1,399	1月26日	三穂小学校
	実施内容	ワンバウンドふらば〜るボール。各組合以外にも社教団体によるチーム、合計9チームの参加。三穂独自のルールを織り交ぜながらリーグ形式で実施。優勝：ママさんバレーチーム 第2位：第13組合 第3位：第7組合							
	目的	地区住民を対象にニュースポーツを通じて冬季の運動不足解消、身体を動かすことの楽しさを実感してもらい、住民同士の親睦、交流を図る							
広報事業	館報「みほ」の発行	地区費	継続	18	144	8	1,339	通年	三穂地区内
	実施内容	館報「みほ」1261号〜266号の発行。2ヶ月に1回(1,300部)発行。地区内各戸への配布のほか、希望する三穂出身者へも送付を行った。							
	目的	地区住民、一般市民を対象に地区の動きや課題を発信し、関心を高めってもらうこと、記録として残すことを目的とする							
広報事業	新春放談会	地区費	継続	1	3	3	6	1月12日	三穂公民館
	実施内容	来年度、保育園保護者会長、三穂小学校PTA会長、竜峡中学校PTA会長となる方々を呼んで、三穂の子どもたちについて話し合っていた。広報委員が準備及び司会を務める。それぞれの立場から考える三穂の子どもの意見を交換する場となった。							
	目的	地区在住の年男、年女を対象に、自らの抱負や地域への思いを語ってもらい、将来について考える機会とする。							
女性委員会	ほっとけない楽習会	地区費	継続	2	34	17	1,399	実施内容参照	三穂公民館ほか
	実施内容	①6/12 免疫力アップ講座(健康福祉委員会と共催) 講師：宮下 泰広 氏 ②11/24 山梨研修旅行 ③3/4 避難所運営ゲーム 講師：飯田市危機管理室 後藤 武志 氏 ③は新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした							
	目的	地区住民を対象に普段感じている不安や心配事、興味、関心事を、女性の視点、生活者の視点で取り上げ、地域全体で課題の共有を図る							

三穂公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
女性委員会	女性交流スポーツ大会		地区費	継続	1	70	70	648	9月29日	三穂小学校
	目的	実施内容	【総括と今後の方向付け】 各組合からの選出チームによる対抗戦。合計14チームの参加。ブロックごとに試合を行い、ブロックでの優勝～3位を得失点差で決めた。 Aブロック 優勝：第2組合 準優勝：第3組合 第3位：第7組合A Bブロック 優勝：第13組合A 準優勝：第9組合 第3位：第4組合 Cブロック 優勝：第13組合B 準優勝：第7組合B 第3位：第5組合							
		三穂地区の女性を対象に女性同士の交流を深め、組合内、他の組合との親睦を図る	【総括と今後の方向付け】 地区内の女性同士の交流を目的として実施。体育委員事業では参加しない女性層や若い層の参加も見られる。組合を超えた女性同士の交流のいい機会となったため、引き続き取り組んでいきたい。							
その他	伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	実施内容	市・地	継続	20	180	9	1,399	通年	三穂公民館ほか
		地区住民を対象に、伊豆木人形の保存、継承を図るとともに、地域の伝統文化への理解を高める	【総括と今後の方向付け】 三穂地区に伝わる3人遣いの伝統人形浄瑠璃を通じて、クラブ員には周りと息を合わせ難しさや伝統を守る大切さを感じてもらいたい。また、地区内の大人たちにも興味を持ってもらい、三穂地区に伝わる伝統を保存・継承していきたい。							
その他	三穂地区成人式		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	実施内容	地区費	継続	1	13	13	13	1月12日	三穂公民館
		新成人を対象に、成人としての自覚と責任を自覚する機会とするともに、郷土への愛着を持ち、地域への関心を高める機会とする	【総括と今後の方向付け】 成人談話者を中心に、公民館委員、まちづくり委員長、職員から組織する実行委員会が計画し実施。内容としては、成人式実行委員会の開催、地域学習の実施、式典の実施、竜峡中学校区祝賀会実行委員会への参画							
その他	いいだ人形劇フェスタ 観劇ハスティアー		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	実施内容	市・地	継続	1	21	21	80	8月3日	実施内容参照
		小学生を対象に、質の高い人形劇の鑑賞と、市街地の人形劇フェスタの盛り上がり体験する機会とし、人形劇文化への理解を高める機会とする。	【総括と今後の方向付け】 参加してくれた子ども達で班を作り、リーダーを6年生が行う事で、リーダーシップが取れるようになってきた。子どもに思い出になるように移動中や丘の上でも何かできないかを検討していきたい。							
その他	1day子どもキャンプ		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	実施内容	地区費	新規	1	15	15	88	8月10日	三穂公民館
		小学3年生から中学生を対象に、自分たちで食事の準備等を行い、親への感謝の気持ちや失敗から多くのことを学ぶ機会とする。	【総括と今後の方向付け】 子ども自身で調理をする経験がない子どもも多く、どう作ればいいのかを子ども同士で話し合っで決めていた。保護者からの声で企画し、保護者と一緒に組み立てを行った。地区内の子どもにもつけさせたい力を保護者目線で話せる機会でもあるため、さらに多くの保護者も巻き込んでいけるようにしていきたい。							

山本公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級(おたまたこ学級)			市費	22	169組	12組	4797人	通年	山本公民館ほか
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に活動を通して乳幼児期の子育てに必要な知識を学んだり、子と親、子ども、親同士の関係性作りを目的として活動する。	実施内容	【総括と今後の方向付け】 これまで0～1歳と2～3歳の学級を分けて行っていたが、参加者の減少から今年度は合同で開催した。0～3歳までだと発達の段階も全く違うので特に外へのお出かけや、制作の時などは小さいお子さんを持つ親御さんはなかなか大変な様子だった。 それでも参加してくれた親子は学級を通して仲良くなったり、子供の育ちに必要ない知識を学んでいた。 次年度も年齢で学級を分けるのは難しいそうだが、それぞれの年齢の子供が参加し、もたためるような内容を検討したい。							
		評価								
区分	二ツ山国際サロン		予算区分	市・地	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	地区在住外国出身者を対象に日本の文化や生活について学習したり、生活するうえでの悩みや不安を話ができる場を作ること、国籍関係なく地域住民がお互いに尊重しあえるようにサロンを開催する。	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度は二ツ山市営住宅に暮らす皆さんが参加しやすい今年度で2年目の講座。昨年度は二ツ山市営住宅に暮らす皆さんが参加しやすい市営住宅集会所で開催していたが、事情により使えなくなつたため公民館で開催した。 スタッフが送迎等行い、地域に馴染むきっかけになるよう開催し、実際に公民館事業にも参加してくれる姿が多くみられるようになってきた。 市営住宅の地域活動自体が停滞しており、外国出身者だけが地域に溶け込めないという状況ではないので活動の方向性が難しいが、まずは住宅にどのような方がどこに住んでいるか把握するために住民マップ作りを行った。							
		評価								
区分	メンズクッキング		予算区分	市費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	地区内在住の男性を対象に、料理作りを通して交流し、料理というテーマで地域や自分たちの生活を考え、活動できる仲間づくりを目指す。	実施内容	【各回内容】 ・日時：6月8日(土)17:00～ 内容：「魚のさばき方、肉じゃが」、「日本酒講座」 講師：羽場 和彦さん(魚のさばき方)、濱島 晃さん(日本酒講座) ・日時：8月17日(土)17:00～ 内容：「そば打ち」 講師：高鳥屋そばの会のみなさん ・日時：11月23日(土)17:00～ 内容：「手作りワインナー」、「ワイン講座」 講師：さんさんファームさん(ワインナー)、濱島 晃さん(ワイン) ・日時：1月18日(土)17:00～ 内容：「中国の餃子、花巻づくり」、「日本酒講座」 講師：半崎 ひろみさん、所澤 昌枝さん、所澤さんの妹さん(餃子、花巻) 濱島 晃さん(日本酒)							
		評価								

山本公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	山本学講座		市・地	1	16人	16人	4,797人	6月21日	杵原学校
	地区住民を対象に山本の歴史、文化、風俗などについて、今後の知識を学ぶ、今の自分たちの暮らしを考えるきっかけとして開催する。		継続						
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度は1回の開催で42回続いている講座であり、山本の歴史、文化について学ぶ貴重な機会となっている。 しかし参加者は杵原学校応援団が多く、地区住民が広く参加する講座になっていないのが課題である。 公民館としては講座で学んだことを地域に還元できるような流れを作っていきたい。							
区分	事業名		事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ふるさとクッキング		市費	1	6人	6人	4,797人	11月9日	山本公民館調理実習室
	地区住民を対象に、飯田下伊那の郷土料理作りを通してこの地域で大切にされてきた食文化を学ぶ機会として開催する。		継続						
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 飯田下伊那の郷土料理を学ぶきっかけとして昨年度から始まった講座。 核家族化などで日頃家庭では郷土料理をなかなか作る機会も少なくなってきたおり、食改員のみなさんの世代から若年層へ伝える機会としても継続していききたい。							
区分	事業名		事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	味噌作りと乗り合いタクシー体験ツアー		地区費	2	27	18	4,797人	下記の通り	マルマン(株)
	地区住民を対象に今年度山本地区内で実証運行された乗り合いタクシーを体験するきっかけとして、また郷土の伝統食である味噌について学ぶことを目的として開催する。		新規						
	実施内容	今年度山本地区で行われていた乗り合いタクシーの実証運行について、今後地域に必要なものかどうかまずは自分たちで体験してみないかと分らないという考えから、味噌作りツアーを兼ねて行った。 参加者は乗り合いタクシーに初めて乗車するという方が多く、「乗り方や補助の仕組みなど分かってよかった。味噌作りも楽しかった。」という声があり、今回のような「新しいもの」に対してまず体験してみるためのきっかけとしてこのような機会は大事だとあらためて感じた。 地域にある重要な交通手段を経験するきっかけを今後も企画していきたい。							
区分	事業名		事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子deクッキング		市・地	1	8人	8人	4,797人	12月1日	山本公民館
	保育園・小学生の親子対象の料理教室を行い、家庭での親子のふれあいの時間の大切さを感じてもらおう機会とする。		継続						
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 参加した親子は食改さんにサポートいただきながら楽しく料理作りができたようだ。毎年参加いただいた親子からは好評の事業であり今後も継続していききたい。							

山本公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ウォーキングで山本地域を学ぼう！！		地区費	1	29人	29人	4,797人	6月16日	下記の通り
	地区住民を対象に身近にあるが、あまり気に留めない山本の文化財などを歩きながら巡り、この地域の特徴や先人の思いにふれるきっかけとして開催する。		継続						
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 毎年コースについて文化委員で検討しているが、今年度はなかなか行なったことがなく、知らない地域として久米方面をコースに選んだ。 講師をお願いした伊坪さんが色々と調べていただいた道中長いコースにはなったが、日頃知ることのない山本を感じる機会となった。 毎年参加者が多い事業で需要は高いので今後もコースを検討しながら継続していきたい。							
文化事業	飯田人形劇フェスタ2019山本地区公演	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		地区費	継続	3	389人	129	4,797人	下記の通り	下記の通り
	地区住民を対象に参加者が山本の思い出として残るような人形劇公演になるように企画運営する。	【総括と今後の方向付け】 山本保育園・保護者会運営の公演では山本小の3年生が大勢の前で堂々とした上演をしたり、その後の交流会でも感想を1人1人いう姿を保育園の保育士の先生、保護者が見ていて感激していた。特に保育士はかつての教え子の成長を感じられた時間であり、保護者にとっては自分の子どもの少し先の未来の姿を想像し考える時間になったようだ。 他の会場でもそれぞれ工夫し、参加者した人同士のつながりが見られた。 参加者にとっては目的のようし夏の思い出となったのではないか。今後も会場ごとの調整を行いながら継続していく。							
文化事業	山本地区文化祭	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		地区費	継続	1	700人	700	4,797人	11月17日	山本公民館
	地区住民を対象に、日頃公民館の文化活動等を行っている団体の発表の場として、また参加者の交流のきっかけとして開催する。	【総括と今後の方向付け】 文化祭は市内の他地区でも参加団体が固定化され、また減少傾向にあるという話を聞く。 今年度、例年呼び掛けていた文化サークルや地域の団体のみならず、スポーツの団体にも声をかけたところ「剣道クラブ」が型の発表、「女子ソフト」のサークルが出店を出してくれた。 今後も地区内の色々な方に参加していただけたらという周知、声掛けしていきたい。							

山本公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	国際ふれあい交流会		市・地	継続	1	80人	80人	4,797人	2月2日	山本公民館
	地区在住外国出身者及び地域住民を対象に、誰もが安心して地域の中で暮らしていただけるよう交流を通じて相互理解を図る。	実施内容	〇主催：公民館文化委員会、山本地区婦人会、外国出身代表者 〇内容： ・各国料理交流（フィリピン、中国、日本） ・交流会 ①座談会 （登壇者：原レティシャさん、半崎ひろみさん、所澤昌枝さん、市村優子さん） ②「花依」による中国舞踊 ③山本小学校日本語教室の児童によるテーパール人形劇発表 ④豆まき大会							
	目的	評価	【総括と今後の方向付け】 今年で21回目となる山本地区の伝統的な行事でこの交流会を通じて地域で活躍している外国出身者も多い。 毎年文化委員、婦人会、外国出身代表者でどんな時間にするか検討しているが今年度は参加者が近くにいたり、お互いのことを深く知る機会にしたいと、参加者がネームを胸に張ったり、料理交流の時間も教えてもらう料理の時間を区切って参加者が色んな料理を体験できるようにしたり、座談会で各国代表者に出身のことや、山本に来てうれしかったこと、苦労したことなどお聞きした。 また山本小日本語教室の児童の発表では大勢の前で堂々と授業で習った話を発表し、みんなに褒められて自信を持つことができたようだ。 地域のなかで大切にされてきたお互いさまの心を育む事業であり、今後もうした参加者のためになるか考えながら継続していきたい。							
体育事業	分館対抗スポーツ大会	事業名	事業区分	地区費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区住民を対象に分館単位での交流、健康増進の機会として開催する。	実施内容	継続		1	300人	300人	4,797人	5月26日	下記の通り
	目的	評価	【総括と今後の方向付け】 〇種目：「野球」、ソフトバレー 〇会場：杵原グラウンド、山本小学校グラウンド（野球） 杵原多目的ホール、山本小学校体育館（ソフトバレー） 〇参加チーム：10チーム（野球）、12チーム（ソフトバレー） 野球に関しては毎年参加者の高齢化固定化の意見が出ており、今年も出ていたが当日は女性も参加したり、10代、20代と70代と一緒にプレーする姿や、その後の慰労会で盛り上がったという話も聞き、多世代の交流の機会になっていた。 分館の活動が少ない山本地区では貴重な分館単位での交流の機会であるので種目や時期については毎年より良い形を検討しながら継続していきたい。							
体育事業	体力促進会	事業名	事業区分	地区費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区住民を対象に自身の健康や体力について意識し、自分に足りない部分を考える機会として開催する。	実施内容	継続		1			4,797人	7月21日（中止）	杵原多目的ホール
	目的	評価	【総括と今後の方向付け】 一昨年度まで夏場に体力測定会を行っていたが、なかなか参加者が少なかった。そこで昨年度まず多くの人に経験してもらうことからはじめようと夏祭りの1企画として開催した。参加者は多かったが、本当に参加してほしい層（中高年）の参加は多くなく、また暑い夏場に行うのが適切かどうか課題も多かった。 今年度は役員も変わり、初めてなので昨年度のようにやってみようかと計画したが、夏祭りの中止に伴い、促進会も中止した。							

山本公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	山本地区市民大運動会	地区費	継続	1	1,000人	1,000人	4,797人	10月27日	杵原グラウンド
	目的	地区住民を対象に分館単位での交流、健康増進の機会また山本地区全体の交流の機会として開催する。							
	実施内容	○主催：公民館体育委員会を中心に、地域づくり委員会役員、地区内サークル・団体、旭ヶ丘中学校生徒等を中心にした実装委員会 ○種目：分館種目8種目、一般種目10種目							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	軽スポーツフェスティバル	地区費	継続	1	200人	200人	4,797人	1月26日	下記の通り
	目的	地区住民を対象にだれでも参加しやすい軽スポーツを通して住民同士の交流と運動不足に なりがちな冬季の健康増進の機会として開催する。							
	実施内容	○種目：「ふらばーるバレー」、「ガラクッキー」、「囲基ボール」 ○会場：杵原多目的ホール（ふらばーるバレー） 山本小学校体育館（ガラクッキー、囲基ボール） ○参加チーム数：10チーム（ふらばーるバレー）、20チーム（ガラクッキー）、20チーム（囲基ボール）							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	いいだ人形劇フェスタ観劇バスツアー	市・地	新規	1	13人	13人	235人	8月1日	飯田市公民館等
	目的	飯田市街地の人形劇公演やフェスタの盛り上がりを感じる機会の少ない山本小学校の児童を対象にバスツアーを行い、夏の思い出となるように企画する。							
	実施内容	○参加者：山本小学校児童9名、図書分館奉仕係2名、公民館長、主事 ○内容： ・川本喜八郎美術館見学 ・セントラルパークにて「人形劇団どむならん」、「あつまれクムドンサン」観劇 ・飯田市公民館にて「人形劇団パン」観劇							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	山本夏祭り	地区費	継続	1			4,797人	7月21日（中止）	杵原グラウンド
	目的	地区住民を対象に夏の思い出として楽しみ、地域に愛着が持てるような機会として開催する。							
	実施内容	○主催：地域づくり委員会、公民館、参加団体を含めた実行委員会 【総括と今後の方向付け】 グラウンド不良のため中止となった。 実施主体が様々な団体が入った実行委員会形式で誰が中心となってこの事業を行っていくのか曖昧な部分があり、役員の負担感も大きい。 来年度以降この事業のあり方について検討していく必要がある。							

山本公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企 画 事 業	武田信玄狼煙リレー		地区費	1	10人	10人	4,797人	8月31日	城山公園
	目 的	地域住民を対象にかつてこの地域にあった伝達手段としての狼煙について知ってもらい、歴史について思いを馳せる機会とする。							
	実 施 内 容	【主催：公民館企画委員会】 【総括と今後の方向付け】 例年武田信玄狼煙会として行っている狼煙リレーに参加している。基本的には狼煙を上げるだけの事業であり、山本にあっては狼煙台とも違う場所で行っている。地区住民にとっての学び、交流といった部分につなげたい事業となっている。関係する人も公民館の役員のみといった状況もあり、今後どのようにしていくか検討が必要である。							
企 画 事 業	伊賀良地区との公民館委員交流会		地区費	1	9人	9人	56人	9月15日	下記の通り
	目 的	公民館委員を対象に軽スポーツの体験等を通してお互いの地区の情報交換や懇親の機会とする。							
	実 施 内 容	【場所：伊賀良小学校グラウンド、楽々館】 【内容：「Tボール、クッパ体験」、懇親会】 例年両地区のスポーツ推進委員が中心となって企画運営している。山本地区ではなかなか経験できない軽スポーツを体験できる機会であり、実際伊賀良も野球大会をやめてTボール大会に変更しているなど山本のスポーツ大会の種目の参考にもなる機会になっている。懇親会でもお互いの地区の公民館活動の様子を情報交換し、日頃の自分たちの活動を振り返る機会ともなっている。							
企 画 事 業	山本地区成人式		他会計	1	42人	42人	79人	1月12日	山本公民館講堂
	目 的	新成人を対象に地域で大人の仲間入りをお祝いし、家族や地域への感謝の気持ちや大人としての自覚を感じられる機会とする。							
	実 施 内 容	【総括と今後の方向付け】 今年度の新成人実行委員は男の子3人だったので当初はやりたいことなどなかなか決まらずに本人たちにとっても大変だったと思うが、成人式が近づき、やること、がはつきりしてくると1人1人が責任感を持って取り組んでくれた。また成人代表あいさつや新成人に行ったインタビューで聞かれたのは「山本はいいところ」、「これからどこに行っても山本が故郷だと思う」といった話をしてくれて改めて自分たちが育った地域について考え感謝する機会になっていた。							
そ の 他	キッズ山本コミュニケーション音楽フェスタ		市・地	1	250人	250人	4,797人	7月13日	山本小学校体育館
	目 的	山本小学校児童を中心とした住民を対象に飯田下伊那地域で活動している音楽団体の演奏を通して地域に愛着が持てるような事業として開催する。							
	実 施 内 容	【主催：キッズ山本コミュニケーション音楽フェスタ実行委員会】 【総括と今後の方向付け】 これまで小学校PTA三役が中心になって検討していたが、毎年変わってしまいうため趣旨や思いをつけないでいくのが難しかった。今年度新たに実行委員会として音楽が好きで子どもたちにもこんな音楽を聴いてほしいという思いを持つ方を中心に据え小学校の土曜日参観の後の時間に行った。この事業が必要だと思う方の思いを大切にしながら今後も検討していきたい。							

山本公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	花の木オープンスクール	0円	新規	5	550人	110人	110人	下記の通り	山本小学校
	実施内容	○日時：5月24日(金)、7月5日(金)、9月27日(金)、11月15日(金)、11月22日(金) ○対象：山本小学校児童4、5、6年生 ○内容：「囲碁将棋」、「木工・竹細工」、「手芸・水引」、「料理教室」、「多文化理解」、「スポーツ」等							
	目的	山本小学校児童を対象に地域の方を講師にした講座を授業の中で行う。教えるという通い、日頃の授業では経験できない子どもの育ちにつながることをねらって開催する。							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	枰原広場整備作業	地区費	継続	2	200人	127人	4,797人	下記の通り	枰原学校周辺
	実施内容	○日時：5月19日(日)、6月30日(日)(雨天延期の中止)、10月6日(日) ○内容：枰原小学校校舎周辺の清掃、草刈り							
その他	目的	各組合単位を対象に4半期に1回枰原学校周辺の清掃を行い、地域の宝として枰原他学校の景観を守っていくという気持ちを醸成する。							
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	山本公民館清掃	地区費	継続	5	147人	53人	4,797人	下記の通り	山本公民館
その他	実施内容	○日時：5月19日(日)、6月30日(日)、9月8日(日)、11月10日(日)、2月9日(日) ○対象：山本公民館施設利用社教団体、地域団体 ○内容：公民館施設内の清掃および敷地内の整備							
	目的	日頃公民館で活動しているサークル、団体を対象に清掃を行ってもらい、山本地区住民のための公民館であるという意識を醸成する。							
	評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度まで地区の女団連の皆さんが中心となって指揮してくれていたが、負担の声を今年度は公民館長・主事で清掃を依頼する形に変えた。 特に大きな混乱はなく、参加いただいている団体の皆さんも「自分たちが使う公民館だから自分たちで掃除しよう」という意識をもって協力いただいている。							

伊賀良公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児0～1歳児学級	市・地	継続	33	305組	75組	198組	通年	伊賀良公民館他
	保育園入園前の幼児とその親を対象に、様々な体験等を通じた子育てについての学習、親子育で不安の解消、子どもの健全な育成を図る。	【総括と今後の方向付け】 0～1歳児学級では学年で分けて、月齢や発達段階が比較的近いお子さんで実施しているため、より対象者の状況に沿った内容で実施している。一方で、学年での区分ではないため0歳児の学級から1歳児の学級に移行される親子も多数おり、流動的でわかりづらいとの意見や、新しい学級に途中で入ることになるため関係性を一からつくることになるため、学年ごとの学級に変更することも検討していきたい。							
学級・講座	伊賀良を学ぼう ～歴史・文化・自然～	市・地	継続	25	250	35	14,497	通年	伊賀良公民館他
	『伊賀良に前から住んでいた方も、新しく住み始めた方も、もともと伊賀良を知り、もともと伊賀良を好きになる』を合言葉に、下記3点に取り組む。 ①伊賀良に文化財を！ こま犬、育良神社絵馬、鈴木芙蓉・佐竹蓬平絵画の文化財指定に向けた動き ②次世代へつなげる 子どもを対象とした事業の展開 11/21 小学校4年生を対象とした校歌授業 2/18 小学校3年生を対象とした伊賀良かるたの授業 ③ふるさと教材の制作 マップよりももっと広く深い内容を記載し、小学校の副教材に原稿の執筆、毎月1～2回原稿の編集、校正作業を実施 ＜活動内容＞ ・4/12 戦争体験を聞く 講師 新井利彦 氏、北林昌 氏 ・6/14 伊賀良の農業について(果樹) 講師 熊谷篤 氏 ・6/20 体験修学旅行について 講師 小本昌清 氏 ・6/27 伊賀良の畜産について 講師 佐々木孝治 氏 ・6/29 伊賀良の農業について(花木) 講師 谷口彰登 氏 ・9/10 伊賀良の商工業について 講師 横田敏彦 氏 ・10/7 南信州の体験教育旅行について 講師 高橋充 氏 ・11/17 矢拔社の歴史について 講師 平田正宏 氏 ・1/19 中村八幡社「本殿と狛犬」現地学習会 講師 古澤政巳 氏 下平博行 氏	【総括と今後の方向付け】 平成24年の学級発足から8年を迎えた。 古くから伊賀良に住んでいる方、新しく伊賀良に住み始めた方、両者に共通する「伊賀良」をテーマに人の繋がり、地域への誇りを取り戻すという意義が本講座にある。 これまで伊賀良を学ぼうで取り組んできた①の文化財指定に向けた活動が実を結び、今年度中村八幡社の狛犬が飯田市有形文化財に指定された。 2020年3月ふるさと教材が完成した。来年度はふるさと教材を活用し、さらに次世代へ繋げる活動を進めていく。							
学級・講座	伊賀良に住む人たちが、郷土に興味を持ち、愛着が増すことを目指す	市・地	継続	1	100	100	14,497	8月11日	伊賀良公民館
	戦争の記憶が風化しつつある中、戦争の悲惨さ、命の尊さを学ぶ機会とする	【総括と今後の方向付け】 戦争の記憶が風化しつつあるなかで戦争の悲惨さ、命の尊さを学ぶ機会として今後もこのような機会をつくっていきたい。次年度以降は小中学生も参加しやすいような人権に関する学習会も検討していく。							

伊賀良公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	かさまつ大学	市・地	継続	6	100	40	14,497	実施内容参照	伊賀良公民館他
学級・講座	中高年層を対象に、交流・学習の場の提供をし、今まで得てきた知識を相互に交換しあい、深め、家族や地域へ伝え広めながら自らの健康維持にも繋げる機会とする	市・地	継続	6	100	40	14,497	【総括と今後の方向付け】 近年登録人数が減ってきてしまっているが、新たな参加者も加わり交流を深めながら進めることができた。参加者の意見を取り入れながら興味のある講座の開催やかさまつ大学の情報が固くように広報の方法も工夫していきたい。 かさまつの風は第15号となったが、寄稿者が決まってきたままでいるのが現状である。気軽に書いていただけるような声掛けが必要だと感じる。 受講生の中には光る知識や技術を持った方が多くいらつしやるので、相互に学び合う時間をさらに作っていければと考える。また、内容は参加者の意見を聞きながら決めていったが、運営委員会のような体制をつくり実施していくことができないか検討していきたい。	伊賀良公民館他
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊賀良みらいセミナー	市・地	継続	4	40	5	14,497	【総括と今後の方向付け】 伊賀良みらいセミナーの意義を参加者と話し合いながら今後の方向性を決めている。	伊賀良公民館
学級・講座	住民一般を対象に、生活や地域課題について学習し、主体的に物事を考える力をつくっていく。	市・地	継続	4	40	5	14,497	【総括と今後の方向付け】 伊賀良みらいセミナーの意義を参加者と話し合いながら今後の方向性を決めている。	伊賀良公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	男性の料理教室	市・地	継続	4	50	13	14,497	【総括と今後の方向付け】 仲間づくりができてきているため、今年初めて参加した方にとっては最初入りにくい雰囲気もあったが、気楽な雰囲気の中すぐに慣れることができていた。 講師の食改の皆さんも、参加者の顔と名前が一致するようになり、和気あいあいと務めてくれた。 現在は学級講座として取り組んでいるが、自主グループ化できる人材は揃っていないと感じる。今年度はなかなか進まなかったが、引き続き検討していきたい。	伊賀良公民館
学級・講座	成人男性を対象に、料理技術習得と食を見直すことを目指す	市・地	継続	4	50	13	14,497	【総括と今後の方向付け】 仲間づくりができてきているため、今年初めて参加した方にとっては最初入りにくい雰囲気もあったが、気楽な雰囲気の中すぐに慣れることができていた。 講師の食改の皆さんも、参加者の顔と名前が一致するようになり、和気あいあいと務めてくれた。 現在は学級講座として取り組んでいるが、自主グループ化できる人材は揃っていないと感じる。今年度はなかなか進まなかったが、引き続き検討していきたい。	伊賀良公民館

伊賀良公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	伊賀良公民館特別講演会		市・地	継続	1	-	14,497	3月8日	伊賀良公民館
	住民一般を対象に生活のなかの気になるテーマについて教養を高め、地域課題について考えるきっかけにする。		※新型コロナウイルス感染リスクにより中止 令和元年度より実施。テーマは「子ども」。学校運営協議会、笠松大学、伊賀良を学ぶ等々の参加者にも幅広く参加を募って地域の大人が子どもの発達について考える機会として実施した。 「子どもの脳、親の脳に必要なこと～個々の脳のレベルに合ったトレーニング～」 講師：篠原菊紀氏（公立諏訪東京理科大学情報応用学科教授）					【総括と今後の方向付け】 今年度は笠松運営協議会のなかで「子どもを取り巻く環境が複雑になっており、教員や保護者だけでなく、より多くの大人の目で見守っていく必要がある」との意見がだされ、地域の大人たちが子どもの発達について学ぶ機会として実施予定だった。今後も気になるテーマについて住民と一緒に学ぶ機会としていきたい。テーマについては、まちづくり協議会等の各種団体や地域住民の意見を取り入れながら公民館企画会議等で選定していきたい。	
区分	ふるさとゲームウォーキング～中村の巻～		市・地	継続	-	-	14,497	6月16日	伊賀良地区内
文化事業	小学生親子や一般を対象に、地域の良さを歩きながら体験することで郷土を知る機会とし、地域をより好きになることを目指す		※雨天中止 担当分館：中村分館（会場を交代して毎年実施している） 親子数組でチームを作り、コースを歩きながらその地域に関わるクイズを解いてゴールを目指す。文化部長及び分館役員が中心となり、コース作りを行う。伊賀良小学校4年生の親子レクとして、保護者と協力して実施している。					【総括と今後の方向付け】 地域を知ることとはもちろん、親子での貴重な交流の機会となっている。分館で主体的に準備し、文化部と連携して実施している。親子レクとしての参加者は多いが一般の参加は少数となっている。伊賀良を知る機会として、広く一般の人たちにも参加したい。	
	人形劇フェスタ2019		市・地	継続	7	884	-	14,497	7月31日～8月5日
文化事業	地区内の5会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタのもつ意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す		本館文化部、分館、保育園保護者会により実行委員会を組織し、開催した。 ①8/2(金)18:30～ 伊賀良公民館 伊賀良名物「夜のカーニバル」 ②8/5(月)18:00～ 伊賀良公民館 伊賀良小学校4年2組 ③8/3(土)9:30～ 北方会館 育良保育園保護者会、北方分館 ④8/3(土)9:40～ 中村会館 中村保育園保護者会、中村分館 ⑤8/3(土)10:30～ 殿岡保育園 旭ヶ丘中学校人形劇部上演 上、下殿岡分館 ⑦8/4(日)10:00～ 三日市場研修センター ザ・スリーデイズマーケットシアター（分館有志）による上演 三日市場分館 ⑧8/4(日)15:00～ 伊賀良公民館 大瀬木分館、三尋石分館					【総括と今後の方向付け】 各会場で暑さ対策など工夫しながら取り組むことができた。 小学生の上演に際しては、文化部と保護者が連携して交流会の準備を行い、子ども、スタッフ全員で成功を祝うことができた。 三日市場分館では今年も三日市場を題材としたオリジナル人形劇を上演した。1月には人形劇場で行われる定期公演にも出演し、テーマとしている他者への思いやりを、より分かりやすく伝えるよう技術を向上させている。 道徳観を育む機会、夏休みの思い出をつくる機会としても、継続して取り組む。	
	伊賀良地区文化祭		市・地	継続	1	4,000	4,000	14,497	11月9日～10日
区分	伊賀良地区文化祭		市・地	継続	1	4,000	14,497	11月9日～10日	伊賀良公民館他
文化事業	地区住民を対象に、コミュニケーションを図る機会として実施。		・地区内各種団体の出展、出演 ・文化部企画「まんがだら塗り絵」 ・特別企画「高校戦隊テックレンジャーショー」 保育園・小学校・中学校、まちづくり協議会各委員会、小学校会場で実施されるふれあい広場、商工会をはじめとする各種団体等との連携を図りながら、地域の一大事業として盛大に実施した。					【総括と今後の方向付け】 多様な主体が一堂に集まる機会であり、小学校体育館・かさまつのさと・公民館で様々な催しが行われている。改善の意見は多々あるが、事業の意義と成果をしっかり捉え、より良いものとなるよう工夫したい。	
	実施内容								

伊賀良公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	伊賀良地区成人式		市・地	継続	1	131	131	199	1月12日	伊賀良公民館
	目的	新成人を対象に、地域が祝い、成人としての自覚をもってもらうことを目指す	【総括と今後の方向付け】 新成人代表、分館長、文化部長、広報部で実行委員会を組織して企画・運営。新成人より保護者や恩師への感謝のメッセージを募集し、当日掲示するとともに館報に掲載した。 式典：来賓あいさつ、鼓響新生殿岡愛郷太鼓による演奏、成人代表あいさつ、記念写真撮影、祝賀会 新成人実行委員の活動：地域学習（伊賀良小学校での学習支援ボランティア）、旭ヶ丘中学校同窓会の企画・運営							
		実施内容	評価 今年度も新成人から感謝のメッセージを募集したところ、育ててくれた親、学校時代の恩師、地域への感謝が寄せられた。例年の成人式に比べて、心温まる時間にすることができた。今後も継続し、より多くの保護者、新成人に関わってもらえるような工夫をしたい。							
体育事業	伊賀良地区交流ペタンク大会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区費		継続	継続	1	350	350	14,497	5月19日	伊賀良小学校校庭
	目的	一般の方を対象に、簡単にできる種目を通じて、地域内の交流を目指す	【総括と今後の方向付け】 子ども参加も多く見られるようになり、誰もが楽しめるスポーツの良さを認識することができた。今後も幅広い世代が楽しめるスポーツとして継続していきたい。しかし組合回覧等での一般参加はごく少数となってしまうのが現状であるため、これまで参加していなかった方にも参加していただけたらという工夫していきたい。							
体育事業	分館対抗夏季スポーツ大会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区費		継続	継続	1	-	-	14,497	7月7日	伊賀良小学校校庭、体育館
	目的	一般の方を対象に、スポーツを通じて親睦や交流を目指す	【総括と今後の方向付け】 ※雨天中止 ティーボール大会：8チーム（全分館と旭ヶ丘中学校野球部1チーム） 囲碁ボール大会：36チーム 2年続けて雨天中止となってしまった。また近年猛暑による熱中症も懸念されるため、実施時期や内容を検討していきたい。							
体育事業	伊賀良地区大運動会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区費		継続	継続	1	-	-	14,497	10月20日	伊賀良小学校校庭
	目的	地区全域を対象に、一堂に会する機会を設け、交流を目指す	【総括と今後の方向付け】 ※雨天中止 伊賀良地区住民が一堂に会する貴重な機会として開催。今年も中学校と連携し、中学生が企画した種目を1つ作り、準備を進めた。 実行委員一同、運動会に向け準備をしてきたが前日の雨によりグラウンドコンディションが不良となってしまい残念ながら中止となってしまった。当日を迎えるまでに、実行委員会やそれぞれの担当者ごと何度も打合せをすることができた。一方で例年選手集めに苦労するという意見が多数出されるため来年度は種目の内容を検討し、またより多くの人が参加していただけたらという工夫も考えていく。							
体育事業	山本地区との交流会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	市・地		継続	継続	1	35	35	56	9月15日	伊賀良小学校校庭
	目的	公民館体育部員を対象に、ニュースポーツの普及・浸透、他地区との交流を目指す	【総括と今後の方向付け】 いつもは運営側にまわる体育部員が選手として楽しんで取組んでいる姿を見ることができた。何のために両地区で交流するのかという目的の部分をより明確にした。							

伊賀良公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば〜るバレーボール大会)		地区費	継続	1	400	400	14,497	2月2日	伊賀良小学校体育館
	目的	ニューズスポーツのワンバウンドふらば〜るバレーボール競技を通じて、分館で楽しみながら交流を図る。	【総括と今後の方向付け】							
		伊賀良小学校会場：16チーム参加 優勝：北方D、準優勝…北方E、第3位…大瀬木A 旭ヶ丘中学校会場：16チーム参加 優勝：大瀬木D、準優勝…北方G、第3位…北方I	【総括と今後の方向付け】 ワンバウンドふらば〜るバレーが普及してきており、事前に練習をして臨むなど熱を帯びてきた。一方、競技性が高まったことで、初心者にはハードルが高いという声もあった。どのようにしたらみんなが楽しめる時間になるよう体育部で検討していきたい。							
広報事業	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	広報いがら 発行		地区費	継続	6	-	-	14,497	通年	
	目的	年間6回発行 第73号から第78号までを発行。 地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えしている。 あなたにタッチ、けやきのめ、我が家のアイドルの連載記事を継続している。 発行数：6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月) 発行部数：4、800部 地区外発送：20件	【総括と今後の方向付け】 伊賀良地区の広報紙として、大きな予算を盛り力を入れて発行している。まちづくり協議会各委員会から各1名広報部会に出席し、地区内のあらゆるニュースを拾い伝えている。 事業報告の記事が多いため広報部員の中からは、何か特集を組んでもいいのではないかと案も出ている。自分たちで企画・取材・執筆する活動を通じて、やりがいを感じられる活動にしていきたい。							
広報事業	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	米寿記念写真撮影・贈呈		地区費	継続	1	58	58	80	8月24日	伊賀良公民館、対象者宅
	目的	広報部：写真撮影 広報いがらで掲載、文化祭に写真展示 健康福祉委員会・区長等：地域の88歳の訪問の折に、記念顔写真を持参して訪問	【総括と今後の方向付け】 毎年恒例の行事として、対象者およびそのご家族が楽しみにしている。撮影者が増え写真撮影に時間がかかるが、広報部員が協力し合い効率よく行うことができた。 伊賀良独自の取り組みとして今後も大切にしていきたい。							
その他	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	お楽しみ会(中央図書館伊賀良分館)		市・地	継続	2	300	-	14,497	7月10日、10月26日	伊賀良図書館
	目的	保育園児、小学生、一般を対象に、図書館利用者の拡大させ、読書の大切さを感じる機会とする 伊賀良図書館と連携して実施し、本を読むことの楽しさを知ってもらうことを目指す。 みんなで声に出して読む、工作(スペースストーン)、小学生人形劇など。	【総括と今後の方向付け】 図書分館の皆さんの努力により、当日は大変盛況であった。物語や読書に親しむ機会として、今後も開催する。							
その他	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	学校開放運営委員会議・調整会議		0円	継続	8	460	-	14,497	通年	伊賀良公民館
	目的	利用団体・地域の方々が主体となり、地区内の学校体育施設の利用調整をするために「学校体育施設運営委員」として、教育委員会から委嘱され、生涯学習・スポーツ課が担当となり実施する。 利用調整や会議の運営に関することへの支援をする。 運営委員会、調整会議を各4回開催。	【総括と今後の方向付け】 限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ち良く有効に活用できるように調整している。年々反省を元に運営方法、調整資料が充実されてきている。							

伊賀良公民館の事業報告

No.6

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	展示コーナー運営委員会		0円	継続	1	8クラブ	8クラブ	14,497	4月24日	伊賀良公民館
その他	目的	公民館利用団体及び公民館利用者を対象に、利用者への活動の発表の場を提供するとともに、公民館利用者が文化芸術に触れる機会を提供することを旨とする。	公民館ロビーにある展示コーナーを活用し、年間を通じて各団体などの発表の場、会員の拡充を図る場として、利用調整及び啓発のために運営委員会を開催する。							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 年度当初に年間の展示団体および展示期間を決定し運営している。展示団体は、文化祭に向けて製作を進めるとともに、ロビーへの展示作品にも力が入る機会となっている。また、公民館へ訪れた地域住民が足を止め鑑賞することが多く、展示団体に関心を持つ方もいる。今後も成果発表の場として継続する。	評価							

県公民館の事業報告

No.1

区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	さくらんぼ学級(0歳児学級)				市・地	継続	5	115	65	152		
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子の様々な体験、親子の交流の場とすること、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	【総括と今後の方向付け】 0歳の子どもとその親を対象に、親子の成長を見る機会とする。また、母親が孤独な育児をしないよう、仲間作りの場とする事を目的として行う。 ▼第1回(10/18) ▼第2回(11/18) ▼第3回(12/16) ▼第4回(1/17) ▼第5回(2/14) ▼第6回中止 評価 また、相談できる関係性を築くことで、子育てを楽しむ、その後の地域のつながり作りの貴重な機会となっている。									
学級・講座	いちご学級・りんご学級(1歳児学級)				市・地	継続	20	249	91	222		
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子の様々な体験、親子の交流の場とすること、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	1歳児の子どもとその親を対象に、離乳食や歯の健康等の学習の他、おもちゃ作りやクリスマス会など、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。月齢によって2グループに分けて実施。 いちご学級 ▼第1回(5/24) ▼第2回(6/21) ▼第3回(7/26) ▼第4回(8/23) ▼第5回(9/13) ▼第6回(10/25) ▼第7回(11/22) ▼第8回(12/13) ▼第9回(1/24) ▼第10回(2/21) ▼第11回中止 りんご学級 ▼第1回(5/21) ▼第2回(6/18) ▼第3回(7/12) ▼第4回(8/21) ▼第5回(9/13) ▼第6回(10/15) ▼第7回(11/19) ▼第8回(12/20) ▼第9回(1/21) ▼第10回(2/18) ▼第11回中止 評価									
学級・講座	たんぽぽ学級(2歳児学級)				市・地	継続	15	221	77	244	毎月2回実施	県公民館ほか
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子の様々な体験、親子の交流の場とすること、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	2歳の子どもとその親を対象に、季節の遊びや、下伊那農業高校へのお出かけなど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。また、2,3歳児学級合同のミニ運動会や、県みつば保育園と合同で人形劇巡回公演の観劇を行った。 ▼第1回(5/22) ▼第2回(6/4) ▼第3回(6/26) ▼第4回(7/10) ▼第5回(7/25) ▼第6回(8/28) ▼第7回(9/4) ▼第8回(9/18) ▼第9回(9/25) ▼第10回(10/9) ▼第11回(10/23) ▼第12回(11/27) ▼第13回(12/11) ▼第14回(1/22) ▼第15回(2/19) ▼第16回中止 評価									
学級・講座	つくし学級(3歳児学級)				市・地	継続	20	273	58	256	毎月1回実施	県公民館ほか
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子の様々な体験、親子の交流の場とすること、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	就園前(3歳児)の子どもとその親を対象に、子育てに関わる講座や季節の遊び、下伊那農業高校へのお出かけなど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。保育園にも協力して頂き、親子や子育ての様子を見ていただいている。また、2,3歳児学級合同のミニ運動会や、県みつば保育園と合同で人形劇巡回公演の観劇を行った。 ▼第1回(5/15) ▼第2回(5/29) ▼第3回(6/12) ▼第4回(6/19) ▼第5回(7/3) ▼第6回(7/17) ▼第7回(8/20) ▼第8回(9/4) ▼第9回(9/18) ▼第10回(10/9) ▼第11回(10/23) ▼第12回(10/30) ▼第13回(11/13) ▼第14回(11/21) ▼第15回(12/4) ▼第16回(12/19) ▼第17回(1/15) ▼第18回(1/29) ▼第19回(2/12) ▼第20回(2/26) ▼第21回・第22回中止 評価									

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	家庭教育講座(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」)	市・地	継続	1	80	80	13,203	11月2日(土)	県公民館
	子育てに関わる悩みや課題を共有し、解決していき学習活動を、子育て中の母親自身が行うことで、子どもの健やかな成長のための親や家庭のあるべき姿を目指す	実施内容	いつどこでどのような災害が起こるか分からない現代において、もし災害が起きた時、どう子どもを守るか、頼りだけなく、子どもを守る地域になるために、他スマートフォンサブライゼーションの特別講師である、かもんまゆ氏を講師に迎え、より多くの人々に聞いていただけるよう、文化祭のあおぞら食堂(大駐車場)で講演会を実施した。 11月2日(土)13:30～15:30 参加者80名(あおぞら食堂での聴講者多数)						
学級・講座	かなえこっどっどきスクール	市・地	継続	5	175	35	699	実施内容参照	県公民館他
	夏季休暇中の子どもの孤立した時間を解消すると共に、地域での体験学習の場とする中で、子どもたちの学びや育ちの機会とする 同時に、保護者が主体的に企画運営することで、保護者同士のつながりや、地域で子どもを育てる環境づくりにつなげる	実施内容	県小学校児童を対象に実施。 7月24日 開校式(グループ名・旗作り)・野外火おこし・焼き焼き体験 7月25日 久米川遊び 7月26日 水引工作体験、高学年企画、カレー作り、公民館宿泊 7月27日 開校式 解散						
学級・講座	料理教室	市・地	継続	3	118	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	普段家庭で料理をする機会が少ない、子どもや男性、高齢者の方を対象に、旬の食材を用いた料理実技を習得すると共に、食を通じた健康学習の推進を図る	実施内容	食生活改善推進協議会鼎支会、地区保健師、保健課栄養士の協力のもと、減塩や様々な食材など、対象者に合わせた献立で実施。 壮年団、高齢者健康料理教室は、管理栄養士による健康指導講座も同時開催し、「食べて健康」をテーマに学習した。 7月12日(金) 壮年団料理教室 参加者25名 9月25日(水) 公民館役員料理教室 参加者60名 2月1日(土) 親子料理教室 参加者33名						
学級・講座	県小中PTA公民館合同講演会	地区費	継続	1	300	300	13,203	11月22日	県中学校
	小中学校PTAを中心に、保護者の立場で感じている悩みや課題を基にテーマを設定し、講演会を開催することで、子どもの豊かな育ちにつなげる	実施内容	リニアの仕組みについての実験を切り口に、2027年に予定されるリニア開通に向け、変わりゆく地域を考えるきっかけとなるようにとの思いから、今年度の講演内容となった。 講師:おもしろ科学工房 演題:『液体窒素を使ったサイエンスショーとリニア新幹線の原理について』						
学級・講座	県小中PTA公民館合同講演会	地区費	継続	1	300	300	13,203	11月22日	県中学校
	小中学校PTAを中心に、保護者の立場で感じている悩みや課題を基にテーマを設定し、講演会を開催することで、子どもの豊かな育ちにつなげる	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度は中学校PTAが中心となり企画した。保護者だけでなく中学校3年生と小学校6年生にも聴講してもらえよう組み立てた。リニア開通を7年後に控え、今後地域が大きく変貌していく可能性を秘めている。その時に自分は何のような地域でどのように暮らしていくのかを考えてもらう入り口として、まずはリニアの仕組みに楽しく触れてもらい、科学への興味と共に、リニアを身近に感じてもらえる講演となった。また、おもしろ科学工房の方の実験後には、市リニア整備課職員の方による、リニア整備の現状などもお聞きし、今後の地域や自分の生き方を考える機会となった。保護者の想いを中心に、組み立てられたコミュニケーションの大切な形であり、公民館や地域としても想いを共有し、一緒に取り組むことが必要である。						

告報業の事公民館

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	地育力向上講座「ずんずん隊」		市・地	3	80		13,203	実施内容参照	上茶屋田圃
	ふるさと学習の一環として、主に小学生の親子を対象に、遊休農地を利用した田植え及び畑作りを行うことで、食の大切さや環境保全への意識を育む		市・地	3	80		13,203	【総括と今後の方向付け】 上茶屋分館の指導・協力を得て、稲作と野菜（サツマイモ、ネギ等）作りの体験を行った。 第1回（5/19）田植えと野菜作り 参加者20名 第2回（9/29）収穫体験 参加者30名 第3回（11/17）収穫祭	【総括と今後の方向付け】 宅地化が進む県地区において、農業体験ができる貴重な機会である。特に、親子同士が交流しながら食べ物を育てることで、親子のつながり、家族同士のつながり、地域とのつながりが生まれると共に、食育や環境を考える機会ともなっている。しかし、参加者の減少や、倍りている遊休農地が宅地化される可能性があり、事業の継続が不透明となっている。協力していただいた上茶屋分館の方々とも相談しながら、ふるさと学習自体の充実を検討する必要がある。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	保育園・小学校との連携による子育て支援事業		市・地	50回以上	1,000		1,186	実施内容参照	県小学校他
	保育園、小学校と連携することで、より多くの人々の子育てを支援する		市・地	50回以上	1,000		1,186	【総括と今後の方向付け】 人形劇巡回公演については、乳幼児学級の親子も参加できるため、保育園の様子や在園児との交流の機会となっている。小学校のクラブ活動に加え、総合的な学習や授業の学習支援を、講師の紹介を通して実施している。それぞれの取り組みは連携や支援となっているため、学校運営協議会などの場で、県地区としての子育て支援の充実を考えていく必要がある。	【総括と今後の方向付け】 人形劇巡回公演については、乳幼児学級の親子も参加できるため、保育園の様子や在園児との交流の機会となっている。小学校のクラブ活動に加え、総合的な学習や授業の学習支援を、講師の紹介を通して実施している。それぞれの取り組みは連携や支援となっているため、学校運営協議会などの場で、県地区としての子育て支援の充実を考えていく必要がある。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	華甲大学（高齢者学級）		市・地	9	441	113		実施内容参照	県公民館ほか
	生涯学習の一環として、高齢者を対象にした学級として開催。テーマは「生涯青春・生涯学習」とし、高齢者の学びの場、生きがい作りの機会とする		市・地	9	441	113		【総括と今後の方向付け】 華甲大学運営委員会と協議し、内容や日程を決定し実施。毎月第3曜日の午後開催（全9回）。本年度登録者は87名。体操、歌、健康講座、飯田下伊那の歴史・文化、小中学生の学習成果発表等多面的に学習した。特に下伊那郡阿南町新野における雪まつりや盆踊りをはじめとした伝統文化を取り上げ、その発展として新野への研修旅行も行なった。講師：県地区保健師 竹村由恵氏 6/21 童謡・唱歌・懐メロを楽しむよう！～信州にまつわる歌を中心に～ 講師：堯翁院 寺澤 善周氏 7/19 高齢者の健康維持 ～熱中症他～ 講師：健和会 倉橋 眞理氏 8/23 新野に伝わる郷土芸能 講師：飯田市美術博物館 桜井 弘人氏 9/20 一日研修 「新野の郷土芸能」 10/18 時局を読み解く 講師：飯田市美術博物館 青木 隆幸氏 11/15 楽しい生き方 ～元気で長生きするコツ～ 講師：柄木田 孝行氏 12/13 からだイキイキ体操 講師：健康運動指導士 小林 新一氏 1/17 一年間の学びで培ったもの（県小中学校の皆さん）・閉校式	【総括と今後の方向付け】 華甲大学運営委員会と協議し、内容や日程を決定し実施。毎月第3曜日の午後開催（全9回）。本年度登録者は87名。体操、歌、健康講座、飯田下伊那の歴史・文化、小中学生の学習成果発表等多面的に学習した。特に下伊那郡阿南町新野における雪まつりや盆踊りをはじめとした伝統文化を取り上げ、その発展として新野への研修旅行も行なった。講師：県地区保健師 竹村由恵氏 6/21 童謡・唱歌・懐メロを楽しむよう！～信州にまつわる歌を中心に～ 講師：堯翁院 寺澤 善周氏 7/19 高齢者の健康維持 ～熱中症他～ 講師：健和会 倉橋 眞理氏 8/23 新野に伝わる郷土芸能 講師：飯田市美術博物館 桜井 弘人氏 9/20 一日研修 「新野の郷土芸能」 10/18 時局を読み解く 講師：飯田市美術博物館 青木 隆幸氏 11/15 楽しい生き方 ～元気で長生きするコツ～ 講師：柄木田 孝行氏 12/13 からだイキイキ体操 講師：健康運動指導士 小林 新一氏 1/17 一年間の学びで培ったもの（県小中学校の皆さん）・閉校式
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	古文書講座		市・地	11	90	15	13,203	実施内容参照	県公民館
	ふるさと学習の一環として、貴重な古文書の解説やその時代の背景などを学習する		市・地	11	90	15	13,203	【総括と今後の方向付け】 講師に山内尚巳氏（飯田市文化財審議委員会会長・長野県文化財保護指導員）をお迎えし、5月から3月の毎月第2水曜日の午後に開催し、通算11回実施した。継続参加の方も多く今年度は15名で参加。県地区の庄屋から出た古文書「新井家文書」をテキストに学習している。 実施日：5/15、6/12、7/10、8/21、9/10、10/9、11/13、12/11、1/8、2/12、3/11 全11回	【総括と今後の方向付け】 講師に山内尚巳氏（飯田市文化財審議委員会会長・長野県文化財保護指導員）をお迎えし、5月から3月の毎月第2水曜日の午後に開催し、通算11回実施した。継続参加の方も多く今年度は15名で参加。県地区の庄屋から出た古文書「新井家文書」をテキストに学習している。 実施日：5/15、6/12、7/10、8/21、9/10、10/9、11/13、12/11、1/8、2/12、3/11 全11回

県公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと再発見ワンデーマーチ		地区費	1	502	502	13,203	5月3日	県地区内
	地域の歴史や文化について学びながら県地区を巡り、また家族で一日を楽しく歩く機会とする		継続				【総括と今後の方向付け】 テーマは「家族で一日を楽しく歩くこと」・地域の歴史や文化について学び、今年度は上山の願王寺と名古熊の運松寺で由来を、矢高公園で牛草坂の話を聞き、歴史や文化探訪の機会とした。 『コース』全体約5.6km ※コース現地検討会を4月7日(日)に実施 県公民館(出発)→願王寺(見学・休憩)→運松寺(見学・休憩)→矢高公園(見学・休憩)→県公民館(到着)	評価 【総括と今後の方向付け】 分館での積極的な声かけに加え、天気に恵まれたこともあり、前年と変わらず多くの方が参加してくれた。家族で楽しむ機会として定着している。普段通らない道を歩き、県地区内の歴史ある場所を知る機会であると同時に、参加者同士が歩いているうちに仲良くなり、階段ではベビーカーを押す方を助ける姿も見られ、良い交流の機会ともなっている。説明箇所で見聞に話を聞こうとしている方が多いので、音響などの環境整備は改善していきたい。また、各史跡やポイントで丁寧な説明をしたいが、場所や時間などの条件から難しく、工夫が必要。各地区の歴史や文化を掘り起こし、参加者が県の魅力に触れられる機会にしていきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと県コマージュ		市・地	1			13,203		
	ふるさと県の自慢・自然・文化・歴史・伝統・生活・産業・人物等を地区(分館)単位で掘り起こし、県全体で1本のコマージュにまとめることで地域の良さを共有し地域づくりに役立てる		継続				【総括と今後の方向付け】 今年度は県地区を代表する文化である獅子舞を中心に制作を行った。学習会も行い、由来や歴史に加え、地域のエネルギーとなる文化であることも学び、その上でそれぞれの地区で行われている獅子舞や太鼓を調べた。西県の様に途絶えてしまったり地域の思いが、コマージュを通して多くの人に伝わったように感じ、今後その時代に合ったテーマや制作方法を模索していく必要がある。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと県ふれあい広場・文化祭		市・地	1	3,000	3,000	13,203	11月2日～3日	県公民館・県体育館
	各分館やサークル等、地域住民の日頃の学習成果発表の場として実施すると共に、地域全体の交流を図る		継続				【総括と今後の方向付け】 多くの団体が出展し、協力し合って準備や運営にも携わってくれた。全体での準備や運営も、昨年度よりスムーズに行えた。音楽の祭典の全体合唱では、より多くの方に参加してもらい、地域全体の交流や一体感につながった。出展団体によっては高齢化などにより、展示物も減少している。今年度は県公民館に登録している全ての文化系社会教育関係団体に参加案内を行ったが、様々な団体が文化祭を目標に文化活動に取り組んでもらえるよう、早い時期に呼びかけを行っていた。伝統を守りつつ、時代と共に進化することも必要である。新しい取り組みにも挑戦していく事が大事であり、「県の歴史や文化、そして新しい文化や若い人の挑戦」を大事にしていきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2019		市・地	8	1,051		13,203	7月31日～8月5日	県小学校ほか
	人形劇フェスタを通じて文化の向上を図ると共に、地域づくりを行う		継続				【総括と今後の方向付け】 各公演では暑さ対策に工夫をこらしつつ、地区の個性を出しながら取り組んでくれた。伝統となったフェスタタイムに対して、負担感の声も出ている。地区の中で人材の掘り起こしにもつながるため、なるべく継続してもらおう方向で考えたい。また打ち水に対して効果を疑問視する声もあるが、環境への意識を持ってもらうことが重要。趣旨を理解してもらい、県の特色として続けていきたい。全体として観劇に来る子ども数が減っている印象がある。観劇者を増やす面でも、コミュニティの在り方としても、運営にあたり、地元小中学生をはじめとするボランティアを増やしていきたい。		

県公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	鼎打ち水大作戦		地区費	8	1,051		13,203	7月31日～8月5日	鼎小学校ほか
	地域住民を対象に、環境意識の向上を図る	実施内容	地区費	8	1,051	1回参加・登録数	13,203	7月31日～8月5日	鼎小学校ほか
文化事業	第17回県の景観写真コンテスト		市・地	1	3,000	1回参加・登録数	13,203	11月2日～3日	県体育館
	地域の自然・文化・人に着目した写真展示を通じ、地域民の良さを共有する	実施内容	市・地	1	3,000	1回参加・登録数	13,203	11月2日～3日	県体育館
文化事業	成人式を通して、新成人が生まれ育った県での20年間の振り返り、家族や友人、恩師、地域への感謝の気持ちを持ち、大人としての自覚を持つ機会とする。また地域としては、新成人をこれからの県や社会を担う仲間として、祝福し、激励する場とする	実施内容	市・地	1	104	1回参加・登録数	141	1月12日	県文化センター
	成人式を通して、新成人が生まれ育った県での20年間の振り返り、家族や友人、恩師、地域への感謝の気持ちを持ち、大人としての自覚を持つ機会とする。また地域としては、新成人をこれからの県や社会を担う仲間として、祝福し、激励する場とする	実施内容	市・地	1	104	1回参加・登録数	141	1月12日	県文化センター
体育事業	県地区体育祭(ベタンク大会)		地区費	1	800	1回参加・登録数	13,203	6月2日	矢高グラウンド
	県地区住民が気軽に参加し、ニュースポーツなどをを行うことで健康増進を図ると共に、参加者相互の交流と親睦を図る	実施内容	地区費	1	800	1回参加・登録数	13,203	6月2日	矢高グラウンド
体育事業	第34回県地区縦断駅伝大会		地区費	1	300	1回参加・登録数	13,203	9月8日	県地区内
	県地区内居住のランナーによって、全10地区を8名のランナーがタスキをつなぎ走り抜く。駅伝大会を通じて地区同士の健闘を称え合い、参加者相互の交流と親睦を図るとともに、地区間、世代間交流の一助とする	実施内容	地区費	1	300	1回参加・登録数	13,203	9月8日	県地区内

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	県地区女性バレーボール大会	地区費	継続	1	50	50	13,203	9月17日	県中学校体育館
	この大会に向けて女性同士が集まり、バレーボールを通して交流を深め、女性の健康保持、体力増進につなげる。併せて、参加チーム同士の親睦とバレーボールに親しむ女性の底辺を拡大を図る								
	実施内容								
体育事業	参加チームは3分館。ママさんバレーボール連盟の方々をはじめとした、各チームの主将と協議して開催。昨年度から参加選手数の条件にあった年齢制限を緩和し、県地区に居住する社会人女性なら参加できることとした。優勝チームは飯田市女性バレーボール大会に出場する。 優勝：上山分館 準優勝：切石分館 3位：中平分館								
	目的								
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第34回冬季スポーツ大会（ワンバウンドふらば～るバレーボール）	地区費	継続	1	450	450	13,203	2月2日	県体育館
	競技種目は恒例となっているワンバウンドふらば～るバレーボール。一般の部には各分館から2チームずつ参加し、合計20チーム。小学生の部には各分館から1チームが参加し、合計10チームで競技を行った。また、大会に先立ち、1月20日（月）には講習会を、同日20日（月）～2月1日（土）は各分館の練習及び予選を行った。								
	実施内容								
体育事業	県地区内の分館を単位とした大会として、男女混合の一般や小学生チームの参加により参加者及び分館同士の親睦と交流を深めると共に健康増進を図る								
	目的								
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニュースポーツ講習会	地区費	継続	1	50	50	13,203	8月22日	県中学校体育館
	種目：リズムボクシング（ボクササイズ） 指導講師：瀧澤昌樹氏（名古屋体育委員） 参加者：50名								
	実施内容								
広報事業	様々なスポーツを紹介し、体験してもらうことで、県地区住民の健康増進や交流・親睦を深める								
	目的								
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「公民館報かなえ」の発行	地区費	継続	4			13,203		県公民館
	公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成する。また、住民の皆さんが「県」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図る。								
	実施内容								
広報事業	地域住民を対象に、地域の情報を伝える、課題提起などを通して、地域に関心をもってもら								
	目的								
	評価								
広報事業	公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成する。また、住民の皆さんが「県」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図る。								
	実施内容								
	評価								
広報事業	公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成する。また、住民の皆さんが「県」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図る。								
	実施内容								
	評価								

県公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	県の子どもを語る会	地区費	継続	1	63	63	13,203	2月4日	県公民館
	小中学校の先生方、保護者、地域の方々が集い、県の子どもの現状や、目指す子ども像を語り合うことで、三者の連携を深め、子どもの豊かな育ちにつなげる	・「かなえコミュニケーション」の現状報告：本村県小学校長 ・地域の方との関わりの中で感じたこと、学んだこと：県小北原教頭先生、県中田中教頭先生 ・グループワーク「こんな子どもに育ってほしい」		評価	【総括と今後の方向付け】 コミュニケーションの現状や、小中学校や地域の中での子どもたちの育ちを知り、それを感じていることを語り合う機会であった。今年度はグループワークを行い、先生・保護者・学校支援ボランティア・地域住民など、それぞれの立場からみられる子どもたちの現状と、育ってほしい姿について語り合った。グループワークは非常に盛り上がったが、時間が短く、もう少しそれぞれが掘り下げられるような工夫が必要である。より多くの保護者の参加を促したいが、この会が、県コミュニケーションにおいてどのような位置づけで、目的が何なのかを、学校運営協議会で検討する必要がある。				
	高校生の学習活動支援	他会計	継続	50	100	9	13,203	実施内容参照	県公民館ほか
その他	高校生と地域住民が、活動を通じて共に学び育つことで、より良い地域をつくる	【地域人教育（飯田OIDE長姫高校との連携）】 飯田OIDE長姫高校商業科の授業の一環として、今年度は8名の生徒が県地区をフィールドとして活動した。 4～8月 ペタンク大会等で地域調査。夢かなえ隊の方々と交流と、JA鼎支所の夕涼みの集いに参加。かなにゃんの活用。 9～12月 子ども対象の事業の企画・実施。鼎の農産物を活用した商品開発と調理教室。 【遊休農地を活用したそばの栽培とそば打ち（下伊那農業高校との連携）】 課題研究に取り組む生徒の活動支援として、実際に住民と交流しながら県地区内の遊休農地でそばを栽培。また、下山の文化祭などでそば打ちを披露し、そばの提供をした。 8～10月 遊休農地でそばの栽培。夢かなえ隊の方々に協力いただいたき、遊休農地の現状などを学ぶ機会となった。 10～1月 JA祭、下山文化祭、新春放談会などでそば打ちの披露と提供。新春放談会では、活動の成果報告も行った。		評価	【総括と今後の方向付け】 地域人教育に加え、下伊那農業高校生の課題研究の支援をし、地域が関わることで高校生にどのような学びや育ちが生まれるかを考える機会になっている。特に、夢かなえ隊の方々には高校生の相談や活動支援をしていただいた。ただ活動をするのではなく、高校生が住民との交流を通して、考え、活動し、深めていけるよう向き合っているが、実際の高校生の様子からは課題も感じている。多くの方が高校生の活動を支援する中で、県地区の子どもたちの学びや育ちを充実させていく意識を持ち、子どもを育む地域につなげていきたい。また、下農生の学習支援は、遊休農地と言う具体的な地域課題ともつながっており、充実させていきたい。				
	高校生の学習活動支援	他会計	継続	50	100	9	13,203	実施内容参照	県公民館ほか
	高校生と地域住民が、活動を通じて共に学び育つことで、より良い地域をつくる	【地域人教育（飯田OIDE長姫高校との連携）】 飯田OIDE長姫高校商業科の授業の一環として、今年度は8名の生徒が県地区をフィールドとして活動した。 4～8月 ペタンク大会等で地域調査。夢かなえ隊の方々と交流と、JA鼎支所の夕涼みの集いに参加。かなにゃんの活用。 9～12月 子ども対象の事業の企画・実施。鼎の農産物を活用した商品開発と調理教室。 【遊休農地を活用したそばの栽培とそば打ち（下伊那農業高校との連携）】 課題研究に取り組む生徒の活動支援として、実際に住民と交流しながら県地区内の遊休農地でそばを栽培。また、下山の文化祭などでそば打ちを披露し、そばの提供をした。 8～10月 遊休農地でそばの栽培。夢かなえ隊の方々に協力いただいたき、遊休農地の現状などを学ぶ機会となった。 10～1月 JA祭、下山文化祭、新春放談会などでそば打ちの披露と提供。新春放談会では、活動の成果報告も行った。		評価	【総括と今後の方向付け】 地域人教育に加え、下伊那農業高校生の課題研究の支援をし、地域が関わることで高校生にどのような学びや育ちが生まれるかを考える機会になっている。特に、夢かなえ隊の方々には高校生の相談や活動支援をしていただいた。ただ活動をするのではなく、高校生が住民との交流を通して、考え、活動し、深めていけるよう向き合っているが、実際の高校生の様子からは課題も感じている。多くの方が高校生の活動を支援する中で、県地区の子どもたちの学びや育ちを充実させていく意識を持ち、子どもを育む地域につなげていきたい。また、下農生の学習支援は、遊休農地と言う具体的な地域課題ともつながっており、充実させていきたい。				

上郷公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級	市・地	継続	36	420	12	414	5から3月	保健センター
	乳幼児とその親を対象に、子供が健やかに育つため、又、知識を身に付けて子育てができるよう支援する。	<p>乳幼児を持つ母親を対象に、子育てについての理解を深め、自信を持ってたくましい子育ての実践をし、併せて自己の豊かに生活するための学習をする。また、気楽に話し合え、悩みを語れる仲間づくりを目指す。</p> <p>開催日…1回／月 10:00～11:30 場 所…上郷公民館101和室など</p> <p>指導…保育士、保健師(運営補助:民生児童委員) 受講生…親子105組</p> <p>主な内容…3歳:絵本、新聞紙遊び、クリスマス会、工作、リトミック等 2歳:絵本、おやつ作り、クリスマス会、工作、リトミック等 1歳:絵本、離乳食、おもちゃ作り、クリスマス会、親子あそび 0歳:母乳の話、わらべうた遊び、離乳食等</p>							
学級・講座	子ども料理教室	市・地	継続	6	143	24	582家庭	5/26、6/16、7/7、9/8、9/28、12/1	上郷公民館
	地区内の小学生を対象に、料理という実体験を通じて、たくましい成長を促すとともに、家庭での親子のふれあいを推進する。	<p>地域内の人材に講師を依頼し、小学生を対象に料理教室を行った。講師の指導の下、料理に必要な基礎的な知識を身に付けると共に、実際に料理することで、料理する楽しさ、自分で作った料理のおいしさを感じてもらい、食に興味を持ってもらう。講師はひまわり会。</p> <p>・第1回 期日:5月26日 参加:25人 内容:おにぎり2種、ミネストローネ、季節のサラダ ・第2回 期日:6月16日 参加:25人 追加回:7/7 参加20人 内容:ふんわり卵のつけオムライス、コロコロ野菜の洋風スープ、ヨーグルト風味のフルーツかん ・第3回 期日:9月8日 参加:24人 追加回:9/28 参加21人 内容:チーズ入りシュウマイ、カレーチャーハン、わかめスープ、ふるふる杏仁豆腐 ・第4回 期日:12月1日 参加:28人 内容:オリジナルトッピングピザ、野菜ときのこのスープ、チキンサラダ</p>							
学級・講座	そば打ち教室	市・地	継続	1	11	11	582家庭	2月9日	黒田研修センター
	地区内の小学生を対象に、料理という実体験を通じて、伝統的な食文化に対する見識を深め、家庭での親子のふれあいを推進する。	<p>地域内の団体である、下北農園の会に講師を依頼し、小学生(親子)を対象にそば打ち体験を行った。そば粉からそばを打ち、麺きり包丁を使ってそばをきるところまで体験した。試食は講師の打ったそばとてんぷらを用意し、打ったそばは自宅へ持ち帰った。家族で試食することで家族のふれあいが行われた。</p> <p>期日:2月9日 参加:5家族11人。</p>							
学級・講座	飯田女子高校との料理交流会	市・地	継続	1	20	20	20	9月14日	上郷公民館
	高校生と地域団体が料理を通じて交流を深める	<p>例年郷土料理を作ることを通じて飯田女子高校調理クラブの生徒と地域団体が交流を行っている。今年度は志向を変え、公民館の調理室機能を活用した本格的なピザづくりを行った。講師はひまわりの会に依頼。</p>							

上郷公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高齢者学級		市・地	継続	158	1,580	67	通年	上郷公民館
学級・講座	地区内の高齢者を対象に、健康保持、教養向上、趣味深化、仲間づくりを図る。		市・地	継続	158	1,580	67	通年	上郷公民館
	実施内容						評価		
	概ね60歳以上の高齢者を対象に、定例講座、クラブ活動、役員会を行う。学級生より正副学級長、地区長、クラブ長を選出し、自主的に企画運営している。								
	・定例講座 4月 入級式 5月 日赤奉仕団による紙芝居 6月 囲碁ボール大会 7月 クラブ発表会 10月 「健康体操」講師 加藤美恵子先生 研修旅行 12月 忘年会 2月 高齢者学級文集作成 3月 修了式 ・クラブ活動 大正琴、書道、歌、雑学(2回)、卓球、マレットゴルフ、民謡、織り方、織物、健康と川柳と笑い、絵手紙 ・婦人会とともに小学校家庭科授業でミシンの使用補助ボランティアを行った。 ・学級会報 毎月「伝諸鳩」を発行し、活動の様子やクラブ予定、お知らせなどを掲載。地区長が配布。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさと学習講座久遠の会		市・地	継続	17	255	15	通年	上郷公民館
学級・講座	地区住民、子どもを対象に、上郷の歴史、文化、自然を学ぶ。		市・地	継続	17	255	15	通年	上郷公民館
	実施内容						評価		
	平成28年度末に完成させたふるさと学習教材及び編集過程で得た知識を活用して郷土学習を実施した。また会議で検討したテーマで講座を行った。今年度の活動は以下の通り。 4月 さくら祭りで野底山ウォーキング学習「野底物語をあるこう」を企画、運営。 6月 上郷考古博物館の市澤館長による特別講演「3つの史跡と東山道」を開催。 11月 上郷小学校5年生遠足にて、生徒が教材を持参し現地学習を実施。行先である姫宮林間学校で、メンバーが講師となり、野底山の元禄山論や林間学校校舎について解説した。 11月 上郷地区文化祭で実施事業に関わる特別展示を行った。 2月 上郷小学校児童を対象とした井水の学習の際に、メンバーが講師となり授業を行った。								
学級・講座	地区住民、子どもを対象に、上郷の歴史、文化、自然を学ぶ。		市・地	継続	17	255	15	通年	上郷公民館
	実施内容						評価		
	【総括と今後の方向付け】 今年度も教材の内容をメンバーが学校事業で発表することで、参加者の郷土への理解の深まりや、学校における教材活用の推進を図った。今年度は飯田市の3史跡と東山道の関連性について学んだり、幅広い学習テーマを設定し活動に取り組んだ。 次年度は事業運営のほか、定例会でのテーマ学習を行い、メンバーが主体的に企画した内容を集団の学びとしていく。また地域課題に対応したテーマで学習講演会を開催するなど、新たな学びの機会を提供していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	農作業体験教室		地区費	新規	5	25	5	4月～11月	黒田研修センターほか
学級・講座	地区内の小学生を対象に、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場とする。		地区費	新規	5	25	5	4月～11月	黒田研修センターほか
	実施内容						評価		
	ジャガイモの植え付けを行い、その後収穫を行った。また収穫したジャガイモを用いてトルネードポテトを作った。講師は下北農園の会に依頼。								
学級・講座	地区内の小学生を対象に、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場とする。		地区費	新規	5	25	5	4月～11月	黒田研修センターほか
	実施内容						評価		
	【総括と今後の方向付け】 約半年間の一連の作業から、参加者に生産することの大変さや喜びを感じてもらえる取り組みとなった。								

上郷公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演	地区費	継続	10	1,527		13,729	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	地区実行委員会を開催し、オリジナル企画の募集、運営方法など伝達し、情報交換をした。上郷公民館くおん座、分館、上郷西保育園保護者会、上郷なかよし保育園、黒田人形保存会、上郷小学校3年1組、4年4組が企画運営した。 (期日、運営主体、会場) 7月31日 上郷西保育園保護者会 下黒田北第二集会所 いこいの家 よろず劇場とんがらし 8月2日 上郷なかよし保育園 上郷なかよし保育園 人形劇団クスクス 8月2日 丹保分館 丹保研修センター ポールの一座 8月3日 南条分館 南条田中八幡宮 チーム青空共和国 8月3日 別府下分館 別府児童館 人形劇団なみ 人形劇団やまんば 8月3日 飯沼南分館 飯沼南自治会館 劇団すぎのこ 8月4日 黒田人形保存会 黒田人形浄瑠璃伝承館 黒田人形保存会 高陵中学校黒田人形部 8月4日 上郷小学校 上郷公民館 上郷小学校チャレンジジャーズ(3年1組) 上郷小学校JUMP劇団(4年4組) 8月4日 北条分館 北条振興センター 影絵劇団夢屋 8月4日 くおん座(地域を育む委員会) 上郷公民館 人形劇団とむならん	【総括と今後の方向付け】 今年度は10会場で公演が実現され、地区内外から多くの来場者が訪れた。今年度は丹保分館が交流企画として公演前に工作教室を実施し、会場装飾の行灯を作成したり、北条分館ではワークシヨップとして影絵体験が行われた。くおん座公演では、上演される劇にちなんだ体験コーナーや展示、劇人との交流企画が行われ、各会場ごと交流企画を実施した。人形劇の魅力を伝えるためには、まずは来場してもらうことが重要であり、そのための工夫を引き続き検討していく必要がある。							
		【総括と今後の方向付け】 新公民館の施設機能を活用して様々な展示や企画を計画し、文化部を中心に各団体が協力し企画を実施した。文化展のクラブ参加方法として活動報告展示を新たに企画し参加の幅を広げた。発表企画として岩崎洵奈ピアノコンサートや芸能祭、ふれあいさわやか音楽祭を行い文化祭を盛り上げた。新しい場所での最初の文化祭であるため、今年度の開催内容を基準として次年度改善していく。							
		評価							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
上郷地区文化祭	上郷地区文化祭	市・地	継続	1	753	753	13,729	11/16、17	上郷公民館
文化事業	地区内個人、グループを対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、また住民が交流できる場として実施する。	【総括と今後の方向付け】 今年度は10会場で公演が実現され、地区内外から多くの来場者が訪れた。今年度は丹保分館が交流企画として公演前に工作教室を実施し、会場装飾の行灯を作成したり、北条分館ではワークシヨップとして影絵体験が行われた。くおん座公演では、上演される劇にちなんだ体験コーナーや展示、劇人との交流企画が行われ、各会場ごと交流企画を実施した。人形劇の魅力を伝えるためには、まずは来場してもらうことが重要であり、そのための工夫を引き続き検討していく必要がある。							
		【総括と今後の方向付け】 新公民館の施設機能を活用して様々な展示や企画を計画し、文化部を中心に各団体が協力し企画を実施した。文化展のクラブ参加方法として活動報告展示を新たに企画し参加の幅を広げた。発表企画として岩崎洵奈ピアノコンサートや芸能祭、ふれあいさわやか音楽祭を行い文化祭を盛り上げた。新しい場所での最初の文化祭であるため、今年度の開催内容を基準として次年度改善していく。							
文化事業	地区内個人、グループを対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、また住民が交流できる場として実施する。	評価							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
文化事業	地区内個人、グループを対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、また住民が交流できる場として実施する。	参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							
		参加団体 18グループ+特別展 特別展 ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・地域を育む委員会活動展示 ・団体活動報告…クラブ活動の紹介を目的とした新たな企画 ○岩崎洵奈ピアノコンサート 日 時 11月16日(土)午後5時～6時 ○上郷地区芸能祭 日 時 11月17日(日)午前9時00分～12時30分 参加団体14クラブ ○ふれあいさわやか音楽祭 日 時 11月17日(日)午後1時～午後5時 参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか ○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) 日 時 11月17日(日)午前10時～12時 内 容 ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。 ○おもてなし 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ひまわりの会、女子高調理クラブによるスーpbの提供 ○上郷小学校の参加 6年2組 桜復活プロジェクトのためのグッズ販売 5年1組 雑貨の販売							

上郷公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	高陵地区スポーツ交流会		市・地	1	50	50	50	6月23日	上郷小学校体育館
	目的 地区内住民を対象に、身体を動かすことの大切さを感じてもらう。		継続				【総括と今後の方向付け】 例年行っていた体力測定会の参加人数が少ないこともあり、今年度からスポーツ推進委員と上郷・座光寺の体育部員の研修及び親睦を目的に開催。両地区役員がニュースポーツを通じ交流し、情報交換を行った。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	春季スポーツ交流会		地区費	1	502	502	13,729	6月30日	高陵中学校
	目的 地区内住民を対象に、地域連帯意識の向上と親睦を深める。		継続				【総括と今後の方向付け】 午前と午後に種目を分けて実施した。スタッフも余裕を持った準備を行い、試合進行も円滑に進んだ。来年度は学校体育施設の調整状況を考慮し、囲碁ボール・ふらばーのバレーを夏の大会で採用する。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	夏季スポーツ交流会		地区費	1	479	479	13,729	8月25日	上郷体育館
	目的 地区内住民を対象に、ニュースポーツに触れる機会を提供するとともに住民同士の交流を図る。		継続				【総括と今後の方向付け】 子どもから年配の方まで気軽に参加してもらえらるスポーツなので継続開催する。来年度は学校体育施設の調整状況を考慮し、ペタンクを春の大会で採用する。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	上郷地区大運動会		地区費	1	960	960	13,729	10月27日	高陵中学校
	目的 地区内住民を対象に、住民が一同に会し、運動会を通じて交流を図り、上郷としての結束を高める。		継続				【総括と今後の方向付け】 オープン参加の1種目の企画を中学校に依頼。新たに「年の差鬼ごっこ」を企画してもらい、実施に向け調整を行った。中学生が参加を通して地域活動を知り、地域の懸命な大人の姿を認識する機会となった。中学校側も生徒が地域をフィールドとして活躍できる重要な事業だと、運動会を位置づけている。次年度も中学生のアイデアを取り入れ、参加者が交流できる運動会を検討していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季スポーツ交流会		地区費	1	85	85	13,729	2月2日	上郷体育館
	目的 地区内住民を対象に、身体を動かすことの大切さを感じてもらう。		継続				【総括と今後の方向付け】 参加対象を小規模とし、分館役員及びスポーツ部員のみで開催。分館の枠を超えたチーム編成を行い、楽しみながらニュースポーツを体験してもらう機会とした。		

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「広報かみさと」発刊事業		地区費	継続	12	432	12	13,729	毎月1回発行	上郷公民館
	地区内住民を対象に、地区行事等の記録、情報発信、課題提起、話題提供を行う。		【総括と今後の方向付け】 地区内の記録、発信、課題提起、話題の提供を広報かみさととの発行により行う。また、まちづくり委員会発足時より、まちづくり委員会広報紙としての機能も併せ発刊している。 〔号数〕145号～156号（館報通算830号～841号） 〔紙面〕B4タブロイド判 〔毎号掲載記事〕 「私の思うこと」地域の成人男女に依頼し、住民の自由な思いや意見「瀬音」地域、行政、社会に対する意見や問題点、季節の話題に触れる。 広報縮刷版作成 平成4年～平成31年までの広報をまとめた縮刷版を編集した							
	目的		評価							
育成事業	あいさつ運動		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域の大人と子どもの顔見知りの関係を築き、顔見知りや雑談や注意をできるようにする		0円	継続	6	72	12		4/8、4/9、8/26、8/27、1/9、1/10	実施内容参照
	目的		【総括と今後の方向付け】 新学期開始に合わせ、青少年健全育成部員があいさつ運動をした。帽子やたすきなどであいさつ運動実施中であることをPRする。子どもとの顔見知りの関係を築くために育成部員の方から積極的にあいさつをした。 朝7時15分～7時45分 実施場所：上郷小学校前、廣源前横断歩道、信金上郷支店前など							
育成事業	高松の丘音楽会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	青少年を対象に、一流の音楽に親しむ機会を提供するとともに、進路選択の視野を広げる。		市・地	継続	1	250	250	13,729	5月6日	上郷公民館
	目的		【総括と今後の方向付け】 オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサート開催をきっかけに、平成27年度から上郷独自の音楽祭として始めた事業であり、名古屋フィルハーモニー交響楽団よりプロの演奏者を招き演奏会を行った。 第5回にあたる今年度は、飯田女子高校吹奏楽クラブや上郷小学校合唱団のほか、地元出身ピアニストによるピアノコンサートを行った。終了後には実行委員と演奏者の交流会を設け、コミュニケーションを図った。							
育成事業	小学校音楽鑑賞教室		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷小学校6年生全員を対象として、一流の音楽に触れてもらう機会を提供する。		地区費	新規	1	120	120	120	5月14日	上郷公民館
	目的		【総括と今後の方向付け】 今年度新規事業として開催した。教室では演奏者の協力により、一流の音楽に触れるだけでなく、ピアノの音を発する仕組みや、演奏の様子を演奏者の近くで体験できる企画など、より音楽に興味を持てる内容とした。普段音楽に触れている児童もそうでない児童も、迫力の演奏に驚き興味を持つ様子が見られた。来年度も継続事業として、上郷小学校と調整しながら開催する。							

上郷公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	野底山森林公園まつりへの参加	市・地	継続	2	800	400	13,729	4/21、11/4	野底山森林公園
	目的	【総括と今後の方向付け】 青少年健全育成部員が担当し、企画運営した。 さくら祭り、もみじ祭りにて、クロワッサンポットドッグの出店を行った。飯田女子高校調理クラブと共同出店を実施した。 地域祭りを盛り上げる とともに、青少年に多様な体験を提供する。							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今後は地域の学生や団体とより関われる活動を目指すため内容を見直し、女子高調理クラブと協力しながら出店を行った。学生は接客を通じ積極的に地域住民と、普段関わらない地域住民とコミュニケーションができる事業となった。							
企画事業	地域づくりフォーラム	市・地	継続	1	79	79	13,729	2月22日	上郷公民館
	目的	地域住民が広く集い、身近な地域課題・生活課題について情報交換や話し合いなどを通じて学習交流し、改善に向けた取り組みを考える機会として実施。まちづくり委員会、小中学校PTA、消防団、商工会ほか各種団体で実行委員会を組織した。 令和2年2月22日 上郷公民館 テーマ「つなごう！子どもの笑顔」 講演会 おさひめチャイルドキャンプ 主任児童指導員 安藤民平さん 内容 児童養護施設について、虐待について							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 児童養護施設や子どもの虐待について安藤さんにご講演いただいた。実際の児童養護施設の生活の現状を説明していただき、施設や子どもの問題に対する正しい理解を促す内容だった。子どもの問題に対してまず出来ることは、知ること、関心を持つことであるとお話があった。終了後のアンケートにも、まずは子どもの諸問題について自分が出来ることを考えたいという意見も多く見られた。 来年度も地域の関心事をリサーチしつつ、実行委員会で協議しながら講師の選定を行っていく。							
その他	分館役員研修会	市・地	継続	1	60	60	60	5月24日	上郷公民館
	目的	分館活動の意義、想い、活動事例、分館役員の心構えについて学んだ。 今年度は飯田市教育委員会学校教育課の田中清一先生をお招きし、「まっとうな大人の基礎を培う教育のために」というテーマで講演会を行った。							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 講師から分館活動が子どもに与える可能性について説明があった。子どもにとって分館活動はより身近な教育活動の場だという意見を通じ、分館委員が自身の活動の意義を考える機会とした。							
その他	地域を知る会	市・地	継続	1	44	44	13,729	9月29日	飯田市上村
	目的	歴史・文化・自然・産業を現地に向いて学習することを目的として開催。 今年のテーマは「上村の歴史・自然を学ぶ」とし、飯田市美術館の坂本正夫先生に講師を依頼した。講師に案内されながら程野中央構造線や御池山クレタターを見学した。							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年は地域外を目的地にして、上村地区でのフィールドワークを行った。同じ飯田市でも違う地区の様子は参加者にとって新鮮であり、上村の地質構造や雄大な景色を見ることでできたため非常に好評だった。来年度は検討会議にて目的地を選定し実施する。							

上郷公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷歩こう会		市・地	継続	10	609	13,729	5/12、19	実施内容参照
その他	目的	【総括と今後の方向付け】 ・幅広い年代層の参加があり、親睦はもちろんのこと地域を改めて知る機会として、また子供へ地域の歴史や文化を伝えていく機会として意義ある事業である。 ・各分館の考えで行き先、ルート設定をしていただく。ふるさと学習教材を参考にしながらのコース選定事例も増えており、引き続き推進していく。							
	その他	地域の歴史や自然、文化財にふれながら、地域を学び地域を育む心を育て、同時にウォーキングを通して心身のリフレッシュと、住民同士の親睦を深めることを目的に、期日を原則統一として、分館独自にコースを計画し実施。 分館 期日 目的(抜粋)、参加人数 上黒田 5/12(日) 野底山森林公園 76人 下黒田北 5/12(日) 天竜峡 40人 下黒田南 5/12(日) 泉龍院、台城公園 103人 下黒田東 5/19(日) 飯沼諏訪神社、上郷公民館 70人 丹保 5/12(日) 阿島陣屋、常木運動公園、高木村いちご園 37人 北条 5/12(日) 鶴足院、雲彩寺、経蔵寺 60人 飯沼南 5/12(日) 上郷公民館、正命寺、大念寺、飯沼諏訪神社 48人 南条 5/12(日) 上郷公民館、雲彩寺 46人 別府上 5/12(日) 天竜川総合学習館かわらんべ 73人 別府下 5/19(日) 野底山森林公園 56人							
		評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷地区成人式		市・地	継続	1	109	159	1月12日	上郷公民館
その他	目的	【総括と今後の方向付け】 新成人有志、上郷公民館文化部、運営委員、分館推薦の委員による実行委員会を組織し、企画運営にあたった。新成人の実行委員には、記念誌の取材を通じて郷土学習の場をつくり、地域への理解と愛着を深めてもらった。また地域事業を運営する住民の姿から、目の前の活動に全力で取り組む姿勢や、活動を通じて生まれる達成感などを新成人が感じることができた。							
	その他	趣旨…新成人を対象に、地域で祝い、地域の一員としての自覚を持ってもらうようにする。実行委員を募り、成人式の準備運営の中で、社会的自覚を持ち地域に対する理解と地域のつながりをもつための交流の場と捉える。新成人が地域へ関わる第一歩としての機会をつくる。 ・開式の辞 ・主催者あいさつ ・来賓祝辞 ・来賓紹介 ・祝電披露 ・飯田市長祝辞 ・新成人地域学習発表 新上郷公民館と公民館活動をテーマに地域学習を行った。 ・記念講演(飯田市美術博物館専門研究員) 満蒙開拓と上郷村の歴史について講演。新成人が過去の歴史を学ぶことで、これまでの生きてきたことの尊さや、将来を考える機会とした。 ・恩師よりお祝いの言葉 ・記念品贈呈 ・新成人代表挨拶 ・閉会の辞 来賓… 小学校恩師、社会教育委員、まちづくり役員、市議、センター所長、民協会長、財産区議長、 消防団分団長、日赤分団長、女団連会長 参加費… 記念集合写真代・送料500円							
		評価							

上村公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(ひよこちゃん)	市費	継続	8回	29	4	4	実施内容のとおり	保育園
	入園前の乳幼児とその親を対象として、子育てに関する学び、体験を通じての親子のふれあい、こども同士、親同士の交流などを目的に実施。							【総括と今後の方向付け】 対象人数が少なかったため、保育園児との交流や保育園【5/14】絵本に親しもう☆【6/7】パン作り【7/3】ペーパーマサージ※【9/3】リミックス講座(1)※【10/8】人形劇を見よう！※【11/7】焼いもをしよう【12/9】人形劇・クリスマス会【1/8】わらべ歌をうたおう※【3/9】楽しい絵本の世界・終了式(コロナウィルス蔓延考慮のため中止) ※南信濃の乳幼児学級と合同で開催	【総括と今後の方向付け】 対象人数が少なかったため、保育園児との交流や保育園【5/14】絵本に親しもう☆【6/7】パン作り【7/3】ペーパーマサージ※【9/3】リミックス講座(1)※【10/8】人形劇を見よう！※【11/7】焼いもをしよう【12/9】人形劇・クリスマス会【1/8】わらべ歌をうたおう※【3/9】楽しい絵本の世界・終了式(コロナウィルス蔓延考慮のため中止) ※南信濃の乳幼児学級と合同で開催
学級・講座	小学校PTA共催講演会	市・地	継続	1	50	50	402	1月26日(日)	上村小学校
	家庭と地域の方を対象として地域が一体になって子どもの教育について考える機会とする。							【総括と今後の方向付け】 小学校PTAと調整を図り、コミュニティースクールの要素も入れて、地域で子ども達の成長を見守り、関心を高める機会となるよう講師と共に、子ども達が出演する形の講演会を企画した。また、小学校の生活科・総合学習発表と遠山中1学年の総合学習発表も合わせて実施した。共催：上村小学校PTA 協力：遠山中学校(1学年) 内容：上村小学校、遠山中学校1学年「総合的な学習・研究発表」 講演会「西アフリカのお話と音楽を通して繋がろう」 subunyuma(サブニュマ)	【総括と今後の方向付け】 小学校PTAと調整を図り、コミュニティースクールの要素も入れて、地域で子ども達の成長を見守り、関心を高める機会となるよう講師と共に、子ども達が出演する形の講演会を企画した。また、小学校の生活科・総合学習発表と遠山中1学年の総合学習発表も合わせて実施した。共催：上村小学校PTA 協力：遠山中学校(1学年) 内容：上村小学校、遠山中学校1学年「総合的な学習・研究発表」 講演会「西アフリカのお話と音楽を通して繋がろう」 subunyuma(サブニュマ)
学級・講座	福祉講演会(健康講座)	他会計	継続	1	0	0	402	3月8日(日)	上村コミュニティセンター
	地区住民を対象に、健康づくりと交流の場作りを図る。							【総括と今後の方向付け】 健康福祉委員会と合同開催。困基ボールと運動指導を実施するスポーツ大会に、地域の介護・医療の現状について講演を加え、昨年度から継続して開催。 講演：健康・生活習慣病・減量のためにばどんな運動が効果的？ 健康運動指導士 牧内隆雄 氏	【総括と今後の方向付け】 新型コロナウイルス蔓延を考慮し中止としたため、実施なし。 高齢者と若者のどちらにも参加するスポーツ大会で講演会を加える形式で、まずは、関心をもってもらうことを目的として開催している。介護や医療に対して問題や不安を抱えている住民が増えている中、地域全体で考えられるきっかけとなるような活動を展開していきたい。
学級・講座	小学生霜月祭(横笛)教室	市・地	継続	3	60	20	50	11月14、25日、12月7日	上村小学校ほか
	霜月祭に対する関心を高め、実際に祭りの担い手として参加することによりふるさと意識の醸成を図る							【総括と今後の方向付け】 平成21年度から取り組んでいる「小学生霜月祭横笛教室」を継続し、小中学生の霜月祭への関心を高め、参加促進を図れる機会として開催する。 11/14 中郷保存会への練習参加 11/25 上村青年会議の指導 12/7 中郷霜月祭への参加	【総括と今後の方向付け】 今年度も地区保存会の練習への参加と、霜月祭を担う若手グループの青年会議に母校児童への霜月祭指導役を担当してもらった。教員や保護者が霜月祭を体験する機会になり、本番として笛として笛をふく中郷地区でも、参加が喜ばれている。今後も継続していく。

上村公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	世代間交流事業		地区費	3	60	20	100	実施内容のとおり	上村小学校・保育園
	郷土に伝わる伝統文化目 的 にふれ、自分たちの住 む地域を見つめ直す きっかけとする	実施内容	高齢者クラブと連携し、保育園児・小学生を対象に、おやすやしめ縄飾り作りなど、地域の伝統文化にふれる機会を提供する。 12/17 上村保育園おやす作り 1/9 上村小学校小正月飾り 1/15 上村小学校松送り、七草粥作り				【総括と今後の方向付け】 一般家庭では年中行事が簡略化される傾向の中で、地域の伝統文化とそれに込められた意味を高齢者クラブの方から教えていただき、郷土への関心を高める機会となった。高齢者クラブからも交流の要望があったことから屋敷やお茶の時間にお正月遊びで交流もできた。高齢者クラブでも小正月飾りを自宅で作ったことがあ る人が少なくなってきたという中で、伝統を引き継ぎたいという強い思いにどう応え ていくかが今後の課題である。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	かみっこお楽しみ会	地区費	継続	3	50	25	402	実施内容のとおり	かみっこ交流館
	親子を対象に、本の読み聞かせ、工作・菓子作り体験を通して親子での交流を深め、集団での社会性を身につけることを目的に実施	実施内容	図書分館と共催し、保育園児・小学生の親子を対象に、工作作りや、お菓子、料理教室を実施。共催：図書分館 6/9 読み聞かせと楽しい工作 10/26 読み聞かせとハロウィンパーティー・カレー作り 3/7 読み聞かせとピンゴ大会(コロナウィルス蔓延考慮のため中止)				【総括と今後の方向付け】 読み聞かせとあわせて親子のレクレーションや共同作業を取り入れて、普段の会話だけでは味わえない絆が深まった。ハロウィンパーティーでは飾りつけや仮装を してみんなで一緒に楽しみながら、季節を感じられる活動にもなった。また、図書 分館係員以外の参加者(小学生含む)に読み聞かせ発表をしてもうら機会もつくり 交流を通して、お互いを知り合ったことはコミュニケーションの推進についても 重要な機会であった。多世代が本に親しむきっかけとして、今後も継続していき たい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ2019 上村地区公演	市・地	継続	1	100	100	402	8月4日(日)	上村コミュニティセンター
	地区住民を対象に、身近な場所で人形劇に親しむ機会の提供と、地区独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。	実施内容	8/4 13:00～ 上村コミュニティセンター 人形劇トロコによる人形劇 共催：公民館企画委員会、上町活性化委員会 併催イベント「魚のつかみどり」				【総括と今後の方向付け】 地区の小・中学生で構成されている、かみむら少年少女合唱団によるウエルカム アトラクションも実施し、地区の取り組みと人形劇をつなげることができた。 毎年フィールドスタディで来ている大学生もボランティアスタッフとして参加し、併催 イベントの魚のつかみどりも含めて、劇団とスタッフだけではない交流の広がりが 生まれている。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ市内観劇バスツアー2019	市・地	継続	1	16	16	30	8月2日(金)	フェスタセントラルパーク他
	親子を対象に、子どもだけでは参加できない市内中心部で行われる公演を鑑賞する機会の提供と集団での社会性を身につけることを目的に実施	実施内容	図書分館と共催し、平日で保護者が連れて行くことが困難なフェスタ開演日に、地区公演とは違う雰囲気で見学できるようなコースを設定した。 セントラルパークの散策は自由行動としたが、上級生が下級生を引率しま めた。 内容：フェスタセントラルパークにてワッペン公演観賞、セントラルパーク散策、市公2階おいなんよサロンで屋敷、美博にてプラネタリウム鑑賞。				【総括と今後の方向付け】 子どもたちも楽しみにしており大勢の参加があった。地区内とは異なる環境で観劇 すること、また学校を離れたところで子どもたちが集団行動を行うことにより、人形 劇観劇に加えて貴重な社会体験もできた。今年度は小学校行事が重なったため南 信濃地区との共催ができなかったため、南信濃公民館・図書分館、各小学校と協 力・調整し、取り組んでいきたい。		

上村公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	地区文化祭(しゃくなげ祭)		市・地	継続	1回	200	200	402	11月10日(日)	上村小学校体育館
	目的	地区住民を対象に、身近な場所で芸術文化に親しむことを、また地区の文化活動の成果発表の場と住民交流の場を図る。	【総括と今後の方向付け】 小学校・保育園と一緒に地域が企画する事業として、実行委員組織も拡充して、合同開催の意味づけから企画を検討している。小・中学生や保育園児の発表の場としても地域からの関心が高いが、消防団を含め、若者グループの活躍の場にもなっており、地域が元気になる事業として継続させていきたい。							
		実施内容	地域と小学校・保育園が合同で実行委員会を組織して企画開催する。地域の方々が芸術文化へ関心を高める機会の提供を図る。また、小学生・中学生との関わりを大切に、子どもの頃から芸術文化へ触れて興味を持つきっかけとして実施する。 特別企画として、タップダンスと和太鼓ユニット「BEAT座タップスタジオ」による講演とタップ体験、美術博物館による塚原琢哉写真展などを実施した。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山地区成人式		市・地	新規	1	16	16	19	1月12日(日)	南信濃地域交流センター
	目的	新成人を対象に、地域が新成人を祝福し、新成人が家族・地域への感謝を表す場、改めて地域とのつながりを考えるきっかけとする。	【総括と今後の方向付け】 中学校区単位となる2地区区合同で開催している。新成人が実行委員がとなり成人式の運営に関わり、新成人を中心に記念映像の制作など主体的な取り組みも居られた。参加した新成人からは、保護者や地域への感謝の言葉があり、地域学習を通して自分の考え方を見直す機会となったと話す新成人の姿も見られた。 新成人が改めて遠山地区とのつながりや関わり方を見つめ直す機会となることを目的に、今後も2地区区合同事業として遠山地区が一体となり継続していきたい。							
		実施内容	統合遠山中学校区となり、2地区公民館合同開催。今年度の地域学習のテーマは「霜月祭」となり、取り組んだ。新成人、文化委員会、企画委員会で実行委員会を組織して、企画・運営を行う。 新成人実行委員の活動：地域学習(霜月祭)、記念誌、記念品の制作、謝恩会の企画・運営 8/13…新成人との打合せ① 10/10…新成人との打合せ② 11/5…地域学習(上村上町保存会) 11/23…地域学習(南信濃木沢野郎会) 12/29…新成人との最終打ち合わせ							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	マレットゴルフ大会		地区費	継続	1	50	50	402	10月6日(日)	中山スカイ・アトレゴルフ場
	目的	地区住民を対象に、競技による健康増進と、参加者同士の交流と親睦を図る	【総括と今後の方向付け】 27ホールで高低差があるコースは高齢者には体力的に負担があるのは検討課題であるが、送迎車両を用意するなどして対応している。成績だけでなく親睦も目的としており、分館対抗戦では選抜ではなく全員が参加できるくじ引きの方式を採用し、コースを回る班分けも分館がバラバラになるようにしている。 分館によって人数に若干偏りがあるが、参加年齢層は幅広く、地域全体の親睦という目的をより効果的に達成するために、各分館と協力して取り組んでいきたい。							
		実施内容	競技は個人戦と分館対抗戦で行う。分館対抗戦では、競技終了後に各分館3名ずつ抽選し、その合計スコアで分館の順位を決定する。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	地区運動会(かみむら大運動会)		地区費	継続	1	200	200	402	9月15日(日)	上村小学校校庭
	目的	地区住民を対象に、住民が運動会を通じて住民相互の交流と親睦、健康増進を図る	【総括と今後の方向付け】 平成15年度から小学校運動会と合同で、平成21年度からは保育園運動会も合同で開催。3者合同でプログラムを検討し、学校・地域との連携を図った。 平成29年度から室内プログラムを準備し、雨天決行とした。(実績はなし) 平成30年度から係体制を見直し、指導・出発・決勝の3係を統合⇒競技係分館採点方法を見直し、紅白加算、1位加算を導入した。 令和元年度では、小学校の地区外家庭を各分館に振り分け、分館選手として出場可能とした。							
		実施内容	3者(公民館・小学校・保育園)での実行委員体制で企画運営を行っているが、分館選出が厳しいという課題と小規模特認校で通っている小学生家庭も運動会に出場したいという要望が、合致したかたちで、分館選手として出場の実現ができた。地区と地区外家庭が交流を持つきっかけにもなった。子ども達の成長を地域が見守る機会、地域と小学校・保育園がつながる機会としても、今後も3者でつくりあげていくことを大切にしていきたい。							

上村公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	公民館卓球大会・第26回小学生卓球大会	地区費	継続	1	0	0	1,733	2月29日(土)	上村小学校体育館
	小学生と地区住民を対象に、地域に根ざしたスポーツ活動(卓球)の普及と住民交流を図る	【総括と今後の方向付け】 新型コロナウイルス蔓延を考慮し中止としたため、実施なし。 和村小学校や南信濃地区住民からも申し込みがあり、2地区の交流事業としても次年度以降も継続していきたい。							
		【総括と今後の方向付け】 新型コロナウイルス蔓延を考慮し中止としたため、実施なし。 親しみやすい囲碁ボールには高齢者だけでなく、小学生の参加も見込まれ地域で人気があるスポーツであり、交流のきっかけにできるが、新たなニュースポーツなどをとり入れる検討などを行いながら、健康づくりの面をさらに工夫していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	春季スポーツ大会	市・地	継続	1	0	0	402	3月8日(日)	上村コミュニティセンター
	地区住民を対象に、身体を動かすことが少ない冬季の運動の機会の提供と、健康づくりへの意識向上を図る	【総括と今後の方向付け】 保健福祉委員会と連携して、囲碁ボールの大会とあわせて健康講座も同時開催して交流と健康づくりの機会として開催している。							
		【総括と今後の方向付け】 新型コロナウイルス蔓延を考慮し中止としたため、実施なし。 親しみやすい囲碁ボールには高齢者だけでなく、小学生の参加も見込まれ地域で人気があるスポーツであり、交流のきっかけにできるが、新たなニュースポーツなどをとり入れる検討などを行いながら、健康づくりの面をさらに工夫していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみむら」発行	地区費	継続	年4回	-	-	400部	6月30日、10月30日、1月31日、3月31日	
	地区住民を対象に、地域の情報発信、将来への記録等を目的に発行	【総括と今後の方向付け】 地域をとりまく話題や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年4回発行。 第188号 遠山郷助っ人名鑑(2地区合同企画)、入学式 他 第189号 かみむら大運動会、全国へきち研究集会他 第190号 博報賞(郷土の舞)、文化祭、成人式 他 第191号 九州の神楽シンポジウム、若者の取り組み、PTA講演会 他							
		【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会の動向や現在取り組んでいる地域の活動、今後の地区の方向性など住民が最も知りたいことを伝えるのが、住民の手による編集権を持つ館報として重要な役割である。そのためには広報委員会の活動がどうあるべきか再確認しながら、今後も継続していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	若い衆で地域を語らまいかい！(若者学習会)	市・地	継続	10	100	10	402	実施内容のとおり	上村公民館 他
	世代を越えた地域住民同士の交流を通じ、この地区の独自性を見つめ直し、地元に誇りをもってもらおう。	【総括と今後の方向付け】 若者にとっても関心が高い霜月祭に関するの活動を通じて、地域文化の保存継承や歴史、自分自身と地域とのつながりなどを改めて学ぶことを主な取り組みとした。公民館事業への協力体制にもつながり、関心がある活動や身近なことに關して、新たな動きやつながりが見え始めている。							
		【総括と今後の方向付け】 若者にとっても関心が高い霜月祭に関するの活動を通じて、地域文化の保存継承や歴史、自分自身と地域とのつながりなどを改めて学ぶことを主な取り組みとした。公民館事業への協力体制にもつながり、関心がある活動や身近なことに關して、新たな動きやつながりが見え始めている。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	自磨の時間ー遠山郷ESD塾ー	地区費	新規	1	71	27	88	8月10～12日	南信濃地域交流センター 他
	遠山三校の小・中学生を対象に、大学生による補修学習で学習意欲の向上や大学生との交流や、自然等の体験学習から地域資源の価値の再認識を図る	【総括と今後の方向付け】 大学生によって初めて川で遊んだ小学生もあり、後日改めて家族と遊びに来ている様子も見られた。参加した大学生も、教育課程を履修していることもあり、大学生なりの工夫が見られ、参加した子どもたちとの距離もどんどん近づいていった。 次年度も継続して実施するが、保護者・地域住民・大学が連携してそれぞれの要望や目的を達成できるような計画をしていきたい。							
		【総括と今後の方向付け】 自然体験で初めて川で遊んだ小学生もあり、後日改めて家族と遊びに来ている様子も見られた。参加した大学生も、教育課程を履修していることもあり、大学生なりの工夫が見られ、参加した子どもたちとの距離もどんどん近づいていった。 次年度も継続して実施するが、保護者・地域住民・大学が連携してそれぞれの要望や目的を達成できるような計画をしていきたい。							

上村公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	自然体験学習	市・地	新規	1	10	10	100	8月24、25日	しらびそ高原 他
	親子を対象に、自分たちが暮らす地域の自然環境を見つめ直し、環境に対する意識を高める。きっかけとする。	地区内の自然に親しむ機会、また環境に関心を持つ機会として、遠山に縁のある方を講師とした自然体験学習を実施。 【遠山郷夏キャンプ8/24.25】地区内外の小学生家庭を対象に、地域おこし協力隊、まちづくり委員会と共催で、川遊び・火おこし・飯盒炊爨・星空観察を実施。	地区費	新規	5	28	7	10/15、11/15、12/18、1/14、2/21	上村公民館
	乳幼児・保育園児保護者座談会（子育てクラブ チロル） 保護者同士の日常的な交流・情報交換の促進のため、毎月1回程度座談会を開催する。また、そこで出された悩みなどを取り上げ、学習や体験などの活動を展開していく。	地区費	新規	5	28	7	7	10/15、11/15、12/18、1/14、2/21	上村公民館
その他	乳幼児・保育園児の保護者を対象に、保護者同士の交流により、日常的な情報交換や子育て不安の解消、コミュニケーション醸成などを目的に実施。	地区費	新規	5	28	7	7	10/15、11/15、12/18、1/14、2/21	上村公民館
	乳幼児・保育園児の保護者を対象に、保護者同士の情報交換がなかなかできないという保護者の声から、乳幼児・保育園児の保護者など、保護者同士の情報交換が気軽にできる場になっている。地域学習準備の情報など、保護者同士の情報交換が気軽にできる場になっている。地域の特産品で料理をしてみようという企画も動き出した。	地区費	新規	5	28	7	7	10/15、11/15、12/18、1/14、2/21	上村公民館
	少ない人数ではあるが、成長が早い段階の子を持つ保護者のため、考え方もそれに応じて様々である。目的や大切にしているものを確認しつつ、保護者同士が気軽に親睦を深め、少人数でも活き活きと子育てできる環境づくりにつなげていきたい。	地区費	新規	5	28	7	7	10/15、11/15、12/18、1/14、2/21	上村公民館
その他	地域の子育ての将来を考える会	地区費	継続	10	100	10	402	実施内容のとおり	上村公民館 他
	少子高齢化に伴う地域課題に対して教育や保育の視点から解決策を検討していく	地区費	継続	10	100	10	402	実施内容のとおり	上村公民館 他
	かみむらっこ応援団（CS）…4/15、6/27、8/9、9/26、2/20 子育て支援会議…6/10、10/3 他 放課後見守り事業…運営200日 小保地域見学会…7/7 小学校体験入学、地域体験学習…8/20 全国へき地教育研究大会…10/11	地区費	継続	10	100	10	402	実施内容のとおり	上村公民館 他

南信濃公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	乳幼児学級「すこやか学級」		市・地	継続	15	68	2	実施内容参照	和田保育園他	
学級・講座	未就園児とその親を対象に、子どもの成長発達への確認、子育てに関する知識の習得、親同士の仲間作り、子どもの社会性の育成を図る		市・地	継続	15	68	2	【総括と今後の方向付け】 和田保育園と合同で実施している。上村保育園合同開催も実施している。 ①5/14開講式②6/11どちらかに遊び③7/3ベビーマッサージ(和田・上村合同) ④七夕飾りを作ろう&水遊び⑤7/19保育園夏祭り⑥8/3いっぴだ人形劇フェスタ保育園公演(和田・上村合同)⑦8/4いっぴだ人形劇フェスタ公演人形劇を観よう⑧(南信濃地区公演自由参加)⑨9/31リズムミック講座 講師:山崎友子さん(和田・上村合同)⑩10/5保育園 運動会⑪10/12リズムミック講座 講師:山崎友子さん(和田・上村合同)⑫12/4クリスマスお楽しみ会(まちづくり委員会役員がサンタ役)⑬12/18わらべうたを歌おう講師:中津先生(和田・上村合同)⑭2/181日入園⑮【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】3/3開講式・手形・足形で成長の記録づくりパン作り 講師:山崎一代さん	評価	【総括と今後の方向付け】 保健師・保育士・公民館で計画・実施。事業企画にあたっては親の意見も取り入れながら、主体的な活動となるようにしていく。対象者が保育園への未就児保育を利活用しているため、保育園と連携を図り実施するほか、親の参加しやすい環境づくりのため土日開催も検討していく。信州自然型保育あるいはいい型自然保育と小学校で取り組むユネスコスクールの連携を検討する。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	家庭教育講座		市・地	継続	1	26	26	11月11	南信濃地域交流センター	
学級・講座	学齢期の子を持つ親を対象に、子どもの基本的な生活習慣について考える機会とする。		市・地	継続	1	26	26	【総括と今後の方向付け】 ◆和田小学校PTAとの合同講演会 「ネット こが心配！～今、身近な大人にできること」 講師:セーフティネット総合研究所理事 南澤信之先生 今や中山間地域の子どものスマートフォン・タブレットの使用はもちろん、ゲーム機によるオンラインも容易にできるなか、依存、トラブルそして健康被害への心配事から実際に大人がどのような対応が必要なのかに講演いただいた。	評価	【総括と今後の方向付け】 ネットトラブル回避への大人の対応を学ぶと同時に、これからのネット社会を生き抜くための置換的思考力の必要性を共有した。単に利用制限したり叱るのではなく、親子の会話から子どもを育てることの重要性を認識した。 今後も小学校のPTAと合同で実施。学童期の子どもを持つ親の課題解決に繋がるような内容を検討する。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	高齢者福祉学級		市・地	継続	0	0	0	3月5日	南信濃地域交流センター	
学級・講座	高齢者のみならず「福祉」というテーマを地域全体で考え、意見交換する機会を図る。		市・地	継続	0	0	0	【総括と今後の方向付け】 【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】 南信濃高齢者クラブ共催 ①基調講演 「人生会議」してみませんか 講師:後藤医院 院長 後藤 暁先生 当地域における超高齢化は独居、高齢者家族の増加を招いている。「人生会議」を通して、家族や関係機関と話し合い、自らの「死生」について考える機会とした。 ②軽運動については健康学習に計上	評価	【総括と今後の方向付け】 高齢者家庭等が増加する中で、認知症・コミュニケーション希薄問題など地域の高齢者やその家族にとって不安や課題は山積している。今後も高齢者や家族が心豊かな人生に向かって学習する機会のため講座を展開する。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	人形劇団育成講座		市・地	継続	23	271	8	実施内容参照	実施内容参照	
学級・講座	地域住民を対象に、人形劇を通じて、地域づくりを図る。		市・地	継続	23	271	8	【総括と今後の方向付け】 高齢者有志で人形劇団を設立。小学校人形劇指導や各地区での上演などを実施。劇団名「遠山☆きらり」 ◆講座 5月～8月 週1～2回 合計19回 ◆人形劇講座 6/27 講師:くすのき燕先生 ◆和田小学校人形劇交流 5/13、1/21 ◆公演 8/4 いっぴだ人形劇フェスティバル2019南信濃地区公演inかぐら湯 演目「ふじひめものがたり」	評価	【総括と今後の方向付け】 8年目を迎える平均年齢78歳の7人組。参加者同士切磋琢磨し技術向上を図っている。昨年に引き続き小学校人形劇の指導など学習により積み重ねてきたものを伝えていくことにも力を入れることができた。今後も民話を次世代に伝えていくことを目的にしながら継続的な取り組みにつなげていきたいが、体力低下など体にかか

南信濃公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	女性学級	市費	継続	2	27	649	649	実施内容参照	実施内容参照
	地域の女性を対象に、地域の課題に目を向けた、学習・交流の機会の提供を図る。	女性(18歳以上)を対象に学習と交流の機会を図る。 ①9/26、9/29「陶芸教室」講師：せせらぎの里陶芸館 松沢進さん 11名 ②12/26「フラワーアレンジメント講座」講師：ラブリ 伊藤篤さん 16名 会場：南信濃学習交流センター							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書分館との合同事業	市・地	継続	8	154	15	1,331	実施内容参照	実施内容参照
	①4/20 子どものための読み聞かせ 11名 南信濃学習交流センター②4/24 大人ののための読み聞かせ 8名 南信濃学習交流センター③5/25 大人のための読み聞かせ 14名 南信濃学習交流センター④5/31 読み聞かせとお楽しみ会13名 南信濃学習交流センター⑤6/22 紙芝居 18名 南信濃学習交流センタ ⑥8/1 人形劇バスツアー 38名 飯田文化会館、セントラルパーク⑦10/30 ハロウィーン(紙芝居) 23名 和田保育園 ⑧12/21 クリスマス会 29名 南信濃学習交流センター ⑨【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】紙芝居&給食会in旧木沢小学校 (飯田市中央図書館、南信濃公民館木沢分館共催)	【総括と今後の方向付け】 各回、南信濃図書分館と企画して実施した。子どもだけではなく、大人の読み聞かせも定期的に、本を読む習慣を地域全体に広げていける様実施した。また地域の高齢者とのふれあいの機会も設けたことで、世代間交流にもつながりが持てた。旧木沢小学校での紙芝居の上映は新型コロナウイルス感染症発生及び拡大防止のため中止となってしまうため、次年度開催する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間	市・地	継続	5	189	38	1,331	実施内容参照	実施内容参照
	長期休暇を利用し、地域資源を活用した体験型学習を展開また、長期休暇中の受け皿づくりのモデルケースを検討する。 保護者・地域ボランティア及び学校が連携し地域ぐるみで子どもを育む実践活動。 ①7/29 ◎防災学習(南信濃地域交流センター) 講師：日赤奉仕団南信濃分団、市危機管理室◎スイミングスクール(南信濃B&G海洋センター) 講師：株式会社 アイスク2名 参加者37名 ②7/30さかなのつかみ取り 天仁の杜 講師：鎌倉 詔さん 参加者49名 ③7/31木沢のお宝探し とレジャーハンティング 講師：木沢地区活性化推進協議会 参加者33名 ④8/1人形劇観劇バスツアー 参加者38名 ⑤フェスタデコロレーション 参加者32名 ※春休み子ども見守り事業自磨の時間は3/18～4/3日に実施予定。	【総括と今後の方向付け】 事前に保護者と小学生にやりたいことをアンケート調査した。保護者は、課外授業のような地域の自然を満喫できるようなものを求めている。子どもたちも探検や、ものづくりに興味を示した。 今年も中学生を対象に子どもの見守りをする世話役を依頼したところ、3名の生徒から申し込みがあった。児童と生徒を繋げ、小中一貫教育の橋渡しになるのでは ないかと、可能性を感じている。保護者からは毎年のように継続を要望する声があがっている一方で、長期休暇中の居場所づくりを求めている。単に子どもを預けられればいいのか。学童保育として保育事業を求めているのか。話し合いを継続していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	自磨の時間ー遠山郷ESD塾ー	市・地	継続	1	71	27	88	実施内容参照	実施内容参照
	遠山三校の小・中学生を対象に、大学生による補修学習で学習意欲の向上や大学生との交流や、自然等の体験学習から地域資源の価値を再認識を図る	大学生による補修学習(学習塾)と自然などの地域資源に触れる体験学習を実施。 8/10 補修学習、料理実習(三角寿司づくり) 8/11 補修学習、自然体験(上村川の生き物観察・川流れ体験) 8/12 補修学習 共催：南信濃公民館、立教大学ESD研究所							

南信濃公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	おやすづくり		地区費	継続	1	18	18	1,331	12月28	南信濃地域交流センター
	和田小学校学校運営協議会を軸に、地域で子どもを育む実践活動推進を図る。	実施内容	【総括と今後の方向付け】 和田小学校5年生が総合学習で行う「米づくり」の成果発表の場と、収穫後の実際のわらを使い、地元住民が講師となっておやすづくりを実施。 評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ブッポウソウ保護活動		市費	継続	1	26	26	1,331	4月30日	南信濃地区内
	地域住民を対象に自然保護に対する意識の向上を図る。	実施内容	ブッポウソウは県の天然記念物に指定されていて、県内では20つがいほどしかいない貴重な鳥で、その保護活動を通じて自然をを理解し、自然を保護する気持ちを育てる機会を醸成する。 評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	映画「いつくしみふかき」試写会		地区費	新規	1	312	312	1,331	11月24日	遠山中学校
	地域住民を対象に、芸術鑑賞することで、感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにするような機会の提供を図る。	実施内容	当地区に本籍をおく、遠山雄さんが企画・主演し、飯田下伊那オールロケとなった本映画が完成し、遠山郷の皆さんに感謝の意を込めて上映させていただく機会をいただきたいと強く願うの想いと、当地区の芸術祭の一環として映画上映することにより一層、芸術の秋を満喫し、住民が関わってききた映画の全貌を明らかにし、この地で撮影した映画が数々の賞を受賞している現実を知ること、一人ひとりが自己有用感を味わえる場とした。 評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサートin遠山郷		地区費	継続	1	62	62	1,331	7月13日	かぐらの湯交流ホール
	市民を対象に、音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらうことを目指す	実施内容	aru企画を通じ普段聞くことのできないプロの演奏会を、文化委員会・南信濃振興公社・地域活性化団体 チームモッセによる実行委員会方式で開催。 遠山中学校吹奏楽部出演。 【総括と今後の方向付け】 南信濃振興公社とチームモッセとの共催により昨年度に引き続き実施した。普段聴くことのできない演奏を間近で聴くことができた。また、中学生によるオーブニング参加により、生徒の活動発表の場として地域の方々にご覧いただく機会を創出できた。しかしながら、来年度は経費の約7割を負担する南信濃振興公社がないため、経費捻出については十分に議論が必要である。 評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	星空観察会		市・地	新規	1	23	23	1,331	7月30日	南信濃B&G海洋センター
	地域資源を活用し、星空或いは惑星観察から地球環境学習へ展開を図る。	実施内容	座学と天体望遠鏡による星空観察を実施。 時期によって星空がどこに位置するのかや、星座の特徴を学習した。 講師：飯田市美術博物館 学芸係 吉住 千亜紀さん及び川手 俊美さん 後援：飯田市教育委員会 評価							

南信濃公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2019		地区費 継続	3	193	193	1,331	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	実施内容 地域住民を対象に、人形劇を通じて、地域づくりを図る。		◆8/1人形劇観劇バスツアー 参加者38名 フェスタで賑わう街中の様子を体験することで人形劇のまちを改めて知ってもらう機会として実施。 ◆8/3南信濃・上村保育園公演 参加者77名 和田保育園PTA及び上村保育園PTAが中心となり実施。中学生ボランティア7名参加 ◆8/4南信濃地区公演 参加者78名 文化委員がが中心となり実施。東京農工大学生がスタッフとして運営に参加。				【総括と今後の方向付け】 南信濃地区実行委員会の皆さんにより、フェスタを知ってもらい当地区ならではの特色ある人形劇公演を目指した。結果、オリジナル企画として、地域資源を活用し、オーブニングで此田神楽の披露、上演後に伝統工芸品ふじ糸のワークショップを実施するなど、公民館委員のみならず、多くの住民が参加できるフェスタになった。こうした取り組みで自己有用感ややりがいを見出し、主体的なフェスタへの関りの推進を図りたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	健康増進事業 毎週月曜日はみなみしなの健康の日 実施内容 日常的な健康づくりを啓発するため、ウォーキングを中心に健康づくりの機会をつくる。		地区費 新規	14	218	218	1,331	実施内容参照	南信濃地区内
			共催：南信濃まちづくり委員会健康福祉委員会 開催日：毎週月曜日19:00～20:00 実施期間：6月～10月 ※11月～3月は休止 ウォーキングが主となり、地区内を各自のペースで周遊。 雨天時はニュースポーツや体幹トレーニングを実施。				【総括と今後の方向付け】 ウォーキングを中心に、生き生きとした体づくりを行った。中学校の先生も積極的にご参加いただき、地区住民との交流の場になった。体育委員を中心に、雨天時の対応やアイスブレークの内容を考え実施するなど、住民の主体的な取り組みになった。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	南信濃健康まつり 実施内容 地域の住民を対象に健康や食に対する関心を高め、自身で行う健康づくりのきっかけの場を提供する。		地区費 新規	0	0	0	1,331	2月29日	南信濃地域交流センター
			【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】 健康福祉委員会と体育委員会合同で実施。 ニュースポーツ交流会 クラブ・囲碁ボール・ボッチャ				【総括と今後の方向付け】 村時代から行ってきた健康まつりに併せ、ニュースポーツ交流会を開催。高齢者から子どもまで幅広い世代が参加し交流が行われた。村時代から整備してきたニュースポーツが多くあることから、体育委員自身もそれぞれのルールを学ぶと共に、地域での活用が図られるよう取り組みを行っていききたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	南信濃地区市民運動会 実施内容 地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。		地区費 継続	0	0	0	1,331	10月13日	南信濃運動場
			【台風19号の影響により中止】 地域住民の健康増進、コミュニケーション機会の提供として、公民館委員会を中心とした実行委員会体制で実施。 全18種目。内、5つの地区対抗種目は、木沢・南和田・八重河内・和田橋南A・和田橋南B・和田橋北の6チームに分かれ実施。				【総括と今後の方向付け】 全公民館委員による実行委員会体制により企画立案を行った。テーマを設定したことにより、どの様な場にしていきたいか共有することができた。少子化により保育園及び小学校単独での運動会開催の是非も検討し始めているため、地区運動会が寄り添えるように二水面下で協議していききたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第39回南信濃地区ソフトボール大会 実施内容 地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。		地区費 継続	1	88	88	1,331	8月25日	南信濃運動場
			遠山中学校、橋北、夜川瀬、南和田、南部・木沢、本町の6チームが参加。1チーム2試合のリーグ戦及び決勝戦。御射山ソフトとして親しまれ、恒例の行事である。地区ごとや中学生チームの参加で7チームが熱戦を繰り広げた。1チーム最低2試合できるように、変則トーナメント方式で開催している。				【総括と今後の方向付け】 地区内居住者や地区外に出ている地縁者、中学生と教員によるチームの参加もあり、大会が盛り上がった。地域の親睦を深める機会として、今後も継続していききたい。		

南信濃公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第65回南信濃地区野球大会		地区費	0	0	0	1,331	8月15日	南信濃運動場
体育事業	【雨天中止】 新町、西部、本町・南和田、木沢・八重河内の4チームが参加。トーナメント方式。盆野球として親しまれ、昭和24年から始まった歴史ある大会である。各チーム選手集めに苦慮しているが、お盆に帰省している方もメンバーに加わり実施してきている。		継続	0	0	0	1,331	8月15日	南信濃運動場
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 伝統を受け継ぐ野球大会であり、帰省した方も参加できるのが特徴である。参加チームの代表と体育委員会を中心にした実行委員会方式で行い、運営も全て持ち回りで行われている。途中雨天となり全ての試合は行えなかったが、交流の場としての成果はあった。次年度以降も計画していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	広報「やまなみ」発行		地区費	4	-	-	-	実施内容参照	-
広報事業	年間4回発行、運動会開催時には運動会特別号を発行する。地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えする。 第189号6月30日発行 遠山郷助っ人名鑑 ※上村公民館広報委員会合同発行 第190号11月29日発行 特集：昭和平成令和へとつなぐわたしたちの大切な運動会 特別号 運動会特集号 ※運動会中止の為発刊せず 第191号1月30日発行 特集：遠山地区成人式 第192号3月31日発行予定 遠山未来フォーラム シリーズ：「匠人シリーズ」こんにちは赤ちゃん「ファミリーアルパム」「てんぐのくしゃみ」「こんぱすらいふ」「4コマ ヤマナミ戦隊トオヤマジャヤー」		継続	4	-	-	-	【総括と今後の方向付け】 毎年特集記事に力を入れ、その時々にあった話題を掲載した。匠人シリーズでは委員の取材記事によりその人の背景を取材すると共に特集とリンクした誌面作りを心掛けた。 今年度からイラストが得意な委員が加わり、さらに読み応えのある紙面になっている。委員が楽しみながら作りあげている。と地区住民に問いかける内容今後効果的に情報発信ができるように、文章講座などを実施し、委員の技術向上を図りたい。	
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 地域内の社会教育団体や地域内の芸術家を中心に実行委員会体制で主体的に運営を行っている。他地域と異なることができた。しかしながら、実行委員の高齢化が進み、多くの来場者をお迎えすることができた。若者の参画が皆無であるため、準備の大変さや出展数の減少が見受けられた。若者の参画が皆無であるため、年間を通じてものづくりの大切さなどを地域全体へ周知していく取り組みが必要である。今年度は高齢化により準備が大変であることから、まちづくり委員会に会場準備を依頼し、スムーズな設営ができた。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第22回南信濃芸術祭		地区費	1	274	274	1,331	11月21日から24日	南信濃地域交流センター
その他	日ごろの作品を地域の方々に鑑賞してもらう成果発表の場として実施。計画から準備、片付けまで実行委員会体制による運営で行った。 展示内容：油彩画・水彩画・水墨画・デッサン・彫刻・切り絵・貼り絵・陶芸・工芸・面・染色など。同時に、保育園、小中学校の子ども作品展を同時開催。今年度は新たに、和田小学校4年生の地域学習をポスター展示した。		継続	1	274	274	1,331	11月21日から24日	南信濃地域交流センター
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 地域内の社会教育団体や地域内の芸術家を中心に実行委員会体制で主体的に運営を行っている。他地域と異なることができた。しかしながら、実行委員の高齢化が進み、多くの来場者をお迎えすることができた。若者の参画が皆無であるため、準備の大変さや出展数の減少が見受けられた。若者の参画が皆無であるため、年間を通じてものづくりの大切さなどを地域全体へ周知していく取り組みが必要である。今年度は高齢化により準備が大変であることから、まちづくり委員会に会場準備を依頼し、スムーズな設営ができた。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	遠山未来フォーラム		地区費	0	0	0	1,331	3月7日	南信濃地域交流センター
その他	【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】 持続可能な地域を目指し、地域の将来像を地域住民が集い考える機会の一歩として企画。地区内で活動している各種団体を招き、それぞれの取組みを共有することで、新たな出会いや各種団体のつながりの創出をイメージしており、これらが横断的かつ統合的な取り組みになることで、住民の参画を高め、より一層の実践力あるいは自治力を育むきっかけづくりの場とする。		継続	0	0	0	1,331	3月7日	南信濃地域交流センター
	実施内容							【総括と今後の方向付け】 地区内の動きに注視し、館長と十分な協議を行い企画し、本事業を通して学び合い、語り合うことで各団体の取組みが活性化され、横断的かつ統合的な活動になるよう働きかけていく。	

南信濃公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	千代峠交流会	市・地	新規	1	23	23	2,980	11月2日	南信濃地区
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 参加者が減少してきており、千代峠をきっかけにした交流もさみしくなっている実態があるものの、実際に参加してみると交流の大切さがわかり今後も継続していきたい。地区の中でもこの交流が財産であることを広めていきたい。 進行中である千代峠の整備については、文化委員と万古溪谷会を中心に令和2年度には県の元気づくり支援金を申請し専門業者に入ってもらい整備することを進めていきたい。							
その他	関係人口創出事業 霜月祭りプロジェクト	地区費	新規	7	398	398	1,311	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 ウチとソトの関係人口を拡充しながら、人と人の出会いやつながりを築き、本事業を通じて一人ひとりの地域活性化の実践経験の場となった。暮らしに根付き、氏子とともにあり続ける霜月祭りを多視点場で見つめ直し、歴史を学び先人を敬い、今という時代を創りあげていることに有用感を持つことができた。 地元の子どもたちは早朝から大人と準備を進め、火おこしや飾りつけをして舞の奉納を迎えた。面の登場では特別に3名の男子児童が役をいただくことになり、堂々とした姿を見せられるなど、得難い経験をすることができ、祭りを誇りに思う気持ちが高校生も真剣になり、自主練習を重ね、素晴らしい舞を披露してくれた。よそ者を温かく受け入れて下さりうれしかったと感無量の様子だった。 本来は霜月祭りを通して地域学習から、地域課題解決に対しての具体的なアプローチをしたかったが、たどり着けなかった。 次年度は本プログラムの質を高めていきたい。							

Aブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	旧市5地区野球大会		事業区分 継続	1	100	100	8チーム	5月12日	押洞運動場
	実施内容 旧市5地区の市民を対象に野球を通じての交流を目指す。	地区費	継続					【総括と今後の方向付け】 各地区とも既存の野球チームがないため、体育委員が声をすることでチームを編成し、開催している。 参加チーム数：橋北2、橋南1、羽場2、丸山1、東野2 優勝：橋南、準優勝：丸山、3位：橋北A	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	Aブロック広報・館報研修会		事業区分 継続	1	30	30	50	6月29日	羽場公民館
	実施内容 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	他会計	継続					【総括と今後の方向付け】 毎年1回研修を開催している。 演題：「伝えたいことは何か〜館報作りのヒント・新聞の伝える工夫」 講師：信濃毎日新聞社 読者センター 山善文智氏	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	丘の上5地区囲碁ボール大会		事業区分 継続	1	0	0	30チーム	3月8日	丸山小学校体育館
	実施内容 旧市5地区の住民を対象に、ニュースボールの普及のための講習と交流を目指す。		継続					【総括と今後の方向付け】 旧市5地区のニュースボールでの交流のために開催。今年度で6回目となる。各地区で地区全体に参加者募集の周知し、「ニュースボール体験会」も並行して実施した。 参加チーム：30チーム（各地区より6チーム参加） ニュースボール体験会：スポーツ吹き矢、クッブ、ポッチャ（飯田市スポーツ推進委員協力） 大会終了後には、スポーツ推進委員と体育委員による懇親会を行い、5館の交流会を実施。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	Aブロックニア・レディースソフトボール大会		事業区分 継続	2	150	75	5チーム	実施内容参照	押洞運動場
	実施内容 旧市5地区の市民（高齢者と女性）を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。		継続					【総括と今後の方向付け】 5地区ともニアソフトボールの団体があり、運営などは担当チームが自行的に行っている。参加者の生き甲斐にもなっており、次年度も引き続き実施していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	Aブロック女性バレーボール大会		事業区分 継続	2	120	60	5チーム	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容 旧市5地区公民館に所属するバレーボールチームを対象にバレーボールを通じての交流を目指す。		継続					【総括と今後の方向付け】 各公民館所属のバレーボールチームの日頃の練習成果を発表する機会として開催し、地区を越えた交流につながっている。目的が親睦・交流のため、試合結果に基づく順位は付けず、和気あいあいとした雰囲気での実施できている。次年度以降も当番館を中心として実施していきたい。	

Bブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名						開催期日				開催会場		
ブロック事業	Bブロック館長・主事学習会		予算区分		事業区分		開催回数	のべ参加数		1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	
			0円	継続		1	12	12	21	【総括と今後の方向付け】 今年度は外国出身者が多く暮らし山本地区の特徴的な取り組みとして多文化共生の活動に			実施内容参照
	目的 Bブロック公民館職員を対象にブロック内に点在する地域資源の学習会を開催し各地域に対する認識を深める。		実施内容 ①「飯田市に暮らし外国人の状況、課題について」 飯田市男女共同参画課長補佐 小川 博さん ②「山本地区での多文化共生の取り組みについて」 山本公民館 森本 常美館長 ③「この地域に暮らし外国出身者の方の想い」 話題提供者 今井 ルースさん、半崎ひろみさん(山本地区在住)		評価 外国人の暮らしの現状や課題をお話いただいたり、実際に地域に暮らし外国出身者の方から生活するうえで苦労したこと、うれしかったことなどお聞きした。 その中で外国人が前向きに日本で暮らししていくために地域とのつながりが重要で、また地域の側からそのよさを伝えながらアプローチしていくことが必要だということとを共有した。 また研修終了後の懇親会に話題提供者のお2人も参加いただいた、和やかな雰囲気の中でさらに詳しいお話ができた。 今回の研修がきっかけで県公民館では話題提供者が協力して社協団体が立ち上がるなどその後の活動にもつながった。								

Cブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Cブロック情報交換会		地区費	継続	1	58	58	235	6月15日	下久堅地区内
	目的	ブロック内の公民館委員を対象に、委員同士の研修・研鑽・情報交換を目的に開催する。	【総括と今後の方向付け】 多くの公民館委員の参加をいただき、下久堅地区での取り組みを実際の現地に行ってみる・体験していただくことで、より地域を知っていただく機会となった。懇親会の中で、情報交換を行えたので、担当地区を回して実施しているのだからこういった形式の情報交換会も良かったと感想をいただいている。来年度も継続して実施したい。							
		実施内容	本年度は次のような形態で実施した。 3グループに分けて下久堅地区内巡り ○下久堅ふれあい交流館にてひさかた和紙の紙漉き体験 ○旧瀧澤医院の見学 ○風の学舎の見学	評価						

Dブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック小学生交流会		地区費	1	66	66	200	8月20日	野池親水公園
	Dブロック内6小学校の児童を対象に、中学校進学前の交流を図りつつ、地域の特色や施設を知る	内容：野池親水公園で自然遊びとカレーライス作り 対象：上久堅、千代、千栄、龍江、三穂小学校の3～6年生 講師：万古栗谷会 ※小学生同士の交流と地域を知ることとを目的として5年目。					【総括と今後の方向付け】 地区を混ぜたグループ分けと協力してのカレーライス作りによって、小学生にとって中学校進学前の交流の場となっている。夏休みの後半に実施したところ、昨年に比べ参加人数が多くなった。長期休暇中の子供の居場所としても、家庭からの期待が高まっている。次年度も交流し学べる機会として実施していく。		
							評価		
ブロック事業	Dブロックバドミントン大会		予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Dブロック5地区で活動するバドミントンチームを対象に、地区を超えた交流と健康増進を図る	上久堅、千代、龍江、川路、三穂のバドミントンクラブが参加し交流戦を実施 【順位】優勝：川路 準優勝：龍江 3位：上久堅 4位：三穂 5位：千代 チーム代表者会などで、試合内容の検討を行い、参加者による自主的な大会運営をしている。		1	50	50	9,093	9月29日	竜峡中学校体育館
							評価		
ブロック事業	Dブロック交流スポーツ大会		事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	スポーツを通じてDブロック公民館委員及び住民同士の交流を行い、各地区の情報交換の場とする	各地区2チーム(公民館委員チームと各地区で活動するクラブチーム等)による交流戦 共催：飯田市スポーツ推進委員協議会 種目：ワンバウンドふらば～るバレー 成績：クラブリーグ 優勝：上久堅 準優勝：三穂 3位：千代 4位：川路 5位：龍江 公民館リーグは順位をつけない		1	72	72	9,093	2月23日	龍江小体育館ほか
							評価		

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
昭和 22以前				21. 7 公民館設置次官通牒 憲法・教育基本法・自治法
23	飯田市民館設置 (館長は市長兼務)	講演会等さかん ナトコ巡回映画 青年補習学校 (7)	生活合理化展共催	教育委員会法
24	社会教育法公布		スクエアダンス普及	
25			青年演劇 コンクール (郡公)	図書館法 文化財保護法
26				博物館法 (学芸員設置) 下伊那公民館主事会発足
27	市営球場建設			下伊那公運協脱会
28		青年学級 (8) 天龍峡夏期大学	館建設基金 バレエ公演	青年学級振興法施行
29	中央公民館落成	婦人学級始まる		
30		婦人文集活動興る		
31	地区公民館 8 館並立 (専任主事 8 人) 公民館条例制定			第 1 回町村合併 1 市 7 ヶ村 市図書館条例制定 市連合青年団結成 地方教育行政の組織及び運営 に関する法律制定
32	市公民館処務規則			市図書館分館規則
33		通信教育学級開設		体育施設条例
34	告示「公民館の設置運営に 関する基準」 社会教育法一部改正	ラジオ婦人学級 開設		
35	市民プール落成	政治学習興る		
36	公民館 9 館並立となる (社教主事 1 人 公民館主事 9 人) 使用料条例			4 月川路村編入合併 6 月梅雨前線集中豪雨災害 過疎地域の人口流出目立つ スポーツ振興法 テレビ普及
37			第 1 回公民館大会	農村部人口流出続く
38	松尾公民館使用料条例 社教主事設置 1	商業青年学級開設 国庫補助事業で家庭教育学 級始まる	第 2 回公民館大会	地域開発の声おこる 文部省：進展する社会と公民 館
39	地区公民館 12 館並立 地区公民館使用規則	青年学級 (6)	県公民館大会飯田開催 (市公大会合流)	上久堅、千代、龍江の 3 ヶ村、 市に合併
40		青年学級 (11) 母親文庫 (14 グループ)	歩こう会始まる	下伊那テーゼ「公民館主事の 性格と役割」発表
41			母親バレーボールさかん	文化財保護条例制定 市、地財法準用
42	下久堅虎岩分館設置	松尾学童クラブ開設		全公連「公民館のあるべき姿・ 今日的指標」発表
43	旧市、5 地区館設置で 16 館並立となる (公民館主事 14 人)	青年学級減少 (5)	成人式 8 月実施 早起き野球、体操祭さかん	体育指導委員設置規則
44			青年文化祭 (市連青)	
45		文部省囑託で婦人学級		旧小笠原書院条例制定
46	公民館主事に社教主事を 補職 1 人 青年学級規則 松尾水城分館設置		文部省委嘱事業「公民館運 営基準研究」始まる 地区市民運動会さかん	社会教育審議会答申「急激な 社会構造の変化に対処する社 会教育のあり方について」

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
47	県民運動広場管理 社会教育指導員設置 松尾明分館設置	青年セミナー開設	公民館芸能祭始まる	飯田文化会館開所
48	飯田市民公民館運営基準研究報告書作成（４つの運営原則を打ち出す）	高齢者教室開設（２） 市民セミナー開始 主事会報創刊 10 月	県民体育飯伊大会	
49	山本公民館建設 松尾新井分館設置	市民セミナー全地区で実施 竜丘でモデル婦人学級	地区文化祭さかん	社会体育係長設置 社会教育課に青少年係設置 少年補導センター設置 考古資料館開所
50	市公民館改築工事始まる 竜丘公民館建設	龍江でモデル婦人学級 高齢者教室（６）	青年スポーツ祭始まる 母親バレーボール大会、社会教育課から公民館へ	市財政悪化 夜間照明施設 9 ヶ所 学校夜間無人化 公民館支所宿直廃止 スポーツ主事設置 社会教育課に国体準備事務局設置
51	飯田市民公民館竣工 竜丘公民館竣工 公民館が社会教育機関として独立（副館長制となり、市公に管理係、指導係を設置）	松尾でモデルセミナー 座光寺でモデル婦人学級 母と子の公民館活動はじまる（旧市 5 館）	趣味の教室さかん 市公民館開館記念行事として郷土日本画家遺作展及び遺作集刊行 OB 野球大会	学校施設開放始まる
52	下久堅公民館竣工	セミナー学習活発となり、各地で地域課題への取り組みが広がる。 市民大学講座、乳幼児学級始まる。	優良公民館として文部大臣表彰受賞	市民憲章制定 第 3 次全国総合開発計画策定
53	旧市ではじめての単独館 羽場公民館竣工	健康学習広がる 運営委員会方式の学級運営	県公民館大会が飯田市で開催	やまびこ国体 市制 40 周年 第 2 次基本構想・基本計画策定 教育委員会に教育次長を設置
54	丸山公民館竣工 千代公民館竣工	地区公民館でも地域に根ざした大学講座開設の動き	人形劇カーニバル始まる	地方の時代、文化の時代 ビデオ機器が普及 社会教育委員設置 社会教育功労者表彰規定設置 飯伊がモデル定住圏に指定される 中教審「地域社会と文化について」答申
55	上久堅公民館竣工	セミナー学習が発展し、地域計画づくりの動きも表われる	健康学習がブームに	
56	川路公民館竣工	福祉テーマの学習活動が始まる	高齢者の文集づくりさかん	中教審答申「生涯教育について」 新飯田市立図書館竣工
57	龍江公民館竣工	天竜峡夏期大学 30 周年 成人男性を対象とした学習も ビデオ利用の放送利用学習		
58	三穂公民館竣工	少年対象の学習始まる		国土庁定住構想推進調査 「地域文化の振興に関する調査」が行なわれる
59	東野公民館竣工	「ふるさと再発見」をテーマにいくつ かのプロジェクト事業を実施	人形劇グループの育成 飯田線教室 風越百景児童絵画展	鼎町と合併 風越山麓研修センター開所 飯田市が非核平和都市宣言

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
60	橋北、橋南公民館独立 市公主事配置 座光寺公民館竣工 公民館予算2億に	明日の親の学級をはじめ、 各地で家庭教育学級さかん 市民大学講座「伊那谷の自然と文化シリーズ」始まる 天文教室各地で実施	カーニバル事務局が公民館に 綱引き大会広がる	学校開放夜間照明有料化
61		親子対象の学習活動さかん 平和を考える婦人の集い開催 ハレー彗星観測会	放送利用中南地区研修会開催 ビデオ機器が充実 市民ギャラリー設置 郷土日本画家遺作展	
62	伊賀良公民館竣工 社会教育主事7人	主婦の再就職準備 セミナー、高校生講座始まる	松下財団の視聴覚教育研究 事業 世界フェス事務局設置	第4次全国総合開発計画策定 第3次基本構想、基本計画策定 体育課設置 美術博物館建設始まる 人形劇場建設始まる
63		家庭教育地域交流事業を受けて全地区で家庭教育に取り組む 情報活用能力育成講座	世界フェス開催 主事全員がフェス事務局を兼務 フェス終了後カーニバル事務局が文化会館へ移行	人形劇場竣工 文化会館竣工 生涯学習モデル市町村の指定を受け「生涯学習のまちづくり推進本部」設置
平成 元	松尾公民館竣工	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業始まる (むこう3ヶ年)	郷土日本画家6人遺作展 成人式1月開催に変更	飯田市美術博物館が開館
2			地域文化フォーラム企画課から事務局移管 人形劇サークル創 設育成事業 飯田市公民館大会学習交流都市構想の発表集会を兼ねて開催	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律制定
3		マップづくりさかん	県主事総会飯田市で開催	婦人行動計画策定作業始まる
4	公民館使用料金改定	平和学習事業費が予算化され、平和学習の内容強化が図られる 主事会に事業別プロジェクト体制	県公民館大会、飯田市で開催	新市立病院竣工 信州飯田女性プラン策定 生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」
5	新山本公民館竣工	補助事業で「青年塾」「男女共同参画塾」実施	成人式を青年塾の活動発表の場に模様替え 飯田市公民館活動史刊行 体制研究委員会で分館活動の研究	上郷町と合併 飯伊地域が地方拠点都市に指定される 浜松とのりんご交流始まる 女性室設置
6		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」 「青年塾」 「地域課題発見」 「学習グループネットワーク」で研究と実践が行なわれる	「はたち」のイメージソングづくり、成人式で発表	21 飯田まちづくり会議、基本構想のたたき台がつくられる シャルルヴィルメジエール市などへ主事2人視察研修参加 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実について」
7		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「地域課題発見」「市民ネットワーク」「分館補助金制度」「委員報酬」「市民参加とワークショップ」「公民館建設」で実践と研究が行なわれる	戦後50年で、平和を祈念した一連の行事「満州移民の集い」「平和フォーラム」などを開催 青年塾韓国扶余へ	基本構想、基本計画策定 全庁業務革新（キックオフ）に基づき、機構改革論議に阪神大震災、主事からもボランティアに参加

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
8		主事会プロジェクト「条件整備」が加わる 人事課と共催し、地域活動家の話を聞く研修会実施（月1度ペース）	青年塾のテーマを国際交流とし、マレーシアに訪問。 異文化セミナー開講 郷土日本画家遺作展開催、遺作集発行	機構改革により生涯学習課市公に配置 基本計画スタート 女性室独立配置 起業家支援セミナー実施
9		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」に加え「中心市街地活性化」が行われる。 「情報研究」が始まる	異文化セミナー「わいわいサロン」開設 狭間壮「心のうたコンサート」（公民館発足50年記念） 青年塾マレーシア、三遠南信、飯田（りんご）の交流を体験	公民館制度発足50周年 多くの公民館で50周年記念事業やその準備が始まる 東大教育学部ゼミが飯田市の教育文化活動を調査
10		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」で研究と実践が行われる	青年塾マレーシア、アウトドア体験（上久堅、大平）、こだわり体験（上久堅風土舎、下久堅大原さわやか 三穂生活改善グループ、浜松はたちの講座）	分館事業補助金を全分館に交付 人形劇カーニバルが20回で終了し「新たな人形劇の祭典」としてスタート
11		主事会プロジェクト「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」	新たな人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が盛大に開催。地区企画公演という新たな試みも	旧市公民館へiMAC配置 インターネットを活用した情報交換開始
12	社会教育法改正（公運審が任意設置制になるも飯田市は継続設置）	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「地域課題」「情報研究」	学社連携・融合の推進が課題	国のIT政策 全国的に荒れた成人式が話題に
13	新竜丘公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「情報ネットワーク」「地域課題」	成人式地域開催	各公民館でIT講習会開催 社会教育法の一部改正
14		主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「情報研究」「市民ネットワーク」「条件整備」「自然環境学習」「青年塾OB」 体制研究委員会で「分館事業補助金」「運営審議会のあり方」について見直し検討はじまる	第40回記念飯田市公民館大会開催 天竜峡夏期大学講座開講50周年	完全学校週5日制スタート。 飯田市公民館HPがリニューアルされ、（財）高度映像情報センターの公共HP運動でgoodsiteに選ばれる
15	公民館の設置及び運営に関する基準改正 勤労青少年ホーム公民館の組織内へ	主事会プロジェクト 「分館活動」「自治研究」「条件整備」「情報研究」 研究プロジェクト 「地域自治組織研究」	人形劇フェスタ5周年 今田人形発祥300周年	1市3村による任意合併協議会設立。併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が行われる 飯田市歴史研究所開設 飯田市文化芸術振興基本方針策定準備会スタート
16	公民館条例改正 （運審任期2年、使用料改定） -4月施行- 公民館主事の支所職員兼務 -4月発令-	主事会プロジェクト 共通テーマ：「住民自治を前提としたこれからの公民館活動」 館長会 「飯田市公民館の基本原則と今後の方向」についてまとめ 教育委員会へ提出	県公民館大会、下伊那（阿智村）で開催。飯田市も実行委員会へ参画。 各地区で地域づくフォーラム等開催し、自立への動き始まる	10/28 牧野光朗市長就任。文化経済自立都市を目指す 1市2村（上・南信濃村）による法定合併協議会設立、併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が庁内プロジェクトで進められる わがまちの“憲法”を考える 市民会議が発足

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
17	上村・南信濃合併に伴い、20 地区公民館、106 分館体制に 体制研究委員会を中心に、地域自治組織発足に向けて集中的に検討し、新たな公民館ビジョンを方向付けする	主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育ネットワーク」 「次世代支援」 「情報研究」	県公民館運営協議会主催公民館ステップアップ研修会を飯田市で開催	10/1 上村、南信濃村と合併 地育力向上連携システム整備事業 P J 発足 「公民館は、地育力向上の主要な拠点として、まちづくり委員会の中で他の委員会の活動と積極的に連携して活動していく。」とする市の基本方針が出る
18	地域自治組織の発足に向けて、飯田市公民館条例を一部改正（地区公民館の運営審議会を廃止するとともに、同施行規則の一部を改正し、専門委員会の名称、委員の人数、役職、任期などは公民館長が定め、専門委員は公民館長の委嘱に）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「総合教育支援」 「青年活動」 「情報研究」「食育」 館長会 定例館長会において、年間を通して、各地区の地域自治組織の検討状況や事例の研修、市長を始め関係機関との意見交換の場を設けた	「飯田の子どもを考える市民のつどい」を、市民の皆さんや専門知識のある方々による実行委員会を組織して開催	「地育力向上連携システム推進計画」を飯田市教育委員会が策定 教育基本法の改正
19	地域自治組織発足により、公民館がまちづくり委員会の公民館専門委員会として位置づけられる（飯田市教育委員会の社会教育機関としての位置づけも継続）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「これからの公民館を考える」「地域活性化」	原田泰治と子どものふれあい絵画教室 in 飯田、第 5 回郷土日本画家遺作展を開催、遺作集を発行	地域自治区、地域協議会、まちづくり委員会からなる新しい地域自治組織が発足
20	社会教育法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「公民館の旨味」	人形劇のまち 30 周年記念の世界人形劇フェスティバル、最後のアフィニス夏の音楽祭を開催	
21		主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育関係団体」 「公民館の役割」	アフィニス夏の音楽祭に代わり、新たに「オーケストラと友に音楽祭」が開催する。	飯田市教育振興基本計画がスタート
22		主事会プロジェクト 「人形劇」 「PLSD」 「公民館の役割」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「これからの地域づくりのあり方と公民館の役割」に関する共同学習を実施する。また、各公民館の役員を対象に公民館の役割や主事に関する意識調査を実施	県公民館運営協議会主催「長野県公民館館報関係者研修会」が飯田市で開催	館長会及び主事会での検証、東京大学との共同学習などを踏まえ、「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割」についてまとめる 第 1 次飯田市教育振興基本計画がスタート
23		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域資源活用」 「多様な主体との連携」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「飯田市の公民館分館の役割と位置付け」に関する共同学習を実施する。川路、龍江、鼎、上郷、橋南地区の分館や団体の活動状況を調査	完全復元伊能図全国巡回フロア展 in 南信州 飯田を、第 25 回の節目を迎える「飯田やまびこマーチ」に併せた記念行事として開催	

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
24	地方分権一括法の施行により、公民館運営審議会の委員の任命委嘱基準を公民館条例に規定した。	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「青年活動」 東京大学との共同学習 分館活動のさらなる掘り下げのための調査と、昨年の調査でまとめられた報告書をもとに報告会（分館役員研修会）を実施		公民館貸館マニュアル改訂 日本公民館学会飯田集会開催 未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す飯田研究集会開催
25		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「地域と学校を結ぶ」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において住民アンケートを実施	小中連携・一貫教育が全中学校区で始まる アジア人形劇フェスティバル開催 第51回飯田市民館大会記録的豪雪により中止	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」が始まる フィリピンレガスピプロジェクト始まる（3年間）
26	新千代公民館竣工 新下久堅公民館竣工 丸山公民館耐震化工事竣工 上久堅公民館耐震化工事竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「環境」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において実施した住民アンケート結果報告会を実施	小中連携・一貫教育2年目	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」2年目の受託 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会開催
27	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（教育委員会制度の改革）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「新成人」 「役割研究」 「地域×高校生共育」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	県公民館運営協議会主催「長野県公民館主事会研修・総会」を飯田市で開催 戦後70年記念事業として市公及び各地区で展開	下伊那テーゼ50周年記念フォーラムを阿智村で開催 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市民館大会に合わせて開催
28	新上村公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「高齢者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	第64回長野県公民館大会（飯田・下伊那）を飯田市で開催 市内全小中学校に学校運営協議会が設置され「飯田コミュニティスクール」となる	解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市民館大会に合わせて開催
29	社会教育法改正（地域学校協働活動の推進を位置づけ）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	地域学校協働活動の充実に向けた取組が本格的にはじまる	市制施行80周年記念事業が開催される 「飯田未来デザイン2028」がスタート 「第2次飯田市教育振興基本計画」がスタート 「文部科学省の組織再編案に関する請願書」を文部大臣と文科省に提出

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
30	新上郷公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	いいだ人形劇フェスタ 20 周年（カーニバルから通算 40 周年） 世界人形劇フェスティバル開催	民法の一部改正 2020. 4. 1 より成人年齢が 18 歳となる AVIAMA 総会が飯田市で開催される
31		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「若者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる		新元号「令和」となる

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
1	37年	11月13日	飯田市公民館	公民館と学習活動	立正大学 藤田秀雄
	主な内容： 公民館活動の充実のために地域の人たちの知恵を結集しよう。				
2	38年	12月1日	飯田市役所	暮らしにくさをどうきりぬけるか	生活科学調査会 田辺信一
	主な内容： 学習の相談相手になれる公民館にしよう。				
3	39年	8月7～8日	飯田東中学校	山と農村の問題	前都立大教授 戒能通孝
	主な内容： この年は飯田で開催の第13回長野県公民館大会に集中。				
4	40年	11月28日	飯田市役所	アジア情勢と日本	信大助教授 山岡利七
	主な内容： 生活に役立つ学習活動に答える公民館にしよう。				
5	41	12月11日	飯田市役所	公民館の現状と問題点	県社教主事 桜井彦郎
	主な内容： 地域課題の増加、活動の反省公民館の姿勢の確認のための事例交換。				
6	42	12月10日	市役所勤福センター	地域の変貌と公民館	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 生活課題の学習、施設の確保、市民の自主学習のために公民館の機能を活性化しよう。				
7	43	12月8日	市役所勤福センター	地域の文化活動	農文協 山田民雄
	主な内容： 前年と同じ				
8	44	12月14日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農文協 浪江虎
	主な内容： 前年と同じ				
9	45	12月6日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農協短大教授 美土路達雄
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化。				
10	46	12月5日	市役所勤福センター	社会教育行政と公民館活動	飯田女子短大 高坂詢
	主な内容： 前年と同じ				
11	47	12月3日	文化会館	これからの公民館活動	国立市公民館長 徳永功
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化、施設の充実公民館3階建論。				
12	48	12月2日	市役所勤福センター	学習文化活動をどう発展させるか	名大教授 小川利夫
	主な内容： 社会教育機関としての公民館職制の改善(体制の問題点)施設の充実。				
13	49	12月8日	市役所勤福センター	これからの公民館活動	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立、地域と生活課題に根ざす学習活動の定着。				
14	50	12月7日	市役所勤福センター	公民館のあり方を考える	市議会代表 市老連代表 市連婦代表 市連青代表
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立。				
15	51	12月12日	飯田市公民館	公民館の歴史30年を反省する社会教育機関としての充実を図る	中大助教授 島田修一
	主な内容： 主体者である住民と、援助者である教育機関(公民館)の関わりあい。教育機関としての行財政充実。				
16	52	7月24日	飯田市公民館	住民要望と公民館の役割	名大教授 小川利夫
	主な内容： 公民館活動の見直し。住民の求める社会教育活動と公民館の関わり。				
17	53	12月10日	飯田市公民館	なし	なし
	主な内容： 教育機関として充実させていくためのリーダー養成県公民館大会が開催されたため半日で修了。				
18	54	7月29日	飯田市公民館	まちづくりと公民館	名大教授 室井力
	主な内容： 基本構想に基づく基本計画をどう進めていくか。住民参加の意義。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
18	55	7月27日	飯田市公民館	民衆と学問	明治大学教授 後藤総一郎
	主な内容：地域づくりをする上での公民館の独自性。地方の時代、文化の時代といわれる中での公民館活動のあり方。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
19	56	7月26日	飯田市公民館	海外援助について考える ～ネパールで伝染病と闘った 20年の体験から～	神戸大医学部国際協力センター 専任教授 岩村昇
	主な内容：地域課題を解決していくためには諸団体バラバラでは解決できない。その連携の可能性についてと、行政の役割。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
20	57	7月25日	飯田市公民館	公民館発足当初の理念と これからの公民館のあり方	元文部省社会教育局長 寺中作雄
	主な内容：前年と同じ				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
21	58	7月24日	飯田市公民館	伊那谷の民俗芸能	東京国立文化財研究所芸能部長 三隅治雄
	主な内容：芸能文化の歴史的意義と伝承の重要性。地域づくりとしての芸能。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
22	59	7月29日	飯田市公民館	教育・文化の側面から地域の活性化 を図る公共施設の専門化類似化に 公民館が教育機関としてどう対処し ていくか	静岡県掛川市長 榛村純一
	主な内容：ニューメディア(理念)の地域づくり人づくり。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
23	60	7月7日	飯田市公民館	教育活動の実践方策の研究討議個 性的で魅力ある地域づくりのために	立教大学教授 室俊司
	主な内容：夜明け前の暮らしの文化。文化創造の学習の広場。地域の文化と自治体社会教育。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
24	61	9月7日	飯田市公民館	地域課題、生活課題を解決するた めに、自治能力の向上と共同体づく りに努める。私にとっての公民館	立命館大教授 木津川計
	主な内容：「地域を耕す、心を耕す」日本人ふるさと意識の再構築魅力ある地域とは。都市にとっての文化と人間にとつての文化。生きる喜びを何に求めるか。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
25	62	3月6日	飯田市公民館	「私にとっての公民館」「地域にと つての公民館」とは何か地方からの国 際化を考える	国際化シンポジウム 五十嵐富英 竹田扇之助 本間俊太郎 横田盛廣 松澤太郎
	主な内容：行政の主催する、地域づくりを考える集いを併催し、ムス飯田賞の表彰も行う「私にとって」「地域にとって」の公民館について、公民館委員、分館役員、講座受講生、地域代表、ムス受賞者などの立場から実践発表を行う。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
26	63	3月5日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりを考える家庭 教育地域交流事業の実践発表	地域文化とまちづくり 国土庁地方振興局地方都 市整備課長 一杉 喜朗
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムス表彰も行う「魅力ある地域づくり」にむけて公民館は何ができるか、分科会別に研究。別に家庭教育学級などの参加者の分科会も設営する。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
27	平成 元年	3月4日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりのためのプロジ ェクト事業について自然と人間を結ぶ	農工商が結びつく町調査報告 農文協 清水悟
	主な内容：公民館のプロジェクト事業としてはじめて魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業の発表。農文協の「農工商が結びつく町」を題材に分科会。助言者に調査に入った農文協職員を迎える。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
28	2	2月24日	飯田市公民館	学習交流の活性化 と 人づくり、まちづくり	シンポジスト： 玉井袈裟男、井上講四、 今牧英世、奥村頼人 司会：長谷部三弘
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムス表彰も行う学習交流都市構想の発表集会として位置付け、構想についてのシンポジウムと先進事例の発表会、地域の特色ある活動の展示発表を行う。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
29	3	3月1日	鼎公民館	生涯学習時代の公民館活動	愛知大学教授 小川利夫
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムス表彰も行う公民館委員、学級講座参加者グループ活動など公民館との関わり別の分科会を設ける。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
30	4	3月7日	鼎公民館	足元から今日の課題を考える	元松川町社教主事 松下 拡
	主な内容：これからの公民館活動が、時代に即した活動になるために「環境」「国際化」「男女共生」「高齢化」「子ども」の5つの今日の課題をテーマとした分科会を設ける。				

飯田市民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
31	5	2月27日	飯田市民館	21世紀を豊かなものに	動物写真家 宮崎学
	主な内容： 公民館活動が常に時代の流れを見据えたものとなるよう「高齢化」「国際化」「環境」の3つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。公民館活動の刊行を記念して公民館の歩みをスライド化して発表する。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
32	6	2月26日	飯田市民館	21世紀を豊かなものに	元日本モンキーセンター所長 河合雅雄
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて3年目。分科会は地域での実践活動の紹介を中心に構成した「子育て」「国際化」「環境」の3つで構成した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
33	7	2月25日	飯田市民館	21世紀を豊かなものに	地域計画プランナー 佐野章二
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて4年目。分科会は「自然環境と人間」「知縁でつくる豊かな地域」という今日的課題の分科会を今井信五(しろま自然の会)岡田芳子(高山 PANTS)座光寺良子(和楽)を講師に行なったほか「委員会活動」「分館活動」の実践に基づく分科会に竜丘、下久堅鼎、上郷から事例を発表した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
34	8	2月23日	飯田市民館	21世紀を豊かなものに	写真家 ジョニー・ハイマス
	主な内容： 置付けて5年目。分科会は「地域に生きるということ」「違いを楽しみ、地域を拓く」というテーマで地域での私たちにとって大切なものは何か開かれた地域のあり方は、について考え、また「分館活動」「委員会活動」の実践に基づく分科会に竜丘、東野、下久堅山本から事例を発表した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
35	9	2月22日	飯田市民館	21世紀を豊かなものに	お茶の水女子大学教授 藤原 正彦
	主な内容： 昨年までの実績を尊重しながらも新しい視点で実施した。交流会を1部、2部として、活動の実践発表を行った。1部では、県名古熊演芸クラブ2部では、「食」に関する活動を取上げ、市公の「わいわいサロン」、伊賀良公民館の「食塾」、丸山公民館の「食のふれあい工房」の発表。地区公民館報の掲示と感想の集約。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
36	10	2月21日	飯田市民館	21世紀を豊かなものに	登山家 田部井 淳子
	主な内容： 公民館活動の実践交流と地域課題についての学習、研究の場として位置付け。活動の実践発表は、千代不動太鼓。分科会は、市民に運営を任せ「新たな人形劇の祭典への地域の関わり方を考える」「歩くからはじまる地域づくり」「異文化交流、外国人から見た飯田市」「冬の街なか 自然体験」「ネットワークゆい いどばた会議」「暗くを共に歩む分館活動」の6つ。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
37	11	2月20日	飯田市民館	21世紀を豊かなものに	哲学者 内山 節
	主な内容： 2000年という節目を迎え、地道な地域における活動、取り組みを通して、来るべく21世紀の地域活動、公民館活動の方向性を探る。分科会「地域住民による企画・運営から学ぶ公民館」「人形劇の能性を求めて」「学社融合連携」「五感を使って異文化交流」「風土に根ざした文化活動」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
38	12	2月28日	飯田市民館	21世紀にどう入っていくか	国立民族学博物館教授 端 信行
	主な内容： 新世紀第1回の公民館大会としてこれからの公民館の在り方を研究 実践する場と開催。分科会「ウォーキング事業を通した和の広がり」「地域の子ども達を考える」「多文化共生を考える」「地域に在る文化の魅力を語り合う」「エコマネーって何？」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
39	13	2月17日	飯田市民館	明日への展望 ～地域づくりの拠点公民館～	北海道大学教育学部 鈴木敏正、姉崎洋一 宮崎隆志
	主な内容： 社会教育学会のメンバーによる地域社会教育実践研究会の先生の飯田調査報告を兼ねたシンポジウムなど。分科会「これからの公民館を考える」「地区運動会を通して地域を考える」「分館活動のあり方を考える」「読者が創る情報誌・ネットワークゆいを考える」「子どもを健やかに」「地域における多文化共生の道」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
40	14	2月16日	飯田市民館	テーマ：「公民館活動と地域づくり」 講 師：NPO法人自然環境アカデミー理事 伊東 静一 貝塚子育てネットワーク 梅原 直子 舞鶴市まちづくり新聞編集長 新治 徹 元松本市なんなん広場館長 手塚 英男	
	主な内容： 「飯田市民館の歩み」を映像で振り返る。地域づくり実践者を招いた実践発表、地元の実践者による事例発表を通して、地域づくりに果たす公民館活動の姿を探る。分科会「環境と共生した豊かな地域づくりを考える」「子育てと地域ネットワーク」「広報活動と地域づくりを考える」「魅力ある分館活動」をすすめる秘訣を考える				

飯田市公民館大会の経過

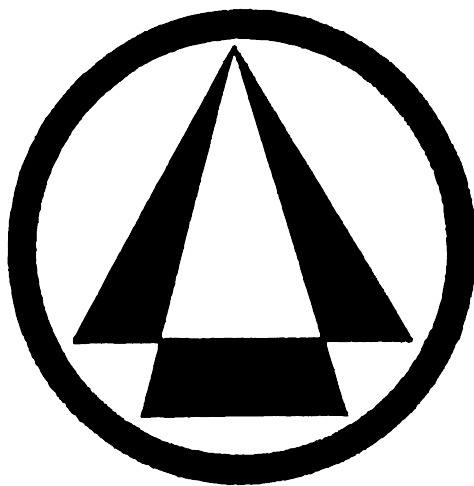
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
41	15	2月15日	飯田市公民館	今、心を結ぶふるさとづくりを	全体会議師なし
	主な内容：これまでの公民館活動を振り返り、原点に立ち返って地域の未来やこれからの公民館活動を考える機会とする。全体会の記念講演は行わず、分科会のみとした。分科会「文化・体育事業を通して、これからの公民館活動を考える」「公民館報研修会」「住民自治を育てる公民館」「地域の自治活動と公民館」「足元を見つめ、地域の財産を知る」「里山の活用から地域ぐるみの環境学習へ」「子どもが伸びる地域の力」「ゲームや交流体験を通して異なる文化に生きる人たちとの共生について考える」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
42	16	2月20日	飯田市公民館	テーマ：「新しい公民館の創造」 講 師：市長講演 牧野 光朗 「地育力の向上と公民館」 基調講演：東京大学大学院教育学研究科教授 佐藤 一子 「これからの公民館の果たす役割」	
	主な内容：地域自治組織と公民館との関係が問われている状況をふまえこれからの時代に対応した新しい公民館のあり方を議論する大会とした。市長講演、基調講演からつながる分科会を構成。分科会「住民自治力を培う公民館」「これからの子育て」「安全安心のまちづくり」「これからの文化事業を考える」「公民館報の意義と役割」「地域スポーツと公民館」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
43	17	2月19日	飯田市公民館	テーマ：「新たな公民館ビジョンの構築に向けて」 講 師：和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授 堀内秀雄 「地域自治組織とこれからの公民館の役割」	
	主な内容：地域自治組織の導入等を控え時代の変化に対応した「新たな公民館ビジョン」づくりを進めており、これからの新たな役割を共に考える機会として実施。高坂詢氏をコーディネーターに迎え、新井優氏、増田綾子氏、柳澤竜太郎氏、山田安世氏によるパネルディスカッションを実施。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
44	18	2月25日	飯田市公民館	テーマ：「新しい地域づくりの時代に向けて」 ～地域自治組織における公民館活動～ 講 師：東京学芸大学名誉教授・日本公民館学会前会長 小林文人 「新しい自治の時代に」ー公民館創造の原点から学ぶものー	
	主な内容：地域自治組織のスタートに伴い、新しい自治の時代に公民館は何かができるのか、考えあう機会として、全体会を始め、基調提案、基調講演、各地区での実践を発表する分科会を開催した。分科会「考えよう地域の子育て」「多文化共生と公民館」「地域の芸術文化活動を考える」「地域に活かす郷土学習」「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれから」「身近な取り組みから、みんなで考える環境」「館報から始まる情報発信」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
45	19	2月24日	飯田市公民館	テーマ：「地域から求められる公民館活動のあり方」 ーまちづくり委員会における公民館の主体性と連携の立場からー コーディネーター：長谷部三弘（ひさかた風土舎代表）、 パネリスト：小市昭夫（信濃毎日新聞社編集局報道部次長） 下平隆司（前竜丘自治協議会長） 菅沼輝美（橋南地区主任児童委員）	
	主な内容：1年間の活動の成果を確認し、課題を明確にすることにより、今後、より地域の中で役立つ公民館として、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的としてパネルディスカッション及び分科会を実施した。分科会は、「子どもは地域で育てよう」「公民館報と地域広報の役割」「学社連携の取り組みについて」「自然・歴史・文化などの地域資源をどのように活用するか」「地域における分館活動の位置づけと実践」「高齢者の知恵や経験を地域に活かす～仲間づくりから始まる地域貢献とそれを支える公民館のあり方～」の6分科会を開催。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
46	20	2月22日	飯田市公民館	テーマ：「地域から求められる公民館活動」 講 師：基調講演 「これからの公民館のあるべき姿」 飯田女子短期大学講師・元松川町社会教育主事 松下 拓 ※基調講演は、従来公民館が果たしてきた役割や大切にしてきた理念を再確認することにより、今後の公民館活動のあり方を考える礎とした。	
	主な内容：今後、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的として基調講演及び分科会を実施した。分科会においては、実践事例をとりあげ、これからの公民館活動に活かしていけるように活発な意見交換を行った。分科会は「地域コミュニティを見直してみよう」「公民館報・広報等による情報の発信と共有」「地域と子どもがどう関わるか」「地域資源を地域づくりにどう活かすか」「住民にとって最も身近な分館や地区単位の活動をどう推進するか」の5分科会を開催。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
47	21	2月22日	飯田市公民館	テーマ：「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「明日から何をするか」 講師：松本大学総合経営学部観光 ホスピタリティー学科教授 白戸 洋 ※住民主体の地域自治が期待されるなか、公民館の活動が地域を担う人づくりにどのように貢献しているのか確認し、今後の公民館活動のあり方を考える。	
	主な内容：公民館を取り巻く課題を明確にし、公民館が担うべき役割や方向性を確認することを目的に開催する。基調講演は、松本大学の白戸洋先生にご講演いただく。分科会では、各地区の実践事例をとりあげ、今後の公民館活動に活かすべく情報や意見交換を行った。なお分科会は、「活き活きとした地域における文化祭づくりに向けて」「心身の健康とスポーツで地域づくり・人づくり」「親しんで読んでもらえる、魅力ある広報・館報づくり」「連携して取り組む、子どもの健全育成」「地域を元気にする活動を考える」の5つのテーマで開催。				

飯田市民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
48	22	2月20日	飯田市民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「分権と自治の時代の公民館の役割」 講師: 東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤
	主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、東京大学との調査・学習の結果から見えてきた課題などを共有することで、今後の公民館活動をより有意義なものにすることを目的に開催する。基調講演は、東京大学大学院の牧野教授を講師に迎え、飯田市民館との共同学習から見えてきたこれからの公民館の役割について、全国的な事例を交えながら提言いただく。分科会は「公民館とはどんなところ?」「歩くことを通じた地域の魅力再発見」「運動会が地域に果たす役割」「さまざまな情報媒体を生かした広報活動」「もっとも身近な分館活動」の5つのテーマで開催。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
49	23	2月19日	飯田市民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「感動と感謝が紡ぐ地域・集落の絆」 講師: 豊重哲郎氏 (鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長) パネルディスカッション 「学びと交流から活力ある地域にするには」 パネラー 豊重哲郎氏(基調講演講師) 牧野 篤氏(東京大学大学院教授) 長谷部三弘氏(ひさかた風土舎代表) コーディネーター 荻野亮吾氏(東京大学大学院特任助教)
	主な内容: 生活に一番身近なコミュニティとして「分館活動や分館が無い地区の分館的な活動」の重要性を再確認することで、公民館の学びと交流から地域の絆を育み、心豊かで暮らしやすい地域づくりの実践に結びつけることを目的に開催する。基調講演には、全国的に注目される鹿児島県鹿屋市の通称「やねだん」、柳谷自治公民館の館長(町内会長)である豊重哲郎氏をお招きして、自立した地域づくりの実践と人材育成の哲学に学んだ。パネルディスカッションは、基調講演への会場からの質問票と事前に設定する意見交換テーマで組み立てた。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
50	24	2月17日	飯田市民館	テーマ:「今、公民館を問い直す ～住民自治を育む公民館の新たな挑戦～」 実践発表会 ①「東日本大震災復興から学んだもの」 石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科 准教授) ②「これからの地域と学校の連携」 長谷部豊子氏(東京都国分寺市立本多公民館運営審議会 元委員長) 中森美都子氏(同 本多公民館 元館長) ③魅力ある分館活動の秘訣 三村伊津子氏(松本市町内公民館長会 元会長) ④公民館学習から始まる住民主体の地域づくり 井原岩江氏(阿智村伍和公民館 館長)
	主な内容: 第50回目の節目の大会で、初めてムス飯田交流会と併催で開催した。全体会では、これまでの公民館の歩みを振り返るDVDの上映と、各地の実践者による実践発表を行った。その後行われた分科会では、実践発表の講師が助言者等として関わり、実践発表の内容を深める組み立てのものも設定した。分科会は「震災復興を通じたまちづくりと公民館」「地域と学校をつなげる公民館の役割」「魅力ある分館活動」「地域づくりの意識を育む公民館」「公民館活動に込められた願い」「ムスで広がる市民活動」の6つのテーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
51	観測史上初となる豪雪により中止			テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師: 吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
	25	2月16日	飯田市民館	主な内容: 第50回の昨年度に引き続き、ムス飯田学習会を併催。リニア中央新幹線ルート・駅位置確定や三遠南信自動車全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を創るために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有することを目的に計画した。基調講演は水俣市在住で地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「将来を見据えた地域づくり」「人形劇フェスタを通じた地域づくり」「地域で育てたい子どもの姿」「環境を学び、生かす」「次代を担う若者の地域参加」「ムスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6つのテーマを計画した。
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
52	26	2月17日	飯田市民館 りんご庁舎(分科会)	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師: 吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
	主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。リニア中央新幹線ルート・駅位置決定や三遠南信自動車道全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を確立する上で公民館が果たす役割や、これからの地域づくりに重要となる視点を共有した。基調講演は地元学を提唱した吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「“人”が支える地域づくり」「次世代につなげる地域文化」「子どもを育む地域の力」「環境を学び、守り、生かす」「明日の地域に若者の視点を!」「ムス飯田30周年記念パネルディスカッション」の6つのテーマで開催した。			

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
53	27	2月21日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地域みがき」のすすめ ～これからの地域づくりを考える～』 講師:小田切徳美氏(明治大学農学部 教授)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、公民館を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考える上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「若いみなさん! 私たちと一緒にやろうよ!」「想いをつなぐ地域文化」「支え合う、心豊かな暮らしのススメ」「誰もがお互いを大切に合う地域に!」「身近な自然に目を向けよう」「ムスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
54	28	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『地元を創り直す ～田園回帰の時代～』 講師:藤山浩氏(島根県中山間地域研究センター研究統括監)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、自分たちの暮らしや生き方を見つめる機会として、また現代社会を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、人口減少、リニア時代を迎え、大きな社会変貌が予想される中においても、心豊かな暮らしを実現できる持続可能な地域をめざすために、今公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「未来へのバトンパス」「育もう! いきいきとした子ども」「次世代に想いをつなぐ地域文化」「高齢期を支え合いと生きがいを持って」「私と地域にとっての公民館」「ムスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
55	29	2月18日	飯田市公民館	テーマ:「地域づくりを担う人づくりの拠点としての公民館活動のあり方を考える」 ～人形劇による地域づくりと人づくり～ 全体会 内容・講師 実践発表 三穂伊豆木人形クラブ 実践報告 長谷部三弘氏(元飯田市公民館副館長) 渡邊義昭氏(上郷公民館館長) 基調講演 佐藤一子氏(東京大学名誉教授)
	主な内容: 来年度人形劇カーニバルから通算40周年の節目を迎えるにあたり、飯田市の公民館のしくみと私たちの主体的な活動が支えてきた人形劇によるまちづくりについて、地域づくり・人づくりの視点から振り返り、これまでの成果とこれからの可能性について考えるとともに、そのことを通して心豊かな暮らしの実現をめざした地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「もっと楽しもう人形劇フェスタ」「地域の子供達について語ろう」「ふるさと学習」「公民館を見つめ直す」「地域課題に迫る館報・広報」「ムスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
56	30	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～これからの社会に求められる公民館とは～ 基調講演 『“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして ～地域づくりというけれど～』 講師:白戸洋氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認するとともに、私たちのくらしや生き方を見つめ直し、互いの考えを深め合う場として、また地域を取り巻く課題を共有し、公民館が担う役割や今後の活動の方向性について考える機会として開催。今年度は、この地域においてより良い暮らしや豊かな人生を実現するために求められるものは何かを考え、地域での日々の活動を改めて捉え直すための視点を共有した。分科会は、「人形劇フェスタの可能性」「成人式のあり方について考えてみよう」「スポーツが地域にもたらす力」「あなたにとって分館とは。」「いってみよう・やってみよう そこからつながる」「ムスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
57	令和元年	2月16日	飯田市公民館	テーマ:「“関わり つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～今、改めて自治を考える～ 基調講演 「地域の未来を担う人づくり ～子どもと大人の学びを考える～」 講師:岩本悠氏(地域・教育魅力化プラットフォーム 共同代表)
	主な内容: 令和の幕開けとなる本大会では、大きく変貌しようとしている当地域において、私たちがより良い暮らしや豊かな人生を実現し未来を切り拓くための学びについて考えるとともに、この地域が大事にしてきた自治の精神について、今一度考え合うことを目的とした。基調講演では、高校と地域をつなぎ、互いの学び合いから次世代を担う人材を育む島根県の取り組みから、地域の子供にも関わる大人の姿勢について考えた。分科会は、「子どもに関わる私たちについて語ろう」「高校生や若者に対して、私たち大人はどうありたいか」「あなたにとっての人形劇フェスタって何ですか?」「思いやりにあふれた社会を目指して」「地域住民が楽しく集う公民館(分館)活動」「ムスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			



令和元年度 飯田市公民館活動記録

発行 令和2年3月31日

編集 飯田市公民館

〒395-0085 飯田市吾妻町139番地

☎ 22-1132 FAX 22-1022

E-mail: iccc01@city.iida.nagano.jp



再生紙を使用しています。